

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習Ⅱ E-井上(航)
講義名(英字)	Foundational SeminarⅡ
担当教員	井上 航人
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義は、「自分の将来設計」、すなわち「キャリア・デザイン」の基本的な考え方について学びます。講義では、キャリアとは何か、そして職業を選択すること、組織や企業で働くことの意味を考え、そのうえで最終的には自分のキャリアをデザインすることができるように指導します。この講義を受講することによって、自分のキャリア・デザインを踏まえて、大学で何をどのように学ぶべきかがはっきりと理解できるようになり、大学の学びが深まります。そして、さらには将来への準備に早期に取り掛かることができるので、就職活動にも役立たせることができます。
【到達目標】	大学卒業後の進路について考えることで、目的をもって大学生活を送るための順調なスタートを切ることができることを目標とする。また、学ぶこと以外にも様々な経験を基にして、卒業後、社会に出るための視野を獲得することも目標とする。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。 講義内の課題に期限を守って取り組むこと。									
【教育方法】	対面での演習形式で実施するものとする。									
【指定教科書・参考資料等】	教科書：タクナル（イベントプロデュース学科のみ）									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合			評価方法						
	講義内の課題	75%	評価項目に基づいて総合的に判断する。							
	期末課題	25%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】										
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	キャリア・デザイン総論	ガイダンス							
		予習内容(時間)								分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No2	大学生活を充実させる①	大学生活に目標やスケジュール、PDCAサイクル考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No3	大学生活を充実させる②	自己分析を通じて、価値観と働くことの意義を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No4	ライフプラン	大学生から卒業の進路を含め、人生設計について取り組む。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No5	働くということ	働くことの意義、そして「やりたいこと」と「できること」を軸に将来の希望を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No6	働く人の権利	働くことをめぐるルールを学ぶ。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No7	労働と収入	働くことで得られる金銭について学ぶとともに、貸与型奨学金についても触れる。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分

	No8	大学生活を充実させる③	インターンシップや海外留学などの課外活動について知る。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No9	資格の取得	キャリア形成と資格取得の意義について解説を行う。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No10	大学生活を充実させる④	ゼミ発表大会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No11	企業分析・業界分析	キャリア・デザインに必要となる企業分析調査について学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No12	就職活動を知る①	SPI試験などの就職に際しての採用試験についての解説と体験。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	SPIのオンライン受験	240	分
	No13	就職活動を知る②	内定者報告会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No14	総括	今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習Ⅱ S-浮谷(再履修)
講義名(英字)	Foundational Seminar II
担当教員	浮谷 秀一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この講義は、「自分の将来設計」、すなわち「キャリア・デザイン」の基本的な考え方について学びます。講義では、キャリアとは何か、そして職業を選択すること、組織や企業で働くことの意味を考え、そのうえで最終的には自分のキャリアをデザインすることができるように指導します。この講義を受講することによって、自分のキャリア・デザインを踏まえて、大学で何をどのように学ぶべきかがはっきりと理解できるようになり、大学の学びが深まります。そして、さらには将来への準備に早期に取り掛かることができるので、就職活動にも役立たせることができます。この科目は、再履修者対象なので、履修者個人個人にあった指導をしていくことがある。
	大学卒業後の進路について考えることで、目的をもって大学生活を送るための順調なスタートを切ることができることを目標とする。また、学ぶこと以外にも様々な経験を基にして、卒業後、社会に出るための視野を獲得することも目標とする。

【到達目標】										
【履修条件・受講推奨者】	2年生以上の再履修者対象									
【教育方法】	対面での演習形式で実施するものとする。									
【指定教科書・参考資料等】	特になし									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力		主張力		創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	講義内の課題	50%	評価項目に基づいて総合的に判断する。							
	期末課題	50%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】										
	週	テーマ	学習内容							
	No1	キャリア・デザイン総論	履修者個人個人に合わせた指導をする。							
		予習内容(時間)								分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No2	大学生活を充実させる①	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 大学生活に目標やスケジュール、PDCAサイクル考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No3	大学生活を充実させる②	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 自己分析を通じて、価値観と働くことの意義を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No4	ライフプラン	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 大学生から卒業の進路を含め、人生設計について取り組む。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No5	働くということ	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 働くことの意義、そして「やりたいこと」と「できること」を軸に将来の希望を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No6	働く人の権利	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 働くことをめぐるルールを学ぶ。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No7	労働と収入	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 働くことで得られる金銭について学ぶとともに、貸与型奨学金についても触れる。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No8	大学生活を充実させる③	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 インターンシップや海外留学などの課外活動について知る。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No9	資格の取得	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 キャリア形成と資格取得の意義について解説を行う。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No10	大学生活を充実させる④	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 ゼミ発表大会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No11	企業分析・業界分析	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 キャリア・デザインに必要となる企業分析調査について学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No12	就職活動を知る①	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 SPI試験などの就職に際しての採用試験についての解説と体験。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	SPIのオンライン受験	240	分
	No13	就職活動を知る②	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 内定者報告会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No14	総括	履修者個人個人に合わせた指導をする。例えば下記の内容。 今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習Ⅱ E-志塚
講義名(英字)	Foundational SeminarⅡ
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義は、「自分の将来設計」、すなわち「キャリア・デザイン」の基本的な考え方について学びます。講義では、キャリアとは何か、そして職業を選択すること、組織や企業で働くことの意味を考え、そのうえで最終的には自分のキャリアをデザインすることができるように指導します。この講義を受講することによって、自分のキャリア・デザインを踏まえて、大学で何をどのように学ぶべきかがはっきりと理解できるようになり、大学の学びが深まります。そして、さらには将来への準備に早期に取り掛かることができるので、就職活動にも役立たせることができます。
【到達目標】	大学卒業後の進路について考えることで、目的をもって大学生活を送るための順調なスタートを切ることができることを目標とする。また、学ぶこと以外にも様々な経験を基にして、卒業後、社会に出るための視野を獲得することも目標とする。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。 講義内の課題に期限を守って取り組むこと。									
【教育方法】	対面での演習形式で実施するものとする。									
【指定教科書・参考資料等】	教科書：タクナル（イベントプロデュース学科のみ）									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合			評価方法						
	講義内の課題	75%	評価項目に基づいて総合的に判断する。							
	期末課題	25%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】										
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	キャリア・デザイン総論	ガイダンス							
		予習内容(時間)								分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No2	大学生活を充実させる①	大学生活に目標やスケジュール、PDCAサイクル考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No3	大学生活を充実させる②	自己分析を通じて、価値観と働くことの意義を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No4	ライフプラン	大学生から卒業の進路を含め、人生設計について取り組む。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No5	働くということ	働くことの意義、そして「やりたいこと」と「できること」を軸に将来の希望を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No6	働く人の権利	働くことをめぐるルールを学ぶ。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No7	労働と収入	働くことで得られる金銭について学ぶとともに、貸与型奨学金についても触れる。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分

	No8	大学生活を充実させる③	インターンシップや海外留学などの課外活動について知る。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No9	資格の取得	キャリア形成と資格取得の意義について解説を行う。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No10	大学生活を充実させる④	ゼミ発表大会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No11	企業分析・業界分析	キャリア・デザインに必要となる企業分析調査について学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No12	就職活動を知る①	SPI試験などの就職に際しての採用試験についての解説と体験。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	SPIのオンライン受験	240	分
	No13	就職活動を知る②	内定者報告会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No14	総括	今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習Ⅱ E-清水(太)
講義名(英字)	Foundational SeminarⅡ
担当教員	清水 太陽
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義は、「自分の将来設計」、すなわち「キャリア・デザイン」の基本的な考え方について学びます。講義では、キャリアとは何か、そして職業を選択すること、組織や企業で働くことの意味を考え、そのうえで最終的には自分のキャリアをデザインすることができるように指導します。この講義を受講することによって、自分のキャリア・デザインを踏まえて、大学で何をどのように学ぶべきかがはっきりと理解できるようになり、大学の学びが深まります。そして、さらには将来への準備に早期に取り掛かることができるので、就職活動にも役立たせることができます。
【到達目標】	大学卒業後の進路について考えることで、目的をもって大学生活を送るための順調なスタートを切ることができることを目標とする。また、学ぶこと以外にも様々な経験を基にして、卒業後、社会に出るための視野を獲得することも目標とする。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。 講義内の課題に期限を守って取り組むこと。									
【教育方法】	対面での演習形式で実施するものとする。									
【指定教科書・参考資料等】	教科書：タクナル(イベントプロデュース学科のみ)									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	講義内の課題	75%	評価項目に基づいて総合的に判断する。							
	期末課題	25%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】										
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	キャリア・デザイン総論	ガイダンス							
		予習内容(時間)								分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No2	大学生活を充実させる①	大学生活に目標やスケジュール、PDCAサイクル考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No3	大学生活を充実させる②	自己分析を通じて、価値観と働くことの意義を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No4	ライフプラン	大学生から卒業の進路を含め、人生設計について取り組む。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No5	働くということ	働くことの意義、そして「やりたいこと」と「できること」を軸に将来の希望を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No6	働く人の権利	働くことをめぐるルールを学ぶ。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No7	労働と収入	働くことで得られる金銭について学ぶとともに、貸与型奨学金についても触れる。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分

	No8	大学生活を充実させる③	インターンシップや海外留学などの課外活動について知る。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No9	資格の取得	キャリア形成と資格取得の意義について解説を行う。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No10	大学生活を充実させる④	ゼミ発表大会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No11	企業分析・業界分析	キャリア・デザインに必要となる企業分析調査について学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No12	就職活動を知る①	SPI試験などの就職に際しての採用試験についての解説と体験。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	SPIのオンライン受験	240	分
	No13	就職活動を知る②	内定者報告会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No14	総括	今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	基礎演習Ⅱ E-田島
講義名(英字)	Foundational SeminarⅡ
担当教員	田島 外志美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義は、「自分の将来設計」、すなわち「キャリア・デザイン」の基本的な考え方について学びます。講義では、キャリアとは何か、そして職業を選択すること、組織や企業で働くことの意味を考え、そのうえで最終的には自分のキャリアをデザインすることができるように指導します。この講義を受講することによって、自分のキャリア・デザインを踏まえて、大学で何をどのように学ぶべきかがはっきりと理解できるようになり、大学の学びが深まります。そして、さらには将来への準備に早期に取り掛かることができるので、就職活動にも役立たせることができます。
【到達目標】	大学卒業後の進路について考えることで、目的をもって大学生活を送るための順調なスタートを切ることができることを目標とする。また、学ぶこと以外にも様々な経験を基にして、卒業後、社会に出るための視野を獲得することも目標とする。

【履修条件・受講推奨者】	1年生は全員履修。 講義内の課題に期限を守って取り組むこと。									
【教育方法】	対面での演習形式で実施するものとする。									
【指定教科書・参考資料等】	教科書：タクナル(イベントプロデュース学科のみ)									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	講義内の課題	75%	評価項目に基づいて総合的に判断する。							
	期末課題	25%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】										
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	キャリア・デザイン総論	ガイダンス							
		予習内容(時間)								分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No2	大学生活を充実させる①	大学生活に目標やスケジュール、PDCAサイクル考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No3	大学生活を充実させる②	自己分析を通じて、価値観と働くことの意義を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No4	ライフプラン	大学生から卒業の進路を含め、人生設計について取り組む。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No5	働くということ	働くことの意義、そして「やりたいこと」と「できること」を軸に将来の希望を考える。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No6	働く人の権利	働くことをめぐるルールを学ぶ。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分
	No7	労働と収入	働くことで得られる金銭について学ぶとともに、貸与型奨学金についても触れる。							
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること						120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り						120	分

	No8	大学生活を充実させる③	インターンシップや海外留学などの課外活動について知る。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No9	資格の取得	キャリア形成と資格取得の意義について解説を行う。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No10	大学生活を充実させる④	ゼミ発表大会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No11	企業分析・業界分析	キャリア・デザインに必要となる企業分析調査について学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の振り返り	120	分
	No12	就職活動を知る①	SPI試験などの就職に際しての採用試験についての解説と体験。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	SPIのオンライン受験	240	分
	No13	就職活動を知る②	内定者報告会に参加し、レポートを作成する。		
		予習内容(時間)	配布資料のキャリアに関するキーワードについて調べること	120	分
		復習内容(時間)	レポートの作成	240	分
	No14	総括	今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話Ⅱ BE-K
講義名(英字)	English Conversation II
担当教員	Janet.Johnson
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	The course is designed to reinforce listening and speaking skills. Conversations, practiced with a partner, will reflect daily life events. Practice will include learning new vocabulary. Asking and answering questions, will be used for speaking as well as listening improvement.
【到達目標】	◇授業で扱う内容の予習と復習はしっかり行ってください。また、リスニング力アップのため練習をしてください。宿題はきちんと済ませ、単語の暗記もすること。ペアでの会話練習は積極的に参加すること。 The target of the course is to improve vocabulary, speaking skills and listening ability. The study and use of English should enable students to have more cross cultural understanding.

【履修条件・受講推奨者】	Attendance and active participation are required. Completion of assignments and a passing grade on exams is also required. Students are expected to cooperate with each other by practicing together. ◇授業で行う活動に積極的に参加すること(とくに会話練習)。会話練習やその他授業で行う活動についていけるよう、出席は必須です。									
【教育方法】	The methods used will be explanation, comprehension check, verbal questions, written exercises and confirmation of answers, checking pronunciation, review and testing.									
【指定教科書・参考資料等】	Side by Side Extra. Book and eText 1. International edition. Steven J. Molinsky and Bill Bliss Pearson Education Inc.									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力		突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力		創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合							評価方法		
	Attendance						20%			
	Active participation in conversation and listening exercises.						20%			
	Active participation in conversation and listening exercises.						60%			
	合計						100%			
【その他の注意事項】	Students should refrain from using smartphones during class. The textbook is necessary for conversation practice and exercises and should always be brought to class. Misc. prints will be distributed for additional practice. These should be brought to class.									
	週	テーマ		学習内容						
	No1	Unit 9		Summer vacation stories. Re-intro to class. Everyday activities. Simple present.						
		予習内容(時間)		Students should do exercises and listening practice.					60	分
		復習内容(時間)		Students should do exercises and listening practice.					60	分
	No2	Unit 10		Habitual actions. Interests and activities. Yes/No questions.						
		予習内容(時間)		Do exercises and review lesson.					60	分
		復習内容(時間)		Review. Prepare for next class. Do listening practice.					60	分
	No3	Unit 11		Describing frequency of actions. Describing people. Time expressions.						
		予習内容(時間)		Do assignments. Review.					60	分
		復習内容(時間)		Prepare for next lesson. Do listening exercises.					60	分
	No4	Unit 12		Describing feelings and emotions. Talking about usual and unusual activities.						
		予習内容(時間)		Do assignments. Review lesson					60	分
		復習内容(時間)		Prepare for next class. Review. Do listening practice.					60	分
	No5	Cross-culture experience class.		Cross-culture experience. Misc. activities, puzzles, crossword puzzles.						
		Unit 13		Expressing ability. Occupations. Invitations						

【授業計画】

		予習内容(時間)	Review materials. Do assignments.	60	分
		復習内容(時間)	Do listening exercises.	60	分
No6		Unit 13 cont.	Review and continue Unit 13. Occupations. Invitations. Supplementary exercises. Invitation practice. Accepting/rejecting.		
		予習内容(時間)	Review. Do assignments. Workbook exercises, etc.	60	分
		復習内容(時間)	. Do Listening exercises and assignments. Prepare for midterm.	60	分
No7		Midterm Exam	Midterm exam. Units 9-13		
		予習内容(時間)	Review	60	分
		復習内容(時間)	Practice conversations and listening.	60	分
No8		Unit 14	Unit 14 Future. Describing future plans and intentions. Expressing wants Weather forecasts. Telling time. Making predictions.		
		予習内容(時間)	Review lesson. Do exercises. Practice	60	分
		復習内容(時間)	Prepare for next class. Do exercises and listening practice.	60	分
No9		Unit 15	Unit 15 Past tense. Past actions and activities. Ailments. Describing an event. Making a doctor's appointment.		
		予習内容(時間)	Review. Practice. Do exercises.	60	分
		復習内容(時間)	Prepare for next lesson. Review. Do Listening practice.	60	分
No10		Unit 15	Unit 15 Past tense. Past actions. Ailments. Events. Appointments. Workbook and supplementary practice.		
		予習内容(時間)	Practice. Do listening. Do exercises.	60	分
		復習内容(時間)	Do assignments. Review. Prepare for next class	60	分
No11		Unit 16	Unit 16 More past tense! Describing physical states and emotion		
		予習内容(時間)	Review. Do exercises and assignments.	60	分
		復習内容(時間)	Do listening exercises. Prepare for next lesson.	60	分
No12		Unit 16	Unit 16 continued. Describing states and emotions.		
		予習内容(時間)	Do assignments. Review.	60	分
		復習内容(時間)	Review. Do assignments. Practice.	60	分
No13		Prep for Final	Review lessons 13-16 for final exam		
		予習内容(時間)	Review and practice for final exam.	120	分
		復習内容(時間)	Review and practice for final exam.	120	分
No14		Final Exam	Final Exam Units 13-16		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話Ⅱ BE-N
講義名(英字)	English Conversation II
担当教員	菅原 千津
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	春学期の『英会話Ⅰ』に続き、英会話を上達させるためのスピーキング・リスニング練習に重点をおき、『英語でのコミュニケーション力をつけること』を目標とします。春学期同様、ペアワークなどの会話練習には積極的に参加をすること。さらに、テキスト付属のオンライン学習プログラム「English Central」を継続して使い単語学習や発音トレーニングを各自で行う。秋学期では、自分の考えや意見を英語で伝える力をつけていくために、プレゼンテーションなども行う。
【到達目標】	語彙をつけ、日常生活で使われる英語表現を読んで理解できるようになる。 日常生活で使われる英語表現を聞いて理解できるようになる。 日常生活で使われる英語表現を適切に発話できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	とくになし。																																																																																																																																								
【教育方法】	ペアワーク、グループワーク、スピーチなどの活動を通して、英語コミュニケーション能力を向上させる。 教科書のオンライン発話プログラムを使用し、各自でスピーキング能力を向上させる。																																																																																																																																								
【指定教科書・参考資料等】	James Bury / Anthony Sellick / 堀内 香織（共著）『Complete Communication Book 1 -Basicコミュニケーションのための実践演習 Book1《初級編》』成美堂 2022																																																																																																																																								
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td></td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力		突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																	
自制力		思考力		突破力		忍耐力																																																																																																																																			
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																																				
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">授業への積極的な参加</td><td>40</td><td colspan="4" rowspan="4">評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。</td></tr><tr><td colspan="4">確認テスト</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="4">課題・プレゼンテーション・オンライン学習プログラム”English Central”の学習状況</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				授業への積極的な参加				40	評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。				確認テスト				30	課題・プレゼンテーション・オンライン学習プログラム”English Central”の学習状況				30	合計				100%																																																																																															
評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																					
授業への積極的な参加				40	評価項目を計100%で評価する。授業への出席は3分の2以上を前提とする。																																																																																																																																				
確認テスト				30																																																																																																																																					
課題・プレゼンテーション・オンライン学習プログラム”English Central”の学習状況				30																																																																																																																																					
合計				100%																																																																																																																																					
【その他の注意事項】	初回に本講義についての詳細や注意事項を説明するので、しっかりと理解して講義に参加すること。																																																																																																																																								
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="4">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>初回ガイダンス</td><td colspan="4">講義内容・評価方法・春学期の復習</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">初回授業の内容を理解しておくこと。</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>Unit 8 Restaurants and meals</td><td colspan="4">レストランなどでの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の復習</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>Unit 8 Restaurants and meals</td><td colspan="4">レストランなどでの語彙・表現を学ぶ レストランメニューについて</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">English Central 課題提出</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>Unit 9 Movies and TV programs</td><td colspan="4">映画やテレビ番組について話すときの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">English Central 課題提出</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>Unit 10 Music</td><td colspan="4">音楽について話すときの語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">English Central 課題提出</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>Unit 11 Shopping</td><td colspan="4">買い物での語彙・表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の予習</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">授業内容の復習</td><td>100</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>Unit 11 Shopping</td><td colspan="4">値段・数字についての表現を学ぶ</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容				No1	初回ガイダンス	講義内容・評価方法・春学期の復習				予習内容(時間)	テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。			30	分	復習内容(時間)	初回授業の内容を理解しておくこと。			30	分	No2	Unit 8 Restaurants and meals	レストランなどでの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	授業内容の復習			100	分	No3	Unit 8 Restaurants and meals	レストランなどでの語彙・表現を学ぶ レストランメニューについて				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分	No4	Unit 9 Movies and TV programs	映画やテレビ番組について話すときの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分	No5	Unit 10 Music	音楽について話すときの語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分	No6	Unit 11 Shopping	買い物での語彙・表現を学ぶ				予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分	復習内容(時間)	授業内容の復習			100	分		Unit 11 Shopping	値段・数字についての表現を学ぶ										
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																							
No1	初回ガイダンス	講義内容・評価方法・春学期の復習																																																																																																																																							
	予習内容(時間)	テキストを準備し、シラバスとテキストの概要を把握しておくこと。			30	分																																																																																																																																			
	復習内容(時間)	初回授業の内容を理解しておくこと。			30	分																																																																																																																																			
No2	Unit 8 Restaurants and meals	レストランなどでの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																			
	復習内容(時間)	授業内容の復習			100	分																																																																																																																																			
No3	Unit 8 Restaurants and meals	レストランなどでの語彙・表現を学ぶ レストランメニューについて																																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																			
	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分																																																																																																																																			
No4	Unit 9 Movies and TV programs	映画やテレビ番組について話すときの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																			
	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分																																																																																																																																			
No5	Unit 10 Music	音楽について話すときの語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																			
	復習内容(時間)	English Central 課題提出			100	分																																																																																																																																			
No6	Unit 11 Shopping	買い物での語彙・表現を学ぶ																																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容の予習			30	分																																																																																																																																			
	復習内容(時間)	授業内容の復習			100	分																																																																																																																																			
	Unit 11 Shopping	値段・数字についての表現を学ぶ																																																																																																																																							

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No8	Public Speaking	スピーチ アクティビティ		
		予習内容(時間)	スピーチのための準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	40	分
	No9	Unit 12 Sports and exercise	スポーツや運動などについて話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No10	Unit 13 Travel and vacations	旅行や休暇などについて話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No11	Unit 14 Work and jobs	仕事について話すときの語彙・表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	授業内容の予習	30	分
		復習内容(時間)	English Central 課題提出	100	分
	No12	Presentation	プレゼンテーション		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションのための準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	30	分
	No13	Presentation	プレゼンテーション		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションのための準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	30	分
	No14	総括	今学期の授業についての総括		
		予習内容(時間)	今学期の振り返り・総復習	40	分
		復習内容(時間)	確認テストのための準備	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話Ⅱ BE-P
講義名(英字)	English Conversation II
担当教員	J.P.Brent Fialka
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	The course is designed to reinforce listening and speaking skills. Conversations, practiced with a partner, will reflect daily life events. Practice will include learning new vocabulary. Asking and answering questions, will be used for speaking as well as listening improvement.
【到達目標】	◇授業で扱う内容の予習と復習はしっかり行ってください。また、リスニング力アップのため練習をしてください。宿題はきちんと済ませ、単語の暗記もすること。ペアでの会話練習は積極的に参加すること。 The target of the course is to improve vocabulary, speaking skills and listening ability. The study and use of English should enable students to have more cross cultural understanding.

【履修条件・受講推奨者】	Attendance and active participation are required. Completion of assignments and a passing grade on exams is also required. Students are expected to cooperate with each other by practicing together. ◇授業で行う活動に積極的に参加すること(とくに会話練習)。会話練習やその他授業で行う活動についていけるよう、出席は必須です。									
【教育方法】	The methods used will be explanation, comprehension check, verbal questions, written exercises and confirmation of answers, checking pronunciation, review and testing.									
【指定教科書・参考資料等】	Side by Side Extra. Book and eText 1. International edition. Steven J. Molinsky and Bill Bliss Pearson Education Inc.									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力		突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力		創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合							評価方法		
	Attendance						20%			
	Active participation in conversation and listening exercises.						20%			
	Active participation in conversation and listening exercises.						60%			
	合計						100%			
【その他の注意事項】	Students should refrain from using smartphones during class. The textbook is necessary for conversation practice and exercises and should always be brought to class. Misc. prints will be distributed for additional practice. These should be brought to class.									
	週	テーマ		学習内容						
	No1	Unit 9		Summer vacation stories. Re-intro to class. Everyday activities. Simple present.						
		予習内容(時間)		Students should do exercises and listening practice.					60	分
		復習内容(時間)		Students should do exercises and listening practice.					60	分
	No2	Unit 10		Habitual actions. Interests and activities. Yes/No questions.						
		予習内容(時間)		Do exercises and review lesson.					60	分
		復習内容(時間)		Review. Prepare for next class. Do listening practice.					60	分
	No3	Unit 11		Describing frequency of actions. Describing people. Time expressions.						
		予習内容(時間)		Do assignments. Review.					60	分
		復習内容(時間)		Prepare for next lesson. Do listening exercises.					60	分
	No4	Unit 12		Describing feelings and emotions. Talking about usual and unusual activities.						
		予習内容(時間)		Do assignments. Review lesson					60	分
		復習内容(時間)		Prepare for next class. Review. Do listening practice.					60	分
	No5	Cross-culture experience class.		Cross-culture experience. Misc. activities, puzzles, crossword puzzles.						
		Unit 13		Expressing ability. Occupations. Invitations						

【授業計画】

		予習内容(時間)	Review materials. Do assignments.	60	分
		復習内容(時間)	Do listening exercises.	60	分
No6		Unit 13 cont.	Review and continue Unit 13. Occupations. Invitations. Supplementary exercises. Invitation practice. Accepting/rejecting.		
		予習内容(時間)	Review. Do assignments. Workbook exercises, etc.	60	分
		復習内容(時間)	Do Listening exercises and assignments. Prepare for midterm.	60	分
No7		Midterm Exam	Midterm exam. Units 9-13		
		予習内容(時間)	Review	60	分
		復習内容(時間)	Practice conversations and listening.	60	分
No8		Unit 14	Unit 14 Future. Describing future plans and intentions. Expressing wants Weather forecasts. Telling time. Making predictions.		
		予習内容(時間)	Review lesson. Do exercises. Practice	60	分
		復習内容(時間)	Prepare for next class. Do exercises and listening practice.	60	分
No9		Unit 15	Unit 15 Past tense. Past actions and activities. Ailments. Describing an event. Making a doctor's appointment.		
		予習内容(時間)	Review. Practice. Do exercises.	60	分
		復習内容(時間)	Prepare for next lesson. Review. Do Listening practice.	60	分
No10		Unit 15	Unit 15 Past tense. Past actions. Ailments. Events. Appointments. Workbook and supplementary practice.		
		予習内容(時間)	Practice. Do listening. Do exercises.	60	分
		復習内容(時間)	Do assignments. Review. Prepare for next class	60	分
No11		Unit 16	Unit 16 More past tense! Describing physical states and emotion		
		予習内容(時間)	Review. Do exercises and assignments.	60	分
		復習内容(時間)	Do listening exercises. Prepare for next lesson.	60	分
No12		Unit 16	Unit 16 continued. Describing states and emotions.		
		予習内容(時間)	Do assignments. Review.	60	分
		復習内容(時間)	Review. Do assignments. Practice.	60	分
No13		Prep for Final	Review lessons 13-16 for final exam		
		予習内容(時間)	Review and practice for final exam.	120	分
		復習内容(時間)	Review and practice for final exam.	120	分
No14		Final Exam	Final Exam Units 13-16		
		予習内容(時間)			分
		復習内容(時間)			分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話Ⅱ BE-S
講義名(英字)	English Conversation II
担当教員	渡邊 きみ代
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	春期に続き、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現を身に着けることを目標とします。英会話に必要な基礎的な英語力を育てるために語彙、文法、英作文なども学びます。海外の文化、習慣なども知り、楽しんで知識を広げ、役立つ英語を身につけましょう。
【到達目標】	単語、文法の習得 リスニング能力を習得 自然な会話、プレゼンテーションの能力を習得
【履修条件・受	将来役に立つ英語を身につけたいと希望し、積極的に授業に参加すること

【講推奨者】										
【教育方法】	英会話に必要な基礎的な英語力を鍛え、実用的な英語表現を身につけるためのトレーニングをする									
【指定教科書・参考資料等】	English First (Starter) 著者 Robert Hickling / Misato Usukura 金星堂 副教材としてプリント、CDなどを使用									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力		創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	語彙、文法、表現、知識の習得	30%	語彙、文法、表現、知識については期末試験で評価する。応用力については、中間、期末の2回、また授業内の会話練習などで評価する。授業内の積極性については随時評価する。							
	英語の応用力(プレゼンテーション、会話など)	50%								
	授業内の積極性	20%								
	合計	100%								
	【その他の注意事項】	特になし								
	週	テーマ	学習内容							
	No1	Unit 6 Let's Eat	語彙をふやすためのクイズ、現在進行形、過去進行形についての文法を学び、問題を解く。食品、食事についての語、表現を学ぶ。							
		予習内容(時間)	Unit 6 に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分					
	No2	Unit 6 Let's Eat	語彙をふやすためのクイズ、be動詞を使った会話のリスニング、be動詞を使った文章を書き、会話をする。							
		予習内容(時間)	Unit 6 に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分					
	No3	Unit 7 It's a Date	語彙をふやすためのクイズ、一般動詞の過去形についての文法を学び、問題を解く。不規則動詞について学ぶ。							
		予習内容(時間)	Unit 7に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分					
	No4	Unit 7 It's a Date	語彙をふやすためのクイズ、過去形を使った会話のリスニング、過去形を使った文章を書き、会話をする。							
		予習内容(時間)	Unit 7に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分					
	No5	Unit 8 I have to Study	語彙をふやすためのクイズ、助動詞についての文法を学び、問題を解く。助動詞を使った文章を書く。和文英訳など。							
		予習内容(時間)	Unit 8 に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分					
	No6	Unit 8 I have to Study	語彙をふやすためのクイズ、助動詞を使った会話のリスニング、助動詞を使った文章を書き、会話をする。Unit 6～Unit8で学習した内容を使った会話文を作り、次週のテストのための練習をする。							
		予習内容(時間)	Unit 8 に目を通す	120	分					
		復習内容(時間)	次週のテストに備える	120	分					
	No7	会話テスト	Unit,6 Unit7, Unit8で学習したことを応用する会話テスト							
		予習内容(時間)	テストのための会話練習	120	分					

【授業計画】		復習内容(時間)	Unit.6 Unit7, Unit8の語、表現などを復習	120	分
	No8	Unit 9 What Do You Think of My Sketch?	語彙をふやすためのクイズ、疑問詞についての文法を学び、問題を解く。疑問詞をつかったさまざまな質問と答えを考える。		
		予習内容(時間)	Unit 8に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分
	No9	Unit 9 What Do You Think of My Sketch?	語彙をふやすためのクイズ、疑問詞を使った会話のリスニング、疑問詞を使った文章を書き、会話をする。		
		予習内容(時間)	Unit 9に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分
	No10	Unit 10 Kenji Is So Difficult	語彙をふやすためのクイズ、不定詞、動名詞についての文法を学び、問題を解く。不定詞、動名詞をつかった文章を考工、会話文をつくる。		
		予習内容(時間)	Unit 10に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分
	No11	Unit 10 Kenji Is So Difficult	語彙をふやすためのクイズ、不定詞、動名詞を使った会話のリスニング、不定詞、動名詞を使った文章を書き、会話をする。		
		予習内容(時間)	Unit 10に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分
	No12	Unit 11 I'll Make a Birthday Cake	語彙をふやすためのクイズ、未来形についての文法を学び、問題を解く。未来形をつかった文章を考え、会話文をつくる。Unit 9～Unit11で学んだ表現を使った会話文を考え、ペアを組み、次週の会話テストに備える。		
		予習内容(時間)	Unit 11に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	学習内容確認	120	分
	No13	Unit 11 I'll Make a Birthday Cake	語彙をふやすためのクイズ、Unit 9～Unit11で学んだ表現を使った会話文を考え、ペアを組み、次週の会話テストに備える。		
		予習内容(時間)	Unit11に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	会話テストの準備	120	分
	No14	英会話テスト及びUnit 6～11の復習	英会話テスト、Unit6～Unit11, 学習した語、表現、英文などについて復習		
		予習内容(時間)	英会話テストの練習、	120	分
		復習内容(時間)	期末試験のために学習した語、表現、英文などについての確認	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話Ⅱ S-K
講義名(英字)	English Conversation II
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	英会話の基本を学ぶこと、そして必要な語彙を習得することを通じて、自信を持って自分を英語で発信できるようになることを目標とします。様々な状況を想定しながらリスニングとスピーキングの練習を重ね、簡潔な英文表現の作り方や的確なリスニングの戦略を学習します。(この授業は留学生対象の英会話Ⅰの続きです)
【到達目標】	基本的な英語表現を身に付ける。 相手の意図を理解し、簡単な英語表現で応答できるようになる。 会話の鍵となる単語や語句を聞き取り、書いて表現できるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	条件はありません。																																																																																																																																																																																																																																	
【教育方法】	テキストに沿って英会話表現の意味を理解し、ペアワークやグループワークでその表現を使ってみたり、教員との会話のやり取りを英語で完成させたりすることで、様々な表現を身に付ける。																																																																																																																																																																																																																																	
【指定教科書・参考資料等】	Herman Bertelen (著) Take It Easy! Second Edition. Cengage Learning.																																																																																																																																																																																																																																	
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td></td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力		突破力	○	忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力																																																																																																																																																																																																											
自制力		思考力		突破力	○	忍耐力																																																																																																																																																																																																																												
協働力	○	主張力	○	創造力																																																																																																																																																																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="8">評価方法</th></tr><tr><td>到達度確認評価テスト</td><td>70%</td><td colspan="8" rowspan="4">到達度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。</td></tr><tr><td>授業中の会話ワークでの積極性</td><td>15%</td></tr><tr><td>リスニング課題</td><td>15%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法								到達度確認評価テスト	70%	到達度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。								授業中の会話ワークでの積極性	15%	リスニング課題	15%	合計	100%																																																																																																																																																																																														
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																																																																																																																																
到達度確認評価テスト	70%	到達度確認に加え、授業内の積極性やリスニングの正確性をその都度教員が判定して評価する。																																																																																																																																																																																																																																
授業中の会話ワークでの積極性	15%																																																																																																																																																																																																																																	
リスニング課題	15%																																																																																																																																																																																																																																	
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																	
【その他の注意事項】	授業の特性上、指定の期日までに教科書を用意できなかった者は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。																																																																																																																																																																																																																																	
【授業計画】	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th colspan="8">学習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>Describing Routines</td><td colspan="8">日課にしていることについて説明できるようになる</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">自分の日課をリストアップしておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">日課の表現復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>Giving Instructions</td><td colspan="8">数字を用いて指示を出せるようになる</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">数や金額の英語での表し方を整理しておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">数の表現類復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>Describing People</td><td colspan="8">人について説明する</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">人の姿や服装について表す形容詞を整理しておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">人の描写表現復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>Emphasizing</td><td colspan="8">強調の仕方を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">「良い」「悪い」を強める表現を整理しておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">強調表現復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>Describing Personality</td><td colspan="8">自分や他人の性格を説明できるようになる</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">自分を形容するとしたらどんな人物かを母国語で考えておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">性格描写の形容詞類復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>Past Progressive Tense</td><td colspan="8">過去の一時的動作を描写する</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">昔やっていたが今はやっていないこと、近い将来の予定などについて考えておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">過去進行形復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No7</td><td>Reacting to Events</td><td colspan="8">出来事に対する反応の表現を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">感情を表す語句を英語で整理しておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">リアクションの表現類復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>Telling Stories</td><td colspan="8">事態を相手に説明する</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	Describing Routines	日課にしていることについて説明できるようになる								予習内容(時間)	自分の日課をリストアップしておく						120	分	復習内容(時間)	日課の表現復習						120	分	No2	Giving Instructions	数字を用いて指示を出せるようになる								予習内容(時間)	数や金額の英語での表し方を整理しておく						120	分	復習内容(時間)	数の表現類復習						120	分	No3	Describing People	人について説明する								予習内容(時間)	人の姿や服装について表す形容詞を整理しておく						120	分	復習内容(時間)	人の描写表現復習						120	分	No4	Emphasizing	強調の仕方を学ぶ								予習内容(時間)	「良い」「悪い」を強める表現を整理しておく						120	分	復習内容(時間)	強調表現復習						120	分	No5	Describing Personality	自分や他人の性格を説明できるようになる								予習内容(時間)	自分を形容するとしたらどんな人物かを母国語で考えておく						120	分	復習内容(時間)	性格描写の形容詞類復習						120	分	No6	Past Progressive Tense	過去の一時的動作を描写する								予習内容(時間)	昔やっていたが今はやっていないこと、近い将来の予定などについて考えておく						120	分	復習内容(時間)	過去進行形復習						120	分	No7	Reacting to Events	出来事に対する反応の表現を学ぶ								予習内容(時間)	感情を表す語句を英語で整理しておく						120	分	復習内容(時間)	リアクションの表現類復習						120	分		Telling Stories	事態を相手に説明する							
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																																																																																																																
No1	Describing Routines	日課にしていることについて説明できるようになる																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	自分の日課をリストアップしておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	日課の表現復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No2	Giving Instructions	数字を用いて指示を出せるようになる																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	数や金額の英語での表し方を整理しておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	数の表現類復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No3	Describing People	人について説明する																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	人の姿や服装について表す形容詞を整理しておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	人の描写表現復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No4	Emphasizing	強調の仕方を学ぶ																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	「良い」「悪い」を強める表現を整理しておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	強調表現復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No5	Describing Personality	自分や他人の性格を説明できるようになる																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	自分を形容するとしたらどんな人物かを母国語で考えておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	性格描写の形容詞類復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No6	Past Progressive Tense	過去の一時的動作を描写する																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	昔やっていたが今はやっていないこと、近い将来の予定などについて考えておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	過去進行形復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No7	Reacting to Events	出来事に対する反応の表現を学ぶ																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	感情を表す語句を英語で整理しておく						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	リアクションの表現類復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	Telling Stories	事態を相手に説明する																																																																																																																																																																																																																																

	No8	予習内容(時間)	最近自分に起きた出来事を整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	過去表現復習	120	分
	No9	Making Phone Calls	電話の会話表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	「もしもし」の言い方を様々な外国語で調べておく	120	分
		復習内容(時間)	電話表現復習	120	分
	No10	Asking for Repetition	もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ		
		予習内容(時間)	どんな言い方が母国語で聴き取りにくいかを考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	反復依頼表現復習	120	分
	No11	Talking about Entertainment	娯楽について話す		
		予習内容(時間)	映画や音楽など、自分の好きな娯楽について整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	何かが楽しいと感じた際の表現類復習	120	分
	No12	Making Suggestions	相手に提案をする		
		予習内容(時間)	「こうしたらどうですか?」という提案を最近誰かしたことがあるか、自分の生活を振り返って整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	提案表現復習	120	分
	No13	Expressing Opinions	自分の意見を表明する		
		予習内容(時間)	「私はこう思う」とはっきりと主張したエピソードについて、振り返っておく	120	分
		復習内容(時間)	意見表明表現復習	120	分
	No14	Discussing Issues	問題について話し合う		
		予習内容(時間)	今よく取り上げられている社会問題について、時事的なトピックを整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	ディスカッションで用いられる表現類復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英会話Ⅱ BE-U
講義名(英字)	English Conversation II
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講座では、英語のミステリードラマを見ながら、高校までに習ってきた単語や文法が実際にどのように使われるのかを学びます。これまで何年も英語を勉強してきたにもかかわらず、単語を文法的にどうつなげて、どのように言いたいことを表すのかがよくわからない、という人は、少なからずいると思います。そこで、まずは比較的優しいレベルの英文や構文を使って基礎を復習しながら、主にリスニングとスピーキングの2つの側面に焦点を当てることにします。また、ドラマで実際に登場人物が話すシーンを見ながら、英語圏の日常生活で起こりやすい状況で使える英会話表現を学びます。
【到達目標】	英語コミュニケーションに必要な構文、文法知識を身につける。 会話の流れを聞いて理解し、適切な表現で応答できるようになる。 学んだ表現を応用して会話を組み立てることができるようになる。

【履修条件・受講推奨者】	特にありません。																																																																																																																																																																																																																																	
【教育方法】	リスニングや、スピーキングのロールプレイ、日常会話表現などを、ドラマの動画を見ながら学習します。																																																																																																																																																																																																																																	
【指定教科書・参考資料等】	Asari, A., Kanno, S., Kubo, T., & Sato, R. (2021) Olive Green: Learning English through a Mystery Drama. Asahi Press.																																																																																																																																																																																																																																	
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																																																																																																																																																																																																											
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																																																																																																																																																																																																											
協働力	○	主張力	○	創造力																																																																																																																																																																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="7">評価方法</td></tr><tr><td colspan="2">到達度評価試験</td><td>70%</td><td colspan="7" rowspan="3">授業中の課題への取り組み、および到達度評価試験</td></tr><tr><td colspan="2">リスニング</td><td>15%</td></tr><tr><td colspan="2">適切な英会話表現を作る</td><td>15%</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>100%</td><td colspan="7"></td></tr></table>										評価項目と割合			評価方法							到達度評価試験		70%	授業中の課題への取り組み、および到達度評価試験							リスニング		15%	適切な英会話表現を作る		15%	合計		100%																																																																																																																																																																																											
評価項目と割合			評価方法																																																																																																																																																																																																																															
到達度評価試験		70%	授業中の課題への取り組み、および到達度評価試験																																																																																																																																																																																																																															
リスニング		15%																																																																																																																																																																																																																																
適切な英会話表現を作る		15%																																																																																																																																																																																																																																
合計		100%																																																																																																																																																																																																																																
【その他の注意事項】	特にありません。																																																																																																																																																																																																																																	
【授業計画】	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="8">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>初回ガイダンス</td><td colspan="8">講義内容や評価方法の説明、レベルチェック問題</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">春学期に身に付けた英会話表現のまとめ</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">レベルチェック問題の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>Chapter8: Thistle Flowers</td><td colspan="8">be動詞の過去形と肯定・否定の仕方</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">be動詞の過去形と主語複数形対応について</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">動画内の新出表現の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>Chapter8: Thistle Flowers</td><td colspan="8">択一型構文「どちらがより～か」の、会話上での使い方</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">英語の比較表現</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">各種文法問題の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>Chapter9: Making the Plan</td><td colspan="8">助動詞canを使って可能性や能力を表す</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">助動詞canが使われる環境の確認</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">各種文法問題の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>Chapter9: Making the Plan</td><td colspan="8">Can you...?に対する返答の仕方</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">Canの疑問文の用法</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">各種文法問題の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>Chapter10: Shopping for a Dress</td><td colspan="8">現在進行形と、買い物の際によく使われる表現を身に付ける</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">現在進行形が表す時間の時点について</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">各種文法問題の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No7</td><td>Chapter10: Shopping for a Dress</td><td colspan="8">進行形を用いた疑問文とその返答の仕方</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">「～をしています」という表現の英語での作り方</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">各種文法問題の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>Chapter11: Party Time</td><td colspan="8">日常会話における助動詞willの使い方</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	初回ガイダンス	講義内容や評価方法の説明、レベルチェック問題								予習内容(時間)	春学期に身に付けた英会話表現のまとめ						120	分	復習内容(時間)	レベルチェック問題の復習						120	分	No2	Chapter8: Thistle Flowers	be動詞の過去形と肯定・否定の仕方								予習内容(時間)	be動詞の過去形と主語複数形対応について						120	分	復習内容(時間)	動画内の新出表現の復習						120	分	No3	Chapter8: Thistle Flowers	択一型構文「どちらがより～か」の、会話上での使い方								予習内容(時間)	英語の比較表現						120	分	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分	No4	Chapter9: Making the Plan	助動詞canを使って可能性や能力を表す								予習内容(時間)	助動詞canが使われる環境の確認						120	分	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分	No5	Chapter9: Making the Plan	Can you...?に対する返答の仕方								予習内容(時間)	Canの疑問文の用法						120	分	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分	No6	Chapter10: Shopping for a Dress	現在進行形と、買い物の際によく使われる表現を身に付ける								予習内容(時間)	現在進行形が表す時間の時点について						120	分	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分	No7	Chapter10: Shopping for a Dress	進行形を用いた疑問文とその返答の仕方								予習内容(時間)	「～をしています」という表現の英語での作り方						120	分	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分		Chapter11: Party Time	日常会話における助動詞willの使い方							
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																																																																																																																
No1	初回ガイダンス	講義内容や評価方法の説明、レベルチェック問題																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	春学期に身に付けた英会話表現のまとめ						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	レベルチェック問題の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No2	Chapter8: Thistle Flowers	be動詞の過去形と肯定・否定の仕方																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	be動詞の過去形と主語複数形対応について						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	動画内の新出表現の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No3	Chapter8: Thistle Flowers	択一型構文「どちらがより～か」の、会話上での使い方																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	英語の比較表現						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No4	Chapter9: Making the Plan	助動詞canを使って可能性や能力を表す																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	助動詞canが使われる環境の確認						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No5	Chapter9: Making the Plan	Can you...?に対する返答の仕方																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	Canの疑問文の用法						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No6	Chapter10: Shopping for a Dress	現在進行形と、買い物の際によく使われる表現を身に付ける																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	現在進行形が表す時間の時点について						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
No7	Chapter10: Shopping for a Dress	進行形を用いた疑問文とその返答の仕方																																																																																																																																																																																																																																
	予習内容(時間)	「～をしています」という表現の英語での作り方						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	復習内容(時間)	各種文法問題の復習						120	分																																																																																																																																																																																																																									
	Chapter11: Party Time	日常会話における助動詞willの使い方																																																																																																																																																																																																																																

	No8	予習内容(時間)	willの肯定文と否定文の作り方	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No9	Chapter11: Party Time	willを用いた疑問文、willとbe able to doの違い		
		予習内容(時間)	何かを相手に頼む際の表現	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No10	Chapter12: It's Time to Steal	現在完了形の日常会話での使われ方について		
		予習内容(時間)	現在完了形の3つの用法	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No11	Chapter12: It's Time to Steal	現在完了を用いた疑問文の作り方、動詞分詞形の使い方について		
		予習内容(時間)	規則変化と不規則変化の過去分詞	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No12	Chapter13: Run!	助動詞mustとcan'tの用法		
		予習内容(時間)	「～しなくてはならない」という表現の作り方	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No13	Chapter13: Run!	mustとhave to doの違い、またこれらを用いた疑問文の作り方		
		予習内容(時間)	助動詞の完了形とそれぞれの意味の違い	120	分
		復習内容(時間)	各種文法問題の復習	120	分
	No14	Chapter14: Review2	13章までの内容の確認と総括		
		予習内容(時間)	can't doやdon't doを使った場面描写の仕方	120	分
		復習内容(時間)	13章までの会話表現総復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	英語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	English Reading & Writing(Basics)Ⅱ
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、350語の題材を、なるべく日本語を介さず読み進める練習をします。わからない単語は文脈からの推測を試みます。それでも意味がわからない場合は、必ず辞書で確認することが大切です。ライティングは、文構造、基本的文法事項を理解し、理解を定着させるための練習問題をくり返します。また、音読にも時間をかけて、正確に読む練習をする予定です。
【到達目標】	350語の読み物の主旨、大意を把握できる 本文で取り上げられたトピックについて意見交換をし、相手の意見に同意したり異議を述べたりすることができる

	英文の基本的な構造(語順)、品詞、時制などについて理解できる					
【履修条件・受講推奨者】	英語Ⅱは英語初学者向けではありません。基礎力があり、さらに英語力を伸ばしたい学生が履修してください。					
【教育方法】	グループワーク(ディスカッション)を今まで以上に取り入れます。他人の意見を聞いて、自身の価値観を問い直す機会にしてください。					
【指定教科書・参考資料等】	Reading for Speed and Fluency 4 (Second Edition) 著者:Paul Nation, Marcus Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel 出版社:Compass Publishing					
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法			
	筆記試験	30	提出物については第1回授業で説明します。提出物が100%できていても、筆記テストの素点が30点(100点満点中)に満たない場合は単位修得できないことがあります。			
	レポート・提出物	30				
	授業での発言など授業中の取り組み	40				
	合計	100%				
【その他の注意事項】	遅刻2回で欠席1回とします。出席が10回に満たない場合は、評価の対象外になることがあります。シラバスの内容は受講生の習熟度により変更することがあります。					
	週	テーマ	学習内容			
	No1	ガイダンス プリント教材 How do we make a good first impression?	どのように授業を進めていくか説明する プリント教材で授業する			
		予習内容(時間)	英語での自己紹介を考えておいてください			60分
		復習内容(時間)	プリント教材で理解できなかったところを調べる			60分
	No2	プリント教材の続き 自己紹介	プリント教材を終える クラス全体に向けて、英語で自己紹介をする			
		予習内容(時間)	プリント教材で訳せないところを調べる			60分
		復習内容(時間)	プリント教材で理解できなかったところを調べる			60分
	No3	Chapter 9 Society	Learning Problemsを読む 語彙の理解 ペア/グループディスカッション How can we help people who find it difficult to learn?			
		予習内容(時間)	教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど			60分
		復習内容(時間)	授業で理解不足だったところを復習する			60分
	No4	Chapter 9 Society	Learning Problemの続き			
		予習内容(時間)	同上			60分
		復習内容(時間)	同上			60分
	No5	Loneliness (プリント教材)	プリント教材を読む 語彙の理解 Reading Analysis			
		予習内容(時間)	同上			60分
		復習内容(時間)	同上			60分

【授業計画】

	No6	Loneliness	Reading Analysisの続き		
		予習内容(時間)	同上	60	分
		復習内容(時間)	同上	60	分
	No7	Loneliness	How can we overcome loneliness? これまでのまとめ Critical Thinking: テーマについて考え、ペアやグループで話し合う		
		予習内容(時間)	同上	60	分
		復習内容(時間)	同上	60	分
	No8	語彙テスト	先週までの語彙の知識を問う		
		予習内容(時間)	語彙テストの準備をする	60	分
		復習内容(時間)	語彙テストの振り返りをする	60	分
	No9	Chapter 10 Beliefs	Islamsを読む 語彙を理解する		
		予習内容(時間)	教科書本文の大意を理解する。未知語の意味を調べるなど	60	分
		復習内容(時間)	授業で理解不足だったところを復習する	60	分
	No10	Chapter 10	Islamの続き Is Islam a widely practiced religion in your country? グループワーク		
		予習内容(時間)	同上	60	分
		復習内容(時間)	同上	60	分
	No11	What makes you happy? プリント教材	What is the secret to being happy? ペアと話し合う Understand the Situation. Think about the Issue		
		予習内容(時間)	同上	60	分
		復習内容(時間)	同上	60	分
	No12	What makes you happy?	グループワーク Ask for their opinions. Present your ideas.		
		予習内容(時間)	同上	60	分
		復習内容(時間)	同上	60	分
	No13	What makes you happy?	グループ内あるいはクラス全体で発表する		
		予習内容(時間)	発表の準備	60	分
		復習内容(時間)	発表の振り返りなど	60	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		予習内容(時間)	テストの準備をする	60	分
		復習内容(時間)	テストの振り返りをする	60	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	英語IV BE-K
講義名(英字)	English Reading & Writing (Intermediate) IV
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	今年度の英語IVは「英語を書くこと」にもじっくり取り組む予定です。短くても正確な英文を作る練習を積み重ね、最終的にはある程度の長さのパラグラフが書けることを目指します。「英語を読む」教材には英字新聞など時事的なものも取り入れていく予定です。音読も英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、繰り返し練習します。
【到達目標】	英文を読むために必要な文法、単語についての知識を習得する なめらかに読む。相手に伝わる英語発音を習得する

	単純な内容であれば、論理的な短い英文で表現できる									
【履修条件・受講推奨者】	英語に対する学習意欲があり、課題(ホームワーク)に取り組むことを優先できる学生 ペア・グループワークに意欲的に取り組める学生									
【教育方法】	グループワークなどを通してコミュニケーション力を伸ばすようにします									
【指定教科書・参考資料等】	第1回授業で説明します。 参考図書：Impact ISSUES 2 著者：Richard R. Day, Joseph Shaules, Junko Yamanaka Reading Choice 著者：Lorraine C. Smith, Nancy Nici Mare									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	筆記試験	35	筆記試験の配分は、第7回の語彙テストと本試験のテストの合計点です。ただし100点満点中30点に満たない場合は、単位修得できないことがあります。							
	授業での発言(ペア・グループワークを含む)	35								
	提出物	30								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	遅刻2回で欠席1回とします									
	週	テーマ	学習内容							
	No1	First Impressions 自己紹介	Vocabulary Comprehension Question 自己紹介を英文で作成する							
		予習内容(時間)	自己紹介できるよう準備						60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習						60	分
	No2	自己紹介 First Impressions	自己紹介文の発表							
		予習内容(時間)	自己紹介発表の準備をする						60	分
		復習内容(時間)	自己紹介について振り返りをする						60	分
	No3	First Impressions	プリント教材(教員が準備する)のQuestionに答えながら、内容を理解する							
		予習内容(時間)	プリント教材を学習する						60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習						60	分
	No4	時事問題を読む	教材は教員が準備します 語彙の意味を確認する 既知語については英文を作る練習							
		予習内容(時間)	未知語の意味を調べる						60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習						60	分
	No5	要約する	教材のreadingを読み、キーワードを見つけてそれを使って英文をつくる練習をする							
		予習内容(時間)	指示されたreadingを読む 未知語を調べる						60	分
		復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習						60	分

【授業計画】

No6	Discussion	指示された質問に対する自分の考えを英文で表現する グループでshareする		
	予習内容(時間)	指示された質問について自分の考えをまとめる	60	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
No7	語彙テスト	今までの授業で取り上げた語彙を使った英文を作る 意図した文意が適切に表現できているか確認する		
	予習内容(時間)	語彙テストの準備	60	分
	復習内容(時間)	語彙テストの復習	60	分
No8	英字新聞を読む	時事的な記事を読む 英字新聞は教員が準備します		
	予習内容(時間)	教材に目を通し、未知語の意味を調べる	60	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
No9	長文を読む	教員が準備する教材を読む Loneliness: How Can We Overcome it?		
	予習内容(時間)	教材に目を通し、未知語の意味を調べる	60	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
No10	長文を読む	プリント教材の質問に答えながら、内容を理解する		
	予習内容(時間)	教材に目を通し、問いに答える	60	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
No11	長文 Critical Thinking	テーマについて考え、ペアやグループで話し合う		
	予習内容(時間)	テーマについて調べ、自分の考えをまとめる	60	分
	復習内容(時間)	授業で学習した内容の復習	60	分
No12	長文	テーマについての意見文を書いて提出する		
	予習内容(時間)	意見文の下書き	60	分
	復習内容(時間)	意見文の清書	60	分
No13	総復習	テストへ向けて、既習事項の再確認を行う		
	予習内容(時間)	既習事項を確認する	60	分
	復習内容(時間)	テストの準備	60	分
No14	How to make use of Google翻訳 effectively	機械翻訳を使って演習を行います		
	予習内容(時間)	本試験の準備など	60	分
	復習内容(時間)	本試験の準備	60	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	TOEIC II BE-K
講義名(英字)	TOEIC II
担当教員	伊藤 満里
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	前期に引き続き、この授業では、TOEIC Listening & Reading テストを将来受験したいと考えている学生や、英語によるコミュニケーション力を伸ばしたいと考えている学生を対象とします。 授業では、そのために必要な英語運用能力を伸ばすために、基本的な重要語句の学習と聴き取り、読解や文法の練習問題に取り組みます。
【到達目標】	語彙力を身につけること 基本的な文法事項を学習すること

	読解力を身につけること									
【履修条件・受講推奨者】	演習授業になるので、欠席をしないこと。 指定された演習問題について、語彙の意味を調べることをしながら各自解答を準備すること。									
【教育方法】	出題形式や内容についての理解を深められるよう、TOEIC Test と同形式のテキストを使用する。 授業では解説を行うので、各自提出した解答をもとに、確認、見直しを行なう。分からないことは質問する。 語彙や語法がわからない状態で直観的に解答しても学習効果が低いので、積極的に辞書や文法書などを用い論理的に考えることを推奨する。									
【指定教科書・参考資料等】	Score Booster For The TOEIC L&R Test: Beginner 早川幸治・岸洋一 著 金星堂									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		○	忍耐力		○
	協働力		主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	本試験	50	4回以上欠席した者は成績評価の対象外とし、遅刻・早退は3回につき欠席1回。テキスト忘れ、辞書忘れ3回につき欠席1回とする。							
	確認テスト・単語テスト	40								
	授業参加度(発言回数など)	10								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	◇指定されたテキストを初回の授業までに購入すること。 ◇辞書を持参すること(電子辞書可)。 ◇受講生の英語レベルによって、授業計画が一部変更される場合があり、その場合その旨を授業内で提示する。									
	週	テーマ	学習内容							
	No1	オリエンテーション 前期の復習 (Unit 1-6)	TOEICテスト概要、テキスト紹介、評価方法、学習方法 前期 (Unit1-6) の復習							
		予習内容(時間)	前期授業内容 (Unit1-6) を復習する。						120	分
		復習内容(時間)	本授業で学びたいこと、半年後の目標をノートにまとめておく。						120	分
	No2	Unit 7 Daily Life	動詞の後ろの動名詞・不定詞(定型表現)							
		予習内容(時間)	テキストUnit 7の問題を解く、分からない単語は調べる。						120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。						120	分
	No3	Unit 7 Daily Life	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング							
		予習内容(時間)	Unit7の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。						120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。						120	分
	No4	Unit 8 Media	代名詞(主格・所有格・目的格) 確認テスト (Unit 7)							
		予習内容(時間)	テキストUnit 8の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。						120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。						120	分
	No5	Unit 8 Media	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング							
		予習内容(時間)	Unit8の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。						120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。						120	分
	No6	Unit 9 Recruiting	比較(比較級、最上級) 確認テスト (Unit 2)							
		予習内容(時間)	テキストUnit 9の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。						120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No7	Unit 9 Recruiting	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング		
		予習内容(時間)	Unit9の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No8	Unit 10 Production & Sale	前置詞(理由・譲歩、定型表現) 確認テスト(Unit 9)		
		予習内容(時間)	テキストUnit 10の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No9	Unit 10 Production & Sale	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング		
		予習内容(時間)	Unit10の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No10	Unit 11 Meetings	接続詞(理由・譲歩) 確認テスト(Unit 10)		
		予習内容(時間)	テキストUnit 11の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No11	Unit 11 Meetings	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング		
		予習内容(時間)	Unit11の文法事項を復習し、音声を何度も聞き、シャドウイングを行う。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No12	Unit 12 Offices	前置詞・接続詞対比 確認テスト(Unit 11)		
		予習内容(時間)	テキストUnit の問題を解く、分からない単語は調べる。確認テストに向けて復習。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習し、シャドウイングを行う。	120	分
	No13	Unit 12 Offices	リスニング、穴埋め、訳、シャドウイング 単語テスト(Unit7-12)		
		予習内容(時間)	Unit 7-12の単語を覚え、テキストを総復習する。	120	分
		復習内容(時間)	Unit 7-12の単語の復習とテキストを総復習する。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	後期授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		予習内容(時間)	Unit7-12の単語と文法を総復習する。	120	分
		復習内容(時間)	間違えた問題を復習する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	TOEIC II BE-L
講義名(英字)	TOEIC II
担当教員	矢戸 カール
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	This course is an introduction to TOEIC which a popular and most common test used within the business community to measure a person's English skills. The class will mostly focus on listening and learning new vocabularies.
【到達目標】	One of the surest ways to develop a person's listening skill is dictation which is writing down on paper everything that is being played on CD. Also, shadowing which is to read out loud with the speaker on the CD at the same speed and intonation.

	Introduction of new vocabularies which will help increase student's TOEIC scores.							
【履修条件・受講推奨者】	Elective Class							
【教育方法】	One of the effective listening skill is doing dictation drills and it will be used throughout the class.							
【指定教科書・参考資料等】	Longman Preparation Series for the TOEIC Test, Introductory Course 6th Edition, by Lin Lougheed, Pearson Education							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	Midterm and final examination	60	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance					
	Active class participation	30						
	Class attendance	10						
	合計	100%						
	【その他の注意事項】	None						
【授業計画】	週	テーマ		学習内容				
	No1	Part 3, Conversations		Dictation drills for Conversations Section, Identifying Time.				
		予習内容(時間)		Dictation drills			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills			120	分
	No2	Part 3, Conversations and Vocabulary		Dictation drills for Conversations Section, Identifying People. Vocabulary exercise				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
	No3	Part 3, Conversations		Dictation drills for Conversations Section, Identifying Intent.				
		予習内容(時間)		Dictation drills			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills			120	分
	No4	Part 3, Conversations and Vocabulary		Dictation drills for Conversations Section, Identifying the Topic. Vocabulary exercise				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
	No5	Part 3, Conversations		Dictation drills for Conversations Section, Identifying a Reason.				
		予習内容(時間)		Dictation drills			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills			120	分
	No6	Part 3, Conversations and Vocabulary		Dictation drills for Conversations Section, Identifying a Location. Vocabulary exercise				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
	No7	Midterm Examination		Midterm Examination Part 3, Conversations				
		予習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分
		復習内容(時間)		Dictation drills and vocabulary			120	分

	No8	Part 4, Talks	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Sequence.		
		予習内容(時間)	Dictation drills	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills	120	分
	No9	Part 4, Talks and Vocabulary	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Audience. Vocabulary Exercise		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
	No10	Part 4, Talks	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Location.		
		予習内容(時間)	Dictation drills	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills	120	分
	No11	Part 4, Talks and Vocabulary	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Topic. Vocabulary Exercise		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
	No12	Part 4, Talks	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Request.		
		予習内容(時間)	Dictation drills	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills	120	分
	No13	Part 4, Talks and Vocabulary	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Context. Vocabulary Exercise		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
	No14	Part 4, Talks and Vocabulary	Dictation drills for Talks Section, Identifying the Context. Vocabulary Exercise		
		予習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分
		復習内容(時間)	Dictation drills and vocabulary	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	フランス語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	FrenchⅡ
担当教員	野口 恵子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「フランス語Ⅰ」に続き、初級レベルの語彙や文法の知識を身につけるとともに、コミュニケーション能力を伸ばす。聞こえてきたフランス語を繰り返し言う練習、聞いて書き取る練習、テキストを声に出して読む練習を通して、理解力と運用力を養う。身近な話題、興味のある話題について、口頭および文章で表現する。
【到達目標】	初級レベルのフランス語を聞いて理解する能力を身につける。 身近な話題について話す能力を身につける。 基本的なフランス語で書かれた文を読んで理解する能力を身につける。 身近な話題について文章で表現する能力を身につける。

【履修条件・受講推奨者】	とくになし。																																									
【教育方法】	教科書、プリント、板書等で学習項目を確認した上で、教員と受講者、受講者同士のやり取りを行う。ディクテーションや音読テストを行う。																																									
【指定教科書・参考資料等】	瀬戸秀一・瀬戸和子(著)『街かどのフランス語(三訂版)』朝日出版社、2016年																																									
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力																												
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																			
協働力		主張力		創造力																																						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="2">評価方法</td></tr><tr><td>本試験(リスニング、および筆記)</td><td>50%</td><td colspan="2" rowspan="3">本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。</td></tr><tr><td>ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加</td><td>50%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td colspan="2"></td></tr></table>	評価項目と割合		評価方法		本試験(リスニング、および筆記)	50%	本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。		ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加	50%			合計	100%																											
評価項目と割合		評価方法																																								
本試験(リスニング、および筆記)	50%	本試験の点数と、平常点(小テスト、宿題提出、授業への参加度)から判断する。																																								
ディクテーション、音読テスト、宿題提出、授業への積極的参加	50%																																									
合計	100%																																									
【その他の注意事項】	毎回出席し、授業に積極的に参加すること。																																									
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>不規則動詞 venirとprendre の活用。部分冠詞の使い方。</td><td>venir(来る)、prendre(取る、撮る、乗る、飲む、食べる、など)の活用と使い方を学習する。数えられない名詞の前につく部分冠詞について学ぶ。3種類の冠詞(不定冠詞、定冠詞、部分冠詞)の整理。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>不定冠詞、定冠詞、部分冠詞の違いとそれぞれの使い方を理解しておく。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>天候の言い方。前置詞と定冠詞の縮約。</td><td>四つの季節の名前、「暑い・寒い」「天気がいい・悪い」などの言い方を学ぶ。前置詞 à または de と、定冠詞 le および les の縮約形を学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>天候の言い方を復習し、前置詞と定冠詞の縮約を含む例文を作れるようにする。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>テキスト5課本文(カフェでの会話)</td><td>合計金額を尋ねる言い方、合計金額の言い方を学ぶ。テキスト本文の意味を理解し、音読する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>テキスト本文の内容を確認しながら、繰り返し音読練習する。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>疑問詞のある疑問文。丁寧な願望の言い方。</td><td>Quand(いつ)、Où(どこ)、Comment(どのように)、Combien(どれだけ)、Pourquoi(なぜ)の疑問詞を用いて、さまざまな疑問文を作り、返答の仕方を学ぶ。Je voudrais ～.(～したいのですが、～をいただきたいのですが)を用いて、自分のしたいこと、ほしいものを丁寧に述べる。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>疑問詞のある疑問文と答え方の例を繰り返し読んで、覚える。120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>1月～12月の月名。時刻の言い方。</td><td>1月から12月の言い方を覚える。今まで習った表現に自分の誕生日を付け足して、簡単な自己紹介をする。現在時刻を尋ね、答える。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>今日の日付、自分の誕生日などをすらすら言えるようにする。時刻の言い方を覚える。120分</td></tr><tr><td></td><td>テキスト6課本文(パリ・オペラ座でバレエを見る)</td><td>本文の内容は、自分のしたいこと、ほしいものを丁寧に述べ、チケット窓口の場所、バレエ公演の日時等、係の人にいろいろ教えてもらうというもの。本文の意味を確認し、繰り返し音読する。</td></tr></table>	週	テーマ	学習内容	No1	不規則動詞 venirとprendre の活用。部分冠詞の使い方。	venir(来る)、prendre(取る、撮る、乗る、飲む、食べる、など)の活用と使い方を学習する。数えられない名詞の前につく部分冠詞について学ぶ。3種類の冠詞(不定冠詞、定冠詞、部分冠詞)の整理。	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分	復習内容(時間)	不定冠詞、定冠詞、部分冠詞の違いとそれぞれの使い方を理解しておく。120分	No2	天候の言い方。前置詞と定冠詞の縮約。	四つの季節の名前、「暑い・寒い」「天気がいい・悪い」などの言い方を学ぶ。前置詞 à または de と、定冠詞 le および les の縮約形を学ぶ。	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分	復習内容(時間)	天候の言い方を復習し、前置詞と定冠詞の縮約を含む例文を作れるようにする。120分	No3	テキスト5課本文(カフェでの会話)	合計金額を尋ねる言い方、合計金額の言い方を学ぶ。テキスト本文の意味を理解し、音読する。	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分	復習内容(時間)	テキスト本文の内容を確認しながら、繰り返し音読練習する。120分	No4	疑問詞のある疑問文。丁寧な願望の言い方。	Quand(いつ)、Où(どこ)、Comment(どのように)、Combien(どれだけ)、Pourquoi(なぜ)の疑問詞を用いて、さまざまな疑問文を作り、返答の仕方を学ぶ。Je voudrais ～.(～したいのですが、～をいただきたいのですが)を用いて、自分のしたいこと、ほしいものを丁寧に述べる。	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分	復習内容(時間)	疑問詞のある疑問文と答え方の例を繰り返し読んで、覚える。120分	No5	1月～12月の月名。時刻の言い方。	1月から12月の言い方を覚える。今まで習った表現に自分の誕生日を付け足して、簡単な自己紹介をする。現在時刻を尋ね、答える。	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分	復習内容(時間)	今日の日付、自分の誕生日などをすらすら言えるようにする。時刻の言い方を覚える。120分		テキスト6課本文(パリ・オペラ座でバレエを見る)	本文の内容は、自分のしたいこと、ほしいものを丁寧に述べ、チケット窓口の場所、バレエ公演の日時等、係の人にいろいろ教えてもらうというもの。本文の意味を確認し、繰り返し音読する。
週	テーマ	学習内容																																								
No1	不規則動詞 venirとprendre の活用。部分冠詞の使い方。	venir(来る)、prendre(取る、撮る、乗る、飲む、食べる、など)の活用と使い方を学習する。数えられない名詞の前につく部分冠詞について学ぶ。3種類の冠詞(不定冠詞、定冠詞、部分冠詞)の整理。																																								
	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分																																								
	復習内容(時間)	不定冠詞、定冠詞、部分冠詞の違いとそれぞれの使い方を理解しておく。120分																																								
No2	天候の言い方。前置詞と定冠詞の縮約。	四つの季節の名前、「暑い・寒い」「天気がいい・悪い」などの言い方を学ぶ。前置詞 à または de と、定冠詞 le および les の縮約形を学ぶ。																																								
	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分																																								
	復習内容(時間)	天候の言い方を復習し、前置詞と定冠詞の縮約を含む例文を作れるようにする。120分																																								
No3	テキスト5課本文(カフェでの会話)	合計金額を尋ねる言い方、合計金額の言い方を学ぶ。テキスト本文の意味を理解し、音読する。																																								
	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分																																								
	復習内容(時間)	テキスト本文の内容を確認しながら、繰り返し音読練習する。120分																																								
No4	疑問詞のある疑問文。丁寧な願望の言い方。	Quand(いつ)、Où(どこ)、Comment(どのように)、Combien(どれだけ)、Pourquoi(なぜ)の疑問詞を用いて、さまざまな疑問文を作り、返答の仕方を学ぶ。Je voudrais ～.(～したいのですが、～をいただきたいのですが)を用いて、自分のしたいこと、ほしいものを丁寧に述べる。																																								
	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分																																								
	復習内容(時間)	疑問詞のある疑問文と答え方の例を繰り返し読んで、覚える。120分																																								
No5	1月～12月の月名。時刻の言い方。	1月から12月の言い方を覚える。今まで習った表現に自分の誕生日を付け足して、簡単な自己紹介をする。現在時刻を尋ね、答える。																																								
	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。120分																																								
	復習内容(時間)	今日の日付、自分の誕生日などをすらすら言えるようにする。時刻の言い方を覚える。120分																																								
	テキスト6課本文(パリ・オペラ座でバレエを見る)	本文の内容は、自分のしたいこと、ほしいものを丁寧に述べ、チケット窓口の場所、バレエ公演の日時等、係の人にいろいろ教えてもらうというもの。本文の意味を確認し、繰り返し音読する。																																								

【授業計画】	No6	予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	テキスト本文の内容をしっかりと理解し、音読練習を行う。	120	分
	No7	比較の表現。色を表す形容詞とその位置。衣服等、身につけるものの名称。	plus ～ que, moins ～ que, aussi ～ que を用い、「Aさんは Bさんより大きいです」「BさんはAさんより小さいです」「CさんはAさんと同じくらい大きいです」などの言い方を学習する。une veste blanche(白いジャケット)、des chaussures noires(黒い靴)など、身につけるものの名前を確認し、色の形容詞が名詞の性と数に一致すること、必ず名詞のあとに置かれることを学ぶ。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	比較の言い方と色の形容詞の使い方を復習する。	120	分
	No8	否定疑問とその答え方。	「もっと安い的是ありませんか」のような否定疑問、および返答の仕方を学ぶ。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	否定疑問に対する答え方(日本語とは異なる)を覚える。	120	分
	No9	テキスト7課本文(洋品店にて)。代名動詞。	テキスト本文を読み、内容を理解して、繰り返し発音練習する。名乗る言い方などに用いる代名動詞を確認する。「私(の名前)は～です」に相当するフランス語(Je m'appelle ～)を直訳すると「私は私は～と呼ぶ」となる。「私は起きる」「私は寝る」「私は散歩する」なども代名動詞で表す。日本語に直訳すると、「私は私を起こす」「私は私を寝させる」「私は私を散歩させる」となる。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	テキストの本文を音読する。なじみのない代名動詞の使い方を理解しておく。	120	分
	No10	非人称構文。テキスト8課本文(地下鉄に乗り)。	形式上の主語 il を用いた非人称構文を学ぶ。Il faut ～(～しなければならない。)など。地下鉄の駅の場所を聞き、目的地までどのように行ったらよいか通行人に尋ねる練習。また、行き方を教える練習。8課本文を読む。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	本文の内容を確認し、音読練習を行う。	120	分
	No11	助動詞に avoir を用いて作る複合過去(1)	「訪れる・食べる・飲む・乗る・終える・歌う・踊る・見る」など、多くの動詞(次回学ぶ「往来発着」以外の動詞)の過去形の作り方を学ぶ。助動詞として使用する avoir の現在形を確認し、それぞれの動詞の過去分詞を覚える。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	複合過去(1)の作り方を覚え、自分が前日にしたことなどを言ってみる。	120	分
	No12	テキスト9課本文(レストランにて)	レストランでの注文の仕方、料理の名前などを学ぶ。日替わり料理を尋ねたり、勘定を頼んだりする。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	本文の内容をしっかりと理解し、音読する。	120	分
	No13	助動詞に être を用いて作る複合過去(2)	「行く・来る・出発する・到着する・入る・出る・生まれる・死ぬ」等、「往来発着」の行動に用いる自動詞の過去形を作る。複合過去(1)と異なり、過去分詞が主語の性・数によって変化することに注意する。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	複合過去(1)との違いに注意しながら、複合過去(2)を復習する。	120	分
	No14	テキスト10課本文(観光案内所にて)	複合過去(1)と(2)の両方を使って、自分がしたことを書く。例えば、「昨日ディズニーランドに行って、音と光のショーを見た」など。「行く」は複合過去(2)、「見る」は複合過去(1)となることに注意する。テキスト本文を読む。		
		予習内容(時間)	テキストの学習予定箇所を見ながら、繰り返し音声を聞いて耳を慣らしておく。	120	分
		復習内容(時間)	過去形の文をいろいろ作ってみる。テキスト本文を繰り返し音読する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	フランス語Ⅱ BE-M
講義名(英字)	French II
担当教員	三富 祐子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「フランス語Ⅰ」を修了、又は相当のフランス語の知識のある者を対象とし、「フランス語Ⅰ」で学んだことを土台に、フランス人とのコミュニケーションに必要な基本的な会話の場面を広げ、基本的な表現を増やしながら文法事項を学んでいく。授業形態は「フランス語Ⅰ」同様、VTR教材を使用し、スキットの理解、文法解説、発音練習、会話練習を行う。本講座終了後、フランス人との最も基本的なコミュニケーションがとれること、いくつかの場面での実践的な会話ができることを到達目標とする。生きたフランス語に触れるという目的で、教材以外にVTR又は映画を使用し既習の表現を聞き取る機会を設ける。
	1. フランス語を読み、理解し、正しく発音できるようにする：授業中の音読、発話と学期末の口頭試験で評価。 フランス語特有の発音や、綴り字の読み方、イントネーションの付け方等、フランス人に意思が伝わるフランス語であるか否かを評価基準とする。

	る。																																												
【到達目標】	2. フランス語を聞き、理解できるようにする：授業中の質問に対する回答と小テスト、学期末の口頭試験で評価。数字（値段・年齢等）の聞き取り、学習した基本的なフランス語を耳で聞いて理解し返答ができるか否かを評価基準とする。 3. 基本的な文法を理解し、語彙を覚える：授業中の設問に対する回答と、学期末の筆記試験で評価。基本的な（仏検5級程度）文法と語彙を理解し暗記できているかを評価基準とする。 4. フランス語でコミュニケーションをとる：授業中のペア練習への参加の積極性、学期末の口頭試験で評価。状況に即し、自然な流れで会話ができているか否かを評価基準とする。																																												
【履修条件・受講推奨者】	「フランス語Ⅰ」を修了または相当のフランス語の知識のある者。																																												
【教育方法】	教材VTR（インターネットでアクセス可能）で自然な会話に触れ、文法理解と練習問題等を行った後、ペア・グループで実践的な会話の練習をします。																																												
【指定教科書・参考資料等】	Cafe Français カフェ・フランセ 著者：Nicolas Gaillard 他 出版社：朝日出版社 ホームページ https://text.asahipress.com/text-web/france/cafefrancais/index.html																																												
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td></td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	自制力		思考力		突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力																															
自制力		思考力		突破力		忍耐力	○																																						
協働力	○	主張力	○	創造力																																									
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th>評価方法</th></tr><tr><td>筆記試験</td><td>60%</td><td rowspan="3">授業参加度：授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他授業態度全般から評価。 課題：2～3回の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。</td></tr><tr><td>口頭試験</td><td>20%</td></tr><tr><td>授業参加度・課題提出</td><td>20%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td></tr></table>	評価項目と割合		評価方法	筆記試験	60%	授業参加度：授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他授業態度全般から評価。 課題：2～3回の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。	口頭試験	20%	授業参加度・課題提出	20%	合計	100%																																
評価項目と割合		評価方法																																											
筆記試験	60%	授業参加度：授業中の講師からの質問への返答、ペア練習の参加度、その他授業態度全般から評価。 課題：2～3回の各課まとめ練習問題の提出をもって評価。																																											
口頭試験	20%																																												
授業参加度・課題提出	20%																																												
合計	100%																																												
【その他の注意事項】	8割以上の出席と、口頭試験、筆記試験を受けることを前提とする。 全出席を心がける。																																												
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="3">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>・前期の復習 Lecon 8 P.38 天候を言う</td><td colspan="3">・天候の非人称構文</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>第9課学習事項を確認する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>前期の復習のみなおし 授業資料添付「第1回授業」の見直し 天候についての表現を覚える</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>Lecon 9 朝食について言う</td><td colspan="3">・食品の名称 ・部分冠詞 不定冠詞と部分冠詞の使い分け ・動詞「摂る」「食べる」「飲む」 ☆朝食をとるか、何をとりか尋ね合う</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>第9課 P.42 スポーツの名称を確認する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業資料添付「第2回授業」の見直し 部分冠詞を理解する 朝食をとるか、何を摂るかを言えるようにする</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>Lecon 9 ・頻度を言う ・どんなスポーツをするか言う ・Dialogue 2</td><td colspan="3">・中性代名詞 en ☆ ～を食べるか尋ねる。代名詞を使って答える</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストHPで第9課の映像を見る</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>授業資料添付「第3回授業」の見直し</td><td></td><td></td></tr></table>	週	テーマ	学習内容			No1	・前期の復習 Lecon 8 P.38 天候を言う	・天候の非人称構文			予習内容(時間)	第9課学習事項を確認する	120	分	復習内容(時間)	前期の復習のみなおし 授業資料添付「第1回授業」の見直し 天候についての表現を覚える	120	分	No2	Lecon 9 朝食について言う	・食品の名称 ・部分冠詞 不定冠詞と部分冠詞の使い分け ・動詞「摂る」「食べる」「飲む」 ☆朝食をとるか、何をとりか尋ね合う			予習内容(時間)	第9課 P.42 スポーツの名称を確認する	120	分	復習内容(時間)	授業資料添付「第2回授業」の見直し 部分冠詞を理解する 朝食をとるか、何を摂るかを言えるようにする	120	分	No3	Lecon 9 ・頻度を言う ・どんなスポーツをするか言う ・Dialogue 2	・中性代名詞 en ☆ ～を食べるか尋ねる。代名詞を使って答える			予習内容(時間)	テキストHPで第9課の映像を見る	120	分		授業資料添付「第3回授業」の見直し		
週	テーマ	学習内容																																											
No1	・前期の復習 Lecon 8 P.38 天候を言う	・天候の非人称構文																																											
	予習内容(時間)	第9課学習事項を確認する	120	分																																									
	復習内容(時間)	前期の復習のみなおし 授業資料添付「第1回授業」の見直し 天候についての表現を覚える	120	分																																									
No2	Lecon 9 朝食について言う	・食品の名称 ・部分冠詞 不定冠詞と部分冠詞の使い分け ・動詞「摂る」「食べる」「飲む」 ☆朝食をとるか、何をとりか尋ね合う																																											
	予習内容(時間)	第9課 P.42 スポーツの名称を確認する	120	分																																									
	復習内容(時間)	授業資料添付「第2回授業」の見直し 部分冠詞を理解する 朝食をとるか、何を摂るかを言えるようにする	120	分																																									
No3	Lecon 9 ・頻度を言う ・どんなスポーツをするか言う ・Dialogue 2	・中性代名詞 en ☆ ～を食べるか尋ねる。代名詞を使って答える																																											
	予習内容(時間)	テキストHPで第9課の映像を見る	120	分																																									
		授業資料添付「第3回授業」の見直し																																											

【授業計画】

	復習内容(時間)	頻度の言い方を覚える どんなスポーツをするか 言えるようにする	120	分
No4	Lecon 9 ・ Dialogue 1 ・ 否定で尋ねる ・ 曜日	・ 否定疑問文に対する答え方 ・ 課題 I ☆ スポーツをするか 尋ね合う		
	予習内容(時間)	第10課の学習事項を確認する	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第4回授業」の見直し 否定疑問の答え方について理解する 曜日を覚える	120	分
No5	Lecon 10 ・ 相手を誘う ・ 承諾する、断る ・ 断る理由を述べる	・ 場所の名称 ・ 動詞 aller「行く」の活用 ・ 前置詞と定冠詞の縮約 ・ 主語 on		
	予習内容(時間)	テキストHPで第10課の映像を見る	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第5回授業」の見直し P.45 前置詞 à と定冠詞の 使い方を理解する 相手を誘う、承諾する、断る言い方を覚える	120	分
No6	Lecon 10 ・ 交通手段を言う ・ Dialogue 1	・ 乗り物の名称 ・ P.47 様々な動詞の意味 ・ 課題 II ☆ 相手を～曜日、～へ誘う。誘いを受ける、断る(理由を述べる)		
	予習内容(時間)	第11課の学習内容を確認する	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第6回授業」の見直し 様々な交通手段の言い方を覚える	120	分
No7	Lecon 11 ・ 時刻の言い方 ・ 日常の行動	・ 時刻の尋ね方 ・ 時刻の表し方 ・ 日常を表す動詞にある代名動詞について学ぶ		
	予習内容(時間)	第11課 P.48 本文を読む	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第7回授業」の見直し 時刻の言い方を覚える P.49 日常を表す動詞を覚える	120	分
No8	Lecon 11 ・ 時刻の言い方 (2) ・ テキストの読解 ・ 起床から就寝までの主な行動を時刻と共に言う	代名動詞 ・ フランス語のテキストの読解の仕方 ・ テキスト内容についての質問に答える		
	予習内容(時間)	第13課の学習内容を確認する	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第8回授業」の見直し 時刻の言い方を覚える	120	分
No9	Lecon 13 ・ レストランで注文する ・ メニューを読む ・ Dialogue 1	・ 食事の流れについて知る ・ 料理名と注文の仕方 ・ 注文する		
	予習内容(時間)	テキストHPで第13課の映像前半を見る	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第9回授業」の見直し 「前菜として」「主菜として」という言い方を覚える	120	分
No10	Lecon 13 ・ 過去のことを述べる (1) ・ Dialogue	・ 複合過去形 (1) ☆ 複合過去形を使い会話する		
	予習内容(時間)	テキストHPで第13課の映像を通して見る	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第10回授業」の見直し P.59 I 複合過去形の構造について理解する 動詞の意味、過去分詞を覚える	120	分
No11	Lecon 13 ・ 料理の感想を言う ・ Dialogue	・ 半過去形 ・ 感想を表す形容詞 ・ 「少し～」「～過ぎる」		
	予習内容(時間)	第14課 P.63 I 複合過去 (2)を確認する	120	分
	復習内容(時間)	授業資料添付「第11回授業」の見直し 半過去形について理解する	120	分

			感想の言い方を覚える			
	No12	Lecon 14 ・ 過去のことを述べる (2)	・ 複合過去形 (2) ・ 課題Ⅲ			
		予習内容(時間)	口頭試験の為にこれまでの会話を見直す	120	分	
		復習内容(時間)	授業資料添付「第12回授業」の見直し P.63 I 複合過去形(2) 理解する 動詞の意味、過去分詞を覚える	120	分	
	No13	口頭試験および解説	朝食(過去形)、スポーツについて尋ね合う、誘う。			
		予習内容(時間)	本試験の為に、これまでの学習事項を見直す	120	分	
		復習内容(時間)	口頭試験で指摘された点を見直す 課題Ⅰ～Ⅲの見直し	120	分	
	No14	Lecon 14 ・ 過去の事柄について述べる ・ これまでの復習	・ 複合過去形 (1) (2) ・ 昨日、何をしたか述べる			
		予習内容(時間)	試験の為に準備	120	分	
		復習内容(時間)	授業資料添付「第14回授業」の見直し 全ての学習事項の復習	120	分	

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	中国語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	ChineseⅡ
担当教員	井上 良雄
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「中国語Ⅰ」に引き続き、日常会話の練習をします。さまざまな場面を想定して、基本的な単語や簡単な文で会話を楽しみましょう。「中国語Ⅰ」と同様に、聴講型ではなく参加型の授業です。異文化への興味と関心を深め、国際センスを磨いてほしいと思います。
【到達目標】	簡単な自己紹介を、とっさにでも流暢に出来るよう練習する。 日本のアニメソングの中国語版を題材に、日中の歌詞を比較・分析する。

	日常生活のさまざまな場面を想定して、対話練習を行う。							
【履修条件・受講推奨者】	原則として「中国語Ⅰ」を修得し、積極的に授業に参加できる学生。							
【教育方法】	教科書の【会話実例】、【語句】、【ポイント】を解説し、発音練習を反復する。【練習】で応用力を鍛える。【コラム】で周辺知識を紹介し、中国への理解を深める。							
【指定教科書・参考資料等】	井上良雄(著)『中国語のチカラ』東京富士大学出版部、2013年							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	簡単な自己紹介の出来栄え、日中歌詞比較の鑑賞力を評価。		20%	左記のように、平常点評価70%、試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。				
	聴解の正確性、対話練習での積極性等、参加意欲を評価。		50%					
	一人10問の口頭試問を行い、回答の妥当性を評価。		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	座席は指定制とします。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	「中国語Ⅰ」の復習 簡単な自己紹介	「中国語Ⅰ」の総復習を行い、これまでの学習知識を整理する。 簡単な自己紹介を一人ひとり行い、互いのパフォーマンスを評価する。					
		予習内容(時間)	知識の曖昧な箇所の抽出。簡単な自己紹介の練習。				120	分
		復習内容(時間)	簡単な自己紹介の暗唱。				120	分
	No2	日中歌詞比較	日本のアニメソングの中国語版を学習し、日本語歌詞からの訳詞を鑑賞する。 言葉に対する日本人と中国人の感覚の違いを味わう。 メロディーに乗せるときに、ピンインの声調が変化せざるを得ないことを実験する。 中国のアニメ事情、日本のアニメの人気度を紹介する。					
		予習内容(時間)	中国語歌詞の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	中国語歌詞の暗唱。				120	分
	No3	第九課 再会	久しぶりに再会した場面での会話。 ”了”の用法、動作の方向を示したい時の語法を学習する。 中国の婚姻事情を紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分
	No4	第十課 ～が好き	好きかどうかを尋ね、スポーツ等のお誘いをする場面での会話。 ”得”の用法、“不太好”と”太不好”の違いを学習する。 中華料理を紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分
	No5	第十一課 どうですか？	相手の同意を求めたり、意向を尋ねる。映画と一緒に見に行く約束をする場面での会話。 ”上”、“下”の特殊な用法を学習する。 中国のお茶について紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分

【授業計画】	No6	第十二課 時刻・時間	時刻、時間、期間の言い方を学習する。 中国のトイレ事情について紹介する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。時計を見るたび、中国語で時刻を言う練習を繰り返す。	120	分
	No7	第十三課 出身地、経験	～(出身地や住所地)から来たという表現を練習する。 ～(場所や時点)から～まで、～したことがあるという経験の言い方を学習する。 北京、上海の概観、万里の長城について紹介する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No8	第十四課 電話をかける(1)	電話会話を学習し、電話番号の聞き方、言い方を習得する。 中国の通信事情を紹介する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No9	第十四課 電話をかける(2)	自分の電話番号(仮設定)を発表し、他の学生の電話番号を聞き取る練習をする。		
		予習内容(時間)	自分の電話番号の暗唱。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No10	第十五課 決まり文句(1)	対話での決まり文句を練習し、二人一組で会話を楽しむ。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No11	第十五課 決まり文句(2)	ひと言決まり文句を練習し、一人ひとり発表する。 中国語における外来語の成り立ち・分類を学習し、実例を発音練習する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。外来語の実例の暗唱。	120	分
	No12	口頭試問対策練習 (1)	30題の問題について総復習をしながら解説し、回答例を紹介する。 1～18を予定する。		
		予習内容(時間)	1～18の質問に自分の回答案を作成する。	120	分
		復習内容(時間)	決定した自分の回答を暗唱する。	120	分
	No13	口頭試問対策練習 (2)	30題の問題について総復習をしながら解説し、回答例を紹介する。 19～30を予定する。		
		予習内容(時間)	19～30の質問に自分の回答案を作成する。	120	分
		復習内容(時間)	決定した自分の回答を暗唱する。	120	分
	No14	口頭試問対策練習(3)	実際の6種類の問題(1種類は10問で構成)に対し、各人が模擬試験をする。 また、お互いに問題を出し合い会話を楽しむ。		
		予習内容(時間)	30題の問題の自分の回答の確認。	120	分
		復習内容(時間)	30題の問題の自分の回答の暗唱。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	中国語Ⅱ BE-N
講義名(英字)	Chinese II
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「中国語Ⅰ」に引き続き、日常会話の練習をします。さまざまな場面を想定して、基本的な単語や簡単な文で会話を楽しみましょう。「中国語Ⅰ」と同様に、聴講型ではなく参加型の授業です。異文化への興味と関心を深め、国際センスを磨いてほしいと思います。
【到達目標】	簡単な自己紹介を、とっさにでも流暢に出来るよう練習する。 日本のアニメソングの中国語版を題材に、日中の歌詞を比較・分析する。

	日常生活のさまざまな場面を想定して、対話練習を行う。							
【履修条件・受講推奨者】	原則として「中国語Ⅰ」を修得し、積極的に授業に参加できる学生。							
【教育方法】	教科書の【会話実例】、【語句】、【ポイント】を解説し、発音練習を反復する。【練習】で応用力を鍛える。【コラム】で周辺知識を紹介し、中国への理解を深める。							
【指定教科書・参考資料等】	井上良雄(著)『中国語のチカラ』東京富士大学出版部、2013年							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	簡単な自己紹介の出来栄え、日中歌詞比較の鑑賞力を評価。		20%	左記のように、平常点評価70%、試験評価30%である。欠席・遅刻は減点する。				
	聴解の正確性、対話練習での積極性等、参加意欲を評価。		50%					
	一人10問の口頭試問を行い、回答の妥当性を評価。		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	座席は指定制とします。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	「中国語Ⅰ」の復習 簡単な自己紹介	「中国語Ⅰ」の総復習を行い、これまでの学習知識を整理する。 簡単な自己紹介を一人ひとり行い、互いのパフォーマンスを評価する。					
		予習内容(時間)	知識の曖昧な箇所の抽出。簡単な自己紹介の練習。				120	分
		復習内容(時間)	簡単な自己紹介の暗唱。				120	分
	No2	日中歌詞比較	日本のアニメソングの中国語版を学習し、日本語歌詞からの訳詞を鑑賞する。 言葉に対する日本人と中国人の感覚の違いを味わう。 メロディーに乗せるときに、ピンインの声調が変化せざるを得ないことを実体験する。 中国のアニメ事情、日本のアニメの人気度を紹介する。					
		予習内容(時間)	中国語歌詞の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	中国語歌詞の暗唱。				120	分
	No3	第九課 再会	久しぶりに再会した場面での会話。 “了”の用法、動作の方向を示したい時の語法を学習する。 中国の婚姻事情を紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分
	No4	第十課 ～が好き	好きかどうかを尋ね、スポーツ等のお誘いをする場面での会話。 “得”の用法、“不太好”と“太不好”の違いを学習する。 中華料理を紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分
	No5	第十一課 どうですか？	相手の同意を求めたり、意向を尋ねる。映画と一緒に見に行く約束をする場面での会話。 “上”、“下”の特殊な用法を学習する。 中国のお茶について紹介する。					
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。				120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。				120	分

【授業計画】	No6	第十二課 時刻・時間	時刻、時間、期間の言い方を学習する。 中国のトイレ事情について紹介する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。時計を見るたび、中国語で時刻を言う練習を繰り返す。	120	分
	No7	第十三課 出身地、経験	～(出身地や住所地)から来たという表現を練習する。 ～(場所や時点)から～まで、～したことがあるという経験の言い方を学習する。 北京、上海の概観、万里の長城について紹介する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No8	第十四課 電話をかける(1)	電話会話を学習し、電話番号の聞き方、言い方を習得する。 中国の通信事情を紹介する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No9	第十四課 電話をかける(2)	自分の電話番号(仮設定)を発表し、他の学生の電話番号を聞き取る練習をする。		
		予習内容(時間)	自分の電話番号の暗唱。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No10	第十五課 決まり文句(1)	対話での決まり文句を練習し、二人一組で会話を楽しむ。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。	120	分
	No11	第十五課 決まり文句(2)	ひと言決まり文句を練習し、一人ひとり発表する。 中国語における外来語の成り立ち・分類を学習し、実例を発音練習する。		
		予習内容(時間)	教科書の発音しにくい単語、訳出がうまくいかないところをチェック。	120	分
		復習内容(時間)	【会話実例】の暗唱。外来語の実例の暗唱。	120	分
	No12	口頭試問対策練習 (1)	30題の問題について総復習をしながら解説し、回答例を紹介する。 1～18を予定する。		
		予習内容(時間)	1～18の質問に自分の回答案を作成する。	120	分
		復習内容(時間)	決定した自分の回答を暗唱する。	120	分
	No13	口頭試問対策練習 (2)	30題の問題について総復習をしながら解説し、回答例を紹介する。 19～30を予定する。		
		予習内容(時間)	19～30の質問に自分の回答案を作成する。	120	分
		復習内容(時間)	決定した自分の回答を暗唱する。	120	分
	No14	口頭試問対策練習(3)	実際の6種類の問題(1種類は10問で構成)に対し、各人が模擬試験をする。 また、お互いに問題を出し合い会話を楽しむ。		
		予習内容(時間)	30題の問題の自分の回答の確認。	120	分
		復習内容(時間)	30題の問題の自分の回答の暗唱。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	韓国語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Korean II
担当教員	黒澤 愛美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	言語はコミュニケーションの手段です。また、上手くコミュニケーションを取るには、単に言語を知っているだけでは不十分です。この授業は、韓国文化を理解し、韓国の人と上手にコミュニケーションが取れるようになることを目指します。春学期に引き続き、それぞれの場面にふさわしい言葉遣いを身につけていきます。また、韓国の生活や習慣、マナーも同時に学びます。言語をはじめとする文化は、時代によって変わります。リアルな韓国語・韓国文化を楽しく学びましょう。							
【到達目標】	文を書くことができる 初級の文章を理解できる 簡単な会話をすることができる							
【履修条件・受 講推奨者】	・この授業は「韓国語Ⅰ」を履修した人を対象にします。 ・全ての授業に出席するつもりで履修してください。 ・毎回必ずテキストを持参してください。							
【教育方法】	・基本的にテキストに沿って進めます。 ・適宜日本語で解説します。							
【指定教科書・参 考資料等】	木内明『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』国書刊行会、2013年。							
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力		突破力	○	忍耐力	○

【目標】	協働力		主張力		創造力	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法	
	分かち書き(スペースを入れること)をし、文法的に正しい文が書ける		25%	3分の2以上の出席を前提として授業参加度25%、宿題25%、期末試験50%で評価します。		
	初級の文章を読んだり聞いたりして理解できる		50%			
	通じる発音で、授業で習った表現を用いて、積極的にコミュニケーションを取ろうとする		25%			
	合計		100%			
【その他の注意事項】	・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・パソコン、携帯電話の使用を禁止します。タブレットは使用方法によって許可する場合があります。 ・「韓国語Ⅰ」が未履修の場合は、シラバスを参考にして、必ず全範囲よく勉強しておいてください。					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	数の数え方	第9課 漢数詞、名詞＋ですのヨ体(韓国での買い物)			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No2	数の数え方	第10課 固有数詞、時計の読み方			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No3	敬語	第11課 敬語のムニダ体／ヨ体、特殊な例			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No4	否定表現	第12課 動詞・形容詞の否定表現、～するとい			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No5	過去形	第13課 ムニダ体／ヨ体の過去形			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No6	勧誘表現	第14課 ～しましょう、～しよう			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No7	現在進行形	第15課 ～している、～してください			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分	
	No8	音読練習、韓国の誕生日祝い	第9課～第15課本文、韓国の誕生日祝いの仕方・歌			
		予習内容(時間)	第9課～第15課本文の音読練習	120	分	
		復習内容(時間)	第9課～第15課本文の音読練習	120	分	
	No9	可能・不可能表現	第16課 ～できる、～できない			
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分	

		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No10	希望表現	第17課 ～したい、～してください		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No11	許可・禁止表現	第18課 ～してもいい、～しないでください		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No12	インタビュー	自分のことについての質問に答える		
		予習内容(時間)	インタビューに答える練習	120	分
		復習内容(時間)	インタビューに答える練習	120	分
	No13	義務表現	第19課 ～しなければならない		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No14	推量・意志・未来表現	第20課 ～と思います、～するつもりです		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	健康と運動Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Health and SportsⅡ
担当教員	井上 航人
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	◇講義では、運動が身体に及ぼす影響や効果をはじめ、生活習慣・栄養・トレーニング・スポーツの持つ意義等々、社会生活に必要な健康安全の知識及び能力について関心と理解を深める。 ◇実技では、バレーボール、フットサル等のゲームを中心に、集団生活の体験と、公共心の大切さを会得させ、生涯にわたって楽しく豊かな生活ができるよう、運動実践の能力や態度を育成する。
	◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を有すること

【到達目標】	◇運動の実践を通して、思考力・判断力・表現力およびコミュニケーション能力を身に付けて行動ができる				
	◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる				
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者				
【教育方法】	◇二上講堂5Fフジアリーナにて、実技の授業を実施				
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて都度配布をする				
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力
	協働力	○	主張力		創造力
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法
	実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる				30%
	授業(実技)への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的に行うことができる				30%
	講義後、提出されたレポート課題によって評価。 健康の三原則や身体活動の必要性、また、日本全体で取り組んでいる生活習慣病や感染症への理解と、その予防についての知識を有すること				40%
	合計				100%
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカー設備がないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること ◇70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	授業方針・評価について		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No2	チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて	履修学生との関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「キンボール」の1回目を実施する		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No3	チームビルディングとアダプテッド・スポーツについて	履修学生との関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「キンボール」の2回目を実施する		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No4	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶダブルダッチ①		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No5	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶダブルダッチ②		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分

【授業計画】

No6	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶダブルダッチ③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No7	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるミニテニスやソフトバレーボールを題材に学ぶソフトバレーボール①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No8	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるミニテニスやソフトバレーボールを題材に学ぶソフトバレーボール②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No9	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるミニテニスやソフトバレーボールを題材に学ぶソフトバレーボール③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No10	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるミニテニスやソフトバレーボールを題材に学ぶミニテニス①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No11	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるミニテニスやソフトバレーボールを題材に学ぶミニテニス②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No12	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるミニテニスやソフトバレーボールを題材に学ぶミニテニス③ 集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶフットサル①		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No13	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶフットサル②		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
No14	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶフットサル③		
	予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
	復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	健康と運動Ⅱ BE-N
講義名(英字)	Health and SportsⅡ
担当教員	田島 外志美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	講義では、運動が身体におよぼす基本的な影響と効果の理解を深め、運動の必要性を学ぶ。さらに、近年増加している生活習慣病の理解と、予防するための運動方法を学ぶ。学んだ内容を論理的に整理し、レポート作成スキルの習得を目指す。 実技では体カトレーニングやストレッチの他、生涯にわたって手軽に継続できる運動を中心に実施する。同時に豊かな情操をもち、高度な社会生活に適応できる人間の育成を目指し、協力・コミュニケーションを促す種目を選択し、実践する。 実技で身体を動かすだけでなく、講義において運動の必要性の理解を深めることも大切なポイントとしている。
	◇運動と身体の関係、疾病理解と予防知識を通して、自己管理につなげることができる

【到達目標】	◇運動実践を通して、多様な価値観を共有し、お互いの成長に携わる行動ができる ◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる								
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者								
【教育方法】	◇グループは固定せず、授業ごとに変更ことを基本とする ◇履修学生の状況に合わせて、ルールや道具を変更し、より多くの学生が運動を楽しめるよう工夫する								
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて配布や配信をする								
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	
	協働力	○	主張力		創造力	○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法					
	講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること			40%	70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価				
	実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること			30%					
	実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。			30%					
	合計			100%					
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカーがないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇新型コロナウイルス等の感染状況、履修人数によって、実技種目を変更する可能性がある								
	週	テーマ	学習内容						
	No1	オリエンテーション	・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)基礎代謝を高める方法(運動は必須)について 2)生活習慣病の予防・治療と運動の効果について						
		予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること					60	分
		復習内容(時間)	レポート作成のスケジュールを作成し、取り組み、授業以外にも身体活動を実施する					60	分
	No2	チームビルディング①	チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法である。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 高度な技術を要するスポーツ競技ではなく、幅広い年齢層で、運動能力に関係なく実施でき、楽しめるスポーツの一つである「キンボール」を題材に履修者の関係構築を目指す。						
		予習内容(時間)	キンボールのルール・基本技術に関する学習を進める					60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること					60	分
	No3	チームビルディング②	チームビルディングとして、実施するキンボールの2回目。仲間と協力することはもとより、チーム内で戦術的な相談・実施・検証を進めながら、より良いチームを構築し、チーム力を高める。話し合いを通して履修学生の関係づくりや仲間づくりのレベル向上を目標とする。 キンボールを通して、自然に他者を尊重し、意見交換が活発になる。チームがより良い状況に近づくために、自分ができることを考え行動するし、仲間を支援する姿勢を学ぶ。						
		予習内容(時間)	キンボールの戦術に関する学習を進める					60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること					60	分
		集団型スポーツ	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶ ダブルダッチ①						

【授業計画】

	No4	①			
		予習内容(時間)	ダブルダッチの基本的技術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No5	集団型スポーツ②	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶ ダブルダッチ②		
		予習内容(時間)	ダブルダッチの技術についての情報を収集し、基礎課題以外に挑戦する技術を検討する	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No6	集団型スポーツ③	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶ ダブルダッチ(発表)③		
		予習内容(時間)	発表用の選曲と、発表技術の検討。チーム内の相談がスムーズに進む準備をする	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No7	ネット型スポーツ①	小集団のネット型スポーツ種目であるソフトバレーボールやミニテニスを題材に学ぶ ソフトバレーボール① (アダプテッド・スポーツのシッティングバレーの体験含む)		
		予習内容(時間)	シッティングバレーの事前学習、ソフトバレーボールのルール・技術に関する学習をする	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No8	ネット型スポーツ②	小集団のネット型スポーツ種目であるソフトバレーボールやミニテニスを題材に学ぶ ソフトバレーボール②		
		予習内容(時間)	ラリーを続けるために、個人・チームとして必要な練習法について調べる	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No9	ネット型スポーツ③	小集団のネット型スポーツ種目であるソフトバレーボールやミニテニスを題材に学ぶ ソフトバレーボール③		
		予習内容(時間)	ソフトバレーボールの戦術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No10	ネット型スポーツ④	小集団のネット型スポーツ種目であるソフトバレーボールやミニテニスを題材に学ぶ ミニテニス①		
		予習内容(時間)	ミニテニス競技の特徴、基本技術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No11	ネット型スポーツ⑤	小集団のネット型スポーツ種目であるソフトバレーボールやミニテニスを題材に学ぶ ミニテニス②		
		予習内容(時間)	ミニテニス競技の戦術についての学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
		ネット型スポーツ⑥	小集団のネット型スポーツ種目であるソフトバレーボールやミニテニスを題材に学ぶ ミニテニス③		
		集団型スポーツ	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶ フットサル(ウォーキングサッカーの要素を含む)①		

	No12	④			
		予習内容(時間)	ウォーキングサッカーの特徴、基本技術の学習と、フットサルとの違いを事前学習する	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No13	集団型スポーツ⑤	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶフットサル(ドリブル制限つき)②		
		予習内容(時間)	フットサル競技の効果的なディフェンス・オフェンスに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No14	集団型スポーツ⑥	集団集団の団結力が試されるスポーツ種目であるダブルダッチやフットサルを題材に学ぶフットサル(ドリブル制限つき)③		
		予習内容(時間)	フットサル競技の戦術に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	健康と運動Ⅳ BE-K
講義名(英字)	Health and Sports Ⅳ
担当教員	井上 航人
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	◇講義では、運動が身体に及ぼす影響や効果をはじめ、生活習慣・栄養・トレーニング・スポーツの持つ意義等々、社会生活に必要な健康安全の知識及び能力について関心と理解を深める。 ◇実技では、バレーボール、フットサル等のゲームを中心に、集団生活の体験と、公共心の大切さを会得させ、生涯にわたって楽しく豊かな生活ができるよう、運動実践の能力や態度を育成する。
	◇運動が身体に及ぼす影響や運動の必要性を理解し、自己管理につなげる知識を有すること

【到達目標】	◇運動の実践を通して、思考力・判断力・表現力およびコミュニケーション能力を身に付けて行動ができる										
	◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる										
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者										
【教育方法】	◇二上講堂5Fフジアリーナにて、実技の授業を実施										
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて都度配布をする										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○			
	協働力	○	主張力		創造力						
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合					評価方法					
	実技への出席状況と取り組み方によって評価。 体調管理と服装の準備に留意し、積極的な心構えで行動することができる					30%	70%以上の出席を前提とし、授業態度・マナー、実技テスト、レポート等によって評価				
	授業（実技）への意欲・態度・関心度・マナー・実技テスト等々、総合的に評価。 他者との関わり合いを重視し、相互の存在を認め合い、思いやりのある人間性を築き、コミュニケーションを積極的に行うことができる					30%					
	講義後、提出されたレポート課題によって評価。 スポーツ文化への理解と、スポーツの世界で社会問題となっている事柄についての知識と理解を深め、自身の考えを有すること					40%					
	合計					100%					
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカー設備がないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること ◇70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと										
	週	テーマ	学習内容								
	No1	オリエンテーション	授業方針・評価について								
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと							60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること							60	分
	No2	チームビルディングとアダプテッド・スポーツ	履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「キンボール」の1回目を実施する								
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと							60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること							60	分
	No3	チームビルディングとアダプテッド・スポーツ	履修学生の関係づくりを目標とし、さまざまな人が一緒に楽しむことができるアダプテッド・スポーツのひとつである「キンボール」の2回目を実施する								
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと							60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること							60	分
	No4	実技（集団型スポーツ）	集団の団結力が試されるスポーツ種目である手打ち野球やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことで手打ち野球やフットサルへの知識と理解を深める 手打ち野球①								
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと							60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること							60	分
	No5	実技（集団型スポーツ）	集団の団結力が試されるスポーツ種目である手打ち野球やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことで手打ち野球やフットサルへの知識と理解を深める 手打ち野球②								

【授業計画】

		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No6	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目である手打ち野球やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことで手打ち野球やフットサルへの知識と理解を深める 手打ち野球③		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No7	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める インディアカ①		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No8	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める インディアカ②		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No9	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める インディアカ③		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No10	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める スポンジテニス①		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No11	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める スポンジテニス②		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No12	実技(ネット型スポーツ)	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める スポンジテニス③ 集団の団結力が試されるスポーツ種目である手打ち野球やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことで手打ち野球やフットサルへの知識と理解を深める フットサル①		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
	No13	実技(集団型スポーツ)	集団の団結力が試されるスポーツ種目である手打ち野球やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことで手打ち野球やフットサルへの知識と理解を深める フットサル②		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分
			集団の団結力が試されるスポーツ種目である手打ち野球やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり公式ルールについて学ぶことで手打ち野球やフットサルへの知識と理解を深める		

	No14	実技(集団型スポーツ)	識と理解を深める フットサル③		
		予習内容(時間)	70分間の運動ができるよう、授業以外にも身体を動かす時間を持つこと	60	分
		復習内容(時間)	日頃から健康に関する情報を積極的に入手する努力をすること	60	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	健康と運動Ⅳ BE-M
講義名(英字)	Health and Sports Ⅳ
担当教員	田島 外志美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	講義では、運動が身体におよぼす基本的な影響と効果の理解を深め、運動の必要性を学ぶ。さらに、長寿社会の日本が直面する健康問題を学ぶ。学んだ内容を論理的に整理し、レポート作成スキルの習得を目指す。 実技では体カトレーニングやストレッチの他、生涯にわたって手軽に継続できる運動を中心に実施する。同時に豊かな情操をもち、高度な社会生活に適応できる人間の育成を目指し、協力・コミュニケーションを促す種目を選択し、実践する。 実技で身体を動かすだけでなく、講義において運動の必要性の理解を深めることも大切なポイントとしている。
	◇運動と身体の関係、疾病理解と予防知識を通して、自己管理につなげることができる

【到達目標】	◇運動実践を通して、多様な価値観を共有し、お互いの成長に携わる行動ができる ◇自己管理を行い、ルール・マナーを守り、積極的に授業に参加することができる																																																																													
【履修条件・受講推奨者】	◇授業方針・ルール・マナーを守れる者 ◇室内履き・運動着の準備ができる者																																																																													
【教育方法】	◇グループは固定せず、授業ごとに変更ことを基本とする ◇履修学生の状況に合わせて、ルールや道具を変更し、より多くの学生が運動を楽しめるよう工夫する																																																																													
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、講義資料は必要に応じて度配布や配信をする																																																																													
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力		創造力	○																																																									
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																																																																							
協働力	○	主張力		創造力	○																																																																									
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="5">評価方法</th></tr><tr><td>講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること</td><td>40%</td><td colspan="5" rowspan="4">70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価</td></tr><tr><td>実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること</td><td>30%</td></tr><tr><td>実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。</td><td>30%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること	40%	70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価					実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること	30%	実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。	30%	合計	100%																																																			
評価項目と割合		評価方法																																																																												
講義:健康維持、疾病予防の知識を有し行動できること	40%	70%以上の出席を前提とし、授業態度、講義の振り返り課題、レポート等によって評価																																																																												
実技:個人やチームが現状より良くなるように行動できること	30%																																																																													
実技に向けて健康管理と、毎月の健康測定が実施できること。	30%																																																																													
合計	100%																																																																													
【その他の注意事項】	◇学内に個人ロッカーがないため、運動に必要な服装・室内履きは毎回持参すること ◇新型コロナウイルス等の感染状況、履修人数によって、実技種目を変更する可能性がある																																																																													
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>オリエンテーション</td><td colspan="5">・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)平均寿命と健康寿命について(近づける方法) 2)効果を高める運動と心拍数の関係について</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること</td><td>60分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。</td><td>60分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>チームビルディング①</td><td colspan="5">チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法である。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 高度な技術を要するスポーツ競技ではなく、幅広い年齢層で、運動能力に関係なく実施でき、楽しめるスポーツの一つである「キンボール」を題材に履修者の関係構築を目指す。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">キンボールのルール・基本技術に関する学習を進める</td><td>60分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること</td><td>60分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>チームビルディング②</td><td colspan="5">チームビルディングとして、実施するキンボールの2回目。仲間と協力することはもとより、チーム内で戦術的な相談・実施・検証を進めながら、より良いチームを構築し、チーム力を高める。話し合いを通して履修学生の関係づくりや仲間づくりのレベル向上を目標とする。 キンボールを通して、自然に他者を尊重し、意見交換が活発になる。チームがより良い状況に近づくために、自分ができることを考え行動するし、仲間を支援する姿勢を学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">キンボールの戦術に関する学習を進める</td><td>60分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること</td><td>60分</td></tr><tr><td></td><td>集団型</td><td colspan="5">集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	オリエンテーション	・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)平均寿命と健康寿命について(近づける方法) 2)効果を高める運動と心拍数の関係について					予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60分	復習内容(時間)	レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。				60分	No2	チームビルディング①	チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法である。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 高度な技術を要するスポーツ競技ではなく、幅広い年齢層で、運動能力に関係なく実施でき、楽しめるスポーツの一つである「キンボール」を題材に履修者の関係構築を目指す。					予習内容(時間)	キンボールのルール・基本技術に関する学習を進める				60分	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60分	No3	チームビルディング②	チームビルディングとして、実施するキンボールの2回目。仲間と協力することはもとより、チーム内で戦術的な相談・実施・検証を進めながら、より良いチームを構築し、チーム力を高める。話し合いを通して履修学生の関係づくりや仲間づくりのレベル向上を目標とする。 キンボールを通して、自然に他者を尊重し、意見交換が活発になる。チームがより良い状況に近づくために、自分ができることを考え行動するし、仲間を支援する姿勢を学ぶ。					予習内容(時間)	キンボールの戦術に関する学習を進める				60分	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60分		集団型	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解				
週	テーマ	学習内容																																																																												
No1	オリエンテーション	・授業方針・評価について ・健康測定:身長、体重、体脂肪、血圧、心拍数、基礎代謝の測定 ・レポート課題に向けての講義 1)平均寿命と健康寿命について(近づける方法) 2)効果を高める運動と心拍数の関係について																																																																												
	予習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60分																																																																								
	復習内容(時間)	レポート作成のスケジュールを検討し、取り組む。授業以外にも身体活動を実施する。				60分																																																																								
No2	チームビルディング①	チームビルディングとは、チームを構築し、チーム力を高めるプログラム手法である。履修学生の関係づくりや仲間づくりの一環として実施する。 高度な技術を要するスポーツ競技ではなく、幅広い年齢層で、運動能力に関係なく実施でき、楽しめるスポーツの一つである「キンボール」を題材に履修者の関係構築を目指す。																																																																												
	予習内容(時間)	キンボールのルール・基本技術に関する学習を進める				60分																																																																								
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60分																																																																								
No3	チームビルディング②	チームビルディングとして、実施するキンボールの2回目。仲間と協力することはもとより、チーム内で戦術的な相談・実施・検証を進めながら、より良いチームを構築し、チーム力を高める。話し合いを通して履修学生の関係づくりや仲間づくりのレベル向上を目標とする。 キンボールを通して、自然に他者を尊重し、意見交換が活発になる。チームがより良い状況に近づくために、自分ができることを考え行動するし、仲間を支援する姿勢を学ぶ。																																																																												
	予習内容(時間)	キンボールの戦術に関する学習を進める				60分																																																																								
	復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること				60分																																																																								
	集団型	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解																																																																												

【授業計画】

No4	スポーツ ①	を深める baseball5(手打ち野球)①		
	予習内 容(時間)	baseball5(手打ち野球)の基本的技術・戦術に関する学習を進める	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	集団型 スポーツ ②	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解を深める baseball5(手打ち野球)②		
	予習内 容(時間)	チームの課題に対する練習方法について検討する	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	集団型 スポーツ ③	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解を深める baseball5(手打ち野球)③		
	予習内 容(時間)	レベル差のある履修生同士がともに楽しめるルールの工夫に関する学習を進める	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	ネット型 スポーツ ①	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(羽根)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める インディアカ①		
	予習内 容(時間)	ルールや基本技術を踏まえ、道具の違いによる運動特性に関して学習を進める	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	ネット型 スポーツ ②	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(羽根)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める インディアカ②		
	予習内 容(時間)	インディアカの試合動画を元に、個人・チームで取り入れる練習課題に関する学習を進める	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	ネット型 スポーツ ③	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(羽根)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める インディアカ③		
	予習内 容(時間)	レベル差のある履修生同士がともに楽しめるルールの工夫に関する学習を進める	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
No10	ネット型 スポーツ ④	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(羽根)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める スポンジテニス①		
	予習内 容(時間)	スポンジテニスの正式ルール、基本技術に関する学習を進める	60	分
	復習内 容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	ネット型 スポーツ ⑤	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(羽根)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める		

	No11		スポンジテニス②		
		予習内容(時間)	レベル差のある履修生同士がともに楽しめるルールの工夫に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No12	ネット型スポーツ⑥	小集団のネット型スポーツ種目であるインディアカやスポンジテニスを題材に学ぶ また、様々な種類のボール(羽根)を使用したり、公式ルールについて学ぶことでインディアカやスポンジテニスへの知識と理解を深める スポンジテニス③		
		集団型スポーツ④	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解を深める フットサル(ドリブル制限)①		
		予習内容(時間)	フットサル競技の個人・チーム戦術について学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
		集団型スポーツ⑤	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解を深める フットサル(ドリブル制限)②		
	No13	予習内容(時間)	フットサル競技の効果的なディフェンス・オフenseに関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分
	No14	集団型スポーツ⑥	集団の団結力が試されるスポーツ種目であるbaseball5(手打ち野球)やフットサルを題材に学ぶ また、様々な種類のボールを使用したり、公式ルールについて学ぶことでbaseball5(手打ち野球)やフットサルへの知識と理解を深める フットサル(ドリブル制限)③		
		予習内容(時間)	レベル差のある履修生同士がともに楽しめるルールの工夫に関する学習を進める	60	分
		復習内容(時間)	体力の維持・向上のため、授業以外にも身体活動を実施すること	60	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	社会学Ⅱ BE-K
講義名(英字)	SociologyⅡ
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	私たちの社会を取り巻く事象を、社会学を通じて考察します。受講者が自らの視点と判断基準をもって事象をとらえることができるようになることを目的とします。秋学期は、テレビ、映画、出版、音楽を中心とし、歴史的な経緯から未来への考察までつなげていきます。また、社会情勢にあわせて適宜内容を変更して、最新の社会情勢の考察に取り組むことがあります。						
【到達目標】	社会への理解を深める: 自分の視点をしっかり持って社会の事象をとらえることができる。 社会を多面的にとらえる: クリティカルシンキングができる。 基礎知識の習得: 社会事象を理解するための基礎知識が習得できたか。特に本講義では戦後～現在に至る日本の経済や文化などの知識を深める。						
【履修条件・受 講推奨者】							
【教育方法】	講義＋グループディスカッション						
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	定期試験	60%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。 基本的にはグループワークへの参加は必須となりますが、回によってはwebを活用して実施する場合もあります。		
	グループワークへの取り組み状況	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】					
	週	テーマ	学習内容		
	No1	全体のガイダンス	本講義のガイダンス 本講義で取り上げるメディアについて メディアとは何か		
		予習内容(時間)	身の回りの「メディア」について	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No2	コミュニケーション論	就職活動や企業の現場で「コミュニケーション力」が重視されるようになって久しいが、そのコミュニケーション力の実態は何か、またコミュニケーション力を向上させるためには何をすればいいのか。そのものを考察人同士のコミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションを含め、コミュニケーションの基本的な考え方について、実際にいくつかのワークを行うことを通じて理解する。		
		予習内容(時間)	自身のこれまでのコミュニケーションを振り返って考察しておく	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No3	出版とジャーナリズム	ジャーナリズムとは何かを歴史的な経緯や以下のようなテーマから考察する。 ・新聞の歴史 ・戦争とジャーナリズム ・報道被害 ・コマーシャルリズムとジャーナリズム		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No4	出版と文化	雑誌の目次を読むだけで、その時代の社会情勢や若者文化が伝わってくる。ファッション雑誌、カルチャー雑誌、情報誌などを中心として、20世紀後半から21世紀にかけての社会情勢や若者文化の変遷を考察する。		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No5	コミックとメディアミックス	クールジャパンの代表格である日本のコミック。コミック雑誌の変遷、コミック雑誌を中心としたキャラクタービジネス、出版を軸としたメディアミックスなどをテーマに産業としてのコミックを考察する。		
		予習内容(時間)	指定サイトの閲覧による下調べ	120	分

【授業計画】

	No6	復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
		映像の興亡史①	映画の起源から黄金期、そしてテレビにとって代われ、そしてまた映画が脚光を浴びるまでを考察する。 ・映画の起源 ・映画とテクノロジー ・娯楽の中心だった映画		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	No7	復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
		映像の興亡史②	テレビの誕生そして普及はどのように社会に影響を与えたかを、以下のようなテーマから考察する。 ・お茶の間の娯楽 ・身近になった戦争 ・ワイドショー文化 ・アイドル		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	No8	復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
		映像とメディアミックス	今では当たり前となったメディアミックス。映画・テレビなど映像を中心としたメディアミックスの事例について考察する。 【キーワード】 ・音楽、出版 ・新ご当地映画 ・地方創生 ・聖地巡礼		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	No9	復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
		ワークショップ	本講義前半に学んだことを生かしたワークショップを行う。以下のテーマから1～2に取り組む。 ・2030年代のジャーナリズムは？ ・2030年代に紙の雑誌があるとすればのどのようなものか？ ・AIなどデジタル社会の一層の高度化をふまえたジャーナリズムのあり方とは？		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
	No10	音楽社会論①	JPOPから考える若者文化と音楽 戦後日本は、戦勝国からの進駐軍を迎えることとなったが、軍隊だけではなく文化も流入してきた。その中で洋楽と呼ばれる欧米(特に英米)の音楽と時代はどのように向き合ってきたか。戦後20年ほどの社会や経済の変化と若者文化のあり方や音楽の志向に対する変化を考察する。		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
		復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
		音楽社会論②	JPOPから考える若者文化と音楽 高度成長期には日本は政治的にも経済的にも自立を果たした。独立を果たした日本社会の変化とともに若者の文化や考え方の変化した。音楽でも洋楽からどのように独立していったかを考察する。		

	No11	予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
		復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No12	音楽 社会 論③	JPOPから考える若者文化と音楽 高度成長を終えた日本社会と文化の成熟化の中で生まれてきたニューミュージックはJPOPと呼ばれるようになる。若者文化の変化を音楽から考察していく。		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
		復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No13	音楽 社会 論④	JPOPから考える若者文化と音楽 メディアの複製からダウンロードそしてサブスクへと音楽のメディアの変化から、21世紀の音楽と音楽産業を考察する。		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
		復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No14	音楽 社会 論⑤	音楽社会論①～④のいずれかで、実際に音楽産業の現場を担っていた関係者を招いての特別講義を実施。		
		予習 内容(時間)	指定サイトまたは指定動画の閲覧による下調べ	120	分
		復習 内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	法学Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Law II
担当教員	外山 美砂子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	私たちが日常生活で遭遇するさまざまな出来事のほとんどは、法的な問題として把握されます。そして、法的な問題についても、時代の流れとともに解釈の仕方が変化していきます。本授業では、民法や刑法への理解を通じて、法的思考を深めていくことを目的とします。平穏な社会生活の中では見えにくい様々なルールも、いったん他者の権利が侵害されると、厳然とその姿を現します。権利侵害の象徴的な表れである犯罪などから、法のあるべき姿を考察していきます。
	民法・刑法等の基本を学習し、私たちの日常生活に具体的にどう関わるのか説明できる。

【到達目標】	実際に生じた事例について、どの法律を適用して解決に導くのか理解できる。 法的な思考を土台として、現代の様々な問題について、自らの見解を説明できる。																						
【履修条件・受講推奨者】	「法学Ⅰ」を履修していれば、法学への理解をより深めることができます。																						
【教育方法】	授業は講義形式とします。法律が少しでも身近なものとなり、なおかつ理解が深められるよう、最近起きた関連する事件なども紹介していきます。																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書 使用せず。 参考書 佐伯仁志ほか編『ポケット六法・令和5年版』有斐閣、2022年 池田真朗ほか著『法の世界へ（第8版）』有斐閣、2020年																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力																			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td>民法・刑法等への具体的な理解について試験で評価</td><td>40</td><td colspan="2" rowspan="4">3分の2以上の出席。授業内に行うミニレポート20%、試験80%</td></tr><tr><td>実際に生じた事例への解決について試験で評価</td><td>40</td></tr><tr><td>現代の問題への解釈についてミニレポートで評価</td><td>20</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法		民法・刑法等への具体的な理解について試験で評価	40	3分の2以上の出席。授業内に行うミニレポート20%、試験80%		実際に生じた事例への解決について試験で評価	40	現代の問題への解釈についてミニレポートで評価	20	合計	100%		
評価項目と割合		評価方法																					
民法・刑法等への具体的な理解について試験で評価	40	3分の2以上の出席。授業内に行うミニレポート20%、試験80%																					
実際に生じた事例への解決について試験で評価	40																						
現代の問題への解釈についてミニレポートで評価	20																						
合計	100%																						
【その他の注意事項】	とくになし。																						
	週	テーマ	学習内容																				
	No1	イントロダクション、民法と刑法	この講義で扱う内容、講義の進め方、評価方法について説明する。そして、私法としての民法と公法としての刑法について、それぞれの特徴や相違点に触れ、存在意義について理解できるように講義する。																				
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおき、民法と刑法の相違点を考えておく。	120	分																		
		復習内容(時間)	民法と刑法の役割について自分でまとめる。	120	分																		
	No2	日常生活と契約	私たちの生活は、日々様々な「契約」行為に基づいて行われており、それは「民法」という法律に関係している。ここでは、契約自由の原則にはじまり、意思表示、契約の種類、物権やその移転、保証などについて講義する。																				
		予習内容(時間)	自分の生活の中から契約行為といえそうなものを考える。	120	分																		
		復習内容(時間)	債権と物権の違いについてまとめる。	120	分																		
	No3	日常生活と事故	例えば交通事故にあった場合、何を根拠に相手を訴えるのか。そこで重要なのが「不法行為」責任である。故意・過失により事故を起こせばこの責任が問える。これを交通事故、医療事故、製造物責任等を例として説明する。																				
		予習内容(時間)	交通事故等の責任はどうしたら問えるのか、調べる。	120	分																		
		復習内容(時間)	不法行為責任について理解したことを整理する。	120	分																		
	No4	家族にまつわる法	人生で最も近い関係性をもつ代表といえるのが家族である。この家族の中で起きることに様々な民法は関わっている。家族関係にまつわる中で、結婚、離婚、親子、高齢者のサポート、相続等について講義する。																				
		予習内容(時間)	家族のことで法律と関係がある行為は何か、考える。	120	分																		
		復習内容(時間)	家族関係で生じる法的な問題について整理する。	120	分																		
		企業と法	学校を卒業すれば社会人として企業に勤める者は多い。現代資本主義社会の経済活動は「企業」によって支えられている。商法・会社法という法律を手がかりに、企業の活動について説明する。																				
予習内容(時間)																							

【授業計画】

No5	間)	株式会社について、疑問点を整理しておく。	120	分
	復習内容(時間)	取締役、株式会社、株主総会等について理解する。	120	分
No6	労働と法	労働関係の法律は、憲法に根拠をもち、労働者に働きかける内容となっている。その代表といえる法律が労働基準法である。その他多くの労働法を知ることによって労働者がよりよく働いていけることを説明する。		
	予習内容(時間)	憲法27、28条を読み、何を意味しているか考える。	120	分
	復習内容(時間)	労働基準法について理解したことをまとめる。	120	分
No7	刑法の存在理由	そもそも刑法は何のために存在するのか、他の法とどう区別されるのか、どのような特徴を持つのかについて概観し理解できるよう、講義する。また、現在の犯罪の発生状況についても説明する。		
	予習内容(時間)	刑法がなければ、社会はどうなってしまうか考える。	120	分
	復習内容(時間)	日本の最近の犯罪の発生状況についてまとめる。	120	分
No8	日本の刑罰制度	刑罰の本質や社会的機能について説明し、まずは死刑制度(その歴史、存置論と廃止論の対立)と死刑に代わる刑罰等、次に自由刑や財産刑、さらに執行猶予の運用等について、講義する。		
	予習内容(時間)	日本の刑罰制度について、調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	日本に存在する死刑制度について自分の考えをまとめる。	120	分
No9	犯罪者の処遇	死刑でない限り、犯罪者は社会に戻ってくる。そこでその施設内処遇(刑務所等で行われる施設内処遇)と社会内処遇について説明する。そして、様々な猶予処分や仮釈放、保護観察について講義する。		
	予習内容(時間)	犯罪者は、裁判の確定後どうしているのか、調べる。	120	分
	復習内容(時間)	罪を犯した者の裁判確定後の処遇についてまとめる。	120	分
No10	少年非行と法	少年非行の扱いは成人とどう異なるのか、歴史的な背景はどうなっているのかを把握した上で、非行少年の処遇(児童自立支援施設・少年院等での処遇)と、少年に対する刑事処分について講義する。		
	予習内容(時間)	少年院は刑務所とどう異なるのか、調べる。	120	分
	復習内容(時間)	非行少年の処遇について、今後の改善点をまとめる。	120	分
No11	児童虐待	児童虐待に係る事件や相談の件数は、年々増加傾向にある。この児童虐待の定義や、刑事法の対応、法律等について説明する。		
	予習内容(時間)	児童虐待に関する新聞・ニュース記事を集めてみる。	120	分
	復習内容(時間)	今後、児童虐待はどう推移するか自分の考えをまとめる。	120	分
No12	犯罪被害者に関する問題	犯罪の被害者はこれまでどのように扱われてきたか、その歴史や海外事情、そしてわが国の事情について講義する。さらに、少年事件に巻き込まれた被害者への対応や、最近の被害者保護政策の展開について説明する。		
	予習内容(時間)	自分が事件・事故の被害者になったらどうなるか考える。	120	分
	復習内容(時間)	わが国の被害者施策がどうなっているかまとめる。	120	分
No13	精神障害者と犯罪	精神に障害のある者が罪を犯した場合に、わが国ではどのように対応しているのか、法制度(心神喪失等医療観察法等)はどうなっているのか、といった問題について説明する。		
	予習内容(時間)	相模原障害者施設殺傷事件(2016年)について調べる。	120	分
	復習内容(時間)	精神障害者にどのような対策が必要か考えまとめる。	120	分
No14	死に関わる問題	終末期医療における患者の「自己決定権」に関わる問題である安楽死・尊厳死について、日本の現状や海外の状況を説明する。また、臓器移植について、脳死の問題がどのように絡んだのか、講義する。		
	予習内容(時間)	安楽死の問題について調べ、疑問点を整理する。	120	分

	間)			
	復習内容(時間)	脳死の患者に対し、その後の可能性についてまとめる。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	法学Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Law II
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日常生活を営む上では法律を意識する機会は多くないものの、多くの法律が関わるものである。とくにその中心には民法が置かれており、それに付随するさまざまな法律が存在している。本講義では、民法に定められる基本的なルールを学習するとともに、日常生活のトラブルにどのようにあてはめられ、解決が試みられるのかを学習する。時としてそのルールが修正されることもあるので、この点についても適宜触れていく。
【到達目標】	日常生活における法の関わりを理解すること 法律の制度の趣旨を理解すること

	法律に定められるルールを事実当てはめることができること						
【履修条件・受講推奨者】	特になし						
【教育方法】	講義形式で行う。						
【指定教科書・参考資料等】	潮見佳男・中田邦博・松岡久和編『18歳からはじめる民法（第4版）』法律文化社、2019年						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力	○	
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合		評価方法				
	定期試験	100	定期試験の成績のみをもって評価する。				
	合計	100%					
【その他の注意事項】	講義中の私語は厳禁とする。						
【授業計画】	週	テーマ	学習内容				
	No1	バイクで人身事故を起こしたら	一般的な不法行為の成立要件とその効果について学習する。				
		予習内容(時間)	教科書p2～7までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分
	No2	インターネット上で中傷されたら	名誉毀損とプライバシーの権利について学習する。				
		予習内容(時間)	教科書p8～13までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分
	No3	電動自転車を購入したら	債務不履行の成立要件とその効果について学習する。				
		予習内容(時間)	教科書p14～19までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分
	No4	スーパーで食品を買ったら	債務不履行と消費者契約法について学習する。				
		予習内容(時間)	教科書p20～25までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分
	No5	英会話教室に通ったら	債務不履行と特定商取引法について学習する。				
		予習内容(時間)	教科書p26～31までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分
	No6	インターネット通販で靴を買ったら	インターネット取引における債務不履行について学習する。				
		予習内容(時間)	教科書p32～37までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分
	No7	友人に貸した自転車を取り戻したい	使用貸借契約と即時取得について学習する。				
予習内容(時間)		教科書p38～43までを読み、分からない用語などを調べておくこと。				120分	
復習内容(時間)		講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。				120分	

		入学するときにお金を借りたら	消費貸借契約と保証について学習する。		
	No8	予習内容(時間)	教科書p44～49までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分
		アパートを借りたら	賃貸借契約について学習する。		
	No9	予習内容(時間)	教科書p58～63までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分
		親が家を新築したら	抵当権と請負契約について学習する。		
	No10	予習内容(時間)	教科書p64～69までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分
		ある友達の「結婚」	婚姻の成立要件と効果について学習する。		
	No11	予習内容(時間)	教科書p70～75までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分
		親が離婚したら	離婚の成立要件と効果について学習する。		
	No12	予習内容(時間)	教科書p76～81までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分
		祖母が認知症になったら	後見制度と扶養について学習する。		
	No13	予習内容(時間)	教科書p82～87までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分
		祖父が亡くなったら	相続制度について学習する。		
	No14	予習内容(時間)	教科書p88～93までを読み、分からない用語などを調べておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返り、設問の解答について改めて考察すること。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文章表現法 BE-K
講義名(英字)	Contemporary Japanese Writing
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「文章表現法(基礎)」 正しく美しい日本語を用いて自分の考えを表現できることは、社会人にとっての必須教養である。本講義では、「読む」「書く」に関するさまざまな課題に取り組み、表現力を高めることを目標とする。 具体的には、読みやすく、正しい文章の書き方を練習したり、新聞に出てくるレベルの漢字を練習したり、敬語の使い方を練習したりといった、基礎的な内容の学習を行う。大学生としてすぐに役立つ表現力や知識を身につけるよい機会であるので、真剣に取り組んでもらいたい。
	1正しい文章の書き方を学ぶ。

【到達目標】	練習問題を解くことによって、主語述語の正しい対応や、文章にふさわしい形容詞・副詞の選び方、文末表現の特徴の違い、正しい句読点の打ち方などについてを学び、正しい文章の書き方を理解する。また、新聞に出てくる基礎的なレベルの漢字についても練習し、知識を深める。																																																																																																																								
【到達目標】	2正しい敬語の使い方を覚える。 尊敬語・謙譲語の正しい使い方を身につけ、さまざまな場面で使いこなせるように練習する。																																																																																																																								
【到達目標】	3手紙の書き方を覚える。 日本語の正式な形式の手紙の書き方を学び、実際に手紙を書くことを通じて、形式を身につける。また、敬語を正しく使って、手紙を書けるようにする。																																																																																																																								
【履修条件・受講推奨者】	1 留学生向けの内容ではないので、留学生が受講する際は、自分の日本語能力を十分に考慮すること。 2 毎回の予習復習がきちんとできる人に受講してもらいたい。																																																																																																																								
【教育方法】	配付された練習問題のプリントを自分で解いて授業に持参し、その答え合わせと解説を授業時間に行う。理解力を試すため、单元ごとに復習テストを行う。																																																																																																																								
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。																																																																																																																								
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力																																																																																																		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																																																																																																		
協働力		主張力		創造力																																																																																																																					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>受講態度や授業への参加度</td><td>20%</td><td colspan="6" rowspan="4">3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。</td></tr><tr><td>授業内小テストと提出物</td><td>30%</td></tr><tr><td>試験</td><td>50%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法						受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。						授業内小テストと提出物	30%	試験	50%	合計	100%																																																																																									
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																							
受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。																																																																																																																							
授業内小テストと提出物	30%																																																																																																																								
試験	50%																																																																																																																								
合計	100%																																																																																																																								
【その他の留意事項】	とくになし																																																																																																																								
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th colspan="6">学習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="6">授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">シラバスの確認</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業内で答えられなかった問題を調べて解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ1</td><td colspan="6">前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ2</td><td colspan="6">各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">配付された練習問題を各自で解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ3</td><td colspan="6">各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">配付された練習問題を各自で解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No5</td><td>復習テストと句読点の打ち方1</td><td colspan="6">正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。句読点の正しい打ち方についての解説。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">復習テストに備えたテスト勉強</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容						No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。						予習内容(時間)	シラバスの確認				120	分	復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分	No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。						予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分	No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。						予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分	No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。						予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分	No5	復習テストと句読点の打ち方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。句読点の正しい打ち方についての解説。						予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強				120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																							
No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	シラバスの確認				120	分																																																																																																																		
	復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分																																																																																																																		
No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分																																																																																																																		
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分																																																																																																																		
No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分																																																																																																																		
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分																																																																																																																		
No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分																																																																																																																		
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分																																																																																																																		
No5	復習テストと句読点の打ち方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。句読点の正しい打ち方についての解説。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強				120	分																																																																																																																		

【授業計画】		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No6	復習テストの答え合わせ 句読点の打ち方2	復習テストの答え合わせと解説。 各自で予習してきた句読点の練習問題の答え合わせと解説。		
		予習内容(時間)	句読点の打ち方に関する練習問題を各自で解答する	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストと句読点の練習問題を見直す。	120	分
	No7	句読点の復習テストと漢字の練習	句読点の復習テストを実施。 新聞に出てくるレベルの基礎的な漢字の練習問題に取り組む。		
		予習内容(時間)	句読点の復習テストに備えたテスト勉強	120	分
		復習内容(時間)	復習テストと漢字練習問題の見直し	120	分
	No8	句読点復習テストの答え合わせと敬語の種類についての解説	句読点復習テストの答え合わせと解説。 敬語の尊敬語・謙譲語・丁寧語についての解説		
		予習内容(時間)	これまでの自分の敬語の知識を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。敬語の種類や使い方を確認する。	120	分
	No9	敬語の正しい使い方1	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。基本的な敬語の形と使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No10	敬語の正しい使い方2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。職場や学校での具体的な場面を想定しての敬語の正しい使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No11	敬語の正しい使い方3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、謙譲語Ⅱなど、区別が難しい敬語の使い方を理解する。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No12	敬語復習テストと手紙の書き方1	敬語復習テストを実施。 日本語の正式な手紙の形式と手紙の基本的な用語の解説。		
		予習内容(時間)	敬語の復習テストに備えたテスト勉強。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。手紙の形式や用語を見直す。	120	分
	No13	敬語復習テストの答え合わせと解説 手紙の書き方2	敬語復習テストの答え合わせと解説。 手紙の書き方を具体的に解説。		
		予習内容(時間)	手紙についての知識を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No14	手紙の書き方3	はがきの書き方についての解説。 実際に便せんの手紙を書いて提出する。		
		予習内容(時間)	手紙の内容について考える。	120	分
		復習内容(時間)	手紙の形式や手紙用語の見直し。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文章表現法 BE-L
講義名(英字)	Contemporary Japanese Writing
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「文章表現法(実践)」 正しく美しい日本語を用いて自分の考えを表現できることは、社会人にとっての必須教養である。本講義では、「読む」「書く」に関するさまざまな課題に取り組み、表現力を高めることを目標とする。 具体的には、読みやすく、正しい文章の書き方を練習問題を通して身につけ、その知識、技術を踏まえて、エッセイ、自己PR文、小論文、短いレポートなどを書く。大学生としてすぐに役立つ表現力や知識を身につけるよい機会であるので、真剣に取り組んでもらいたい。
	1正しい文章の書き方を学ぶ。

	練習問題を解くことによって、主語述語の正しい対応や、文章にふさわしい形容詞・副詞の選び方、文末表現の特徴の違いなどについて学び、正しい文章の書き方を理解する。							
【到達目標】	2明確な文章が書けるようになる。 何を述べたいのかが読者に明確に伝わるように気を配り、文章のジャンルにふさわしい形式や文体で書けるようになる。また、誤字脱字のない、読みやすい文章を書く意識を持つ。 3レポートの書き方を覚える。 大学生が授業で課題レポートを提出する際に求められる、正しい形式のレポートが書けるようになる。練習問題を通じて学んだ、正しい文章についての知識を生かし、読みやすく明確な内容のレポートが書けるようになる。							
【履修条件・受講推奨者】	1留学生向けの内容ではなく、日本語を十分に習得できている人向けの応用的な内容なので、留学生は受講する際、自分の日本語能力を考慮してほしい。 2提出課題が多いので、日本人学生の場合も、国語力に自信のない人は、よく考えてから受講してもらいたい。							
【教育方法】	配付された練習問題のプリントを自分で解いて授業に持参し、その答え合わせと解説を授業時間に行う。理解力を試すため、復習テストを行う。毎回、与えられた課題について文章を書いて提出し、添削を受ける。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。					
	授業内小テストと提出物	60%						
	試験	20%						
	合計	100%						
【その他の留意事項】	とくになし							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。					
		予習内容(時間)	シラバスの確認				120	分
		復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分
	No2	正しい文章の書き方を学ぶ ¹	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。					
		予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分
	No3	正しい文章の書き方を学ぶ ²	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくに抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。					
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分
	No4	正しい文章の書き方を学ぶ ³	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。					
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分
		復習テストと自己紹介文	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。自己紹介の文章を書いて提出					

【授業計画】	No5	予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No6	復習テストの答え合わせ	復習テストの答え合わせと解説。 自己紹介文の添削を返却し、気をつける点について解説。		
		予習内容(時間)	自己紹介の書き方について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。	120	分
	No7	自己PR文の書き方	自己PR文の書き方について解説。 自己PR文を書いて提出。		
		予習内容(時間)	自己PR文の書き方について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	自分のアピールポイントについて見直してみる。	120	分
	No8	エッセイの書き方1	エッセイの書き方について解説する。とくに効果的なタイトルの付け方や段落分けの方法などについて学ぶ。 エッセイを書いて提出。		
		予習内容(時間)	エッセイとは何か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	エッセイの書き方の注意点やうまく書けなかった部分についての見直し。	120	分
	No9	エッセイの書き方2	エッセイの書き方について解説する。とくに効果的な比喻やオノマトペの使い方について学ぶ。 エッセイを書いて提出。		
		予習内容(時間)	比喻やオノマトペについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で示された注意点やうまく書けなかった部分についての見直し。	120	分
	No10	小論文の書き方1	テーマ型小論文の書き方について解説する。 与えられたテーマについて小論文を書いて提出。		
		予習内容(時間)	小論文とはどのような文章のことが確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で示された注意点やうまく書けなかった部分についての見直し。	120	分
	No11	小論文の書き方2	課題文型小論文の書き方について解説する。 与えられた課題文を読んで小論文を書いて提出。		
		予習内容(時間)	課題文型小論文とはどのような文章のことが確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で示された注意点やうまく書けなかった部分についての見直し。	120	分
	No12	レポートの書き方1	レポートと作文の違いについて解説。 レポートの材料の集め方と、材料の読み込み方についての解説。		
		予習内容(時間)	レポートとはどのような文章のことが確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	材料の読み込みシートを作成する。	120	分
	No13	レポートの書き方2	レポートのテーマの絞り込み方とレポートの構成について解説。		
		予習内容(時間)	レポートの構成について確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	レポートの構成表の作成。	120	分
	No14	レポートの書き方3	レポートの書式や参考文献一覧の作成法などについて解説。レポートの文体や表現のバリエーションについて理解する。		
		予習内容(時間)	参考文献一覧の書き方について確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	レポートの執筆作業。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文章表現法 BE-M
講義名(英字)	Contemporary Japanese Writing
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「文章表現法(総合)」 正しく美しい日本語を用いて自分の考えを表現できることは、社会人にとっての必須教養である。本講義では、「読む」「書く」に関するさまざまな課題に取り組み、表現力を高めることを目標とする。 具体的には、読みやすく、正しい文章の書き方を練習したり、短いレポートを作成したり、敬語の使い方を練習したりといった、文章表現の総合的な学習を行う。大学生としてすぐに役立つ表現力や知識を身につけるよい機会であるので、真剣に取り組んでもらいたい。
	1正しい文章の書き方を学ぶ。

	練習問題を解くことによって、主語述語の正しい対応や、文章にふさわしい形容詞・副詞の選び方、文末表現の特徴の違いについてなどを学び、正しい文章の書き方を理解する。																																																																																													
【到達目標】	2正しい敬語の使い方を覚える。 尊敬語・謙譲語の正しい使い方を身につけ、さまざまな場面で使いこなせるようになる。 3レポートの書き方を覚える。 大学生が授業で課題レポートを提出する際に求められる、正しい形式のレポートが書けるようになる。練習問題を通じて学んだ、正しい文章についての知識を生かし、読みやすく明確な内容のレポートが書けるようになる。																																																																																													
【履修条件・受講推奨者】	1留学生向けの内容ではないので、留学生が受講する際は、自分の日本語能力を十分に考慮すること。 2毎回の予習復習がきちんとできる人に受講してもらいたい。																																																																																													
【教育方法】	配付された練習問題のプリントを自分で解いて授業に持参し、その答え合わせと解説を授業時間に行う。理解力を試すため、単元ごとに復習テストを行う。 レポートの書き方についての講義に基づき、自宅でレポートの執筆作業を進める。																																																																																													
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。																																																																																													
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力																																																																										
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																																																																							
協働力		主張力		創造力																																																																																										
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>受講態度や授業への参加度</td><td>20%</td><td colspan="5" rowspan="4">3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。</td></tr><tr><td>授業内小テストとレポートなどの提出物</td><td>40%</td></tr><tr><td>試験</td><td>40%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。					授業内小テストとレポートなどの提出物	40%	試験	40%	合計	100%																																																																			
評価項目と割合		評価方法																																																																																												
受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。																																																																																												
授業内小テストとレポートなどの提出物	40%																																																																																													
試験	40%																																																																																													
合計	100%																																																																																													
【その他の注意事項】	とくになし																																																																																													
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="5">授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>シラバスの確認</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業内で答えられなかった問題を調べて解答する</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ1</td><td colspan="5">前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ2</td><td colspan="5">各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>配付された練習問題を各自で解答する</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ3</td><td colspan="5">各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>配付された練習問題を各自で解答する</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr><tr><td rowspan="2">No5</td><td>復習テストとレポートの書き方1</td><td colspan="5">正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。レポートと作文の違いについて解説。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>復習テストに備えたテスト勉強</td><td>120</td><td colspan="2">分</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。					予習内容(時間)	シラバスの確認	120	分		復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する	120	分		No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。					予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する	120	分		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分		No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。					予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する	120	分		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分		No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。					予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する	120	分		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分		No5	復習テストとレポートの書き方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。レポートと作文の違いについて解説。					予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強	120	分	
週	テーマ	学習内容																																																																																												
No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。																																																																																												
	予習内容(時間)	シラバスの確認	120	分																																																																																										
	復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する	120	分																																																																																										
No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。																																																																																												
	予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する	120	分																																																																																										
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分																																																																																										
No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。																																																																																												
	予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する	120	分																																																																																										
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分																																																																																										
No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。																																																																																												
	予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する	120	分																																																																																										
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分																																																																																										
No5	復習テストとレポートの書き方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。レポートと作文の違いについて解説。																																																																																												
	予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強	120	分																																																																																										

【授業計画】		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No6	復習テストの答え合わせ レポートの書き方2	復習テストの答え合わせと解説。 レポートの材料の集め方や、読み取り方についての解説。		
		予習内容(時間)	レポートの材料集めの方法について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。	120	分
	No7	レポートの書き方3	レポートの基本的な構成についての解説と構成表の作成。		
		予習内容(時間)	レポートの構成について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	レポートの構成表を完成させる。	120	分
	No8	レポートの書き方4	レポートの書式や参考文献一覧の作成法などについて解説。		
		予習内容(時間)	参考文献一覧の書き方について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	レポートの執筆作業。	120	分
	No9	敬語の正しい使い方1	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。基本的な敬語の形と使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No10	敬語の正しい使い方2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。職場や学校での具体的な場面を想定しての敬語の正しい使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No11	敬語の正しい使い方3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、謙譲語Ⅱなど、区別が難しい敬語の使い方を理解する。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No12	敬語復習テストと手紙の書き方1	敬語復習テストを実施。 日本語の正式な手紙の形式と手紙の基本的な用語の解説。		
		予習内容(時間)	敬語の復習テストに備えたテスト勉強。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。手紙の形式や用語を見直す。	120	分
	No13	敬語復習テストの答え合わせと解説 手紙の書き方2	敬語復習テストの答え合わせと解説。 手紙の書き方を具体的に解説。		
		予習内容(時間)	手紙についての知識を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No14	手紙の書き方3	はがきの書き方についての解説。 実際に便せんの手紙を書いて提出する。		
		予習内容(時間)	手紙の内容について考える。	120	分
		復習内容(時間)	手紙の形式や手紙用語の見直し。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文章表現法 BE-N
講義名(英字)	Contemporary Japanese Writing
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「文章表現法(総合)」 正しく美しい日本語を用いて自分の考えを表現できることは、社会人にとっての必須教養である。本講義では、「読む」「書く」に関するさまざまな課題に取り組み、表現力を高めることを目標とする。 具体的には、読みやすく、正しい文章の書き方を練習したり、短いレポートを作成したり、敬語の使い方を練習したりといった、文章表現の総合的な学習を行う。大学生としてすぐに役立つ表現力や知識を身につけるよい機会であるので、真剣に取り組んでもらいたい。
	1正しい文章の書き方を学ぶ。

	練習問題を解くことによって、主語述語の正しい対応や、文章にふさわしい形容詞・副詞の選び方、文末表現の特徴の違いについてなどを学び、正しい文章の書き方を理解する。							
【到達目標】	2正しい敬語の使い方を覚える。 尊敬語・謙譲語の正しい使い方を身につけ、さまざまな場面で使いこなせるようになる。 3レポートの書き方を覚える。 大学生が授業で課題レポートを提出する際に求められる、正しい形式のレポートが書けるようになる。練習問題を通じて学んだ、正しい文章についての知識を生かし、読みやすく明確な内容のレポートが書けるようになる。							
【履修条件・受講推奨者】	1留学生向けの内容ではないので、留学生が受講する際は、自分の日本語能力を十分に考慮すること。 2毎回の予習復習がきちんとできる人に受講してもらいたい。							
【教育方法】	配付された練習問題のプリントを自分で解いて授業に持参し、その答え合わせと解説を授業時間に行う。理解力を試すため、単元ごとに復習テストを行う。 レポートの書き方についての講義に基づき、自宅でレポートの執筆作業を進める。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。					
	授業内小テストとレポートなどの提出物	40%						
	試験	40%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】	とくになし							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。					
		予習内容(時間)	シラバスの確認		120		分	
		復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する		120		分	
	No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。					
		予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する		120		分	
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。		120		分	
	No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくに抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。					
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する		120		分	
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。		120		分	
	No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。					
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する		120		分	
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。		120		分	
	No5	復習テストとレポートの書き方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。レポートと作文の違いについて解説。					
		予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強		120		分	

【授業計画】		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No6	復習テストの答え合わせ レポートの書き方2	復習テストの答え合わせと解説。 レポートの材料の集め方や、読み取り方についての解説。		
		予習内容(時間)	レポートの材料集めの方法について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。	120	分
	No7	レポートの書き方3	レポートの基本的な構成についての解説と構成表の作成。		
		予習内容(時間)	レポートの構成について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	レポートの構成表を完成させる。	120	分
	No8	レポートの書き方4	レポートの書式や参考文献一覧の作成法などについて解説。		
		予習内容(時間)	参考文献一覧の書き方について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	レポートの執筆作業。	120	分
	No9	敬語の正しい使い方1	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。基本的な敬語の形と使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No10	敬語の正しい使い方2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。職場や学校での具体的な場面を想定しての敬語の正しい使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No11	敬語の正しい使い方3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、謙譲語Ⅱなど、区別が難しい敬語の使い方を理解する。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No12	敬語復習テストと手紙の書き方1	敬語復習テストを実施。 日本語の正式な手紙の形式と手紙の基本的な用語の解説。		
		予習内容(時間)	敬語の復習テストに備えたテスト勉強。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。手紙の形式や用語を見直す。	120	分
	No13	敬語復習テストの答え合わせと解説 手紙の書き方2	敬語復習テストの答え合わせと解説。 手紙の書き方を具体的に解説。		
		予習内容(時間)	手紙についての知識を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No14	手紙の書き方3	はがきの書き方についての解説。 実際に便せんの手紙を書いて提出する。		
		予習内容(時間)	手紙の内容について考える。	120	分
		復習内容(時間)	手紙の形式や手紙用語の見直し。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	文章表現法 BE-O
講義名(英字)	Contemporary Japanese Writing
担当教員	網本 尚子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「文章表現法(基礎)」 正しく美しい日本語を用いて自分の考えを表現できることは、社会人にとっての必須教養である。本講義では、「読む」「書く」に関するさまざまな課題に取り組み、表現力を高めることを目標とする。 具体的には、読みやすく、正しい文章の書き方を練習したり、新聞に出てくるレベルの漢字を練習したり、敬語の使い方を練習したりといった、基礎的な内容の学習を行う。大学生としてすぐに役立つ表現力や知識を身につけるよい機会であるので、真剣に取り組んでもらいたい。
	1正しい文章の書き方を学ぶ。

【到達目標】	練習問題を解くことによって、主語述語の正しい対応や、文章にふさわしい形容詞・副詞の選び方、文末表現の特徴の違い、正しい句読点の打ち方などについてを学び、正しい文章の書き方を理解する。また、新聞に出てくる基礎的なレベルの漢字についても練習し、知識を深める。																																																																																																																			
	2正しい敬語の使い方を覚える。 尊敬語・謙譲語の正しい使い方を身につけ、さまざまな場面で使いこなせるように練習する。																																																																																																																			
	3手紙の書き方を覚える。 日本語の正式な形式の手紙の書き方を学び、実際に手紙を書くことを通じて、形式を身につける。また、敬語を正しく使って、手紙を書けるようにする。																																																																																																																			
【履修条件・受講推奨者】	1留学生向けの内容ではないので、留学生が受講する際は、自分の日本語能力を十分に考慮すること。 2毎回の予習復習がきちんとできる人に受講してもらいたい。																																																																																																																			
【教育方法】	配付された練習問題のプリントを自分で解いて授業に持参し、その答え合わせと解説を授業時間に行う。理解力を試すため、単元ごとに復習テストを行う。																																																																																																																			
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。																																																																																																																			
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力																																																																																																		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																																																																																													
協働力		主張力		創造力																																																																																																																
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td>受講態度や授業への参加度</td><td>20%</td><td colspan="6" rowspan="4">3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。</td></tr><tr><td>授業内小テストと提出物</td><td>30%</td></tr><tr><td>試験</td><td>50%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					評価項目と割合		評価方法						受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。						授業内小テストと提出物	30%	試験	50%	合計	100%																																																																																									
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																		
受講態度や授業への参加度	20%	3分の2以上出席を条件とし、受講態度や授業内で実施する復習テストの点数、提出課題の評価、学期末試験の点数を総合して評価する。																																																																																																																		
授業内小テストと提出物	30%																																																																																																																			
試験	50%																																																																																																																			
合計	100%																																																																																																																			
【その他の注意事項】	とくになし																																																																																																																			
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="6">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="6">授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">シラバスの確認</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">授業内で答えられなかった問題を調べて解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ1</td><td colspan="6">前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ2</td><td colspan="6">各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">配付された練習問題を各自で解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>正しい文章の書き方を学ぶ3</td><td colspan="6">各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">配付された練習問題を各自で解答する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No5</td><td>復習テストと句読点の打ち方1</td><td colspan="6">正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。句読点の正しい打ち方についての解説。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">復習テストに備えたテスト勉強</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>					週	テーマ	学習内容						No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。						予習内容(時間)	シラバスの確認				120	分	復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分	No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。						予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分	No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。						予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分	No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。						予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分	No5	復習テストと句読点の打ち方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。句読点の正しい打ち方についての解説。						予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強				120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																		
No1	ガイダンス	授業の進め方や注意事項の説明。次週答え合わせする練習問題を各自で解答する。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	シラバスの確認				120	分																																																																																																													
	復習内容(時間)	授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分																																																																																																													
No2	正しい文章の書き方を学ぶ1	前回各自で解答した練習問題の答え合わせと解説。とくに主語と述語の対応や、陳述の副詞の対応など、正しい対応関係について学ぶ。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	前回の授業内で答えられなかった問題を調べて解答する				120	分																																																																																																													
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分																																																																																																													
No3	正しい文章の書き方を学ぶ2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。とくにら抜き言葉や、さ入れ言葉など、流布しているが実は間違っている日本語について学ぶ。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分																																																																																																													
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分																																																																																																													
No4	正しい文章の書き方を学ぶ3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、語彙に関する問題にも取り組む。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する				120	分																																																																																																													
	復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。				120	分																																																																																																													
No5	復習テストと句読点の打ち方1	正しい文章の書き方に関する復習テストを実施。句読点の正しい打ち方についての解説。																																																																																																																		
	予習内容(時間)	復習テストに備えたテスト勉強				120	分																																																																																																													

【授業計画】		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No6	復習テストの答え合わせ 句読点の打ち方2	復習テストの答え合わせと解説。 各自で予習してきた句読点の練習問題の答え合わせと解説。		
		予習内容(時間)	句読点の打ち方に関する練習問題を各自で解答する	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストと句読点の練習問題を見直す。	120	分
	No7	句読点の復習テストと漢字の練習	句読点の復習テストを実施。 新聞に出てくるレベルの基礎的な漢字の練習問題に取り組む。		
		予習内容(時間)	句読点の復習テストに備えたテスト勉強	120	分
		復習内容(時間)	復習テストと漢字練習問題の見直し	120	分
	No8	句読点復習テストの答え合わせと敬語の種類についての解説	句読点復習テストの答え合わせと解説。 敬語の尊敬語・謙譲語・丁寧語についての解説		
		予習内容(時間)	これまでの自分の敬語の知識を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。敬語の種類や使い方を確認する。	120	分
	No9	敬語の正しい使い方1	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。基本的な敬語の形と使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No10	敬語の正しい使い方2	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。職場や学校での具体的な場面を想定しての敬語の正しい使い方を覚える。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No11	敬語の正しい使い方3	各自で予習してきた練習問題の答え合わせと解説。これまで勉強してきた問題を総合した練習問題に取り組み、理解できているかどうか確認する。また、謙譲語Ⅱなど、区別が難しい敬語の使い方を理解する。		
		予習内容(時間)	配付された練習問題を各自で解答する。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に、もう一度練習問題を見直す。	120	分
	No12	敬語復習テストと手紙の書き方1	敬語復習テストを実施。 日本語の正式な手紙の形式と手紙の基本的な用語の解説。		
		予習内容(時間)	敬語の復習テストに備えたテスト勉強。	120	分
		復習内容(時間)	間違った問題を中心に復習テストを見直す。手紙の形式や用語を見直す。	120	分
	No13	敬語復習テストの答え合わせと解説 手紙の書き方2	敬語復習テストの答え合わせと解説。 手紙の書き方を具体的に解説。		
		予習内容(時間)	手紙についての知識を確認しておく。	120	分
		復習内容(時間)	復習テストで答えられなかった問題を中心に以前のプリントを確認する。	120	分
	No14	手紙の書き方3	はがきの書き方についての解説。 実際に便せんの手紙を書いて提出する。		
		予習内容(時間)	手紙の内容について考える。	120	分
		復習内容(時間)	手紙の形式や手紙用語の見直し。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	哲学 BE-K
講義名(英字)	Philosophy
担当教員	弓削 隆一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「知識とは何か?」、「科学とは何か?」、「科学的知識の限界」などをめぐる哲学的考察を題材にして、哲学的なものの考え方を理解し、受講者が自ら哲学的にものを考え、またそれを表現できるようになることを目標とします。受動的に話を聞くだけの態度ではなく、議論に積極的に参加し、「共に考える」姿勢が求められます。
【到達目標】	問題点の理解: 哲学のさまざまな議論で、そもそもそこで問題になっていることは何なのかの理解。 既存の説の理解: 対立する諸見解の内容と、それらの対立点の理解。

	自分自身の考えの理解:その問題に関して自分はどう思っているか、その理由は何なのか、についての理解。									
【履修条件・受講推奨者】	実用性がなさそうな抽象的な問題、自分にはあまり関係なさそうな問題についても、人の意見を聞き、その問題に関する自分の考えをまとめよう、という積極的な姿勢が求められます。									
【教育方法】	講義と質疑応答。									
【指定教科書・参考資料等】	使用せず。参考文献があれば、各回ごとに支持する。									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		○	
	協働力		主張力	○	創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	問題点の理解	30%	授業中の発現、リアクションペーパー、学期末のレポートで評価します。							
	既存の説の理解	30%								
	自分自身の考えの理解	40%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	とくになし。									
	週	テーマ	学習内容							
	No1	『哲学』を履修する際の注意点	授業の形式について・哲学を勉強する際の注意点・J.S.ミルの『自由論』の言論の自由擁護の議論。							
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。						120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。						120	分
	No2	ソクラテスの「無知の知」とプラトンの「真の知識」	ソクラテスの「無知の知」・プラトンの『カルミデス』における「無知の知」への疑い・プラトンの『メノン』、『テアイテトス』における「知識＝真なる信念」説の否定・知識と呼べるための条件としての根拠。							
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。						120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。						120	分
	No3	知識の条件とゲティアの問題提起	ゲティアの三条件・三条件へのゲティアの批判・知識・信念の獲得の過程の問題・知識の条件に関する外材主義／内在主義。							
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。						120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。						120	分
	No4	経験論の哲学	J.ロックの思想・生得的観念は存在するか?・ヒュームの思想・ヒュームの懐疑論・帰納的推論の正当化と因果関係の認識・パークリーの思想・独我論と「水槽の中の脳」。							
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。						120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。						120	分
	No5	個人的知識と公共的なものとしての知識	独我論批判・20世紀の分析哲学の視点・公共的なものとして知識・言語への関心・文化相対主義。							
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。						120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。						120	分
	No6	論理実証主義とその背景	論理実証主義・演繹論理学の発展・フレーゲ、ラッセルの論理主義・ラッセルの記述理論							
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。						120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No7	論理実証主義とその問題点	ウィトゲンシュタインの『論理哲学論考』・論理実証主義の基本的な考え方・論理実証主義への批判・科学の法則命題の検証の問題・「有意味＝帰納的確証が可能」という考え方・カラスのパラドックス・グッドマンの「帰納法の新たな謎」。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No8	批判的合理主義	論理実証主義へのクワインの批判・批判的合理主義・ポパーの思想・後期のポパーの思想・批判的合理主義の問題点。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No9	新しい科学像ーパラダイム論	科学哲学の視点の転換・クーンの『科学革命の構造』・パラダイムの転換・「パラダイム」の曖昧さ・科学革命の非合理性		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No10	パラダイム論の話の続き	概念の通約不可能性・観察の理論負荷性・相対主義的科学観。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No11	知的分業・専門家集団	知識に関する分業・専門家集団への信頼と疑い:コロナワクチン例・科学者集団の共有信念としての科学。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No12	狭義の「科学革命」	天動説: アリストテレスの自然観・天動説から地動説への転換・ニュートンの科学・アリストテレス的な世界観からニュートン的な世界観への転換の影響・機械的説明の対象領域の拡大。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No13	機械論的説明の領域の拡大――生物進化論	進化論以前のキリスト教の考え方・生物の進化論・ダーウィンの『種の起源』・進化論への批判・進化論の影響や誤解に基づく20世紀の思想・人間観の変化がもたらした動揺・ピーター・シンガーの問題提起。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分
	No14	機械論的説明の領域の拡大――人間の「心」	科学的世界観の中での「心」の位置づけの問題・デカルトの心身二元論・デカルトの心身二元論の問題点・現代の心身論・「心の哲学」の様々な立場・リベットの実験。		
		予習内容(時間)	学習内容についてのネット検索などを通じた予習。	120	分
		復習内容(時間)	授業で挙げられた参考文献を調べ、問題について自分で考え、文章で表現してみることなど。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	生命科学 BE-K
講義名(英字)	Life Science
担当教員	古田 玲子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	人体の構造と機能、他の生物の共通点と相違点、がん、若者に蔓延しているSexually Transmitted Infection (STI: 性感染症)、人獣共通感染症、有害物質、有害生物、臓器移植、生殖医療および生物の多様性について学び、生命現象を理解し、また健康を維持する為に必要な知識を養うことを目的としています。最先端の研究成果や最近の話題を取り入れながら判りやすく解説していきます。
	生物学的および医学的な基礎知識を学ぶ 人体の構造と機能、がん、STI、人獣共通感染症、有害物質、有害生物について学び、実現可能な予防策についての知識が習得する。

【到達目標】	病気の原因、予防について基礎的な知識を学ぶ 生命科学の基礎を正確に理解した上で、臓器移植と生殖医療、生物の多様性について考えることができる。 生命科学全般について理解を深め生命倫理、生物多様性についての意義を考える力を養う 生命科学に関する興味のあるテーマを選びレポートにすることで、調べる手段とまとめる力を養う。										
【履修条件・受講推奨者】	生命科学に興味があり、教養として知識を身につけたい方が望まれる。										
【教育方法】	生命科学関係の最近の話題を取り入れながら講義形式で進め、質疑応答により理解度を確認する。										
【指定教科書・参考資料等】	参考資料や用語集を必要に応じて配布する。										
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力				
	協働力		主張力		創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】											
	評価項目と割合						評価方法				
	定期試験			80%							
	レポート			20%							
合計			100%								
【その他の注意事項】	特になし										
	週	テーマ		学習内容							
	No1	生命科学の概要		授業内容の説明およびレポートの作成方法について学ぶ							
		予習内容(時間)		生命科学についてどのような分野であるのか検索し予習しておくこと						120	分
		復習内容(時間)		授業内容を復習しておくこと						120	分
	No2	人体の構造と機能		臓器、組織、細胞、遺伝子について学ぶ							
		予習内容(時間)		人体の構造と機能について調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
	No3	ヒトと他生物の共通点と相違点		ヒト、イヌ、マウスなどの哺乳類間と鳥類、爬虫類、魚類、両生類などの他生物との比較をして、共通点と相違点を理解する							
		予習内容(時間)		ヒトおよび他生物について調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
	No4	腫瘍についての基礎的知識		腫瘍の発生と遺伝子異常、良性腫瘍と悪性腫瘍(がん)のちがいが、原因と予防、検査法について学ぶ							
		予習内容(時間)		腫瘍がどのような疾病であるのかを調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		専門用語を正しく理解するために授業内容を復習しておくこと						120	分
	No5	早期がんと進行がん		がんの進行度と治療法、予後について学ぶ							
		予習内容(時間)		腫瘍について調べておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
	No6	各臓器のがんⅠ		肺がんについて学ぶ							
		予習内容(時間)		肺がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと						120	分
		復習内容(時間)		講義で解説した内容を復習しておくこと						120	分
		各臓器のがんⅡ		胃がん、大腸について学ぶ							

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	胃がん、大腸がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No8	各臓器のがんⅢ	乳がん、子宮がんについて学ぶ		
		予習内容(時間)	乳がん、子宮がんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
		各臓器のがんⅣ	肝臓がん、その他のがんについて学ぶ		
	No9	予習内容(時間)	肝臓がん、その他のがんについて調べ、質問したいことを挙げておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
		STIについてⅠ	STI (sexually transmitted infections) の概要とHIV感染症・エイズ(後天性免疫不全症候群)について原因、症状、予防および治療について学ぶ		
	No10	予習内容(時間)	HIV感染症・エイズについて調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No11	STIについてⅡ	HPV (Human papillomavirus) 感染症、梅毒、クラミジアなどの主なSTIの原因、症状、予防および治療について学ぶ		
		予習内容(時間)	STIの原因となる病原体について調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No12	STIについてⅢ	ヘルペス感染症、淋菌感染症、トリコモナス症、カンジダ 症、B型肝炎などについて学ぶ		
		予習内容(時間)	STIの原因となる病原体について調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No13	生物毒と有害物質	生物毒と有害生物について学ぶ		
		予習内容(時間)	毒のある生物について調べておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義で解説した内容を復習しておくこと	120	分
	No14	人獣共通感染症・動物が媒介する感染症	BSE、狂犬病、インフルエンザ、デング熱、エキノコックスなど、人獣共通感染症・動物が媒介する感染症について学ぶ		
		予習内容(時間)	人獣共通感染症・動物が媒介する感染症について資料を読んで予習しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	生命科学で学んできた講義内容を復習しておくこと	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	国際関係論 BE-K
講義名(英字)	International Relations
担当教員	黒澤 愛美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	まず、国際関係とは何かというところから始めて、国際関係論の基礎知識を身につけます。そして、その基礎知識を基に、現代の国際社会が抱える諸問題を議論します。現代の国際社会には数多くの問題がありますが、この授業は、日本で活動する国際人として知っておくべき問題を優先して扱います。問題の現状を知ることにとどまらず、経緯や今後の課題まで追究します。また、関連する時事ニュースも積極的に取り上げます。
	国際関係論の基礎知識がある

【到達目標】	国際関係史の大きな流れを理解している 国際社会の諸問題について、概要を理解し、議論することができる									
【履修条件・受講推奨者】	・初回に必ず出席してください。 ・毎回CoursePowerを利用できるデバイスを持参してください。									
【教育方法】	基本的に講義形式で進めますが、各々が考える時間を適宜取ります。									
【指定教科書・参考資料等】	CoursePowerで資料を配布します。									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力		主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法				
	国際関係論の基礎知識について、重要用語を適切に用いながら論理的に記述する			10%	3分の2以上の出席を前提として授業中の課題50%、期末試験50%で評価します。					
	国際関係史について、重要事項を押さえながら簡潔に記述する			20%						
	国際問題について、概要を理解し、自分の主張を論理的かつ説得的に記述する			70%						
	合計			100%						
【その他の注意事項】	・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・板書等、撮影を一切禁止します。 ・国際情勢に鑑みて、授業計画を変更することがあります。									
	週	テーマ			学習内容					
	No1	イントロダクション			授業ガイダンス、国際関係とは何か					
		予習内容(時間)			国際関係とは何か考える			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No2	国際関係論の基礎知識			国際関係の主体、グローバリゼーション					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No3	国際関係史			第一次世界大戦、第二次世界大戦					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No4	国際関係史			冷戦期の国際社会					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No5	国際関係史			国共内戦、朝鮮戦争					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	
		復習内容(時間)			授業内容を整理する			120	分	
	No6	国際関係史			冷戦後の国際社会					
		予習内容(時間)			国際ニュースをチェックする			120	分	

【授業計画】		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No7	国際問題	歴史問題		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No8	国際問題	日韓歴史問題		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No9	国際問題	領土問題		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No10	国際問題	安全保障、軍事		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No11	国際問題	経済、貿易		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No12	国際問題	環境、エネルギー		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No13	国際問題	人権		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分
	No14	国際問題	SDGs、今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)	国際ニュースをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を整理する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	心理学Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Psychology II
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、「心理学Ⅰ」をベースとし、応用心理学の以下の各論について学習します：(1)パーソナリティ(性格)と知能、(2)人間理解の方法(心理アセスメント)、(3)臨床心理学(とくにメンタルヘルス領域)、(4)社会心理学(とくにコミュニケーション)。 具体的には、自分の性格や心の状態の測定についての基礎的な知識を得るとともに、心理テストやワークシートを使って実習をすることで、自己理解を深めます。主に講義形式で授業を進めますが、適宜、心理テストやワークシートを用いた実習を行います。					
【到達目標】	性格・知能、人間理解の方法(アセスメント)の基礎知識を身につける 臨床心理学・メンタルヘルスに関する基礎知識を理解する 社会心理学(コミュニケーション論)に関する基礎知識の習得					
【履修条件・受 講推奨者】	「心理学Ⅰ」を履修した者。(「心理学Ⅰ」を履修していないと、理解困難なことがあります。)					
【教育方法】	授業は基本的に講義形式で行いますが、ワークなどを行い、適宜、課題の提出を求めます。					
【指定教科書・ 参考資料等】	【使用教材】テキスト：岡村一成(編)『心理学—行動の科学—』東京教学社。その他、講義中に適宜紹介する。					
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	忍耐力
	協働力		主張力		創造力	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
性格・知能、心理アセスメントの理解	50	出席率70%以上。小課題40%・試験30%・レポート課題30%を勘案、総合的に評価
臨床心理学・メンタルヘルスの理解	30	
社会心理学に関する理解	20	
合計	100%	

【その他の注意事項】

・中間テストを必ず受験すること。
・授業に関するあらゆる不正、ゲーム機・スマートフォン等の不適切な使用を禁じます。受講停止等、厳格に対応することもあります。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーション 性格心理学	授業の進め方・評価方法の説明 パーソナリティ(性格)とは		
	予習内容(時間)	シラバスをよく読み、テキストを入手し、目次を概観しておく。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No2	性格心理学	類型論・特性論		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No3	性格心理学	知能・知能指数		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No4	人間理解の方法	心理アセスメント(作業検査法・質問紙法)		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No5	人間理解の方法	知能検査		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No6	人間理解の方法	面接法・観察法		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No7	臨床心理学	ストレス・メンタルヘルス・ストレスコーピング		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No8	臨床心理学	メンタルヘルス不調・心身症・精神疾患・心理的ケア		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
No9	臨床心理学	カウンセリング・心理療法		
	予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
	復習内容(時間)	中間試験の準備を進める。	120	分
No10	中間テスト 臨床心理学	中間テスト(予定。変更する場合は、事前に告知します)		
	予習内容(時間)	中間試験の準備を進める。	120	分

	No11	復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
		社会心理学	コミュニケーション論・対人認知・対人魅力		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No12	社会心理学	対人コミュニケーション・自己開示・恋愛		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No13	社会心理学	集団行動		
		予習内容(時間)	指示された課題を行う。	120	分
		復習内容(時間)	指示された課題を提出する。	120	分
	No14	社会心理学	群集心理・流言・流行		
		予習内容(時間)	試験の準備を進める。	120	分
		復習内容(時間)	試験の準備を進める。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	心理学Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Psychology II
担当教員	浮谷 秀一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、人間についての基礎的分野を学んだ心理学Ⅰを踏まえて、基礎的分野の解説を継続し、その後応用的分野について触れていく。取り上げる分野は、学習心理・性格心理・臨床心理です。授業の進行によっては応用的分野を加えていく。講義形式で授業を進め、必要に応じて心理検査の実習、動画鑑賞を組み込んでいく。						
【到達目標】	人間がどのように新しい行動を獲得していくか(学習)の理論的背景を理解する。 人間の性格を正確に理解する。 人間における心の病についての理解と心理療法の方法について理解する。						
【履修条件・受 講推奨者】	特になし						
【教育方法】	原則講義形式で必要に応じて検査実習および動画鑑賞を取り入れる。						
【指定教科書・ 参考資料等】	岡村一成編著『心理学―行動の科学―』東京教学社 2006年						
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法		
	学習の理解および学習過程のメカニズムを理解できているかで評価する			35%	レポート30% 終了試験70%	
	性格の理解および性格を測定する方法を理解できているかで評価する			35%		
	心の病および心理療法について理解できているかで評価する			30%		
	合計			100%		
【その他の注意事項】	好奇心をもって積極的に授業に参加すること。					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	授業ガイダンス	評価方法、授業進行方法			
		1. 学習心理	(1)学習とは			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No2	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、心理学で扱う学習について理解できているか確認する	120	分	
		1. 学習心理	(2)学習過程のプロセス 1)古典的条件づけ			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No3	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、古典的条件づけのメカニズムについて理解できているか確認する	120	分	
		1. 学習心理	(2)学習過程のプロセス 1)古典的条件づけ(応用)			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No4	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、古典的条件づけを応用した事例について理解できているか確認する	120	分	
		1. 学習心理	(2)学習過程のプロセス 2)道具的条件づけ			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No5	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、道具的条件づけのメカニズムについて理解できているか確認する	120	分	
		1. 学習心理	(2)学習過程のプロセス 2)道具的条件づけ(応用)			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No6	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、道具的条件づけを応用した事例について理解できているか確認する	120	分	
		2. 性格心理	(1)性格とは 1)気質 2)性格 3)人格 4)キャラクター 5)パーソナリティ 性格は変わるか・性格は変えられるか 良い性格・悪い性格			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No7	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、性格を正確に理解できているか確認する	120	分	
		2. 性格心理	(2)性格の見方 1)類型的見方 2)特性的見方			
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分	
	No8	復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、性格の理論的背景を理解できているか確認する	120	分	
		2. 性格心理	(3)性格の測定法 1)観察法 2)面接法 3)検査法			

		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、性格を知るための方法について概要を理解できているか確認する	120	分
	No9	2. 性格心理	3) 検査法 ① 質問紙 * 検査実習		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、実習した心理検査について理解できているか確認する	120	分
	No10	2. 性格心理	② 作業検査法 ③ 投影(映)法		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、投影法のメカニズムについて理解できているか確認する	120	分
	No11	2. 性格心理	③ 投影(映)法 * 検査実習		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、実習した心理検査について理解できているか確認する	120	分
	No12	3. 心の病	(1) 正常と異常 (2) 神経症と精神病 (3) 人格障害 (4) 不登校(登校拒否)		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、正常と異常の正しい使用法について理解できているか確認する	120	分
	No13	3. 心の病 4. 心理療法	(5) 心的外傷後ストレス障害 (6) 発達障害		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、心的外傷後ストレス障害を理解できているか確認する	120	分
	No14	4. 心理療法	(1) 来談者中心療法 (2) 精神分析 (3) 行動療法		
		予習内容(時間)	この授業で学ぶ予定の分野について教科書を読んで予備知識を得ておくこと	120	分
		復習内容(時間)	記録したノートを読み返し、心の病を治す方法について理解できているか確認する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	統計学 BE-K
講義名(英字)	Statistics
担当教員	松本 勇樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	人間が生きていくうえではあらゆる局面で意思決定をしなければならない。経験やカンのみに頼って意思決定を行うと誤った意思決定を行う場合が多い。そこで客観的に測定された数値を用いることによって正しい意思決定を行うことができるようになる。本講義ではビジネスで使用する数字や統計の感覚を養うことを目的とする。概算や四捨五入などの基本から初めて、割合や変化の仕組みを学ぶ。その後、記述統計学と多変量解析の中から、身近なデータを使用して、統計の考え方について理解する。							
【到達目標】	数字の感覚を養う: 設問に対する回答によって評価する。与えられた問題に対して正しい計算ができるかを評価する。 データを整理する: 与えられた問題に対して、データを正しく分類することができるかを評価する。 統計計算を行う: 与えられた問題に対して、正しい計算を行い、その結果からどのようなことが分かるかを評価する。							
【履修条件・受 講推奨者】	継続して受講しないと理解度は高まらないので、休まず出席すること。							
【教育方法】	講義の前半で、該当するテーマについての解説を行い、後半で与えられたテーマに基づいて問題演習を行う。							
【指定教科書・ 参考資料等】	Course Power!に解説資料、講義ノートを授業開始までにアップするので、各自ダウンロードして授業に臨むこと。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
授業内課題	15%	50%以上の授業内課題の提出を前提として、授業内課題15%、小テスト15%、期末試験70%の合計点で評価する。
小テスト	15%	
期末試験	70%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

繰り返し解説を行うので、数学や計算に対しての過度な恐怖心や思い込みをしないで講義に参加してほしい。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーション	本講義のテーマ、目的・概要、講義方針等を確認する併せて、シラバスに基づく具体的な講義内容を説明するデータとは何かを理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No2	概算と電卓の操作方法	電卓の操作方法を確認するとともに、データを概算で扱う感覚を養う		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No3	比率	数値を比較するための手法として比率の考え方を習得する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No4	変化(1)	指数と倍率について理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No5	変化(2)	変化率について理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
No6	度数分布	収集したデータを分類し、度数分布表とヒストグラムを作成する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No7	代表値	平均とメディアンについて理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No8	散らばりの代表値(1)	偏差の概念から、標準偏差について理解する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
No9	小テスト(1)	平均とメディアン、標準偏差の演習を行い、最後にここまでの理解度を確認するために小テストを実施する		
	予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
	復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分

	No10	標準化	平均・標準偏差が異なる2つの分布に属するデータを比較するための方法である標準化について学び、Z値と偏差値の計算ができるようにする		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No11	散布図	1つの対象について、2つの変数がどのような関係があるのか散布図を用いて把握する方法を学ぶ		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No12	相関係数	2つの変数の関係を1つの数値で表す相関係数の概念と計算方法について学ぶ		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No13	小テスト(2)	標準化、相関係数の復習を行い、最後にここまでの理解度を確認するために小テストを実施する		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分
	No14	正規分布	代表的な分布である正規分布の性質とその利用法について学ぶ		
		予習内容(時間)	Course Powerにアップされる講義資料を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	Course Powerにアップされる問題演習を解いて回答を入力する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	情報学 BE-K
講義名(英字)	Informatics
担当教員	鬼木 一直
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	企業で業務を遂行するにあたり、Microsoft社の『Excel』、『Word』、『PowerPoint』は必須アイテムともいえるソフトとなっています。これらのソフトを使いこなすためにパソコン一般知識、アプリケーション操作、情報モラル&セキュリティなどを学ぶことが必要です。本授業ではタイピングの練習、文章作成、表計算、グラフ作成などを通じ、日常の企業活動で発生するさまざまなコンピュータ知識、スキルを修得します。																						
【到達目標】	タイピング速度60文字/分以上 Microsoft Word、Excelの基本的な使用法の修得 コンピュータ用語、ネットワークシステム、情報モラルの理解																						
【履修条件・受講推奨者】	Word、Excelの基本的な操作ができること。																						
【教育方法】	PCを1人1台使用し、タイピングやソフトの操作を行いながらパソコンスキルを高めていきます。																						
【指定教科書・参考資料等】	P検協会公式テキスト「P検3級テキスト」を貸し出しますので、購入は不要です。																						
【実務IQ修得目標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr> <tr> <td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力		主張力		創造力									
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力		主張力		創造力																			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	タイピング速度60文字/分以上を目標とする	20%	PC操作を行い模擬問題を解きます。 コンピュータ知識については講義を行います。		
	Word、Excelを活用し、基本的な操作を行う	40%			
	コンピュータ用語、ネットワーク、情報モラルを理解する	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	授業時間内にP検(準2級または3級)の模擬試験を実施します。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	全体概要の説明とワープロ操作	講義内容、本試験の内容等についての説明を行い、ワープロの基本操作を修得する		
		予習内容(時間)	シラバスの確認、学習内容の概要確認	120	分
		復習内容(時間)	Wordの基本操作確認	120	分
	No2	ワープロ操作	タイピングの基本を学び、文書の編集などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、ワープロ操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	文書の編集作業の確認	120	分
	No3	ワープロ操作	図の挿入や図形の作成、表の作成や編集などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、ワープロ操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	Wordでの図形作成、表編集の確認	120	分
	No4	表計算	表計算ソフトの操作を学び、関数を利用した計算などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、表計算操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	Excelの基本操作確認	120	分
	No5	表計算	グラフの編集、表データの並べ替えなどの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、グラフ作成操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	グラフ編集、表データ操作の確認	120	分
	No6	表計算	データの集計、シートの編集などの演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、データ入力方法の確認	120	分
		復習内容(時間)	データの集計、シートの編集の確認	120	分
	No7	コンピュータ知識	コンピュータに関する一般的な技術用語を学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、コンピュータ基礎知識の確認	120	分
		復習内容(時間)	コンピュータ用語の確認	120	分
	No8	情報通信ネットワーク	情報通信システムに関する一般的な技術用語を学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、情報通信基礎知識の確認	120	分
		復習内容(時間)	情報通信システム用語の確認	120	分
	No9	情報モラルと情報セキュリティ	インターネットのセキュリティ対策、個人情報やプライバシーの保護について学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、セキュリティ知識の確認	120	分
		復習内容(時間)	セキュリティ用語の確認	120	分
	No10	ICTを活用した問題解決	フローチャート、データベースの活用法について学び、演習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、フローチャートの確認	120	分
		復習内容(時間)	フローチャート、データベースの作成手順の確認	120	分

	No11	P検模擬試験	実際の検定試験と同じCBT方式での模擬試験を体験し、解答方法に慣れる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、CBT操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
	No12	P検模擬試験	P検模擬試験3級を行い、苦手分野を確認する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
	No13	P検模擬試験	P検模擬試験3級を行い、本番試験への対策を立てる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分
	No14	P検模擬試験	本番試験に備え時間配分などを確認し、苦手項目の学習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、模擬試験問題の確認	120	分
		復習内容(時間)	模擬試験で間違えた部分のチェック	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	就職特講 BE-K
講義名(英字)	Special Seminar for Job Seeking
担当教員	野沢 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、大学生の就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められようになってきました。本講義では、雇用環境の変化とキャリア形成の考え方を理解すると共に履歴書やエントリーシートの書き方、業界・企業・職種研究、筆記試験・面接・グループワーク対策など、進路決定に直接役立つ知識の習得と演習を進めていきます。業界研究セミナーや内定者報告会等も実施し、臨場感ある準備講座を展開します。						
【到達目標】	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る						
【履修条件・受 講推奨者】	3年生で民間企業等への就職を考えている学生						
【教育方法】	講義及び個人、グループワーク						
【指定教科書・ 参考資料等】	講義及び個人、グループワーク						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合		評価方法				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	受講態度	70%	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価(取り組み姿勢・参加態度含む)70%、レポートおよび提出物評価30%。		
	課題提出物による授業理解度	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いします。講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	就職活動を始めるにあたって考えるべきこと (雇用環境とデータで見る学卒者就職の現状、正規・非正規雇用の違い等)		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No2	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No3	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No4	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No5	協働力の実践	チームプレゼンテーション発表		
		予習内容(時間)	チームプレゼンテーション発表準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No6	自己理解	チームプレゼンテーションの振り返り ～集団の中での役割、行動特性を理解する		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No7	自己理解	「学生時代に頑張ったこと」の書き方の理解及び作成		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	ワークシートの作成	120	分
	No8	合同企業説明会	合同企業説明会		
		予習内容(時間)	参加企業研究	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No9	志望先の選定Ⅰ	就職の軸を考える		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No10	志望先の選定Ⅱ	業界、職種理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分

		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No11	志望先の選定Ⅲ	業界情報の捉え方、情報の取捨選択について、求人票の見方を理解する		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No12	選考対策Ⅰ	想定業界、企業での志望動機作成		
		予習内容(時間)	企業研究	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No13	選考対策Ⅱ	多様なエントリーシートへの対応		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No14	選考対策Ⅲ	面接対策、マナー実習		
		予習内容(時間)	予習教材の視聴	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	就職特講 BE-M
講義名(英字)	Special Seminar for Job Seeking
担当教員	宮地 由夏
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、大学生の就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められようになってきました。本講義では、雇用環境の変化とキャリア形成の考え方を理解すると共に履歴書やエントリーシートの書き方、業界・企業・職種研究、筆記試験・面接・グループワーク対策など、進路決定に直接役立つ知識の習得と演習を進めていきます。業界研究セミナーや内定者報告会等も実施し、臨場感ある準備講座を展開します。						
【到達目標】	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る						
【履修条件・受 講推奨者】	3年生で民間企業等への就職を考えている学生						
【教育方法】	講義及び個人、グループワーク						
【指定教科書・ 参考資料等】	講義資料およびワークシートは随時配布する						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合		評価方法				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	受講態度	70%	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価(取り組み姿勢・参加態度含む)70%、レポートおよび提出物評価30%。		
	課題提出物による授業理解度	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いします。講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	就職活動をはめるにあたって考えるべきこと (雇用環境とデータで見る学卒者就職の現状、正規・非正規雇用の違い等)		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No2	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No3	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No4	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No5	協働力の実践	チームプレゼンテーション発表		
		予習内容(時間)	チームプレゼンテーション発表準備	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No6	自己理解	チームプレゼンテーションの振り返り ～集団の中での役割、行動特性を理解する		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No7	自己理解	「学生時代に頑張ったこと」の書き方の理解及び作成		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	ワークシートの作成	120	分
	No8	合同企業説明会	合同企業説明会		
		予習内容(時間)	参加企業研究	120	分
		復習内容(時間)	振り返り	120	分
	No9	志望先の選定Ⅰ	就職の軸を考える		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No10	志望先の選定Ⅱ	業界、職種理解		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分

		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No11	志望先の選定Ⅲ	業界情報の捉え方、情報の取捨選択について、求人票の見方を理解する		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No12	選考対策Ⅰ	想定業界、企業での志望動機作成		
		予習内容(時間)	企業研究	120	分
		復習内容(時間)	ワークシート作成	120	分
	No13	選考対策Ⅱ	多様なエントリーシートへの対応		
		予習内容(時間)	課題作成	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分
	No14	選考対策Ⅲ	面接対策、マナー実習		
		予習内容(時間)	予習教材の視聴	120	分
		復習内容(時間)	課題作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	就職特講 R-K
講義名(英字)	Special Seminar for Job Seeking
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日本の労働力人口の減少を背景に日本で働く外国人が増加し、卒業後に日本で就職することを希望する外国人留学生も年々多くなっています。しかし、外国人留学生が全員希望する仕事に就けるとは限りません。また就職しても期待していた仕事とは違って、すぐ転職することも少なくありません。日本特有の就職事情を知らないこと、在留資格についての知識がないこと、また就職活動の準備開始が遅いことなどが問題になります。この授業では、日本の就職活動のしくみと流れを理解し、日本での就職活動の準備を具体的に進めていきます。						
【到達目標】	日本の就職事情を学んで就職活動の仕組みと流れが把握できる。 日本の業界業種や職種を理解し、企業研究ができる。 就活計画を立てて、具体的な就職活動の準備ができる。						
【履修条件・受 講推奨者】	日本で就職したい外国人留学生対象の授業です。						
【教育方法】	授業で解説した内容に沿って、各自が自分のキャリアパスに合う就職活動の具体的準備を進める。						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は指定しない。参考書は必要に応じて授業内で紹介する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力 協働力	思考力 主張力	〇 〇	突破力 創造力	〇 〇	忍耐力 〇	
	評価項目と割合			評価方法			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	日本の就活事情を把握し、就活計画を立てられる。		40%	3分の2以上の出席を条件に、課題80%、最終到達度試験20%で評価。			
	企業・業界研究ができる。		30%				
	具体的な就活の準備を進められる。		30%				
	合計		100%				
【その他の注意事項】	授業予定は、学内のキャリア支援関連行事の影響などで変更することがある。 春学期のプロフェッショナルセミナーⅦ(留学生)とともに履修することが望ましい。						
【授業計画】	週	テーマ	学習内容				
	No1	就活の準備と学内、学外支援について	夏休み中の就活状況を報告し合う。就活を始めるために、どんな支援をどこでどのように得られるのかを把握する。学内、学外での情報収集の方法を確認する。				
		予習内容(時間)	シラバスを熟読。就活計画を立てる。			120	分
		復習内容(時間)	各種登録と情報収集を開始する。			120	分
	No2	日本の就活の流れ	日本に特有の就職活動の流れを把握する。3年次秋学期から卒業、入社までの必要事項を時系列に並べ、就活の計画を立てる。				
		予習内容(時間)	プロフェッショナルセミナーⅦの復習。			120	分
		復習内容(時間)	就活の流れマップを完成させる。			120	分
	No3	働くための在留資格	日本で働くことができる在留資格を把握し、取得条件を確認する。それぞれの在留資格取得に向けて、条件を満たすための準備を確認する。				
		予習内容(時間)	在留資格リストを学習する。			120	分
		復習内容(時間)	在留資格に必要な資格試験を調べる。			120	分
	No4	履歴書1	日本の履歴書のより良い書き方を学ぶ。詳細なルールや、企業が見るポイントを抑える。大学専用履歴書を含め、履歴書の種類も確認する。				
		予習内容(時間)	日本の履歴書の書き方を調べる。			120	分
		復習内容(時間)	履歴書を作成する。			120	分
	No5	履歴書2	より良い履歴書にするために他の人とシェアしながら協働で推敲をする。また送り状、封筒の表書きなどについても学ぶ。				
		予習内容(時間)	履歴書に関わるルールを調べる。			120	分
		復習内容(時間)	履歴書を完成する。			120	分
	No6	求人票と給与明細	求人票の見方と給与明細の見方を学ぶ。給与明細で日本の社会保険の仕組みを学び、求人票を詳細に見て分析することで、このあとの企業研究にもつなげる。				
		予習内容(時間)	企業選択の条件となる項目を調べる。			120	分
		復習内容(時間)	自分の条件に合う求人票を探してみる。			120	分
	No7	企業・業界研究1	日本の企業の動向、種類、業界の動向、IR情報、将来性、外国人採用の目的などを調べ分析する方法を学ぶ。				
		予習内容(時間)	特定の企業のホームページから把握できることをまとめる。			120	分
		復習内容(時間)	特定の企業のホームページを研究し課題シートを完成する。			120	分
	No8	日本の就職活動の動向と外部支援の使い方	外国人採用の動向・現状を調べる。インターンシップの目的と異議を考える。学外における外国人就職活動の支援拠点について学び、その活用の方法、登録の方法を知る。就活関連の法律についても学ぶ。				
		予習内容(時間)	学外の外国人用の就職支援拠点を調べる。			120	分
		復習内容(時間)	学外の外国人用の就活支援拠点を調べて登録する。			120	分
	No9	企業研究2	四季報、業界マップ、その他の各種情報源を使い、企業研究、業界研究を深める。				
		予習内容(時間)	四季報、業界マップを調べる。			120	分
		復習内容(時間)	四季報、業界マップを使い、特定の企業の研究ノートを作成する。			120	分

	No10	学内企業研究会	これまでの企業研究をより具体的に実感するために、実際の企業の人事担当者に話を聞き、特定の企業の研究を深める。企業がどのような職業にどのような外国人を求めているかを把握する。		
		予習内容(時間)	参加する企業について企業研究ノートを作成する。	120	分
		復習内容(時間)	企業研究を課題シートにまとめる。	120	分
	No11	企業研究3	企業研究の対象を広げ、これまでに学んださまざまな手段を駆使して、より深く企業について調べ、クラス内でシェアする。		
		予習内容(時間)	これまでの企業研究をまとめておく。	120	分
		復習内容(時間)	志望動機を作成する企業を選び、企業研究ノートを完成する。	120	分
	No12	志望動機1	自分の目指す企業を特定し、その企業に提出する志望動機を作成する。書く、話す両方の用意をする。		
		予習内容(時間)	志望動機を書く企業を決める。その企業の情報を集める。	120	分
		復習内容(時間)	志望動機を作成。	120	分
	No13	志望動機2	クラスで、志望動機をシェアする。 クラスメートの志望動機を読んで、フィードバックし合い、自分の志望動機を推敲して完成する。		
		予習内容(時間)	クラスメートの志望動機を読んで、助言することをまとめる。	120	分
		復習内容(時間)	志望動機を修正。	120	分
	No14	内定者報告会	内定を取った4年次の留学生から、それまでの就職活動の経験を聞いて、自分の就活に活かす。		
		予習内容(時間)	内定者の企業について調べ、内定者に聞きたいことをまとめる。	120	分
		復習内容(時間)	課題シートを作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	多文化理解Ⅱ(韓国文化2) BE-K
講義名(英字)	Multicultural Issues II
担当教員	黒澤 愛美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業が目指すのは、韓国文化を理解し、韓国の人と上手にコミュニケーションが取れるようになることです。そのために欠かせない韓国語を中心に学びます。春学期に引き続き、それぞれの場面にふさわしい言葉遣いを身につけていきます。また、韓国の生活や習慣、マナーも同時に学びます。言語をはじめとする文化は、時代によって変わります。リアルな韓国文化を楽しく学びましょう。							
【到達目標】	文を書くことができる 初級の文章を理解できる 簡単な会話をするすることができる							
【履修条件・受講推奨者】	・この授業は、「多文化理解Ⅰ（韓国文化1）」を履修した人を対象にします。 ・全ての授業に出席するつもりで履修してください。 ・毎回必ずテキストを持参してください。							
【教育方法】	・基本的にテキストに沿って進めます。 ・適宜日本語で解説します。							
【指定教科書・参考資料等】	木内明『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』国書刊行会、2013年。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力		突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	分かち書き(スペースを入れること)をし、文法的に正しい文が書ける	25%	3分の2以上の出席を前提として授業参加度25%、宿題25%、期末試験50%で評価します。		
	初級の文章を読んだり聞いたりして理解できる	50%			
	通じる発音で、授業で習った表現を用いて、積極的にコミュニケーションを取ろうとする	25%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	・受講マナーを守り、ほかの受講者に迷惑を掛ける行動は慎んでください。 ・パソコン、携帯電話の使用を禁止します。タブレットは使用方法によって許可する場合があります。 ・「多文化理解Ⅰ(韓国文化1)」が未履修の場合は、シラバスを参考にして、必ず全範囲よく勉強しておいてください。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	数の数え方	第9課 漢数詞、名詞+ですのヨ体(韓国での買い物)		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No2	数の数え方	第10課 固有数詞、時計の読み方		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No3	敬語	第11課 敬語のムニダ体／ヨ体、特殊な例		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No4	否定表現	第12課 動詞・形容詞の否定表現、～するとい		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No5	過去形	第13課 ムニダ体／ヨ体の過去形		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No6	勧誘表現	第14課 ～しましょう、～しよう		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No7	現在進行形	第15課 ～している、～してください		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No8	音読練習、韓国の誕生日祝い	第9課～第15課本文、韓国の誕生日祝いの仕方・歌		
		予習内容(時間)	第9課～第15課本文の音読練習	120	分
		復習内容(時間)	第9課～第15課本文の音読練習	120	分
	No9	可能・不可能表現	第16課 ～できる、～できない		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
		希望表現	第17課 ～したい、～してください		

	No10	予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No11	許可・禁止表現	第18課 ～してもいい、～しないでください		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No12	インタビュー、韓国の旧正月・お盆	自分のことについての質問に答える、韓国の旧正月・お盆の過ごし方		
		予習内容(時間)	インタビューに答える練習	120	分
		復習内容(時間)	インタビューに答える練習	120	分
	No13	義務表現	第19課 ～しなければならない		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分
	No14	推量・意志・未来表現	第20課 ～と思います、～するつもりです		
		予習内容(時間)	本文の発音練習をし、わからないところを明確にする	120	分
		復習内容(時間)	練習問題、単語の暗記	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	多文化理解Ⅲ BE-K
講義名(英字)	Multicultural Issues III
担当教員	清水 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本講義では、文化・宗教・食習慣・金融ルールなどが異なる市場の中で、昨今注目されているハラール/イスラム市場を中心とした市場の理解を深め、ビジネスを行う上で重要とされる「事業開発ノウハウ」の習得を目的とします。 年々人口が増加しているムスリム人口は、無視できない存在になっています。国内の市場が衰退する中、今後はハラール/イスラム市場が魅力的な市場となってきています。本講義では、世界における最新の(特にハラール/イスラム)市場環境を包括的に取り上げ、事業開発のエッセンスを学びます。
【到達目標】	1)ハラール/イスラム市場に関する理解 本講義を通して得られるハラール/イスラム市場に関する多岐に渡る動向を十分に理解ができているか？ 2)同市場における事業アイデアの創造・独自性とその論理的な整理 ハラール/イスラム市場における事業アイデアとその実現性や事業性を十分に整理、説明できているか？ 評価方法は、各講義で提出するペーパー、期末試験での評価を前提とする。(履修人数によってはグループワークの結果も反映される) 3)講義全体の理解と論理的な思考力 本講義を通して得られる情報を論理的に紐付けてアウトプットできるか？ 評価方法は期末の試験を中心に行います。
【履修条件・受 講推奨者】	様々な文化、言語、歴史に関心を持っている方の受講を推奨します。また、将来的に日本語、日本人、日本の文化以外との交流を想定されている方には、必要となる思考フレームワークなどをお伝えすることができるため、履修を推奨します。
【教育方法】	講師が資料を準備し、講義形式、QA形式で進めます。インターネット、Chat GPTの活用など、全てのツールや方法を駆使するとは制限せず、より実務的な習得を目指します。
【指定教科書・ 参考資料等】	毎日出てくるテーマに関して、インターネット検索するなり、Chat GPTで整理するなどを推奨します。

【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法		
	1)ハラル/イスラム市場に関する理解		30%	期末試験、各講義での授業への貢献、グループワークによる採点で評価		
	2)同市場における事業アイデアの創造・独自性とその論理的な整理		30%			
	3)講義全体の理解と論理的な思考力		40%			
	合計		100%			

【その他の注意事項】	本講義では、答えがない分野における考察、検討を重要視します。そのために必要な情報などは講義を通して得られますが、講義で得られた情報を元にしたアイデア、その妥当性などの検討は自分の頭で考えることが求められます。講義で得られた情報を記憶する事しか行いたくない学生は、この講義には向かないと考えられます。

	週	テーマ	学習内容					
	No1	導入講義	本講義の全体構成と目的等の説明を実施します。ハラル、イスラム市場を検討する必要性がなぜあるのかなどを、マクロの視点もいれつつ説明します。					
		予習内容(時間)	日本が置かれている状況(高齢化、人口減少、国際競争力の減退など)の最新情報を自分なりの方法で調べてくる				120	分
		復習内容(時間)	講義の内容の中で、興味をもった点に関して言葉の定義、市場規模などの情報をリサーチする				120	分
	No2	事業開発のステップ	事業開発の概論に関して説明を実施します。事業開発がどういったものであるのか、何で構成されているかなどを網羅的に講義します。					
		予習内容(時間)	事業開発とは何なのかを自分なりに調べてくる				120	分
		復習内容(時間)	講義の中で、一番興味を持ったこと、自分ごとと思えたことに関して調査及び整理を実施する				120	分
	No3	世界の市場環境の把握	世界市場の現状及び今後の見通しに関して。何か物事を考える際の、スタートポイントにおける大枠での情報を提供します。					
		予習内容(時間)	世界が今、どういった状態であるかを自分なりにリサーチする				120	分
		復習内容(時間)	講義を経て、強く関心をもったテーマに関して整理、追加でのリサーチを推奨				120	分
	No4	ムスリム市場の把握	ハラル/ムスリム市場の現状と今後の見通し。勃興している当該市場に関する基礎的な情報を提供します。					
		予習内容(時間)	ムスリム市場、イスラム市場、ハラル市場というKeywordでのリサーチを期待				120	分
		復習内容(時間)	講義を経て、深掘りするべきと考えた点に関して追加でのリサーチを推奨				120	分
	No5	イスラム教の理解	宗教としての、イスラム教の概念的な整理を実施します。その原点、歴史、そこからどう全ての物事がリンクしているかなどの、基本的な理解を目指します。					
		予習内容(時間)	宗教としてのイスラム教の特徴や歴史、各地での慣習などをリサーチしてください。				120	分
		復習内容(時間)	講義の中で、わからなかった点などを追加でリサーチ及び解釈を目指してください。				120	分
	No6	前半の講義の振り返り	ここまでの講義を総括し、各自の理解度を確認します。前半の中で、時間的な制約があったテーマなどは補修的に説明を実施し、また学生側からの希望があれば追加での説明、繰り返しでの講義なども視野に入れています。					
		予習内容(時間)	前半の5回で、気付きになった点をリキャップしてください。				120	分
		復習内容(時間)	講義後に、不安が残った点に関して理解度を増すための行動を起こしてください。				120	分
		事例の紹介	アウトバウンドに関連する先行企業の成功・失敗事例の紹介を実施します。					

【授業計画】	No7	介(1)			
		予習内容(時間)	日本からイスラム/ハラール市場に出ていった企業の記事などを可能な限り調べて読解することを推奨します	120	分
		復習内容(時間)	講義の中で興味をもった事例に関して、自分なりに深堀り&追加でのリサーチを推奨します	120	分
	No8	事例の紹介(2)	インバウンドに関連する先行企業の成功・失敗事例の紹介を実施します。		
		予習内容(時間)	日本に存在するイスラム/ハラール市場にで活躍する企業やレストランの記事などを可能な限り調べて読解することを推奨します	120	分
		復習内容(時間)	講義の中で興味をもった事例に関して、自分なりに深堀り&追加でのリサーチを推奨します	120	分
	No9	イスラム金融	日本ではあまり馴染みのないイスラム金融の仕組みを理解し、イスラムビジネスのリスクの整理を実施します		
		予習内容(時間)	イスラム金融に関して、公開されている情報を自分なりにクロールしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義の中で、強い関心をもった点に関して深堀りを推奨します。	120	分
	No10	事業考察の構成要件	グループワークを実施するにあたり、どういった順序で物事を考えるべきなのか、どういった構成要件を整理するべきなのかの基礎的な講義を実施します。		
		予習内容(時間)	「事業」を語る際に必要なものが何かを自分なりにリサーチしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義の中で、一番興味を持ったこと、自分ごとと思えたことに関して調査及び整理を実施する	120	分
	No11	グループワーク準備	ハラール/ムスリム市場参入をテーマに、各個人(もしくはグループ)でアイデアを考えていただきます。		
		予習内容(時間)	事前にハラール/ムスリム市場参入のアイデアを考えてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義中で足りなかった点、時間切りになった点に関して補完してください。	120	分
	No12	グループワーク	事業アイデアに関して、グループ(もしくは個人)で考えたものを発表していただきます。		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションの仕方、などと検索して発表のイロハを自分なりに習得してください。	120	分
		復習内容(時間)	他者の発表を聞いて、強い関心をもったものを自分なりの考え方で追加調査してください。	120	分
	No13	事業アイデアの事例	講師側が準備した事例に関して、説明を実施します。		
		予習内容(時間)	10回目までの講義の中で、理解が足りていない会に戻って検索、当時の資料を見るなどしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講師の持参したものの中で、強い興味をもったものにつき、自分なりに調査&検討をしてください。	120	分
	No14	全体の総括	講義全体を通した総括、質疑応答などを実施します。全体を通して説明したことなどの、サマリを説明していく予定です。		
		予習内容(時間)	理解が足りていない点を自分なりにリストアップしておく。	120	分
		復習内容(時間)	試験に向けて、講師が指摘していた重要項目につき、過去資料&メモに戻り記憶を呼び戻しておく。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	多文化理解VI BE-K
講義名(英字)	Multicultural Issues VI
担当教員	小林 寛典
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	近年、異文化を背景に持つ人々は私たちの周囲に大変多くなっている。しかし、私たちは彼らの存在を認識しているものの、彼らと心の交流をしているとはまだまだ言えない。日本人同士の間でさえ、他人と違う服装をすること、異なった生き方をする、周囲の人と違う意見を表明することなどに不安を覚えることがあり、それは異文化間の関係であれば尚更大きくなるであろう。 本講義では、異なった文化・社会・価値観などを持つ人々をどう理解していけばいいのかを多文化共生の観点から共に考えていく。							
【到達目標】	異文化を理解すること 多文化共生について知ること 自分の常識は他文化の常識と違うことを知ること							
【履修条件・受 講推奨者】	履修条件: 学生同士の話し合いに積極的に参加し、自ら発言すること 多文化理解Ⅴを受講した学生の参加が望ましい 受講推奨者: 異文化に興味がある好奇心旺盛な方							
【教育方法】	講師からの一方的な講義だけでなく、テーマごとに学生自身に考えてもらいその意見を皆で共有していく。							
【指定教科書・ 参考資料等】	使用しない。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力	○	主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業参加度	30%	左記3項目の合計点数で評価する。		
	毎回の確認テスト	50%			
	期末レポート	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	学期の3分の1を超えて欠席した場合は、単位を認めない。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	スケジュール、講義の進め方、評価方法の確認 他己紹介 少人数のグループにて各自の夏休みの異文化体験の紹介、全体発表 確認テストの練習		
		予習内容(時間)	夏休みを振り返り、自分の異文化体験を発表できるようにする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、疑問点、不明点を明らかにする	120	分
	No2	バイリンガリズム	バイリンガルとは バイリンガリズム バイリンガルと文化 バイリンガル理論		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No3	ほめ方、叱り方などの日米比較	ほめ方 叱り方 謝り方		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No4	異文化トレーニング①	歴史的背景 事例1 事例2		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No5	異文化トレーニング②	D.I.E.メソッド ロールプレイ シミュレーション		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No6	多文化共生の基礎知識①	「日本人」とは グローバル時代の日本と多様性 在留資格		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No7	多文化共生の基礎知識②	外国にルーツを持つ子供たち 日本の移民・難民受け入れ 国籍		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No8	人権と経済効率	技能実習生 技能実習制度 日本の現状		

		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No9	社会権とコスト	日本在住外国人と病院 医療通訳者 日本のNPO団体		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No10	やさしい日本語①	やさしい日本語をとりまく状況 やさしい日本語の歴史 やさしい日本語ガイドライン		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No11	やさしい日本語②	作り方のポイント 外国人にもわかりやすい文章 実践練習		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No12	多文化共生のための世界事情①	子どもの困難 イスラーム		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No13	多文化共生のための世界事情②	ハワイ トロント オーストラリア		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No14	日本国内の多文化共生	外国人住民比率が最も高い町 日系ブラジル人の考え 高齢者をとりまく環境		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Basic English II
担当教員	北田 敬子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	これまでに培ってきた英語の基礎能力を強化して、実際に英語が使えるようになるための知識と技能を身に付けることが、このクラスの目的です。英語が好きだという人も、英語に苦手意識を持っている人も、英語の運用能力は現代社会における必須のスキルだと考えているのではないのでしょうか。それなのに、小学生の頃から学んでいるはずの英語が一向に「話せるようにならない」と思うのは何故でしょう？おそらく実践の機会が少なかったことと、当たり前のように毎日英語に触れる習慣を持たずに来てしまったことが原因ではないかと思います。 学生時代に「英語の学び方」の基礎を獲得するのは大切なことです。小・中・高と、与えられたノルマをこなすことだけが勉強だと思っていたとしたら、大学生の今こそ、主体的に学び始めるチャンスです。読む・書く・聴く・話すといういわゆる4技能をバラバラに学修するのではなく、統合的に取り込んでいきましょう。単純なことでも確実に、読めるし、書けるし、聴いて分かるし、自分でも話せるという体験を積んで、自信を持ってほしいものです。 「基礎英語」を通じて、その連携を実感し、教室で取り上げるトピックから身の周りの様々な事象にまで理解と想像力を巡らせることができるようになれば、英語は知れば知るほど面白くなります。楽しく英語を学ぶクラスにいたしましょう。																							
【到達目標】	英語の文章の基本的な構造を理解し、単純な文章を読んですぐ理解できるようになることを目標にします。 文章の連なる段落(パラグラフ)にはどのような仕組みがあるか理解し、ある程度長い文のまとまりにも対応できるようになることを目標にします。 日常生活に必要な語や語句を聞いて、理解できるようになることを目標にします。 英語による問いかけや、依頼に即応できるようになることを目標にします。 単純明快なメッセージを持つ英語の音声聴いて、直接理解できるようになることを目標にします。 英語による情報のインプットのみならず、自らアウトプットが行えるようになることを目標にします。 不可分のスキルである、書くことと話すことを授業で実践することを目標にします。																							
【履修条件・受 講推奨者】	アクティブに英語を学びたいと思っている人の受講を勧めます。																							
【教育方法】	毎週の授業では「対面」のメリットを生かし、教員との質疑応答のみならず、学生同士のインタラクションや簡単なプレゼンテーションを含めた学習を行います。 オンラインにて提出する課題を毎週出します。 学生は自律的な学習を実行していくことを奨励されます。																							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書：Reading Link (Robert Hickling他著 KINSEIDO)																							
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																	
協働力	○	主張力	○	創造力																				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業内活動への積極的参加	20%	授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す		
	毎週のオンライン課題提出	20%			
	小テストと学期末試験の成績	60%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	100分間の授業の中に数分間の休憩・リフレッシュの機会を設けるので、遅刻・居眠りをしないこと！				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	導入 使用教科書の秋学期学習内容概要説明 クラスルール再度共有 Paragraph writing (1)-Summer 2023	春学期の振り返りと、秋学期授業開始に当たって、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 英語で段落(パラグラフ)を書く演習(1)-Summer 2023		
		予習内容(時間)	夏季休暇中のトピックを一つ選び、英語でまとめる準備をしておく。	120	分
		復習内容(時間)	導入授業で出された課題に取り組む	120	分
	No2	Unit 8: Would You Like to Be a Pioneer Like Coco Chanel? (1) Grammar Basics「動名詞・不定詞」	基本語彙確認 20世紀の服飾業界に革命を起こしたココ・シャネルの将棋と業績を英語で学ぶ。 Unit 8で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No3	Unit 8: Would You Like to Be a Pioneer Like Coco Chanel? (2) Enjoy Reading summary and exercise Write a paragraph on fashion today.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 ココ・シャネルが切り開いたファッションと現代の服飾事情について、実感を基に考え、語り合い、短い段落を英語で書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No4	Unit 4: How Do Americans Celebrate Halloween? (1) Grammar Basics「可算名詞・不可算名詞」	基本語彙確認 季節的トピックのため秋学期に回したUnit 4を取り上げ、アメリカにおけるハロウィーンについて英語で読む。 Web上のVillage Halloween Parade”画像・動画を閲覧し、ハロウィーンの楽しみ方について考える。 Unit 4で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No5	Unit 4: How Do Americans Celebrate Halloween? (2) Enjoy Reading summary and exercise Write a paragraph on Halloween.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 ハロウィーン発祥の地アイルランド、New Yorkでのハロウィーンパレード、また日本や韓国などアジア地域でのハロウィーン需要について比較考察する。 ハロウィーンに関する短い段落を英語で書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No6	Unit 9: What Will Space Travel Be Like in the Future? (1) Grammar Basics「未来形」	宇宙旅行のイメージを変える最新の動向について考える。 宇宙ステーションに向けて建設されるエレベーターという破天荒なアイデアについて、また民間宇宙旅行についての情報を集め、読み合い語り合う。 Unit 9で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No7	Unit 9: What Will Space Travel Be Like in the Future? (2) Enjoy Reading summary and exercise Write a paragraph on space travel.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 生空エレベーターの仕組みや建設にまつわる解説を専用ウェブサイトで閲覧する。民間宇宙飛行の細心のレポートをウェブサイトで読む。二つのトピックのいずれkを選び、英語で短い段落を書く。		

【授業計画】		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No8	Unit 10: What Makes the Amazon One of the Most Amazing Place? (1) Grammar Basics「比較級・最上級」	アマゾンの熱帯雨林について学ぶ。 森林の豊かさと共に、開発によって損なわれるものや我々の生活とのつながりについて考察する。 Unit 10で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No9	Unit 10: What Makes the Amazon One of the Most Amazing Place? (2) Enjoy Reading summary and exercise Write a paragraph on Amazon.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 アマゾンの熱帯森林の地理を確認し、関連ウェブサイトでがっ増・映像を確認するとともに、さらに詳細な情報を検索する。 Amazonについて知りえたことを基に、短い段落を英文で書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No10	Unit 11: Who Can Be a YouTuber? (1) Grammar Basics「助動詞」	YouTubeをめぐる実体験や観察をクラスで共有する。 YouTuberという趣味・職業について考える。 Unit 10で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No11	Unit 11: Who Can Be a YouTuber? (2) Enjoy Reading summary and exercise Write a paragraph on YouTube.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 自分が関心を持つYouTube動画を紹介し、概要をを英語で書く。(それらを集めた資料を後ほどクラスで共有する予定。)		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No12	Unit 12: What Have Plastics Done to our Oceans? (1) Grammar Basics「現在完了形」	環境問題、とりわけプラスチックゴミの海洋汚染について考える。 世界の現状をインターネット上のサイトで閲覧し、身の周りのプラスチック事情についてよりサーチする。 Unit 12で確認すべき文法項目を取り上げて学ぶ。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No13	Unit 12: What Have Plastics Done to our Oceans? (2) Enjoy Reading summary and exercise Write a paragraph on environment.	英文を読み、内容を検討する。 サマリーを作成する。 自分にできる環境保護活動はどのようなことだと思うか、短い段落を英語で書く。		
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
	No14	The total review of the semester	Reading and writing practice: What I have achieved so far and my plan for the study of English in the future. (これまでに達成できたことと、今後の英語学習に対する抱負を英語で書く。)		
		予習内容(時間)	秋学期末試験に向けて準備を行う。	120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分

[前画面へ戻る](#)

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Basic English II
担当教員	矢戸 カール
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	This is an introductory course in English with focus on communication. There will be new vocabularies and expressions introduced as well as grammar. Students will be expected to read out loud, do role plays, and create original sentences.																													
【到達目標】	Every lesson will start with a print where simple every day communication English is introduce. New vocabularies and expressions according to the topic of the unit will be introduced. Practice communication skills by reading out loud and doing a lot of role plays. —																													
【履修条件・受 講推奨者】	This is a compulsory course for 2nd year student																													
【教育方法】	Classes will be taught using hand outs and focused on the text book. Students are expected to participate actively.																													
【指定教科書・ 参考資料等】	Breakthrough Plus, Student's Book 1, Macmillan Education 2nd Edition																													
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																						
	協働力	○	主張力	○	創造力	○																								
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td>Midterm and final examination</td><td>60</td><td colspan="6" rowspan="4">Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance</td></tr><tr><td>, Active class participation</td><td>30</td></tr><tr><td>Class attendance</td><td>10</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>								評価項目と割合		評価方法						Midterm and final examination	60	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance						, Active class participation	30	Class attendance	10	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																												
Midterm and final examination	60	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance																												
, Active class participation	30																													
Class attendance	10																													
合計	100%																													

【その他の注意事項】

None

週	テーマ	学習内容		
No1	Unit 7, What's happening and Print	Things happening now and around. Print.		
	予習内容(時間)	Things happening now and around. Print.	120	分
	復習内容(時間)	Things happening now and around. Print.	120	分
No2	Unit 7, What's happening and Print	What's happening in a student's life. Print.		
	予習内容(時間)	What's happening in a student's life. Print.	120	分
	復習内容(時間)	What's happening in a student's life. Print.	120	分
No3	Unit 8, People and Print.	Describing people's looks and character. Print		
	予習内容(時間)	Describing people's looks and character. Print	120	分
	復習内容(時間)	Describing people's looks and character. Print	120	分
No4	Unit 8, People and Print.	Describing people's looks and character. Print		
	予習内容(時間)	Describing people's looks and character. Print	120	分
	復習内容(時間)	Describing people's looks and character. Print	120	分
No5	Unit 9, Having fun and Print	Social arrangements and print.		
	予習内容(時間)	Social arrangements and print.	120	分
	復習内容(時間)	Social arrangements and print.	120	分
No6	Unit 9, Having fun and Print	Describing plans for the week and print.		
	予習内容(時間)	Describing plans for the week and print.	120	分
	復習内容(時間)	Describing plans for the week and print.	120	分
No7	Midterm Examination	Midterm Examination		
	予習内容(時間)	Unit 7, 8, 9 and prints.	120	分
	復習内容(時間)	Unit 7, 8, 9 and prints.	120	分
No8	Unit 10, Vacation and Print	Different kinds of vacation and prints		
	予習内容(時間)	Different kinds of vacation and prints	120	分
	復習内容(時間)	Different kinds of vacation and prints	120	分
No9	Unit 10, Vacation and Print	Talking about vacation and travel blogs. Print.		
	予習内容(時間)	Talking about vacation and travel blogs. Print.	120	分
	復習内容(時間)	Talking about vacation and travel blogs. Print.	120	分
No10	Unit 11, Life stories and print	Milestones in life and print.		
	予習内容(時間)	Milestones in life and print.	120	分
	復習内容(時間)	Milestones in life and print.	120	分
No11	Unit 11, Life stories and print	Moving to a new country and famous people. Print.		
	予習内容(時間)	Moving to a new country and famous people. Print.	120	分
	復習内容(時間)	Moving to a new country and famous people. Print.	120	分
No12	Unit 12, Personal ambitions and print	What are you going to do in life? Print.		
	予習内容(時間)	What are you going to do in life? Print.	120	分

【授業計画】

		復習内容(時間)	What are you going to do in life? Print.	120	分
	No13	Unit 12, Personal ambitions and print	Hopes after graduation. Print.		
		予習内容(時間)	Hopes after graduation. Print.	120	分
		復習内容(時間)	Hopes after graduation. Print.	120	分
	No14	Unit 12, Personal ambitions and print	Hopes after graduation. Print.		
		予習内容(時間)	Hopes after graduation. Print.	120	分
		復習内容(時間)	Hopes after graduation. Print.	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Basic English II
担当教員	高畑 一路
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「基礎英語Ⅰ」に引き続き、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という4つの観点から、英語をバランスよく総合的に身につけることを目標とする。同時に、英語圏の文化、思想、習慣等を理解するようにしたい。基本的には教科書に沿って授業を進めていくが、受講者のレベル、興味などにしたがって、プリント教材を追加する。なお、前学期の進捗具合によって開始時の内容が前後することもあるので、受講者は「基礎英語Ⅰ」のシラバスにも目を通しておくこと。					
【到達目標】	英語で簡単な会話をすることができるようになる。 リスニング力を身につける。 基礎文法を身につける。 読解力を身につける。					
【履修条件・受 講推奨者】	基礎英語Ⅰを履修していること。					
【教育方法】	基本的には指定教科書に沿って授業を進めていくが、受講者のレベル、興味などにしたがって、プリント教材を追加する場合がある。					
【指定教科書・ 参考資料等】	English First Basic (著者: Robert Hickling, Misato Usukura) 出版社: 金星堂					
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	
	協働力		主張力	○	創造力	
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	評価項目と割合		評価方法			
	リスニング力	20	授業中に行う演習課題および中間・期末試験によって評価。			
	文法力	50				
	読解力	30				
	合計	100%				

【その他の注意事項】

授業に必ず辞書を持参すること(電子辞書可)。
指定された教科書を初回の授業までに必ず購入すること。教科書を所有していない学生の受講は許可しない。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	Unit1~6	「基礎英語 I」で学習したUnit1~6の復習および総括		
	予習内容(時間)	Unit1-6の復習	120	分
	復習内容(時間)	演習問題の解き直し	120	分
No2	Unit7	I'm Sure He'll Understand リスニング 文法:未来形		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
No3	Unit7	I'm Sure He'll Understand 長文読解 英作文		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
	復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
No4	Unit8	I'll Remember That リスニング 文法:助動詞		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
No5	Unit8	I'll Remember That 長文読解 英作文		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
	復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
No6	Unit9	Hiro Forgot リスニング 文法:to不定詞・動名詞		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
No7	Unit9	Hiro Forgot 長文読解 英作文		
	予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
	復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
No8	Midterm Exam Review	中間試験 前半の総復習		
	予習内容(時間)	Unit7~9の総復習	120	分
	復習内容(時間)	中間試験の解き直し	120	分

	No9	Unit10	How Have You Been? リスニング 文法:現在完了		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
	No10	Unit10	How Have You Been? 長文読解 英作文		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
		復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
	No11	Unit11	While They' re Here リスニング 文法:接続詞		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
	No12	Unit11	While They' re Here 長文読解 英作文		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
		復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分
	No13	Unit12	How Was Tennis? リスニング 文法:比較		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 文法事項の該当箇所を読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	リスニング問題の聞き直し 文法問題の解き直し	120	分
	No14	Unit12	How Was Tennis? 長文読解 英作文		
		予習内容(時間)	語彙・熟語の確認 英作文で書く内容についての事前構想	120	分
		復習内容(時間)	長文再読 英作文書き直し	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ BE-Q
講義名(英字)	Basic English II
担当教員	渡邊 きみ代
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を育てることを目的とします。短文を読み、文法を学び、リスニングを訓練し、自分の考えを書いたり、話すことができるよう学習します。語彙力をつけるため毎回クイズをします。覚えておく便利な表現などを楽しく学びます。伝え合うことのできる英語を身につけましょう。																							
【到達目標】	語彙力を上げ、基本的文法を学び、応用できる リスニング能力を向上させる 短文を読み、理解する																							
【履修条件・受講推奨者】	英語の能力を習得することを希望し、積極的に授業に参加すること																							
【教育方法】	学習目標を達成させるために、テキスト、さまざまな副教材、クイズなどを使い、興味を持って授業に参加できるようにする。																							
【指定教科書・参考資料等】	English Aid 著者 Robert Hickling / Misato Usukura 金星堂 副教材としてプリントを使用																							
【実務IQ修得目標】	自制力	思考力	○	突破力	忍耐力																			
	協働力	主張力	○	創造力	○																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="5">評価方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語彙、文法の理解と応用</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="3">筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する</td></tr> <tr> <td>授業参加姿勢</td><td>40%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>						評価項目と割合		評価方法					語彙、文法の理解と応用	60%	筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する					授業参加姿勢	40%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																						
語彙、文法の理解と応用	60%	筆記試験によって、授業内で学習した文法を理解、応用できるか、また語彙力が向上したかを総合的に評価する。また、積極的に授業に参加する姿勢を評価する																						
授業参加姿勢	40%																							
合計	100%																							

【その他の注意事項】

特になし

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	Unit 7 I Feel Healthy Already!	語彙をふやすためのクイズ、時と場所を表す前置詞jについての文法を学び、問題を解く。和文英訳、読解。		
	予習内容(時間)	Unit 7に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	語彙、文法などを確認	120	分
No2	Unit 7 I Feel Healthy Already!	語彙を増やすためのクイズ、時と場所を表す前置詞を使った会話のリスニング。時と場所を表す前置詞を使った文章を書く、和文英訳など。		
	予習内容(時間)	語彙、時と場所を表す前置詞を再確認	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
No3	Unit 8 Small Talk	語彙をふやすためのクイズ、未来形についての文法を学び、問題を解く。和文英訳、読解。		
	予習内容(時間)	Unit 8に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
No4	Unit 8 Small Talk	語彙を増やすためのクイズ、未来形を使った会話のリスニング。未来形を使った文章を書く、和文英訳など		
	予習内容(時間)	Unit 8に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を再確認	120	分
No5	Unit 9 Weight Down, Power Up!	語彙をふやすためのクイズ、現在完了形についての文法を学び、問題を解く。和文英訳、読解。		
	予習内容(時間)	Unit 9に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
No6	Unit 9 Weight Down, Power Up!	語彙を増やすためのクイズ、現在完了を使った会話のリスニング。現在完了形を使った文章を書く、和文英訳など。体調についての表現。		
	予習内容(時間)	Unit 9に目を通す	120%	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120%	分
No7	中間試験	Unit7～Unit9, 学習した語、表現、英文などについての確認試験		
	予習内容(時間)	Unit1～Unit3, 学習した語、表現、英文などについての確認	120	分
	復習内容(時間)	試験で解けなかった問題をテキスト、ノートなどで確認	120	分
No8	Unit 10 It's Nice ... And	語彙をふやすためのクイズ、比較級についての文法を学び、問題を解く。和文英訳、読解。		
	予習内容(時間)	Unit 10に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
No9	Unit 10 It's Nice ... And	語彙を増やすためのクイズ、比較級を使った会話のリスニング。比較級を使った文章を書く、和文英訳など。		
	予習内容(時間)	Unit 10に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
No10	Unit 11 Hitomi Wants a New Look	語彙をふやすためのクイズ、接続詞についての文法を学び、問題を解く。和文英訳、読解。		
	予習内容(時間)	Unit 11に目を通す	120	分
	復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
No11	Unit 11 Hitomi Wants a New Look	語彙を増やすためのクイズ、接続詞を使った会話のリスニング。接続詞使った文章を書く、和文英訳など。		
	予習内容(時間)	Unit 11に目を通す	120	分

		復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
	No12	Unit 12 Shopping for Clothes	語彙をふやすためのクイズ、動名詞、不定詞についての文法を学び、問題を解く。動名詞、不定詞を使った会話のリスニング、和文英訳。		
		予習内容(時間)	Unit 12 に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
	No13	Unit 13 I'm Meeting a Friend	語彙をふやすためのクイズ、疑問詞についての文法を学び、問題を解く。疑問詞を使った会話のリスニング、和文英訳		
		予習内容(時間)	Unit 13に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を確認	120	分
	No14	Unit 14 Date Night	語彙をふやすためのクイズ、助動詞についての文法を学び、問題を解く。助動詞を使った会話のリスニング、和文英訳		
		予習内容(時間)	Unit14に目を通す	120	分
		復習内容(時間)	Unit10～Unit14およびプリント、授業内の学習を総復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ BE-S
講義名(英字)	Basic EnglishⅡ
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	基礎的な文法と語彙の習得を目的としたテキストを使って学習を進めていきます。英文和訳、和文英訳、部分作文などの問題を通じて文法の復習をします。教科書は15ユニットに渡って、大学生の知的好奇心を刺激する題材を取り上げています。英語が苦手であっても、辞書を使って読み進めていきましょう。語彙力をつけるために、単語や熟語のテストを実施します。通じる英語を目指して、発音指導を行います。																												
【到達目標】	各ユニットに登場する重要な語彙の意味を理解する。 基本的な文法を理解し、文法の知識や英語特有の表現を使って英文を作ることができる。 発音練習を繰り返し、正しい発音を身につける。																												
【履修条件・受 講推奨者】	一年次に受けたテストによって、習熟度別に編成されたクラスです。																												
【教育方法】	教員の講義と学生の発言はfifty-fiftyとし、間違いを恐れない積極的な発言を促します。																												
【指定教科書・ 参考資料等】	Reading Link 金星堂 ISBN 978-4-7647-4100-3																												
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力									
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																							
協働力	○	主張力	○	創造力																									
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td>筆記試験</td><td>35</td><td colspan="6" rowspan="4">筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。</td></tr><tr><td>課題</td><td>30</td></tr><tr><td>授業での発言など</td><td>35</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						筆記試験	35	筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。						課題	30	授業での発言など	35	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
筆記試験	35	筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。																											
課題	30																												
授業での発言など	35																												
合計	100%																												

【その他の注意事項】

遅刻に気をつけてください。遅刻2回で欠席1回とします。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス 自己紹介など	授業の進め方や課題について説明する 自己紹介を英語で表現する		
	予習内容(時間)	自己紹介の準備	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介文をより正確な英文に修正するなど	120	分
No2	関係詞	関係詞とは？ who, whose, thatなど How about Jeans that Have a History? (Unit 15)		
	予習内容(時間)	Unit 15本文内容を理解するため、未知語の意味を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
No3	関係詞(前週の続き)	Unit 15のまとめ プリント教材など		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No4	受動態	受動態とは？ 人やものが「～される」 How Was Conveyer Belt Sushi Born? (Unit 14)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No5	受動態の続き	Unit 14のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No6	可算名詞・不可算名詞	数えられない名詞とは？ How Do Americans Celebrate Halloween? (Unit 4)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No7	可算名詞・不可算名詞	不可算名詞と一緒に使う数量を表す語句 a piece of, much, littleなど Unit 4のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No8	到達度の確認	前週までの到達度を確認します		
	予習内容(時間)	到達度確認テストの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	到達度確認テストの振り返りをする	120	分
No9	現在形	be動詞と一般動詞 Who Is Pepper? (Unit 1)		
	予習内容(時間)	Unit 1本文を読み、未知語を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解がたりなかったところを復習してください	120	分
No10	現在形	Unit 1のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分

		復習内容(時間)	同上	120	分
	No11	前置詞	時を表す前置詞 Do You Want to Travel Back in Time to Roman Thermae? (Unit5)		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No12	前置詞	場所を表す前置詞 Unit 5のまとめ		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No13	総まとめ	前週までの復習を中心に授業を行います プリント教材を使う予定です		
		予習内容(時間)	教科書の既習事項を確認してください	120	分
		復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
	No14	How to make use of Google翻訳 effectively	機械翻訳を使って演習を行います		
		予習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分
		復習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ S-K
講義名(英字)	Basic English II
担当教員	阿部 牧子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	基礎的な文法と語彙の習得を目的としたテキストを使って学習を進めていきます。英文和訳、和文英訳、部分作文などの問題を通じて文法の復習をします。教科書は15ユニットに渡って、大学生の知的好奇心を刺激する題材を取り上げています。英語が苦手であっても、辞書を使って読み進めていきましょう。語彙力をつけるために、単語や熟語のテストを実施します。通じる英語を目指して、発音指導を行います。																												
【到達目標】	各ユニットに登場する重要な語彙の意味を理解する。 基本的な文法を理解し、文法の知識や英語特有の表現を使って英文を作ることができる。 発音練習を繰り返し、正しい発音を身につける。																												
【履修条件・受講推奨者】	特になし																												
【教育方法】	教員の講義と学生の発言はfifty-fiftyとし、間違いを恐れない積極的な発言を促します。																												
【指定教科書・参考資料等】	Reading Link 金星堂 ISBN 978-4-7647-4100-3																												
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力									
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																							
協働力	○	主張力	○	創造力																									
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="6">評価方法</td></tr><tr><td>筆記試験</td><td>35</td><td colspan="6" rowspan="4">筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。</td></tr><tr><td>課題</td><td>30</td></tr><tr><td>授業での発言など</td><td>35</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						筆記試験	35	筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。						課題	30	授業での発言など	35	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
筆記試験	35	筆記試験は2回あります。素点が30点(100点満点中)に満たない場合は、単位修得できないことがあります。																											
課題	30																												
授業での発言など	35																												
合計	100%																												

【その他の注意事項】

遅刻に気をつけてください。遅刻2回で欠席1回とします。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス 自己紹介など	授業の進め方や課題について説明する 自己紹介を英語で表現する		
	予習内容(時間)	自己紹介の準備	120	分
	復習内容(時間)	自己紹介文をより正確な英文に修正するなど	120	分
No2	関係詞	関係詞とは？ who, whose, thatなど How about Jeans that Have a History? (Unit 15)		
	予習内容(時間)	Unit 15本文内容を理解するため、未知語の意味を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
No3	関係詞(前週の続き)	Unit 15のまとめ プリント教材など		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No4	受動態	受動態とは？ 人やものが「～される」 How Was Conveyer Belt Sushi Born? (Unit 14)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No5	受動態の続き	Unit 14のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No6	可算名詞・不可算名詞	数えられない名詞とは？ How Do Americans Celebrate Halloween? (Unit 4)		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No7	可算名詞・不可算名詞	不可算名詞と一緒に使う数量を表す語句 a piece of, much, littleなど Unit 4のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No8	到達度の確認	前週までの到達度を確認します		
	予習内容(時間)	到達度確認テストの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	到達度確認テストの振り返りをする	120	分
No9	現在形	be動詞と一般動詞 Who Is Pepper? (Unit 1)		
	予習内容(時間)	Unit 1本文を読み、未知語を調べるなど	120	分
	復習内容(時間)	授業で理解がたりなかったところを復習してください	120	分
No10	現在形	Unit 1のまとめ		
	予習内容(時間)	同上	120	分

		復習内容(時間)	同上	120	分
	No11	前置詞	時を表す前置詞 Do You Want to Travel Back in Time to Roman Thermae? (Unit5)		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No12	前置詞	場所を表す前置詞 Unit 5のまとめ		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No13	総まとめ	前週までの復習を中心に授業を行います プリント教材を使う予定です		
		予習内容(時間)	教科書の既習事項を確認してください	120	分
		復習内容(時間)	授業で理解が足りなかったところを復習してください	120	分
	No14	How to make use of Google翻訳 effectively	機械翻訳を使って演習を行います		
		予習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分
		復習内容(時間)	本試験の準備をしてください	120	分

 [前画面へ戻る](#)

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	基礎英語Ⅱ BE-U
講義名(英字)	Basic English II
担当教員	木村 直樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では「風と共に去りぬ」「若草物語」「オズの魔法使い」「アラバマ物語」などのアメリカの名作映画を観ながら、アメリカの文化史を学ぶと同時に、映画の登場人物たちによって使われる彩り豊かな英語表現を考察します。洋画を題材とした教材を使うため内容は若干難しめですが、映像と表現をプラグマティック(場面的・実用的)に分析することで、日常生活に密着したバリエーション豊富な英語表現の習得を目指します。																												
【到達目標】	アメリカの文化史を学び、日本文化との比較を通じて、国際的な幅広い視野を身に付ける。 日常的に使われる英会話表現を身に付けて、それを自分の意見の表明に使えるようになる。 映画に登場する会話を聴き取り、書いて表せるようになる。																												
【履修条件・受 講推奨者】	英会話Ⅰ・Ⅱを履修済みか、同時履修中であることが望ましい。																												
【教育方法】	映画のシーンを見て分析し、テキストの質問に解答する。また、文化史にまつわるテーマについて考察し、調査した結果を発表する。																												
【指定教科書・ 参考資料等】	石塚 美佳 / 小林 めぐみ / メイス みよ子 / 長崎 睦子 著『American Spirits in Movies: 名作映画で学ぶアメリカの心』成美堂出版																												
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力		主張力	○	創造力									
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																						
協働力		主張力	○	創造力																									
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>学習到達度確認テスト</td><td>70%</td><td colspan="6" rowspan="4">授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。</td></tr><tr><td>授業中のディスカッションやリサーチへの積極性</td><td>15%</td></tr><tr><td>発表およびレポート</td><td>15%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						学習到達度確認テスト	70%	授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。						授業中のディスカッションやリサーチへの積極性	15%	発表およびレポート	15%	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
学習到達度確認テスト	70%	授業内のリスニング、ディクテーション、ペアワークやロールプレイ、ディスカッションへの参加・貢献度で評価します。																											
授業中のディスカッションやリサーチへの積極性	15%																												
発表およびレポート	15%																												
合計	100%																												

【その他の注意事項】

授業の特性上、指定の期日までに教科書を用意できなかった者は、その時点で自動的に達成度評価テストの受験資格を失う。
また、授業内でメディア教材を複数扱うため、PCを用意して受講することが望ましい。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	The Wizard of Oz: Unit 9	初回ガイダンス、成績評価方法の説明、レベル判定問題、「オズの魔法使い」登場人物の確認		
	予習内容(時間)	「風と共に去りぬ」の時代背景調査	120	分
	復習内容(時間)	レベル判定問題の設問復習	120	分
No2	The Wizard of Oz: Unit 9	Scene1-3の分析、アメリカの竜巻について調べてみる		
	予習内容(時間)	自然災害を表す英語表現についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No3	The Wizard of Oz: Unit 10	Scene1-2の分析、「魔女」や「妖怪」「悪魔」などの文化について調べてみる		
	予習内容(時間)	西洋文化で「魔女」の果たす役割についてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No4	The Wizard of Oz: Unit 10	Scene3の分析、西洋文化の「カカシ」や「羊」の象徴性について考える		
	予習内容(時間)	日本と西洋の「カカシ」の違いについてリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No5	The Wizard of Oz: Unit 11	Scene1-2の分析、オズの魔法使いにお願いをしたら何をお願いするか、英語で考えてみる		
	予習内容(時間)	「願いをかなえてくれる存在」の日本と欧米、アジア文科圏それぞれにおける違いをリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No6	The Wizard of Oz: Unit 11	Scene3の分析、自分にはないものは何か、自分の強みとは何かを英語で表明する		
	予習内容(時間)	自分のWeaknessとStrengthは何かを整理しておく	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No7	The Wizard of Oz: Unit 12	Scene1-2の分析、「西の魔女」の考察		
	予習内容(時間)	「悪い魔女」にまつわる文化による違いをリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No8	The Wizard of Oz: Unit 12	Scene3の分析、物語の結末考察、「住めば都」のようなことわざ表現の日本語・英語対応分析		
	予習内容(時間)	最近使った母国語のことわざを思い出して列挙しておく	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No9	To Kill a Mockingbird: Unit 13	Scene1-2の分析、「アラバマ物語」登場人物と背景確認		
	予習内容(時間)	アメリカの人種差別について、騒動となった事件をリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No10	To Kill a Mockingbird: Unit 13	Scene3の分析、いわゆる「南部なまり」とはどのような英語なのかを分析してみる		
	予習内容(時間)	Politically correct(政治的に正しい)な表現にはどのようなものがあるのかをリサーチ	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
No11	To Kill a Mockingbird: Unit 14	Scene1-2の分析、アメリカにおける銃の歴史について分析する		
	予習内容(時間)	近年起きた銃乱射事件についての報道を列挙しておく	120	分
	復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
	To Kill a Mockingbird: Unit 14	Scene3の分析、白人と黒人が争点となった裁判について分析する		

	No12	予習内容(時間)	アメリカの裁判と日本の裁判について、違いをリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
	No13	To Kill a Mockingbird: Unit 15	Scene1-2の分析、法廷でのユーウェル親子の証言を分析する		
		予習内容(時間)	アメリカにおけるキリスト教と政治、法律との関連についてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分
	No14	To Kill a Mockingbird: Unit 15	Scene3の分析、最終弁論と、陪審員の最終評決についてディスカッション		
		予習内容(時間)	アメリカの「警察 (Police)」と「保安官 (Sheriff)」の違いについてリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	既出語句の復習	120	分

 前画面へ戻る

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義では、文化・宗教・食習慣・金融ルールなどが異なる市場の中で、昨今注目されているハラール/イスラム市場を中心とした市場の理解を深め、ビジネスを行う上で重要とされる「事業開発ノウハウ」の習得を目的とします。 年々人口が増加しているムスリム人口は、無視できない存在になっています。国内の市場が衰退する中、今後はハラール/イスラム市場が魅力的な市場となってきています。本講義では、世界における最新の（特にハラール/イスラム）市場環境を包括的に取り上げ、事業開発のエッセンスを学びます。																						
【到達目標】	1)ハラール/イスラム市場に関する理解 本講義を通して得られるハラール/イスラム市場に関する多岐に渡る動向を十分に理解ができているか？ 2)同市場における事業アイデアの創造・独自性とその倫理的な整理 ハラール/イスラム市場における事業アイデアとその実現性や事業性を十分に整理、説明できているか？ 評価方法は、各講義で提出するペーパー、期末試験での評価を前提とする。（履修人数によってはグループワークの結果も反映される） 3)講義全体の理解と論理的な思考力 本講義を通して得られる情報を論理的に紐付けてアウトプットできるか？ 評価方法は期末の試験を中心に行います。																						
【履修条件・受講推奨者】	様々な文化、言語、歴史に関心を持っている方の受講を推奨します。また、将来的に日本語、日本人、日本の文化以外との交流を想定されている方には、必要となる思考フレームワークなどをお伝えすることができるため、履修を推奨します。																						
【教育方法】	講師が資料を準備し、講義形式、QA形式で進めます。インターネット、Chat GPTの活用など、全てのツールや方法を駆使するとは制限せず、より実務的な習得を目指します。																						
【指定教科書・参考資料等】	毎回出てくるテーマに関して、インターネット検索するなり、Chat GPTで整理するなどを推奨します。																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○		
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力		主張力	○	創造力	○																		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td>1)ハラール/イスラム市場に関する理解</td><td>30%</td><td colspan="2" rowspan="4">期末試験、各講義での授業への貢献、グループワークによる採点で評価</td></tr><tr><td>2)同市場における事業アイデアの創造・独自性とその倫理的な整理</td><td>30%</td></tr><tr><td>3)講義全体の理解と論理的な思考力</td><td>40%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法		1)ハラール/イスラム市場に関する理解	30%	期末試験、各講義での授業への貢献、グループワークによる採点で評価		2)同市場における事業アイデアの創造・独自性とその倫理的な整理	30%	3)講義全体の理解と論理的な思考力	40%	合計	100%		
評価項目と割合		評価方法																					
1)ハラール/イスラム市場に関する理解	30%	期末試験、各講義での授業への貢献、グループワークによる採点で評価																					
2)同市場における事業アイデアの創造・独自性とその倫理的な整理	30%																						
3)講義全体の理解と論理的な思考力	40%																						
合計	100%																						

【その他の注意事項】

本講義では、答えがない分野における考察、検討を重要視します。そのために必要な情報などは講義を通して得られますが、講義で得られた情報を元にしたアイデア、その妥当性などの検討は自分の頭で考えることが求められます。講義で得られた情報を記憶する事しか行いたくない学生は、この講義には向かないと考えられます。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	導入講義	本講義の全体構成と目的等の説明を実施します。ハラール、イスラム市場を検討する必要性がなぜあるのかなどを、マクロの視点もいれつつ説明します。		
	予習内容(時間)	日本が置かれている状況(高齢化、人口減少、国際競争力の減退など)の最新情報を自分なりの方法で調べてくる	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容の中で、興味をもった点に関して言葉の定義、市場規模などの情報をリサーチする	120	分
No2	事業開発のステップ	事業開発の概論に関して説明を実施します。事業開発がどういったものであるのか、何で構成されているかなどを網羅的に講義します。		
	予習内容(時間)	事業開発とは何なのかを自分なりに調べてくる	120	分
	復習内容(時間)	講義の中で、一番興味を持ったこと、自分ごとと思えたことに関して調査及び整理を実施する	120	分
No3	世界の市場環境の把握	世界市場の現状及び今後の見通しに関して。何か物事を考える際の、スタートポイントにおける大枠での情報を提供します。		
	予習内容(時間)	世界が今、どういった状態であるかを自分なりにリサーチする	120	分
	復習内容(時間)	講義を経て、強く関心をもったテーマに関して整理、追加でのリサーチを推奨	120	分
No4	ムスリム市場の把握	ハラール/ムスリム市場の現状と今後の見通し。勃興している当該市場に関する基礎的な情報を提供します。		
	予習内容(時間)	ムスリム市場、イスラム市場、ハラール市場というKeywordでのリサーチを期待	120	分
	復習内容(時間)	講義を経て、深掘りするべきと考えた点に関して追加でのリサーチを推奨	120	分
No5	イスラム教の理解	宗教としての、イスラム教の概念的な整理を実施します。その原点、歴史、そこからどう全ての物事がリンクしているかなどの、基本的な理解を目指します。		
	予習内容(時間)	宗教としてのイスラム教の特徴や歴史、各地での慣習などをリサーチしてください。	120	分
	復習内容(時間)	講義の中で、わからなかった点などを追加でリサーチ及び解釈を目指してください。	120	分
No6	前半の講義の振り返り	ここまでの講義を総括し、各自の理解度を確認します。前半の中で、時間的な制約があったテーマなどは補修的に説明を実施し、また学生側からの希望があれば追加での説明、繰り返しでの講義なども視野に入れています。		
	予習内容(時間)	前半の5回で、気付きになった点をリキャップしてください。	120	分
	復習内容(時間)	講義後に、不安が残った点に関して理解度を増すための行動を起こしてください。	120	分
No7	事例の紹介(1)	アウトバウンドに関連する先行企業の成功・失敗事例の紹介を実施します。		
	予習内容(時間)	日本からイスラム/ハラール市場に出ていった企業の記事などを可能な限り調べて読解することを推奨します	120	分
	復習内容(時間)	講義の中で興味をもった事例に関して、自分なりに深掘り&追加でのリサーチを推奨します	120	分
No8	事例の紹介(2)	インバウンドに関連する先行企業の成功・失敗事例の紹介を実施します。		
	予習内容(時間)	日本に存在するイスラム/ハラール市場にで活躍する企業やレストランの記事などを可能な限り調べて読解することを推奨します	120	分
	復習内容(時間)	講義の中で興味をもった事例に関して、自分なりに深掘り&追加でのリサーチを推奨します	120	分

		イスラム金融	日本ではあまり馴染みのないイスラム金融の仕組みを理解し、イスラムビジネスのリスクの整理を実施します		
	No9	予習内容(時間)	イスラム金融に関して、公開されている情報を自分なりにクロールしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義の中で、強い関心をもった点に関して深掘りを推奨します。	120	分
	No10	事業考察の構成要件	グループワークを実施するにあたり、どういった順序で物事を考えるべきなのか、どういった構成要件を整理するべきなのかの基礎的な講義を実施します。		
		予習内容(時間)	「事業」を語る際に必要なものが何かを自分なりにリサーチしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義の中で、一番興味を持ったこと、自分ごとと思えたことに関して調査及び整理を実施する	120	分
	No11	グループワーク準備	ハラール/ムスリム市場参入をテーマに、各個人(もしくはグループ)でアイデアを考えていただきます。		
		予習内容(時間)	事前にハラール/ムスリム市場参入のアイデアを考えてください。	120	分
		復習内容(時間)	講義中で足りなかった点、時間切りになった点に関して補完してください。	120	分
	No12	グループワーク	事業アイデアに関して、グループ(もしくは個人)で考えたものを発表していただきます。		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションの仕方、などと検索して発表のイロハを自分なりに習得してください。	120	分
		復習内容(時間)	他者の発表を聞いて、強い関心をもったものを自分なりの考え方で追加調査してください。	120	分
	No13	事業アイデアの事例	講師側が準備した事例に関して、説明を実施します。		
		予習内容(時間)	10回目までの講義の中で、理解が足りていない会に戻って検索、当時の資料を見るなどしてください。	120	分
		復習内容(時間)	講師の持参したものの中で、強い興味をもったものにつき、自分なりに調査&検討をしてください。	120	分
	No14	全体の総括	講義全体を通した総括、質疑応答などを実施します。全体を通して説明したことなどの、サマリを説明していく予定です。		
		予習内容(時間)	理解が足りていない点を自分なりにリストアップしておく。	120	分
		復習内容(時間)	試験に向けて、講師が指摘していた重要項目につき、過去資料&メモに戻り記憶を呼び戻しておく。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーション	スケジュール、講義の進め方、評価方法の確認 他已紹介 少人数のグループにて各自の夏休みの異文化体験の紹介、全体発表 確認テストの練習		
	予習内容(時間)	夏休みを振り返り、自分の異文化体験を発表できるようにする	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、疑問点、不明点を明らかにする	120	分
No2	バイリンガリズム	バイリンガルとは バイリンガリズム バイリンガルと文化 バイリンガル理論		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No3	ほめ方、叱り方などの日米比較	ほめ方 叱り方 謝り方		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No4	異文化トレーニング①	歴史的背景 事例1 事例2		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No5	異文化トレーニング②	D.I.E.メソッド ロールプレイ シミュレーション		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No6	多文化共生の基礎知識①	「日本人」とは グローバル時代の日本と多様性 在留資格		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No7	多文化共生の基礎知識②	外国にルーツを持つ子供たち 日本の移民・難民受け入れ 国籍		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No8	人権と経済効率	技能実習生 技能実習制度 日本の現状		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No9	社会権とコスト	日本在住外国人と病院 医療通訳者 日本のNPO団体		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
No10	やさしい日本語①	やさしい日本語をとりまく状況 やさしい日本語の歴史 やさしい日本語ガイドライン		
	予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分

		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No11	やさしい日本語②	作り方のポイント 外国人にもわかりやすい文章 実践練習		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No12	多文化共生のための世界事情①	子どもの困難 イスラーム		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No13	多文化共生のための世界事情②	ハワイ トロント オーストラリア		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分
	No14	日本国内の多文化共生	外国人住民比率が最も高い町 日系ブラジル人の考え 高齢者をとりまく環境		
		予習内容(時間)	タスクシートのタスクを十分に検討し、自分の考えを明らかにしておく	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、新たに学んだ考え方を整理し、興味深い点に関してさらに調べる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営組織論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Organization Theory II
担当教員	高橋 正泰
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現在の経営学にはさまざまな研究が展開されており、その中でも、組織社会である現代社会を考えると、経営学の対象となる組織は、重要な研究分野として位置づけられる。本講義では、組織のミクロレベルに焦点を当てて、組織内の人間行動を学際的な成果を取り入れながら、企業組織内の人間問題を中心として考察し、組織行動についての理解を深めることを目的としている。
	組織の人間とは何かについての理解

【到達目標】	組織における人間行動についての理解 組織をなぜ人は参加するのかについての理解																																																																																																																								
【履修条件・受講推奨者】	◇ とくにありませんが、真摯に勉学に励む方出来れば、経営管理論、心理学、社会学などを学んでいることが望ましい。																																																																																																																								
【教育方法】	講義とレポート、ならびに必要なに応じてディスカッションにより授業を行う。																																																																																																																								
【指定教科書・参考資料等】	◇ 大月博司・高橋正泰『経営組織』学文社、2003年。 高橋正泰監修『マクロ組織論』学文社、2019年。																																																																																																																								
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力																																																																																																						
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																			
協働力		主張力	○	創造力																																																																																																																					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>定期試験</td><td>50</td><td colspan="4" rowspan="4">定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。</td></tr><tr><td>レポート</td><td>50</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>						評価項目と割合		評価方法				定期試験	50	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。				レポート	50			合計	100%																																																																																																	
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																							
定期試験	50	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。																																																																																																																							
レポート	50																																																																																																																								
合計	100%																																																																																																																								
【その他の注意事項】	◇ 学際的な視点から組織の問題を考え、学ぶことが必要です。																																																																																																																								
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th colspan="4">学習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>組織行動の概念</td><td colspan="4">「組織内の人間行動とは何か」について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>組織行動の理解</td><td colspan="4">「組織がわれわれにとってどのように関係するか」について講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>ミクロ組織論としての組織行動</td><td colspan="4">組織内部における人間行動や集団行動についての組織理論の位置づけを考える。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>人的資源アプローチと組織行動</td><td colspan="4">人的資源としての観点と組織行動論が同の世に関係しているかについて考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>組織行動の理論Ⅰ</td><td colspan="4">動機づけ理論の内容理論について講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>組織行動の理論Ⅱ</td><td colspan="4">動機づけ理論のプロセス理論について講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>組織行動の理論Ⅲ</td><td colspan="4">リーダーシップの特性研究とスタイル研究について講義する</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						週	テーマ	学習内容				No1	組織行動の概念	「組織内の人間行動とは何か」について考察する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		No2	組織行動の理解	「組織がわれわれにとってどのように関係するか」について講義する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		No3	ミクロ組織論としての組織行動	組織内部における人間行動や集団行動についての組織理論の位置づけを考える。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		No4	人的資源アプローチと組織行動	人的資源としての観点と組織行動論が同の世に関係しているかについて考察する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		No5	組織行動の理論Ⅰ	動機づけ理論の内容理論について講義する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		No6	組織行動の理論Ⅱ	動機づけ理論のプロセス理論について講義する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分			組織行動の理論Ⅲ	リーダーシップの特性研究とスタイル研究について講義する										
週	テーマ	学習内容																																																																																																																							
No1	組織行動の概念	「組織内の人間行動とは何か」について考察する。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																					
No2	組織行動の理解	「組織がわれわれにとってどのように関係するか」について講義する。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																					
No3	ミクロ組織論としての組織行動	組織内部における人間行動や集団行動についての組織理論の位置づけを考える。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																					
No4	人的資源アプローチと組織行動	人的資源としての観点と組織行動論が同の世に関係しているかについて考察する。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																					
No5	組織行動の理論Ⅰ	動機づけ理論の内容理論について講義する。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																					
No6	組織行動の理論Ⅱ	動機づけ理論のプロセス理論について講義する。																																																																																																																							
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																					
	組織行動の理論Ⅲ	リーダーシップの特性研究とスタイル研究について講義する																																																																																																																							

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No8	組織行動の理論Ⅳ	リーダーシップのコンティンジェンシー理論について講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No9	組織行動の理論Ⅴ	リーダーの役割とコンフリクトについて考える。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No10	組織行動と集団	組織の集団と人間行動について講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No11	組織の職務デザイン	組織のミクロレベルにおける職務デザインを講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No12	組織行動と文化	組織文化と人間行動の関係について考察する。。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No13	組織行動と制度	組織行動を制度的観点から考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No14	組織とジェンダー	組織におけるジェンダー問題を中心にSDGsを考える。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、この授業の成果を総括すること	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営組織論Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Organization Theory II
担当教員	寺部 優
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	企業を取り巻く環境は、近年大きく変化しています。この環境の変化に対応するために、生産性・柔軟性の高い組織を構築しリテラシーの高い人材を育成することが必要です。すなわち人的資源を有効に管理し発展させることが、企業において求められています。 組織行動を理解し有効な人的管理を実践するためには、組織に関連する理論(すなわち経営学で学ぶことのできる知識)と実務(すなわち実際の企業で起きている現象)を結び付けて考察する能力が必要とされます。そこで本授業では「この組織に関連する理論と実務を結び付けて考察する能力を身につけること」を目標とします。
	用語と理論: 経営組織に関連する基礎的な用語が、説明できる。また経営学で学ぶことのできる基本的な理論やフレームワークが説明できる。

【到達目標】	実務:実際のビジネスの現象を、組織論の視点から整理して説明できる。 組織に関連する理論と実務を結び付けて考察する能力:授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。																																																																																																																																			
【履修条件・受講推奨者】	春学期に開講する「経営組織論Ⅰ」の応用となる科目です。 本科目の履修を希望する場合は、必ず「経営組織論Ⅰ」を履修してください。																																																																																																																																			
【教育方法】	講義と参加者とのディスカッション(議論)を中心に行います。																																																																																																																																			
【指定教科書・参考資料等】	教科書は稲葉祐之・井上達彦・鈴木隆太・山下勝(著)『キャリアで語る経営組織[第2版]—個人の論理と組織の論理—』有斐閣アルマ,2022年 参考書は、使用しません。																																																																																																																																			
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																												
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																														
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																																															
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。</td><td>40</td><td colspan="4" rowspan="4">受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。</td><td>20</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。</td><td>40</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。				授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。				20	授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。				40	合計				100%																																																																																										
評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																
組織論に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。																																																																																																																															
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から整理して説明できること。				20																																																																																																																																
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、組織論の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって整理し考察できること。				40																																																																																																																																
合計				100%																																																																																																																																
【その他の注意事項】	とくになし																																																																																																																																			
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="8">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス コンフリクト・マネジメント①</td><td colspan="8">授業の概要と評価方法、教科書、前期試験のふりかえり コンフリクトとは何か コンフリクトのプロセス</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>コンフリクト・マネジメント②</td><td colspan="8">コンフリクトのない集団はどのようにするのか コンフリクトとダイバシティ・マネジメント ディスカッション</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>組織デザイン①</td><td colspan="8">組織における分業 分業されたタスクの調整方法 ヒエラルキーの設計 ディスカッション</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>組織デザイン②</td><td colspan="8">追加的な調整手段 働く人々の視点 ディスカッション</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	ガイダンス コンフリクト・マネジメント①	授業の概要と評価方法、教科書、前期試験のふりかえり コンフリクトとは何か コンフリクトのプロセス								予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。						120	分	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分	No2	コンフリクト・マネジメント②	コンフリクトのない集団はどのようにするのか コンフリクトとダイバシティ・マネジメント ディスカッション								予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分	No3	組織デザイン①	組織における分業 分業されたタスクの調整方法 ヒエラルキーの設計 ディスカッション								予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分	No4	組織デザイン②	追加的な調整手段 働く人々の視点 ディスカッション								予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																		
No1	ガイダンス コンフリクト・マネジメント①	授業の概要と評価方法、教科書、前期試験のふりかえり コンフリクトとは何か コンフリクトのプロセス																																																																																																																																		
	予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。						120	分																																																																																																																											
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																																																																																																											
No2	コンフリクト・マネジメント②	コンフリクトのない集団はどのようにするのか コンフリクトとダイバシティ・マネジメント ディスカッション																																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分																																																																																																																											
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																																																																																																											
No3	組織デザイン①	組織における分業 分業されたタスクの調整方法 ヒエラルキーの設計 ディスカッション																																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分																																																																																																																											
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																																																																																																											
No4	組織デザイン②	追加的な調整手段 働く人々の視点 ディスカッション																																																																																																																																		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。						120	分																																																																																																																											
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。						120	分																																																																																																																											

【授業計画】

No5	環境のマネジメント①	環境とは 環境を見る視点-クローズドorオープン 制度・市場・利害関係者と企業 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No6	環境のマネジメント②	利害関係者との関係の生成因 内と外をつなぐ視点-クローズドbutオープン ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No7	一点突破と全面展開①	組織の改革 トップによる働きかけ ミドルによる試行錯誤 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No8	一点突破と全面展開②	トップがつくった舞台にミドルが立つ 環境変化のパターンと変革のスタイル ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No9	経営理念とビジネスシステム①	経営者のビジョンとリーダーシップ 経営者の役割とは何か ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No10	経営理念とビジネスシステム②	模倣からビジネスモデルを設計する 経営者を取り巻く利害関係者 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No11	アントレプレナーとエコシステム①	起業とアントレプレナー アントレプレナーの属性と機能 ベンチャー企業と外部 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No12	アントレプレナーとエコシステム②	多くの会社が存在する理由 大企業とベンチャー企業のドメイン スタートアップやベンチャーの生態系 ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分
	復習内容(時間)	授業で使用した教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
No13	経営にできること①	企業の長期的存続に必要なもの 企業から社会への働きかけ ディスカッション		
	予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通しておく。	120	分

		復習内容(時間)	授業で使用する教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No14	経営にできること②	事業による社会問題の解決 新たなステップへ ディスカッション		
		予習内容(時間)	授業で使用する教科書にあらかじめ目を通して置く。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使用する教科書を読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営戦略論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Strategic Management II
担当教員	寺部 優
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	現代社会はデジタル化、グローバル化が進み、企業を取り巻く環境は、めまぐるしく日々変化しています。この環境の変化に対応して成長するために、企業における経営戦略は、ますます重要な要素となっています。 経営戦略を策定し実行するには、経営戦略に関連する理論(すなわち経営学で学ぶことのできる知識)と実務(すなわち実際のビジネスで起きている現象)を結び付ける能力が必要とされます。そこで本授業では「経営戦略に関連する理論と実務を結び付ける能力を身につけること」を目標とします。
	用語と理論: 経営戦略に関連する基礎的な用語が、説明できる。また経営学で学ぶことのできる基本的な理論やフレームワークが説明できる。

【到達目標】	実務:実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できる。 経営戦略に関連する理論と実務を結び付ける能力:実際のビジネスの現象を基本的な理論やフレームワークをつかって分析できる。																																																																																		
【履修条件・受講推奨者】	春学期に開講する「経営戦略論Ⅰ」の履修者を対象とします。 「経営戦略論Ⅱ」の履修する場合は、「経営戦略論Ⅰ」の単位を修得してください。																																																																																		
【教育方法】	講義を中心に行います。また重要なテーマについては、参加者とディスカッション(議論)しながら進めます。																																																																																		
【指定教科書・参考資料等】	教科書は、使用しません。授業でプリントを配布します。 参考書は、マイケル・A・ヒット他著『戦略経営論 改訂新版』センゲージ ラーニング、2014年																																																																																		
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																														
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																													
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。</td><td>40%</td><td colspan="3" rowspan="4">受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。</td><td>20%</td></tr><tr><td colspan="4">授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法				経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40%	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。			授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。				20%	授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。				40%	合計				100%																																													
評価項目と割合				評価方法																																																																															
経営戦略に関連する基礎的な用語、授業で取りあげた基本的な理論やフレームワークについて、説明できること。				40%	受講態度20%、レポート40%、本試験40%を目安に、総合的な学習成果に基づいて評価します。																																																																														
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から整理して説明できること。				20%																																																																															
授業で取りあげた実際のビジネスの現象を、経営戦略の側面から、基本的な理論やフレームワークをつかって分析できること。				40%																																																																															
合計				100%																																																																															
【その他の注意事項】	とくになし																																																																																		
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td>授業の概要と評価方法について 教科書・参考書についてなど 前期の試験結果について</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>国際(グローバル)戦略①</td><td>国際戦略とは 事業単位の国際戦略 全社的な国際戦略</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>国際(グローバル)戦略②事例分析</td><td>参入形態 リスクと成果・課題 事例分析</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>協調戦略①</td><td>協調戦略とは 資本関係による分類 戦略領域による分類</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。</td><td>120</td><td>分</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>協調戦略の分類</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容				No1	ガイダンス	授業の概要と評価方法について 教科書・参考書についてなど 前期の試験結果について				予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。	120	分		復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分		No2	国際(グローバル)戦略①	国際戦略とは 事業単位の国際戦略 全社的な国際戦略				予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分		復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分		No3	国際(グローバル)戦略②事例分析	参入形態 リスクと成果・課題 事例分析				予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分		復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分		No4	協調戦略①	協調戦略とは 資本関係による分類 戦略領域による分類				予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分		復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分				協調戦略の分類			
週	テーマ	学習内容																																																																																	
No1	ガイダンス	授業の概要と評価方法について 教科書・参考書についてなど 前期の試験結果について																																																																																	
	予習内容(時間)	企業行動に関心をもち、ニュースや新聞に目を通しておく。必要に応じて記録をしておく。	120	分																																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																																															
No2	国際(グローバル)戦略①	国際戦略とは 事業単位の国際戦略 全社的な国際戦略																																																																																	
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分																																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																																															
No3	国際(グローバル)戦略②事例分析	参入形態 リスクと成果・課題 事例分析																																																																																	
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分																																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																																															
No4	協調戦略①	協調戦略とは 資本関係による分類 戦略領域による分類																																																																																	
	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分																																																																															
	復習内容(時間)	授業で使用したプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分																																																																															
		協調戦略の分類																																																																																	

【授業計画】		協調戦略②事例分析	分類のまとめ 事例分析		
	No5	予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No6	ネットワーク戦略①	ネットワーク戦略とは 垂直型ネットワーク組織 ハイテク産業のバーチャル組織		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No7	ネットワーク戦略②事例分析	垂直型ネットワーク組織 水平型ネットワーク組織 バーチャル組織		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No8	合併と買収戦略①	合併と買収(M&A)戦略とは 企業買収 事業再編		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No9	合併と買収戦略②事例分析	事例分析(1) 事例分析(2) 事例分析(3)		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No10	ビジネスモデル①	ビジネスモデルとは アプローチ方法 ビジネスモデルの創造サイクル		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No11	ビジネスモデル②事例分析	事例分析(1) 事例分析(2) まとめ		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No12	経営戦略のまとめ	戦略分析法(1) 戦略分析法(2) まとめ		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
	No13	戦略の策定と実行	ゼネラル・マネジャーの役割 マネジメント・サイクル ストラテジック・プランニング		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分
		企業と社会的責任	企業の社会的責任 SDGs		

	No14		まとめ		
		予習内容(時間)	授業で使用するプリントにあらかじめ目を通しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で使ったプリントを読み返して、知識の整理を行う。不明点や疑問点がある場合は、教員にメール等で確認する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営戦略論Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Strategic Management II
担当教員	小川 達也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	経営戦略に関する基礎的理論と実践的知識を修得し、現代企業が戦略を策定・実行する際に直面する諸課題についての洞察力を養います。授業では、時事問題や事例研究を適宜取り入れることで理論と実践のバランスを図り、経営戦略への理解を深められるように工夫します。第1回目の授業は、ガイダンスを行います。この科目の学び方や評価方法、注意事項など重要な内容を説明をしますので、必ず出席してください。 刻一刻と変化する企業・産業界の動向に関心を持ち、日頃から経済新聞や経済雑誌をよく読み、時事問題やトレンドの把握に努めましょう。
	用語の定義や概念を把握し、他の用語と混同しないように説明できること

【到達目標】	経営戦略の基礎的理論の定義や概念、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること							
【履修条件・受講推奨者】	この科目は、春学期開講の「経営戦略論Ⅰ」の単位修得者を対象に進めます。 「経営戦略論Ⅱ」を履修する場合は、まず「経営戦略論Ⅰ」の単位を修得してください。							
【教育方法】	授業は、パワーポイントを中心にプリントを併用しながら丁寧に進めます。 また、受講生一人ひとりの疑問や質問に向き合い、創造的でインタラクティブな授業を目指します。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書：岸川善光(著)『経営戦略要論』同文館出版、2006年 参考書：大滝精一ほか(著)『経営戦略—論理性・創造性・社会性の追求第3版』有斐閣アルマ、2016年							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	受講態度及び授業毎の課題コメントの提出			40%	成績は、受講態度及び課題コメント40%、本試験60%を目安に決定します。			
	専門用語を正しく理解し、事例を用いて説明できること			20%				
	経営戦略の理論と知識を広く理解し、応用して説明できること			40%				
	合計			100%				
【その他の注意事項】	授業中にスマートフォンやタブレットなどの電子デバイス類を授業目的外で使用することは、禁止します。 指示に従わない場合には、減点の上、欠席扱いとします。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	【重要】ガイダンス	授業の概要と評価方法、学び方、本試験の結果について					
		予習内容(時間)	時事問題やトレンドの把握(経済新聞・経済雑誌)				120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握(辞典・辞書)				120	分
	No2	競争優位の構築①	5つの競争要因					
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握				120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握				120	分
	No3	競争優位の構築②	競争優位の源泉とコア・コンピタンス経営					
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握				120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握				120	分
	No4	競争優位の構築③	知的財産権の役割と戦略的重要性					
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握				120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握				120	分
	No5	競争優位の構築④	商標権・意匠権を活用した戦略展開					
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握				120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握				120	分
	No6	競争優位の構築⑤	特許権を活用した戦略展開					
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No7	経営資源の展開①	経営戦略と経営資源の関係		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No8	経営資源の展開②	経営資源の蓄積と経験効果の戦略的活用		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No9	経営資源の展開③	PPM(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)の意義		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No10	経営資源の展開④	PPMの基本戦略とGEのビジネススクリーン		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No11	ドメインの意義①	ドメインの決定と効果		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No12	ドメインの意義②	ドメインの物理的定義と機能的定義		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No13	ドメインの意義③	ドメイン・コンセンサス		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No14	ドメインの意義④	ドメイン定義の次元とドメインの再定義		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	人的資源管理論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Human Resource Management Ⅱ
担当教員	洪 聖協
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本科目は、企業において労働力を有効利用するための基礎理論および制度を理解し、その社会的影響について考え、多様な雇用・労働問題の実態やその背景と取りうるべき解決策について理解することを目的としています。また、人的資源管理の基礎となる諸制度を紹介し、組織的成果を追究する上で、人をどうすればよりよく活かすことができるか、また人と人との関わりから生じる諸問題にどうすれば対処できるかについて、全般的知識を獲得することを目的とする。
	「従業員の採用・雇用調整」について理解し、説明ができるようにする。

【到達目標】	「従業員の配置と育成」について理 解し、説明ができるようにする。 「従業員能力の発揮と活用」について理解し、説明ができるようにする。「従業員の評価と処遇」について理解し、説明ができるようにする。							
【履修条件・受講推奨者】	必ず「人的資源管理論Ⅰ」と併せて履修するように。							
【教育方法】	本授業は、テーマに沿って、その内容を解説しながら問題に関して討論を行いながら授業を進める。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書：岩出博編著『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社資料等：毎回レジュメを配布。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合				評価方法			
	確認テストを行う。「従業員の採用・雇用調整」についてに関連する用語とその意味を答えられること。			30	①平常点15%（授業内課題提出）②中間テスト25% ③期末テスト60%			
	確認テストを行う。「従業員能力の発揮と活用」に関連する用語とその意味を答えられること。			30				
	確認テストを行う。「従業員の評価と処遇」に関連する用語とその意味を答えられること			40				
	合計			100%				
【その他の注意事項】	私語禁止。携帯使用禁止。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	講義の概要と評価方法など。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No2	現代の雇用問題	日本企業の雇用問題と何か					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No3	従業員の採用①	新規学卒採用の実際					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No4	従業員の採用②	新卒者の早期離職と雇用のミスマッチ					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No5	雇用調整	従業員の離職・退職と雇用調整					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること				120	分
	No6	従業員の配置と育成①	従業員の配置と人事異動。					
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No7	従業員の配置と育成②	教育訓練と能力開発		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No8	従業員能力の発揮と活用①	従業員業績の向上とモチベーション		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No9	従業員能力の発揮と活用②	職場管理者のリーダーシップ。		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No10	従業員能力の発揮と活用③	職場環境と能力発揮		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No11	評価と処遇①	人事評価とは何か		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No12	評価と処遇	年俸制の実際		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No13	評価と処遇③	成果主義の実際と今後の方向性		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分
	No14	総括・テスト	全体の総まとめ及び確認テスト		
		予習内容(時間)	毎回、事前にレジュメを配布するので事前学習をすること	120	分
		復習内容(時間)	毎回、授業が終わってから事後学習をすること	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	広告論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Principle of Advertising II
担当教員	荒井 誠
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	様々なブランディング戦略から、SNS時代のメディア戦略、さらに広告づくりに必要なネーミング／音楽／タレント／キャラクターなどを、実際の事例研究を通して学びます。春学期の広告論Ⅰを基礎編としての応用編となります。 春学期と同様に、実際に2回広告創作することを通し、広告創りの楽しさや難しさを体験します。 この科目で培われるコミュニケーション力は、将来、皆さんが広告業界と関らなくとも、社会人になり必ず役に立ちます。 長年広告ビジネスに携わっている広告マンならではの話も飛び出す授業です。
	広告の訴求力を高める様々な工夫やクリエイティブ力を理解する

【到達目標】	広告による企業の様々なブランディング戦略を理解する 広告づくりを通しコミュニケーション力を培う						
【履修条件・受講推奨者】	春学期「広告論Ⅰ」を基礎とする応用編ですので、「広告論Ⅰ」からの受講を勧めます。						
【教育方法】	身近な話題や広告を紹介します。毎回提出してもらうレポートの質問やコメントを、翌週の授業で取り上げます。実際に2回創作してもらう皆さんの広告も、授業内で取り上げ受講生とシェアし、コメントを加えます。						
【指定教科書・参考資料等】	授業の際に使用する特定の教材はありません。来館を推奨する施設は「アドミュージアム東京」@汐留です。江戸時代から現代の広告や、海外で注目されている広告も閲覧することができます。						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力	○	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法			
	出席時の受講態度と毎回のレポートにより授業の理解度を評価		50	各授業後のレポート、2回取り組む広告創作、期末に実施する試験かテストレポートにより総合評価			
	2回の広告創作の提出と、それに取り組んだ意欲／姿勢を評価		25				
	広告論を通し、自身の生活に役立つことを如何に会得したかを評価		25				
	合計		100%				
【その他の注意事項】	コースパワーへの出席登録に加え、毎回授業後に提出するレポートより授業への取り組み姿勢を評価しますので、集中した授業への取組と十分な復習とレポート作成が必要です。						
	週	テーマ	学習内容				
	No1	広告の基礎 広告論Ⅰのレビュー	春学期の「広告論Ⅰ」のレビューを通し、広告の基礎を理解する。				
		予習内容(時間)	広告論Ⅰで学んだ内容をレビューしてください。				120分
		復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。				120分
	No2	企業が活用するトリプル(3つの)メディア	インターネットが普及した環境において、企業は3つのメディアを活用している。従来の広告メディア、自社のホームページなどのオウンドメディア、そして生活者やステークホルダーからの好意度を獲得するアードメディアである。それぞれの特徴について理解する。				
		予習内容(時間)	企業の展開するSNS施策で注目する事例を調べてください。				120分
		復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。				120分
	No3	広告主に対する広告会社の役割と広告ビジネスの流れ	広告主と広告会社、広告制作会社、媒体社がどのようなビジネスの流れで業務を進めているか、契約内容はどのようにになっているかを理解する。				
		予習内容(時間)	広告論Ⅰで学んだ広告のオリエンとプレゼンの流れについてレビューしてください。				120分
		復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。				120分
	No4	ブランディング戦略① 商品／事業のブランド展開(サブブランド／PB)	広告論Ⅰで理解したブランディングの基本をベースに、5回にわたり「ブランディング戦略」を掘り下げていく。まず、商品や事業のブランド展開の全体を理解するとともに、サブブランドやプライベートブランド／PBIについて理解する。				
		予習内容(時間)	コンビニなどで注目するプライベートブランドの事例を調べてください。				120分
		復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。				120分
		ブランディング戦略② ブランドの再生 企業	評価の落ちたブランドを再生する(リブランディング)するための戦略について、実際の再生事例とともに理解する。企業自身のブランディングのひとつとしても重要である。企業の社会的責任／CSR(Corporate Social				

【授業計画】

No5	業の社会的責任 (CSR)	Responsibility)について理解する。		
	予習内容(時間)	企業のブランド再生について成功事例を調べてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No6	ブランディング戦略 ③ ブランド価値の測り方	企業価値を評価する際のブランド資産／ブランドエクイティについて、その重要性和評価基準について理解する。		
	予習内容(時間)	ブランドの価値をどのように測るか、考えてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No7	ブランディング戦略 ④ 企業の様々なブランディング戦略の研究	様々な企業がそれぞれの業種において、独自性を発揮するために特徴を活かしたブランディング戦略を展開している。多くの企業の実例を分析しながら、成功の秘訣を紐解き理解する。		
	予習内容(時間)	企業のブランディング戦略で注目する事例を調べてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No8	ブランディング戦略 ⑤ スポーツを利用したブランディング	スポーツブランディングの2つの取組を理解する。 スポーツ用品やスポーツ競技、その施設などを広告していくものと、スポーツ競技のイベントのスポンサーシップやアスリート達を広告に起用するなどによって、企業の商品やサービスを広告していくもの。		
	予習内容(時間)	スポーツを活用したブランディングで注目する事例を調べてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No9	広告における商品やサービスの「ネーミング」の力	商品やサービスの特徴をターゲットにアトラクティブに訴求するために、その商品やサービスの名称を創る(ネーミング)ことが重要であることを理解する。 ネーミングによって注目を浴び売り上げを伸ばしたケースや、名称を変更したことによってブランド再生に繋げた商品や企業の事例を参考にする。		
	予習内容(時間)	商品のネーミングで好きなもの嫌いなものをあげ、その理由を考えてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No10	広告で起用する「タレント／キャラクター」の力	多くの広告でタレントやキャラクターを起用している。タレントやキャラクターを、広告のシチュエーションにおいてどのような役割として使っているかなど、それらの活かし方について理解する。 さらに、タレントやキャラクターを起用する際の、メリットやデメリットについても理解する。		
	予習内容(時間)	タレント／キャラクターを広告でどのように活用するか、考えてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No11	今年の①ヒット商品②流行語大賞③漢字の予想と分析	年末の恒例となってきた、今年のヒット商品や流行語大賞、今年の漢字を取り上げ、その流行りの背景にあるライフスタイルの変化や新たな価値観の兆しなど、時流を探る。 広告コミュニケーションを制作する上で、日頃より世の中の関心事やトレンドウォッチする重要性を理解する。		
	予習内容(時間)	今年の流行語大賞、今年の漢字を予想してみてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No12	広告に欠かせない「サウンド／音楽」の力	広告論Ⅰで扱った、広告表現における3つの力(言語／視覚／聴覚)の「聴覚」に着目し「サウンド／音楽」の力を取り上げる。ほとんどの動画やラジオ広告において、何らかの音響効果やBGM、コマーシャルソングなどを採用している。その多岐に渡る「サウンド／音楽」をカテゴリー別に整理し、その効果を理解する。		
	予習内容(時間)	コマーシャルソングで好きなもの嫌いなものをあげ、その理由を考えてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No13	企業や自治体にとっての広報／PR戦略の研究	広告と同様に企業や自治体にとって重要な「広報／PR」について、広告との違いとともに、広報／PR戦略の役割を理解する。 広報とPRの共通する部分と異なる側面についても理解する。		
	予習内容(時間)	広告と広報の違いを考えてください。	120	分
	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分
No14	様々な広告・プロモーション展開の事例分析	企業は常に世の中の動きを敏感に察知し、生活者に対し訴求力のある広告やプロモーションをタイムリーに展開している。その様々な事例を分析することで、広告だけでなく日頃のコミュニケーションでも活用できるヒントを発見する。		
	予習内容(時間)	成功する広告・プロモーション施策の理由を考えてください。	120	分

	復習内容(時間)	授業後に送るポイントを復習し、自身のコメントをレポートで提出してください。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	広告論Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Principle of Advertising II
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この講義では、私たちの身近にある広告を理論的、実践的に研究することを目的とする。広告を行う企業の立場だけでなく、広告会社に代表される広告業界の動向や広告の受け手である消費者を含めた幅広い視点に立って、広告についての知識を学ぶ。テキストだけでなく、実際に行われた広告活動を取り上げることで、企業活動や社会の仕組みについても考察する。
【到達目標】	広告関連の専門用語を理解し、正しく使えるようになる。 広告と社会やビジネス活動との関係性を理解して、広告の可能性や問題点について議論できる。

	広告を含むマーケティング・コミュニケーションの役割を理解して、簡単な広告計画立案ができるようになる。									
【履修条件・受講推奨者】	マーケティング論、消費者行動論、流通論などの関連領域に興味があること。									
【教育方法】	教科書の内容理解を中心として、実例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。									
【指定教科書・参考資料等】	嶋村和恵監修『新しい広告』(電通)、その他授業中に指示する。									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		○	
	協働力		主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	期末試験	75		期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。						
	授業内容についてのレポート	15								
	授業への参加確認	10								
	合計	100%								
【その他の注意事項】										
	週	テーマ		学習内容						
	No1	ガイダンス		授業の進め方、広告論で学ぶことについて社会的な背景と関連領域との関連性について説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	
		復習内容(時間)		授業の振り返り				120	分	
	No2	インターネットメディア(1)		インターネットなどのデジタルメディアやソーシャルメディアについて説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	
		復習内容(時間)		授業の振り返り				120	分	
	No3	インターネットメディア(2)		インターネットなどのデジタルメディアやソーシャルメディアについて説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	
		復習内容(時間)		授業の振り返り				120	分	
	No4	広報、パブリシティ、企業広告		広報、企業広告、CSRなどの企業のコーポレートコミュニケーション活動について説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	
		復習内容(時間)		授業の振り返り				120	分	
	No5	広告効果測定(1)		広告効果測定の目的と実施について説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	
		復習内容(時間)		授業の振り返り				120	分	
	No6	広告効果測定(2)		広告効果測定の目的と実施について説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	
		復習内容(時間)		授業の振り返り				120	分	
	No7	広告およびプロモーションに関する規制(1)		広告におけるルール、法規制、自主規制について説明する。						
		予習内容(時間)		教科書などの予習				120	分	

【授業計画】		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No8	広告およびプロモーションに関する規制(2)	広告におけるルール、法規制、自主規制について説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No9	広告およびプロモーションに関する規制(3)	広告におけるルール、法規制、自主規制について説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No10	広告・プロモーションの社会的役割について(1)	広告やプロモーション活動が社会に与える影響を倫理的側面や経済的側面から説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No11	広告・プロモーションの社会的役割について(2)	広告やプロモーション活動が社会に与える影響を倫理的側面や経済的側面から説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No12	事例研究	広告と社会の関わりや有名な事例について議論する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No13	広告活動の最前線(1)	動画などの資料による講義をする。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No14	広告活動の最前線(2)	動画などの資料による講義をする。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping II
担当教員	北井 不二男
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	簿記は企業の日常の経済活動を記録し、その結果を整理して報告するための技術であり、今日では必須のビジネススキルの一つとなっている。本講義は、入門簿記Ⅰで学習した内容を基礎とし、さらに進んだ取引の会計処理を扱う。講義は毎時間、テーマを決めて解説を行い、それに沿った問題演習を実施する。
【到達目標】	商品売買、固定資産、債権・債務等の初取引について、適切な勘定科目および金額による処理ができること。 株式の発行、税金の処理等、株式会社の会計処理を理解していること。

	決算整理の必要性和処理方法を理解し、8桁精算表の作成ができること。										
【履修条件・受講推奨者】	入門簿記Ⅰの単位認定を受けていることが望ましい。復習を徹底して行うことが求められる。欠席しないことが前提である。										
【教育方法】	授業内容に即したプリント教材を毎回配布、講義を実施し、理解の確認と定着のため演習と解説を行う。										
【指定教科書・参考資料等】	市販の教材は使用しない。毎時間プリントを配布する。A4サイズのポケットファイルを用意すること。										
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		○		
	協働力		主張力		創造力						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法								
	授業中のテスト	20%	授業中のテストと本試験の点数で評価する。質問・積極的な発言については加点する。								
	本試験	80%									
	質問・発言等	加点									
	合計	100%									
【その他の注意事項】	計算専用の電卓(できれば12桁のもの)を用意すること。										
【授業計画】	週	テーマ		学習内容							
	No1	簿記一巡の復習		入門簿記Ⅰの復習							
		予習内容(時間)		入門簿記Ⅰの教材の再確認					120		分
		復習内容(時間)		配布資料・演習の確認					120		分
	No2	商品売買		返品処理、諸掛りの処理、内金の処理							
		予習内容(時間)		事前配布資料を熟読しておくこと。					120		分
		復習内容(時間)		配付演習問題を再確認すること。					120		分
	No3	売上原価の計算(1)		売上原価と売上総利益の計算							
		予習内容(時間)		事前配布資料を熟読しておくこと。					120		分
		復習内容(時間)		配付演習問題を再確認すること。					120		分
	No4	売上原価の計算(2)		仕入勘定口座での売上原価の計算							
		予習内容(時間)		事前配布資料を熟読しておくこと。					120		分
		復習内容(時間)		配付演習問題を再確認すること。					120		分
	No5	商品売買総合演習		商品に関する取引の仕訳、計算の総合演習							
		予習内容(時間)		事前配布資料を熟読しておくこと。					120		分
		復習内容(時間)		配付演習問題を再確認すること。					120		分
	No6	クレジット売掛金、電子債権・債務		クレジット売掛金、電子債権・債務の仕組みと記帳							
		予習内容(時間)		事前配布資料を熟読しておくこと。					120		分
		復習内容(時間)		配付演習問題を再確認すること。					120		分
	No7	その他の債権・債務		未収入金・未払金、立替金・預り金、仮払金・仮受金、差入保証金の記帳							
		予習内容(時間)		事前配布資料を熟読しておくこと。					120		分
		復習内容(時間)		配付演習問題を再確認すること。					120		分

	No8	固定資産(1)	固定資産の定義と種類、取得時の処理、改良と修繕、減価償却		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分
	No9	固定資産(2)	売却時の処理		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分
	No10	収益と費用	前受収益・前払費用、未収収益・未払費用		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分
	No11	税金の処理	租税公課、法人税等、消費税		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分
	No12	株式会社の資本	株式の発行、剰余金の配当		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分
	No13	8桁精算表の作成	決算整理、8桁精算表の作成		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分
	No14	まとめと総復習	これまでの総復習		
		予習内容(時間)	事前配布資料を熟読しておくこと。	120	分
		復習内容(時間)	配付演習問題を再確認すること。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping II
担当教員	鶴岡 清司
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	簿記は企業活動を、記録、計算、整理するための技術であり、財務諸表を作成するための手段であるといわれています。 入門簿記Ⅱでは入門簿記Ⅰに引き続き、簿記の基礎を学びます。 具体的には、諸帳簿の内容理解、試算表の作成、決算整理事項から財務諸表を作成することが中心課題となります。
【到達目標】	個人企業の決算終了までの一巡の流れが理解できる。 実務的には、所得税の事業所得の計算に必要な損益計算書・貸借対照表が作れる。

	資格取得の観点では、簿記3級の合格レベルに到達する。													
【履修条件・受講推奨者】	入門簿記Ⅰとの連続履修が望ましい。													
【教育方法】	「わかる」から「できる」までにひきあげる。 講義・演習をテーマごとに実施する。格言「習うより慣れろ」という気持ちで。													
【指定教科書・参考資料等】	指定教科書: 滝澤ななみ 著 スッキリわかる日商簿記3級 第14版 TAC出版 そして計算用具の電卓も													
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力		○		
	協働力			主張力			創造力							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法									
	定期試験		80%		設問に対する解答の出来具合で評価します。									
	中間試験		20%											
	合計		100%											
【その他の注意事項】	単位認定条件として最低3分の2は出席して、講義内容の理解に取り励むこと。ただ出席しただけでは、単位認定には至りませんので注意してください。													
	週	テーマ			学習内容									
	No1	前期の総復習			期中の会計処理を速習で確認します。									
		予習内容(時間)			第10章までの会計処理を復習しておくこと。								120	分
		復習内容(時間)			確実に期中の取引の仕訳ができるようにすること。								120	分
	No2	第11章有形固定資産と減価償却 ケース63～65			長期に使う店舗などは価値がだんだん減っていく。その処理についてみていきましょう。取得した時や決算時									
		予習内容(時間)			第11章を精読してくること。								120	分
		復習内容(時間)			第11章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。								120	分
	No3	第11章有形固定資産と減価償却 ケース66～67			長期に使う店舗などは価値がだんだん減っていく。その処理についてみていきましょう。期中に売却した時									
		予習内容(時間)			第11章を精読してくること。								120	分
		復習内容(時間)			第11章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。								120	分
	No4	第12章株式の発行、剰余金の配当と処分			株式会社を設立しようと思ったら株式の発行、利益が出たら配当…株式会社会計について概略をみていきましょう。									
		予習内容(時間)			第12章を精読してくること。								120	分
		復習内容(時間)			第12章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。								120	分
	No5	第13章法人税と消費税			法人税や消費税の会計処理についてみていきましょう。									
		予習内容(時間)			第13章を精読してくること。								120	分
		復習内容(時間)			第13章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。								120	分
	No6	第14章費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収 ケース78～81			会計期間と、例えば保険料の計算期間がずれていた場合、どのように調整すればよいかみていきましょう。前払い・未払いの場合									
		予習内容(時間)			第14章を精読してくること。								120	分
		復習内容(時間)			第14章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。								120	分

【授業計画】

No7	第14章費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収 ケース82～85	会計期間と、例えば保険料の計算期間がずれていた場合、どのように調整すればよいかみていきましょう。前受け・未収の場合		
	予習内容(時間)	第14章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第14章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No8	第15章帳簿への記入 ケース94・87・88・89	帳簿の種類や、取引をどの帳簿に記録するのかについてみていきましょう。		
	予習内容(時間)	第15章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第15章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No9	第15章帳簿への記入 ケース90・91・92・93	具体的な帳簿記入方法についてみていきます。商品有高帳を中心にみていきます。		
	予習内容(時間)	第15章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第15章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No10	第16章試算表	日常の取引の仕訳、転記後何をすべきかについて見ていきましょう。試算表の作成は決算の大前提にもなります。		
	予習内容(時間)	第16章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第16章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No11	第17章伝票	仕訳をする代わりに伝票記入で代用するやり方について見ていきましょう。		
	予習内容(時間)	第17章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第17章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No12	第18章精算表と財務諸表	いよいよ集大成の財務諸表の作成です。その簡便処理の精算表についてみていきましょう。		
	予習内容(時間)	第18章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第18章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No13	第18章精算表と財務諸表	いよいよ集大成の財務諸表の作成です。損益計算書・貸借対照表についてみていきましょう。		
	予習内容(時間)	第18章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第18章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分
No14	第19章帳簿の締め切り	簿記は、帳簿記入の略称とも言えます。会計年度末の帳簿の締め切り方についてみていきましょう。		
	予習内容(時間)	第19章を精読してくる。	120	分
	復習内容(時間)	第19章の練習問題を迅速に正解できるまで取り組むこと。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記Ⅱ BE-N
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping II
担当教員	福山 倫基
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	簿記は、企業の日常の経済活動を記録し、その結果を整理して報告するための技術であり、今日では必須のビジネススキルの一つとなっている。本講義は、特に財務諸表作成の一連の手続きを理解することを最たる目的としている。さらに、仕訳を行う過程には、社会人基礎力に求められる批判的思考を育成する手続きが含まれている。仕訳の手続きを、グループワークなどを通して、グループメンバーと協力しながら解を導出する訓練を行う。単に、簿記に関する知識や技能を習得するだけでなく、今後の大学における学習を行う上での必要な学習方法や問題解決能力を育んで頂ければ幸いである。
	期中取引の処理ができること

【到達目標】	8桁精算表を作成できること 検定範囲改定に伴う追加された取引に関する理解							
【履修条件・受講推奨者】	講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力	○	主張力		創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合				評価方法			
	中間テスト		20%		左記を合算して評価する。			
	期末試験		70%					
	会計教育に関するアンケート		10%					
	合計		100%					
【その他の留意事項】	他者に迷惑となる行為（私語等）は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス・簿記一巡の復習	前期講義の復習を行うこと並びに講義の進め方および成績評価方法についての説明、大学における経営科目の学習の意義や会計を学ぶ意義、並びに簿記の目的・意義なども併せて講義する。初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。					
		予習内容(時間)	前期学修した内容の復習				120	分
		復習内容(時間)	ガイダンス聴講後、今一度前期内容の見直し				120	分
	No2	商品売買取引の復習	前期学修した商品売買取引に関する仕訳などを復習する。簿記を学習するにあたり商品売買取引は最も基礎となる部分になるため、2回目の講義についていけない学生は必ず時間をかけて復習すること。					
		予習内容(時間)	商品売買取引に関する講義の見直し				120	分
		復習内容(時間)	人により異なる				120	分
	No3	債権債務(1)	商品売買取引に関連する債権債務である手形取引・掛取引について学習する。債権債務に関連する勘定科目は対象の取引ごとに異なるため、こういったケースの場合、どの勘定科目を使えばいいかをきちんと理解すること。					
		予習内容(時間)	前回の復習				120	分
		復習内容(時間)	講義中にノートした内容をまとめる				120	分
	No4	債権債務(2)	金銭貸借取引・利息の計算を学習する。お金の貸し借りに関連する債権債務は必ず利息が付随する。利息計算の手法など関連の知識をきちんと説明すること。					
		予習内容(時間)	前回の復習				120	分
		復習内容(時間)	講義時間中に覚えるべきと共著した部分をまとめる				120	分
		債権債務(3)	未収金・未払金・仮払金・仮受金・立替金・預り金について学習する。それぞれ使われるケースとの関連を理解すること。					

【授業計画】

No5	予習内容(時間)	前回の復習	120	分
	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
No6	固定資産	固定資産の購入から除却・売却まで、固定資産に関連する仕訳を学習する。特に、固定資産の場合利用に応じて価値が下がる部分を計算で金額評価する手続きである減価償却費の計算が苦手な学生が毎年出てくるため、演習を通してきちんと理解すること。		
	予習内容(時間)	前回の復習	120	分
	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
No7	追加論点	差入保証金、電子記録債権債務、クレジット売掛金などの、2018年度以降、日商簿記検定の試験範囲改定に伴い新しく追加された論点に関する仕訳を学習していく。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	今回講義の復習	120	分
No8	中間テスト前の振り返り	次回実施する中間試験のため、この講義回までに行った各種取引の論点をもう一度復習する。これまでの講義で理解ができなかった点を質問できるように準備しておくこと。		
	予習内容(時間)	講義中に質問するための内容をまとめておく	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No9	中間テスト	これまでの講義に関連する試験を実施する。		
	予習内容(時間)	中間試験のためにこれまでの講義で行った演習を復習	300	分
	復習内容(時間)	中間試験の振り返り	120	分
No10	資本・税金	資本金、引当金、税金取引に関連する講義を行う。学生にはなじみがない取引を仕訳するため、講義の演習を通してきちんと理解すること。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No11	決算(1)	決算手続きの一連の流れ、決算整理仕訳の一部を学習する。これ以降の講義を連続的に受講することにより、入門簿記の最大の目的である基本財務諸表である貸借対照表・損益計算書を作成できるようになるため、毎回の講義をきちんと受講することももちろん、演習もきちんと行うこと。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No12	決算(2)	決算整理仕訳の様々を学習する。決算整理仕訳は限られたことしか行わないため、どういう手続きなのか、なぜそれを行うのか、仕訳ではどのように記録するのかを理解すること。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
No13	決算(3)	資格試験的な決算整理手続きのすべてを講義する。資料や解答用紙のどこを読み取れば解答を作成できるかなど、簡単に作成するためのテクニックすべてを講義するため、集中して講義を受講すること。		
	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
	復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
	前期・後期総まとめ	前期・講義を通して学習した簿記の内容を一通り復習する。期末試験の勉強にもなるため、どの部分を復習すればいいか確認すること。		

	No14	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	200	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	200	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	入門簿記Ⅱ BE-P
講義名(英字)	Elementary Bookkeeping II
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本講義は原則として、「入門簿記Ⅰ」を履修済みのもの、あるいは高等学校在学時にすでに簿記の学修を経験済みのものを対象としている。学習範囲は日商簿記検定3級程度の商業簿記を想定している。 春(前)期の「入門簿記Ⅰ」において簿記の基本を習得していることを前提として、貸倒れや減価償却といった個別論点について学習し、8桁精算表および財務諸表の作成までの簿記一巡の手続きを習得する。
	【複式簿記の基礎的な専門用語を正しく理解し、説明できる】 簿記の意義、簿記の種類、簿記に関連する用語を答えられること。

【到達目標】	【日々の取引を仕訳できる】 各種個別論点について取引の内容を仕訳で示すことができること。 【決算整理事項を理解し、財務諸表を作成できる】 決算整理事項の内容を理解し、収益および費用の見越しや繰延べを含んだ決算整理手続きができ、8桁精算表および財務諸表が作成できること。																																																																																																						
【履修条件・受講推奨者】	簿記は、講義を聴くのみではなく、自らが記帳練習を行い、継続的な努力を基に身につけ修得する学問である。よって、講義のみならず自ら電卓を用い復習を行い真面目に勉強することを望む。 なお、講義の特性上、欠席が多いとついていけないため、基本的には全講義出席することが望ましい。 また、「入門簿記Ⅰ」をすでに履修済みか同程度の知識を有することを履修の条件とする。																																																																																																						
【教育方法】	以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。必要に応じて講義内で演習問題を解いてもらい、解答・解説を行う。 毎回、授業のテーマごとに教科書の章末問題を課題として出し、次の回到復習および課題の解答・解説を行って、知識の定着を図る。																																																																																																						
【指定教科書・参考資料等】	伊藤龍峰ほか著『基本簿記原理』中央経済社(税込¥2,240)																																																																																																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力																																																																																			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																	
協働力		主張力		創造力																																																																																																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="3">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>複式簿記の基礎的な専門用語を正しく理解し、説明できる</td><td>20%</td><td></td><td colspan="4" rowspan="4">授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。</td></tr><tr><td>日々の取引を仕訳できる</td><td>50%</td><td></td></tr><tr><td>決算整理事項を理解し、財務諸表を作成できる</td><td>30%</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				複式簿記の基礎的な専門用語を正しく理解し、説明できる	20%		授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。				日々の取引を仕訳できる	50%		決算整理事項を理解し、財務諸表を作成できる	30%		合計	100%																																																																										
評価項目と割合			評価方法																																																																																																				
複式簿記の基礎的な専門用語を正しく理解し、説明できる	20%		授業中に行う小テスト(30%)および本試験(70%)により、総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる要件となる。																																																																																																				
日々の取引を仕訳できる	50%																																																																																																						
決算整理事項を理解し、財務諸表を作成できる	30%																																																																																																						
合計	100%																																																																																																						
【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。 なお、受講の際には電卓(12桁以上)を準備のこと。算盤でもかまわない。中間テストおよび本試験の際には、携帯電話、電子辞書、PC、その他電子機器に内蔵されている電卓の使用は一切禁止するので気をつけること。																																																																																																						
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td>講義の進め方、成績評価方法等についての説明、「入門簿記Ⅰ」の復習</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>その他債権・債務</td><td>債権・債務とは、借入金と貸付金、未収入金と未払金、仮払金と仮受金、前払金と前受金、立替金と預り金、差入保証金について</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>手形</td><td>手形とは、約束手形の処理、手形記入帳、手形による借入れと貸付け、電子記録債権・電子記録債務について</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>貸倒れと貸倒引当金</td><td>貸倒れとは、貸倒れの見積り、差額補充法について</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。</td><td>180</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="2">No5</td><td>固定資産と減価償却</td><td>有形固定資産の取得と売却、減価償却、固定資産台帳について</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。</td><td>60</td><td>分</td><td colspan="2"></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	ガイダンス	講義の進め方、成績評価方法等についての説明、「入門簿記Ⅰ」の復習					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分			復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分			No2	その他債権・債務	債権・債務とは、借入金と貸付金、未収入金と未払金、仮払金と仮受金、前払金と前受金、立替金と預り金、差入保証金について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分			復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分			No3	手形	手形とは、約束手形の処理、手形記入帳、手形による借入れと貸付け、電子記録債権・電子記録債務について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分			復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分			No4	貸倒れと貸倒引当金	貸倒れとは、貸倒れの見積り、差額補充法について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分			復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分			No5	固定資産と減価償却	有形固定資産の取得と売却、減価償却、固定資産台帳について					予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分		
週	テーマ	学習内容																																																																																																					
No1	ガイダンス	講義の進め方、成績評価方法等についての説明、「入門簿記Ⅰ」の復習																																																																																																					
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分																																																																																																			
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分																																																																																																			
No2	その他債権・債務	債権・債務とは、借入金と貸付金、未収入金と未払金、仮払金と仮受金、前払金と前受金、立替金と預り金、差入保証金について																																																																																																					
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分																																																																																																			
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分																																																																																																			
No3	手形	手形とは、約束手形の処理、手形記入帳、手形による借入れと貸付け、電子記録債権・電子記録債務について																																																																																																					
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分																																																																																																			
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分																																																																																																			
No4	貸倒れと貸倒引当金	貸倒れとは、貸倒れの見積り、差額補充法について																																																																																																					
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分																																																																																																			
	復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分																																																																																																			
No5	固定資産と減価償却	有形固定資産の取得と売却、減価償却、固定資産台帳について																																																																																																					
	予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分																																																																																																			

【授業計画】		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No6	伝票会計	三伝票制、仕訳日計表の作成、伝票からの転記について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No7	資本会計	株式の発行、利益剰余金勘定と当期純利益の振替え、配当について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No8	税金会計	租税公課、法人税、住民税及び事業税、中間申告、消費税について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No9	小テスト	第1回から第8回までの小括		
		予習内容(時間)	第1回から第8回までの復習をする。	120	分
		復習内容(時間)	小テストの内容について質問事項や不明点をまとめる。	120	分
	No10	収益と費用(1)	諸会費勘定、収益および費用の見越し(未収収益、未払費用)について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No11	収益と費用(2)	収益および費用の繰延べ(前受収益、前払費用)、消耗品と貯蔵品について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No12	決算Ⅱ(1)簿記一巡の手続きと試算表の作成	簿記一巡の手続きと決算、試算表の種類と作成の復習、棚卸表、8桁精算表の構造について		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No13	決算Ⅱ(2)8桁精算表の仕組みと作成	決算整理と8桁精算表の作成(演習)		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。質問事項や不明点をまとめる。	180	分
	No14	決算Ⅱ(3)財務諸表の作成	財務諸表の作成と総復習		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	指示された課題を解く。本試験に備えて不明点をなくす。	180	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	環境経営学 BE-K
講義名(英字)	Environmental Management
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	今、社会では、経済活動と持続可能な未来づくりの両立が求められています。気候変動への対策、汚染問題の解決、限りある資源の有効活用、など重要課題が山積しています。 本講義では、持続可能な未来づくりに必要な基本的な知識を学び、ビジネスへの実装の具体例を学びます。それらを踏まえて、実際のビジネスプランを立案していただきます。
【到達目標】	気候変動、エネルギー問題など、環境経営を考えるうえで必要な基本的な知識を学ぶ。 環境に配慮した様々なビジネスについての実際を学ぶ。 社会の抱える環境的な課題に対して、それが解決できるような具体策を考えることができる。
【履修条件・受講推奨者】	SDGsなど環境問題に興味があり、グループワークに取り組める皆さんの参加をお待ちします。

【教育方法】	講義＋ワークショップ									
【指定教科書・参考資料等】	特になし									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力		創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	定期試験		70%	定期試験とグループワークへの取り組み状況の総合評価となります。						
	グループワークへの取り組み状況		30%							
	合計		100%							
【その他の注意事項】										
	週	テーマ	学習内容							
	No1	ガイダンス・環境経営とは	本講義のガイダンス。 今なぜ環境経営が求められているか、また環境経営とは何かについて考察する。 【キーワード】 企業価値 競争力 消費者の意識							
		予習内容(時間)	環境経営が今の社会で求められる背景の考察						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No2	持続可能な社会づくりに向けて	いま、各企業は持続可能な社会づくりのために様々な取り組みを進めている。それは単一企業の取り組みだけでなく、そのような産業システムの構築を行っている。そのシステムを事例を通じて考察する。 ・グリーン投資/ESG投資 ・農業と水資源 ・フェアトレード ・困窮者							
		予習内容(時間)	グリーン投資とフェアトレードについての下調べ						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No3	ESG経営の現状と課題	環境に配慮した経営は、Environment、Social、Governanceの頭文字をとってESG経営と呼ばれている。本時はそれぞれの項目、「環境問題」、「社会課題の解決」、「企業統治」の解説を行い、ESG経営を実践している企業の現状と課題について考察する。							
		予習内容(時間)	ESGについての下調べ						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No4	気候変動と社会	気候変動が発生するメカニズムと、気候が変動が社会にどのような変化をもたらすかをふまえ、それによって産業にどのような影響があるかを考察する。							
		予習内容(時間)	気候変動についての下調べ						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No5	脱炭素社会に向けて①	クリーンエネルギー・代替エネルギーの技術と現状について考察する。 ・風力、太陽光、バイオマスなど様々な代替発電 ・水素エネルギーは環境の救世主か							
		予習内容(時間)	クリーンエネルギー・代替エネルギーに関する下調べ						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No6	脱炭素社会に向けて②	脱炭素社会に向けての企業の様々な取り組みの事例を考察する。 ・EV(電気自動車)の現在と未来 ・省エネルギー技術							
		予習内容(時間)	EVについての下調べを行う。						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分

【授業計画】

No7	公害と廃棄物問題	産業発展の陰には公害問題が ・四大公害病など、公害問題 ・さまざまな排出物の環境への影響 ・これから起こりうる新たな「公害問題」		
	予習内容(時間)	四台公害病についての下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No8	ゼロエミッション社会に向けて①	ゼロエミッション社会を実現するための諸問題を考察する。 ・廃棄食品 ・産業廃棄物 ・海洋プラスチック汚染 ・都市鉱山		
	予習内容(時間)	ゼロエミッション企業についての下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	ゼロエミッション社会に向けて②	ゼロエミッション社会に向けての企業の様々な取り組みを紹介する。 ・リサイクルと産業 ・リユースと産業 ・アップサイクルと産業		
	予習内容(時間)	リサイクル、リユース企業についての下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	環境アセスメント	土木、建築、施設運営などいくつかの業種には、事業開始・継続のために環境アセスメントが義務付けられている。何を、どう評価するかについて学習する。		
	予習内容(時間)	施設建設をめぐる手続きについての下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No11	最先端のESG経営企業	ESG経営の最先端のトレンドについて、さまざまな事例を取り上げ考察する。(取り上げる企業は講義時の最新事例) 環境分野 企業の社会責任分野 ガバナンス分野		
	予習内容(時間)	ESG経営の事例についての下調べ	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No12	ワークショップ①「ESGビジネスコンテスト」チームビルディング	本講義の参加者による「ESGビジネスコンテスト」を実施。本時はアイデアソンからチーム作り、そしてビジネスアイデアの概要作成までを実施。		
	予習内容(時間)	ESGビジネスの発案	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No13	ワークショップ②「ESGビジネスコンテスト」資料作成	チームごとに「ESGビジネスコンテスト」のビジネスプランの作成を行う。		
	予習内容(時間)	資料作成の準備	120	分
	復習内容(時間)	資料の完成	120	分
No14	ワークショップ③「ESGビジネスコンテスト」発表会	チームごとにビジネスプランのプレゼンテーションを行う。		
	予習内容(時間)	発表資料の準備。リハーサル	120	分
	復習内容(時間)	発表の振り返り	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	経営倫理 BE-K
講義名(英字)	Management & Ethics
担当教員	高橋 正泰
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	地球環境の劣化や科学技術の進展、経営活動のグローバル化などに伴い、経営体すなわち企業およびその経営者の倫理は今日極めて重要な問題となっている。本講は、経営倫理の諸研究を経営者の倫理、道徳および経営理念、そして企業の不祥事や事故の事例を踏まえながら、問題テンを整理し複雑化、複合化しつつある企業に在り方や経営者を中心として経営倫理問題についての学際的検討をめざすものである。
【到達目標】	倫理とは何かについての理解：講義を通して理解し習得した知識について理解してもらうことを目標とする。 経営倫理を学ぶ意義の理解するとともに経営倫理を理解するための様々な考えや方法についての理解してもらうことを目標とする。 経営倫理を学ぶことにより、何が理解でき、何が可能になるかを実践的な観点から理解するとともに、産業社会にとって経営倫理がどのような役割を果たしているか、日々かかわっている社会について考えてもらうことを目標とする。
【履修条件・受講推奨者】	特にないが、哲学や倫理学、社会学、経営組織論、および企業論を履修していることが望ましい。
【教育方法】	講義とレポートを中心として授業をすすめる。また、必要に応じてディスカッションをおこない経営倫理についての理解を深めることとする。

【指定教科書・参考資料等】	【参考書】 高浦康有・藤野真也共著『企業倫理入門 ー理論とケースで学ぶー』白桃書房、2022年。 スチュアート著『企業倫理』白桃書房、2001年。 中村瑞穂編『企業倫理と企業統治』文眞堂、2003年。 高橋正泰監修『マクロ組織論』学文社、2019年。 高橋正泰監修『ミクロ組織論』学文社、2019年。 以上は、特に教科書として使用しませんが、授業を行ける際の参考書として下さい。																																																																																																																												
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																					
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																							
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																																								
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>定期試験</td><td>50</td><td colspan="6" rowspan="4">定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。</td></tr><tr><td>レポート</td><td>50</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法						定期試験	50	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。						レポート	50			合計	100%																																																																																													
評価項目と割合		評価方法																																																																																																																											
定期試験	50	定期試験とレポートにより総合的に評価する。 出席については、授業への出席が前提である。ただし、欠席が多い場合には成績評価の対象とはしない。																																																																																																																											
レポート	50																																																																																																																												
合計	100%																																																																																																																												
【その他の注意事項】	特にありませんが、真摯に勉学に励むこと。																																																																																																																												
【授業計画】	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>倫理と諸概念</td><td colspan="4">「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>経営倫理を学ぶ意義</td><td colspan="4">「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>経営倫理と経営理念Ⅰ</td><td colspan="4">経営者の経営理念と経営倫理について考える。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>経営倫理と経営理念Ⅱ</td><td colspan="4">事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>経営倫理と経営理念Ⅲ</td><td colspan="4">事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>経営理念と社会的責任</td><td colspan="4">社会的責任と経営倫理について考察する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No7</td><td>組織における経営理念の浸透</td><td colspan="4">企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>経営理念と制度</td><td colspan="4">組織の制度理論から経営倫理について考える。</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	倫理と諸概念	「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No2	経営倫理を学ぶ意義	「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No3	経営倫理と経営理念Ⅰ	経営者の経営理念と経営倫理について考える。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No4	経営倫理と経営理念Ⅱ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No5	経営倫理と経営理念Ⅲ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No6	経営理念と社会的責任	社会的責任と経営倫理について考察する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分	No7	組織における経営理念の浸透	企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。				予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分		経営理念と制度	組織の制度理論から経営倫理について考える。									
週	テーマ	学習内容																																																																																																																											
No1	倫理と諸概念	「倫理とは何か」について、道徳や社会規範について考察する。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
No2	経営倫理を学ぶ意義	「経営倫理がわれわれにとってどのような関係にあるか」について企業経営の立場から講義する。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
No3	経営倫理と経営理念Ⅰ	経営者の経営理念と経営倫理について考える。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
No4	経営倫理と経営理念Ⅱ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
No5	経営倫理と経営理念Ⅲ	事例を用いながら経営者の経営理念と経営倫理について考察する。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
No6	経営理念と社会的責任	社会的責任と経営倫理について考察する。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
No7	組織における経営理念の浸透	企業組織において経営倫理が浸透していくかについて検討する。																																																																																																																											
	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分																																																																																																																									
	復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分																																																																																																																									
	経営理念と制度	組織の制度理論から経営倫理について考える。																																																																																																																											

	No8	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No9	経営倫理と組織の意味と価値	組織体としての企業を価値と意味の観点から経営倫理を考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
		経営理念の共有	いかに経営倫理が共有され、定着していくプロセス組織化の理論から考える。		
	No10	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No11	社会的構成としての経営倫理	社会の価値と企業の経営価値との関係を社会構成主義の立場から講義する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
		経営倫理と社会	ESGを考え、企業と社会との関係を経営倫理から考察する。		
	No12	予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No13	経営倫理の課題Ⅰ	サステナビリティ(SDGs)と経営倫理について考察する。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、次回の授業の準備をすること	120	分
	No14	経営倫理の課題Ⅱ	多様性と経営倫理を考える。		
		予習内容(時間)	授業内容についてテキスト・参考書などの資料で事前に予習すること	120	分
		復習内容(時間)	授業の内容をノートにまとめ、復習し、この授業の総括を行うこと	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	コンピュータ概論 BE-K
講義名(英字)	Introduction to Computer
担当教員	江崎 和夫
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本科目は、パソコンをビジネス実務に活用するのに必要なコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、通信・ネットワーク、システムなどに関する基本知識を身につけます。また、情報の活用方法、および、情報活用の際に重要な、情報セキュリティと情報モラルに関する理解も深めます。学習に当たっては、「ITパスポート試験」の出題範囲を考慮して進め、ITパスポート試験の学習の入門の役割も果たします。ITパスポート試験は、ITを利用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。
	CPU、メモリ、補助記憶装置に関して説明できる。IoTについて説明できる。

【到達目標】	基本ソフトと、表計算ソフトなどのアプリケーションソフトに関して説明できる。 ネットワークに関する理解度で評価する。LANなどのビジネスへの活用について説明できる。																																																																																				
【履修条件・受講推奨者】	コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。																																																																																				
【教育方法】	テキストの該当章を読んで学習するとともに、資料や動画の説明を聞き、各項目に関する専門用語を理解する。そして、理解度テストに解答するとともに、課題を作成し理解を深める。																																																																																				
【指定教科書・参考資料等】	坂下有里 & ラーニング編集部著「かんたん合格 ITパスポート教科書 & 必須問題 令和5年版」インプレス社発行																																																																																				
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力																																																														
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	○																																																																														
協働力		主張力		創造力																																																																																	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td>理解度小テスト</td><td>30%</td><td colspan="2" rowspan="4">理解度小テスト、提出課題、理解度確認テストで総合的に評価を行う。</td></tr><tr><td>課題作成</td><td>40%</td></tr><tr><td>理解度確認テスト</td><td>30%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法		理解度小テスト	30%	理解度小テスト、提出課題、理解度確認テストで総合的に評価を行う。		課題作成	40%	理解度確認テスト	30%	合計	100%																																																													
評価項目と割合		評価方法																																																																																			
理解度小テスト	30%	理解度小テスト、提出課題、理解度確認テストで総合的に評価を行う。																																																																																			
課題作成	40%																																																																																				
理解度確認テスト	30%																																																																																				
合計	100%																																																																																				
【その他の注意事項】	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1(5回)欠席した場合は、単位が認められない。 毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。																																																																																				
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス。 コンピュータのハードウェアの種類と機能</td><td>授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 ITパスポート資格の紹介。コンピュータの種類と構成を理解する。 理解度小テストを行う。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>初回なのでない。</td><td>0</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>コンピュータの構成要素、ハードウェア</td><td>コンピュータのCPUとメモリ、補助記憶装置の種類と特徴を理解する。 理解度小テストを行う。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>入力装置と出力装置、ソフトウェア</td><td>入力装置と出力装置の種類と特徴、ソフトウェアの種類と特徴について理解する。 理解度小テストを行う。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>ソフトウェア</td><td>オペレーティングシステムの機能とWindowsの特徴、ビジネスで活用されるアプリケーションソフトの種類と特徴について理解する。 理解度小テストを行う。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>通信とネットワーク</td><td>通信の仕組みと基本用語、ネットワークの種類とLAN、WANの特徴について理解する。 理解度小テストを行う。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。</td><td>150</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>クラウドコンピューティング</td><td>クラウドコンピューティング、5Gの活用分野について理解する。 第6回課題を作成する。</td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	ガイダンス。 コンピュータのハードウェアの種類と機能	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 ITパスポート資格の紹介。コンピュータの種類と構成を理解する。 理解度小テストを行う。			予習内容(時間)	初回なのでない。	0	分	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分	No2	コンピュータの構成要素、ハードウェア	コンピュータのCPUとメモリ、補助記憶装置の種類と特徴を理解する。 理解度小テストを行う。			予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分	No3	入力装置と出力装置、ソフトウェア	入力装置と出力装置の種類と特徴、ソフトウェアの種類と特徴について理解する。 理解度小テストを行う。			予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分	No4	ソフトウェア	オペレーティングシステムの機能とWindowsの特徴、ビジネスで活用されるアプリケーションソフトの種類と特徴について理解する。 理解度小テストを行う。			予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分	No5	通信とネットワーク	通信の仕組みと基本用語、ネットワークの種類とLAN、WANの特徴について理解する。 理解度小テストを行う。			予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分		クラウドコンピューティング	クラウドコンピューティング、5Gの活用分野について理解する。 第6回課題を作成する。		
週	テーマ	学習内容																																																																																			
No1	ガイダンス。 コンピュータのハードウェアの種類と機能	授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 ITパスポート資格の紹介。コンピュータの種類と構成を理解する。 理解度小テストを行う。																																																																																			
	予習内容(時間)	初回なのでない。	0	分																																																																																	
	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分																																																																																	
No2	コンピュータの構成要素、ハードウェア	コンピュータのCPUとメモリ、補助記憶装置の種類と特徴を理解する。 理解度小テストを行う。																																																																																			
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分																																																																																	
	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分																																																																																	
No3	入力装置と出力装置、ソフトウェア	入力装置と出力装置の種類と特徴、ソフトウェアの種類と特徴について理解する。 理解度小テストを行う。																																																																																			
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分																																																																																	
	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分																																																																																	
No4	ソフトウェア	オペレーティングシステムの機能とWindowsの特徴、ビジネスで活用されるアプリケーションソフトの種類と特徴について理解する。 理解度小テストを行う。																																																																																			
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分																																																																																	
	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分																																																																																	
No5	通信とネットワーク	通信の仕組みと基本用語、ネットワークの種類とLAN、WANの特徴について理解する。 理解度小テストを行う。																																																																																			
	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分																																																																																	
	復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分																																																																																	
	クラウドコンピューティング	クラウドコンピューティング、5Gの活用分野について理解する。 第6回課題を作成する。																																																																																			

【授業計画】	No6	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、課題を作成する。	120	分
	No7	インターネットの基本	インターネットの基本、インターネットの活用分野について理解する。 第7回課題を作成する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、課題を作成する。	120	分
	No8	IoT の仕組みと活用分野	IoT(Internet of Things)の仕組み、IoT の活用分野について理解する。 第8回課題を作成する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、課題を作成する。	120	分
	No9	e ビジネス	e ビジネスの分野、e コマース(電子商取引)について理解する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分
	No10	サイバーセキュリティ、情報モラル	サイバーセキュリティとコンピュータウイルスについて理解する。情報モラルの基本として守るべき行動規範を理解する。 理解度小テストに解答する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分
	No11	データベースの機能と操作	データベースの機能とデータベースの作成、操作方法について理解する。 理解度小テストに解答する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分
	No12	システムの構成要素、システム開発	システムの構成要素、システム開発のステップと方法について理解する。 理解度小テストを行う。 第12回課題を作成する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、課題を作成する。	120	分
	No13	プログラムとアルゴリズム、通信ネットワークの最新技術	プログラム言語、アルゴリズムの基本について理解する。モバイルコンピューティングの技術について理解する。授業のポイントのまとめを行う。 理解度小テストに解答する。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業資料とテキストの復習を行い、理解度小テストに解答する。	120	分
	No14	総括・達成度の確認 総合演習	授業のポイントのまとめを行う。 授業の理解度を確認するために、理解度確認テストを行う。		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。理解度確認テストのための準備の学習を行う。	150	分
		復習内容(時間)	復習を行う。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	コンピュータ概論 BE-L
講義名(英字)	Introduction to Computer
担当教員	黒木 弘司
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現代では、コンピュータは生活に欠かせない存在となり、身近であたりまえのように利用されています。ですが、コンピュータっていったい何だろうと考えてみると良くわからない人も多いと思います。この講義では、コンピュータに興味がある人向けに、パソコンを題材としてコンピュータの基礎について解説します。この講義を通して、コンピュータとはどういうもので、どうやって動いているのか、そしてどのように利用したらよいのか、といったコンピュータの基礎的な知識の習得を目指します。
	コンピュータのハードウェア／ソフトウェアについて、基礎的な知識を理解する。

【到達目標】	ネットワークについて、基礎的な知識を理解する。								
	コンピュータを安全で適切に利用するための基礎的な知識を理解する。								
【履修条件・受講推奨者】	コンピュータの学習に興味を持って取り組める方。								
【教育方法】	テキストや配布資料を基に解説を行ってゆきます。								
【指定教科書・参考資料等】	高作義明(著)『パソコンのしくみ』新星出版社、2018年								
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		
	協働力		主張力		創造力				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法					
	HWやSWIに関する基本的な知識を理解し説明できること。		50%	小テスト(40%)や発表(10%)と確認テストの結果(50%)を基に評価を行う。					
	ネットワークに関する基本的な知識を理解し説明できること。		25%						
	コンピュータを安全に利用する方法を理解し説明できること。		25%						
	合計		100%						
【その他の注意事項】	前回までの授業を理解しておくことが前提になるので、出来るだけ欠席しないこと。								
	週	テーマ	学習内容						
	No1	ガイダンス	授業の進め方と日常の中のコンピュータ						
		予習内容(時間)	テキスト全体に目を通し、身近で使われているコンピュータについて考えてくる					120	分
		復習内容(時間)	配布資料を基に復習					120	分
	No2	コンピュータの歴史	コンピュータの誕生と発展						
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解					120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にコンピュータの誕生と発展について復習					120	分
	No3	ハードウェア(1)	コンピュータの基本的な構成と動く仕組み						
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解					120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にコンピュータの基本的な構成と動く仕組みについて復習					120	分
	No4	ハードウェア(2)	コンピュータの内部構造と役割						
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解					120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にコンピュータの内部構造と役割について復習					120	分
	No5	ハードウェア(3)	コンピュータの処理と計算						
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解					120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にコンピュータの処理と計算について復習					120	分
	No6	ハードウェア(4)	コンピュータの入出力装置						
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解					120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基に入出力装置について復習					120	分
		ハードウェア(5)	コンピュータの外部記憶装置						

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基に外部記憶装置について復習	120	分
	No8	ソフトウェア(1)	プログラムとコンピュータで扱うデータ		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にプログラムとコンピュータで扱うデータについて復習	120	分
	No9	ソフトウェア(2)	OSとアプリケーション		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にOSとアプリケーションについて復習	120	分
	No10	ソフトウェア(3)	ファイルとデータベース		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にファイルとデータベースについて復習	120	分
	No11	インターネット(1)	インターネットの基礎		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にインターネットの基礎について復習	120	分
	No12	インターネット(2)	ネットワークとインターネットの仕組み		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にネットワークとインターネットの仕組みについて復習	120	分
	No13	情報セキュリティ	情報セキュリティと暗号化		
		予習内容(時間)	テキストの該当部分を読んで、理解	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基に情報セキュリティと暗号化について復習	120	分
	No14	コンピュータの利用	コンピュータを利用する上での注意点		
		予習内容(時間)	サイバー犯罪やライセンス、知的財産について調べてくる	120	分
		復習内容(時間)	テキストと配布資料を基にコンピュータの利用について復習	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	コンピュータ概論 BE-O
講義名(英字)	Introduction to Computer
担当教員	高田 真也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	今日、オフィスなどで働くうえで、コンピュータは欠かせない存在です。そのためにただ単に操作できるだけでなく、どのような仕組みでコンピュータが動いているのか知っておくことは有益です。このような観点から、この講義では、コンピュータの仕組みや、コンピューターリテラシーの基礎を講義します。
【到達目標】	コンピューターの基本構造と仕組みを理解できているか。 アルゴリズムの基礎と、オペレーティングシステムやファイルシステムなどソフトウェアの仕組みが理解できているか。

	ネットワークやインターネットとそのセキュリティについて理解できているか。									
【履修条件・受講推奨者】	特に前提知識は必要としない。									
【教育方法】	Powerpoint資料を用いて講義を行う。									
【指定教科書・参考資料等】	ブライアン・カーニハン(2020) 教養としてのコンピュータサイエンス講義、第2版、日経BP社									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○		
	協働力		主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	期末試験	50%	期末試験、レポート、平常点により評価する。							
	レポート	30%								
	平常点	20%								
	合計	100%								
【その他の注意事項】	資料はパワーポイントを使用します。授業目的以外でのスマートフォンやタブレットなど電子機器の使用を禁止します。									
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	ガイダンス	講義の流れを説明し、問題意識を醸成する。							
		予習内容(時間)	該当範囲(0、1)の教科書を読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返し、復習する。						120	分
	No2	コンピュータの基本構造	プロセッサとメモリーなどコンピュータの基本構造について学ぶ。							
		予習内容(時間)	該当範囲(1-1)の教科書を読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。						120	分
	No3	ビット、バイト、情報の表現	アナログとデジタルの違いや、2進法で表される情報の表現などについて学ぶ。							
		予習内容(時間)	該当範囲(1-2)の教科書を読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。						120	分
	No4	プロセッサの内部	並列化処理などコンピュータ内部でどのようなことが行われているかを学ぶ。							
		予習内容(時間)	該当範囲(1-3)の教科書を読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。						120	分
	No5	アルゴリズム	バイナリー探索やソートなどアルゴリズムの基礎について学ぶ。							
		予習内容(時間)	該当範囲(2-4)の教科書を読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。						120	分
	No6	オペレーティングシステム	メモリーやデバイスの管理などオペレーティングシステムについて学ぶ。							
		予習内容(時間)	該当範囲(2-6)の教科書を読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。						120	分
	No7	ファイルとアプリケーション	ファイルとその管理などについて学ぶ。							
		予習内容(時間)	補助プリントを読む。						120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。						120	分

	No8	コミュニケーション	情報移動の歴史とITとコミュニケーションの関係などについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。	120	分
	No9	ネットワーク	電話やケーブルなど通信・ネットワークの仕組みについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3-8)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。	120	分
	No10	インターネット	ドメイン名やプロトコルなどインターネットに関する基本用語やそれを支える仕組みについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3-9)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。	120	分
	No11	ワールドワイドウェブ	ウェブの仕組みやウェブのセキュリティについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3-10)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。	120	分
	No12	データと情報	検索エンジンや、SNSなどについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3-11)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。	120	分
	No13	プライバシーとセキュリティ	暗号処理などネットセキュリティの仕組みを学ぶ。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3-13)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを読み返し、復習する。	120	分
	No14	まとめ	講義を振り返り、まとめを行う。		
		予習内容(時間)	いままでのスライドを見返し、わからない部分を調べたり、質問できるようにする。	120	分
		復習内容(時間)	配布された練習問題を解く。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	情報処理Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Information Processing II
担当教員	江崎 和夫
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOSExcel)の対策入門講座にもなります。前期の「情報処理Ⅰ」の内容を深め、模擬問題を多く解き、企業の実務に使えるExcelの実践力を身につけます。MOSのExcelは、企業の評価も高い世界共通の検定試験です。Excelが企業の実務で活用できるレベルのスキルに達していることを目指します。ビジネスデータの加工などができるコンピュータリテラシーのスキルを身につけるとともに、検定試験の準備をすることを目指します。MOS(Excel)の模擬問題を多く解くことによって、検定試験対策を行うとともに、実務能力の向上を図ります。
【到達目標】	シートの編集、関数を適切に活用した表計算、グラフの作成などができる。 セル範囲へのデータ挿入、セルの書式設定、条件付き書式の設定ができる。 テーブルの作成、フィルターが使用できる。データベース機能の並べ替え機能が使える。
【履修条件・受	コンピュータの初心者を対象としているので、履修条件はとくにない。

【講推奨者】														
【教育方法】	テキストの機能を例題でパソコン演習を通じて学習する。演習課題を作成し提出する。応用レベルの課題のポイントの説明を行い、次週締め切りで、パソコンの演習を行う。													
【指定教科書・参考資料等】	土岐順子著「MOS攻略問題集 Excel 365&2019」日経BP社発行													
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		○		突破力		忍耐力		○			
	協働力		主張力				創造力							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法									
	理解度小テスト			30%		理解度小テスト、提出課題、実技テストを兼ねた総合課題演習で総合的に評価を行う。								
	課題作成			40%										
	実技テストを兼ねた総合演習課題			30%										
	合計			100%										
【その他の注意事項】	遅刻は2回で欠席1回とする。全授業の3分の1(5回)欠席した場合は、単位が認められない。毎週、授業にパソコンとテキストを持参すること。													
	週	テーマ				学習内容								
	No1	ガイダンス。 Excelの基本操作の復習				授業の進め方、シラバスの説明、テキストの指定。 MOS(Excel)検定試験の方式・内容の説明。 Windowsの操作、ファイルの操作、Excelの基本操作。 第1回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。								
		予習内容(時間)				初回なのでない。							0	分
		復習内容(時間)				第1回課題2でExcelの基本操作の復習を行う。							120	分
	No2	Excel の基本操作の確認など				さまざまな数式、関数の基本操作。MOS の関数の演習課題の作成。 第2回課題1のExcelの基本操作の演習を行う。								
		予習内容(時間)				テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。							120	分
		復習内容(時間)				第2回課題2でExcelの基本操作の確認演習を行う。							120	分
	No3	ワークシートの管理など				ワークシートとブックに関する演習課題の作成。 第3回課題1のエクセルのブックの作成などの演習を行う。								
		予習内容(時間)				テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。							120	分
		復習内容(時間)				第3回課題2でブックの作成などの演習を行う。							120	分
	No4	セルの条件付き書式とデータ管理など				セルの条件付き書式の種類毎の設定の演習課題を作成する。 第4回課題1の書式設定などの演習を行う。								
		予習内容(時間)				テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。							120	分
		復習内容(時間)				第4回課題2で条件付きの書式設定などの演習を行う。							120	分
	No5	数式や関数を使った集計				関数、小計、ピボット集計の演習課題を作成する。 第5回課題1の小計の集計などの演習を行う。 理解度小テストを行う。								
		予習内容(時間)				テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。							150	分
		復習内容(時間)				第5回課題2で小計の集計などの設定演習を行う。							120	分
	No6	条件付関数、文字列関数				条件付きの計算の関数、文字列の変更の関数の演習課題を作成する。 第6回課題1の関数の設定などの演習課題を作成する。								
		予習内容(時間)				テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。							120	分
		復習内容(時間)				第6回課題2で関数の設定などの演習を行う。							120	分

【授業計画】

No7	テーブルとフィルターを使用した演習	テーブルの作成、フィルター、抽出の詳細の演習課題の作成演習を行う。 第7回課題1の関数の設定演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第7回課題2のテーブル、フィルターの設定演習を行う。	120	分
No8	データベース、並べ替え	データベースの機能の模擬問題、並べ替えの演習課題の演習を行う。 第8回課題1の総合演習を行う。 理解度小テストを行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
	復習内容(時間)	第8回総合演習課題2の総合演習課題を作成する。	120	分
No9	グラフの作成と書式設定	グラフの作成、種類、書式設定の演習課題を作成する。 第9回課題1のフィルターの設定演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第9回課題2のグラフの作成の設定演習を行う。	120	分
No10	図形、Smartartなど	図形、Smartart、ビジュアル資料作成の演習課題を作成する。 第10回課題1のデータベース作成演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第10回課題2のビジュアル資料の作成演習を行う。	120	分
No11	対策が必要な分野の演習	MOS(Excel)の対策が必要な分野の課題の作成演習を行う。 第11回課題1の対策が必要な分野への対策演習を行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第11回課題2の対策が必要な分野の対策演習を行う。	120	分
No12	総合演習課題	総合演習課題を使った習熟度の確認演習を行う。 第12回総合演習課題1の作成演習を行う。 理解度小テストを行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	150	分
	復習内容(時間)	第12回総合演習課題2の演習を行う。	120	分
No13	模擬問題の総合演習課題	MOS(Excel)の模擬問題を使った総合演習課題の作成演習を行う。 第13回総合演習課題1のExcelの総合演習課題を作成する。 今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を作成する。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。	120	分
	復習内容(時間)	第13回総合演習課題2の演習を行う。	120	分
No14	総括・達成度の確認 総合演習課題	今までの授業についての総括および実技テストにかわる総合演習課題を実施する。 第14回総合演習課題1の作成を行う。 第14回総合演習課題2の作成を行う。 理解度小テストを行う。		
	予習内容(時間)	テキストの指定箇所を読み、前回の復習と、今回の予習を行う。総合演習課題の準備を行う。	150	分
	復習内容(時間)	復習を行う。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	流通論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Channel ManagementⅡ
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現代の小売・流通企業は、国際的運輸・交通手段の発展、情報通信技術の飛躍的発展、消費者ライフスタイルの多様化といった時代的な環境変化、そして市場変化の加速化、競争の多次元化(コスト、品質、スピード)といった競争環境の変化への戦略的対応が要請されている。本講義では、流通論Ⅰで学習した内容をベースに、より専門度の高い流通理論のみならず、制度・実態・政策について最新のケースを用いながら理論的に検討する。
	流通と商業の社会的役割、流通機能の分類と機能について正しく説明できること。

【到達目標】	ICT化、国際化などの今日的課題と流通について正しく説明できること。 現代流通業の実態について正しく理解し、理論的に説明できること。																																																																																																																																																																		
【履修条件・受講推奨者】	小売・流通企業に興味・関心を持っていること。																																																																																																																																																																		
【教育方法】	講義形式で教授する。																																																																																																																																																																		
【指定教科書・参考資料等】	＜参考書＞ 渡辺達朗・原頼利・遠藤明子・田村晃二著『流通論をつかむ』有斐閣、2008年。																																																																																																																																																																		
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>								自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																																																													
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																																																																																																																																																												
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																																																																														
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">流通と商業の社会的役割、流通機能の分類と機能の理解</td><td colspan="2">25%</td><td colspan="2" rowspan="4">設問に対する回答によって評価。</td></tr><tr><td colspan="4">今日的課題と流通に関する理解</td><td colspan="2">50%</td></tr><tr><td colspan="4">現代流通の実態と理論への理解</td><td colspan="2">25%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>								評価項目と割合				評価方法				流通と商業の社会的役割、流通機能の分類と機能の理解				25%		設問に対する回答によって評価。		今日的課題と流通に関する理解				50%		現代流通の実態と理論への理解				25%		合計				100%																																																																																																																										
評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																																															
流通と商業の社会的役割、流通機能の分類と機能の理解				25%		設問に対する回答によって評価。																																																																																																																																																													
今日的課題と流通に関する理解				50%																																																																																																																																																															
現代流通の実態と理論への理解				25%																																																																																																																																																															
合計				100%																																																																																																																																																															
【その他の注意事項】	遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。																																																																																																																																																																		
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th colspan="6">学習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>イントロダクション</td><td colspan="6">流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">講義内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>流通を読み解く視点(1)</td><td colspan="6">流通と商業</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">講義内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>流通を読み解く視点(2)</td><td colspan="6">流通機能の分類と機能</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">講義内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>流通における機能分担(1)</td><td colspan="6">垂直的分化と統合</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">講義内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>流通における機能分担(2)</td><td colspan="6">オペレーションコスト、取引コスト</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">講義内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>流通における組織間関係(1)</td><td colspan="6">チャネルの組織化とパワー関係</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="4">講義内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No7</td><td>流通における組織間関係(2)</td><td colspan="6">製販提携と延期型流通、SCMの進展</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="4">講義資料の予習</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>								週	テーマ	学習内容						No1	イントロダクション	流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分	No2	流通を読み解く視点(1)	流通と商業						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分	No3	流通を読み解く視点(2)	流通機能の分類と機能						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分	No4	流通における機能分担(1)	垂直的分化と統合						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分	No5	流通における機能分担(2)	オペレーションコスト、取引コスト						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分	No6	流通における組織間関係(1)	チャネルの組織化とパワー関係						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分	No7	流通における組織間関係(2)	製販提携と延期型流通、SCMの進展						予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																																																	
No1	イントロダクション	流通論講義への招待、講義内容説明、成績評価説明																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分																																																																																																																																																												
No2	流通を読み解く視点(1)	流通と商業																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分																																																																																																																																																												
No3	流通を読み解く視点(2)	流通機能の分類と機能																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分																																																																																																																																																												
No4	流通における機能分担(1)	垂直的分化と統合																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分																																																																																																																																																												
No5	流通における機能分担(2)	オペレーションコスト、取引コスト																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分																																																																																																																																																												
No6	流通における組織間関係(1)	チャネルの組織化とパワー関係																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習				120	分																																																																																																																																																												
No7	流通における組織間関係(2)	製販提携と延期型流通、SCMの進展																																																																																																																																																																	
	予習内容(時間)	講義資料の予習				120	分																																																																																																																																																												

【授業計画】		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No8	小売業の行動とダイナミクス(1)	小売業態の開発と競争		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No9	小売業の行動とダイナミクス(2)	小売業の製品開発とブランド・マネジメント		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No10	卸売業の現状と課題	卸売業界の再編成と“機能強化”競争		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No11	流通におけるICT活用の展開	ICTの導入, 流通ICT化の進展と意義		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No12	インターネット販売の可能性	インターネット販売の特徴		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No13	流通と公共政策	まちづくり・公正競争		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No14	総括	秋学期の学習ポイントについての理解を深める		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	商品論 BE-K
講義名(英字)	Product Management
担当教員	田口 冬樹
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	市場には多くの新しい商品が提供されているが、ヒット商品として支持され、ロングセラーにまで発展できる商品は限られている。この講義では、新製品の開発と提供のプロセスを中心に理解を深めることをねらいとしている。さらに最近の商品動向として所有から利用へ、モノからコトへ、ダウンロードからストリーミングやサブスクリプションといったサービス化のトレンドについてもその変化の意味を考察し、またSDGsを含め商品の安全性確保・環境保護・資源保全の視点からも広く検討を加え、現代に求められる商品論を提案したい。
【到達目標】	商品とサービスの役割を正しく理解し、説明できるようにする 新製品開発と製品ライフサイクルの両プロセスを関連づけて説明できること 現代の商品に求められる社会的条件として、SDGsを含め安全性・環境・資源について課題を考察し、理解を深める
【履修条件・受講推奨者】	マーケティング関連科目を履修していることが望ましい。

【教育方法】	テキストをベースに講義を進める。わかりやすい授業を目指すために、ビジネスにとって重要と思われる商品・サービスの事例や企業の取り組みを積極的に活用した授業展開とする。																																																															
【指定教科書・参考資料等】	教科書：田口冬樹著『マーケティング・マインドとイノベーション』白桃書房 参考書：田口冬樹著『流通イノベーションへの挑戦』白桃書房 他に授業開始時ならびに必要なに応じて紹介、とくに「リテールマーケティング(販売士)」受験の準備・参考資料なども授業時に紹介。																																																															
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																											
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																										
協働力		主張力	○	創造力	○																																																											
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>定期試験</td><td>60%</td><td colspan="5" rowspan="4">定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。</td></tr><tr><td>授業時の小テストや中間レポート</td><td>30%</td></tr><tr><td>授業への貢献</td><td>10%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					定期試験	60%	定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。					授業時の小テストや中間レポート	30%	授業への貢献	10%	合計	100%																																					
評価項目と割合		評価方法																																																														
定期試験	60%	定期試験及び中間レポートの成績を中心に、授業内での質問に対する解答、発言等を総合的に評価する。																																																														
授業時の小テストや中間レポート	30%																																																															
授業への貢献	10%																																																															
合計	100%																																																															
【その他の注意事項】	関連する分野について、テキストをよく読んで自分事として関心を高めておくこと。 身近な問題を取り上げるとはいても、自分で課題を発見し、よく調べて授業に出席すること。																																																															
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td>講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか ・商品論と関連科目について ・日常生活やビジネスと商品との関係について ・商品論学習の3つの視点</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>商品とは何か</td><td>商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは ・商品化の仕組み ・ニーズ＆ウォンツの関係 ・なぜSDGs&ESGが強調されるのか</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>商品と顧客満足</td><td>顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて ・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開 ・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性 ・WOW(ワオ)ファクターとは</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>消費財とビジネス財</td><td>同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い ・消費財の分類とビジネス財の分類 ・ミシュランガイドとコストコの事例から学ぶこと ・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>テキストの該当箇所を熟読する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容			No1	ガイダンス	講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか ・商品論と関連科目について ・日常生活やビジネスと商品との関係について ・商品論学習の3つの視点			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。	120	分	No2	商品とは何か	商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは ・商品化の仕組み ・ニーズ＆ウォンツの関係 ・なぜSDGs&ESGが強調されるのか			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。	120	分	No3	商品と顧客満足	顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて ・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開 ・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性 ・WOW(ワオ)ファクターとは			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。	120	分	No4	消費財とビジネス財	同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い ・消費財の分類とビジネス財の分類 ・ミシュランガイドとコストコの事例から学ぶこと ・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは			予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分	復習内容(時間)	授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。	120	分
週	テーマ	学習内容																																																														
No1	ガイダンス	講義のねらいと進め方：商品論の学習を通して、われわれの生活やビジネスに商品がどのような役割を果たしているかを理解し、そのうえで製品開発や提供の条件を検討する。そのためのガイダンスを最初に行う。 ・なぜ商品論を学ぶのか ・商品論と関連科目について ・日常生活やビジネスと商品との関係について ・商品論学習の3つの視点																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱った商品論学習の3つの視点についてのポイントを整理する。	120	分																																																												
No2	商品とは何か	商品とは何だろうかという基本的な疑問を提起することによって、あなたにとって商品と呼べる条件を考察する。 ・あなたにとって商品とは ・商品化の仕組み ・ニーズ＆ウォンツの関係 ・なぜSDGs&ESGが強調されるのか																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱った商品化の仕組みのポイントを整理する。	120	分																																																												
No3	商品と顧客満足	顧客満足が生み出される仕組みを考察することで、感動を生み出す顧客満足とはどのような商品やサービスなのかを検討してみたい。 ・顧客満足のレベルについて ・標準装備から期待を超えた感動商品までの展開 ・顧客の徹底観察(エスノグラフィー)の重要性 ・WOW(ワオ)ファクターとは																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱った顧客満足のレベルと自分の体験とを比較しポイントを整理する。	120	分																																																												
No4	消費財とビジネス財	同じ商品でも使用の目的が異なると違った商品分類となり、それに合わせたマーケティングの展開が求められる点をさらに深く考察する。 ・商品の使用目的と顧客対象の違い ・消費財の分類とビジネス財の分類 ・ミシュランガイドとコストコの事例から学ぶこと ・顧客の顧客は顧客である(BtoBとBtoCの接点)という意味とは																																																														
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	授業で扱ったBtoBとBtoCとの関連づけについてポイントを整理する。	120	分																																																												

【授業計画】

No5	サービスと商品	われわれの生活の中でサービスに依存する割合が増えている動向を踏まえて、商品とサービスの関係の変化や新しい商品提供の方法を検討する。 ・消費のトレンドとサービスの位置・モノからコトへ、所有から利用への変化・サービス・ドミナント・ロジック・伝統的な定期定額購入とサブスクリプションとの違い		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱ったサービス・ドミナント・ロジックのポイントを整理する。	120	分
No6	新製品と開発主体	企業成長には新製品の存在が不可欠である。しかも人口減少と超高齢社会における日本の課題の一つは国内外で必要とされる新製品を創出することで活力を生み出すことが求められている。企業はどのようにして新製品を開発し提供できるかを皆さんとともに考察してみたい。 ・新製品のとらえ方とイノベーションの重要性・NBvsPBとは何か・ユーザー・イノベーションについて・アップルの製品は誰が作っているのか(ブランドとOEM・EMSの関係)		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った新製品のとらえ方のポイントを整理する。	120	分
No7	新製品開発の戦略	新製品のアイデアの創出から市場導入までの過程を考察することで、どのようなイノベーション、投資活動、マーケティング、それにリスクマネジメントが求められるのかを検討する。 ・新製品開発のプロセス・提案制度からプレゼン会議までの活用事例・品質が良ければ売れるのか・失敗から生まれた新製品。		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った新製品開発のプロセスについてポイントを整理する。	120	分
No8	製品ライフサイクル	新製品が市場に導入されてから成長・成熟を経て衰退するまでの全体のプロセスをとらえる。その中でも、導入期の段階で多くの新製品は普及せずに撤退を余儀なくされる事例が後を絶たない。なぜ新製品は普及しないのかをキャズムという概念を利用して、普及の障害を検討してみたい。 ・新製品の普及とキャズムの存在・コモディティ化の克服方法・PPMとの関連付け・製品ライフサイクル活用のメリットと課題		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱ったキャズムとイノベーションの普及理論のポイントを整理する。	120	分
No9	市場変化のとらえ方	新製品が成功し成長期を実現できたとしても、その後の成長が自動的に保証されるわけではない。市場は顧客ニーズの変化、技術進歩それに新たな競争者などの出現で常に変動しており、商品のアップデートが求められる。どのような時に顧客ターゲットの見直しや競争への対抗が必要となるのかを検討する。 ・市場変化と商品の対応・顧客は誰か(代理購買の意味や購買キーパーソンの変化)・市場細分化と製品差別化の関連性・パーソナライゼーションとアマゾン成長との関係		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った市場細分化と製品差別化の関連性についてポイントを整理する。	120	分
No10	商品と価格戦略	顧客は商品を購入する際に、商品への関与の程度、高額であれば所得や資産の程度と密接に結び付けながら価格評価を行う。価格はその商品の価値を表現する働きを持ち、品質のイメージにも影響する。企業にとって価格は費用回収だけでなく、ライバルとの比較で自社の商品が顧客に選ばれる価格設定を探り出す必要がある。 ・新製品の価格決定・フリー/フリーミアムのねらい・キャプティブ価格戦略とは・EDLPとハイロープライシングとの比較・ウォルマートの成長要因		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容(時間)	授業で扱った商品と価格戦略の対応についてポイントを整理する。	120	分
No11	ブランドと商品	ブランドに対する多くの人々の常識を検討し、ブランドの本質的な働きや人々のブランドに期待する要因を明らかにする。そのことを踏まえてビジネスとブランドの結びつきの重要性を考えてみる。 ・ブランドの役割・人はなぜブランドにこだわるのか・どうすればブランドになるのか・消費者と企業にとってのブランド化の効果・ブランド・エクイティとは何か		
	予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
	復習内容	授業で扱った、消費者にとってブランドとして成立する条件のポイントを整理する。	120	分

		容(時間)			
	No12	ブランド戦略	ブランド戦略のデザインには市場環境と企業のねらいによって様々なアプローチが可能である。ここではブランド戦略のタイプを製品や企業レベルでとらえるだけでなく、他社や地域との連携を含めた事例を通して考察する。 ・ブランド戦略とそのタイプ ・社名を外したブランドはなぜ利用されるのか ・ブランドの先発優位性と後発優位性 ・成分ブランドの効果		
		予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
		復習内容(時間)	授業で扱ったブランド戦略のタイプについて具体例を調べポイントを整理する。	120	分
	No13	商品デザインとブランド創造	これまでの講義を通して、履修学生の独自の立場から、SDGsといった社会的課題に対する解決を目指した商品デザインやブランド創造への提案を行ってもらおう。 ・SDGsを改めて商品論から再検討 ・新製品と既存製品の評価 ・ブランドベースの輸出戦略とインバウンド支援商品 ・地域ブランドのプロデュース		
		予習内容(時間)	テキストの該当箇所を熟読する。	120	分
		復習内容(時間)	授業で扱った自分の提案をプレゼン資料にまとめポイントを整理する。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する。		
		予習内容(時間)	テキストやノートの該当箇所を熟読する。	120	分
		復習内容(時間)	授業全体を通して扱ったポイントを整理する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	労働法 BE-K
講義名(英字)	Labor Law
担当教員	黒岩 容子
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この講義では、労働法の基本的枠組みや考え方、基礎知識を学びます。現代社会では、人々の多くが雇用されて働き賃金を得て生活し、また、企業は人を雇うことによって営業活動をしています。人を雇うとき、雇われるときの基本的なワーキングルールやその考え方を知っておくことは、自らが尊厳をもって生きていくためにも、公正な社会を築くうえでも必要不可欠なことです。この授業で、生きた労働法の知識を身につけてください。
【到達目標】	労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。 労働法の基礎知識を習得する。 事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。
【履修条件・受講推奨者】	とくに条件はありませんが、「法学Ⅰ」「法学Ⅱ」等の法律科目を履修済み、ないし同時に履修していることが望ましい。

【教育方法】	講義形式です。また、ほぼ毎回復習として小レポート課題を出します。									
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しません。授業メモおよび資料を配付します。また、授業のなかで参考文献を紹介します。									
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力		主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	労働法の理念・基礎的枠組み・考え方を理解する。		30%	小レポートと期末レポート(試験に変更する場合があります)を総合評価する。						
	労働法の基礎的知識を習得する。		50%							
	事実に基づいて論理的に思考する姿勢の習得。		20%							
	合計		100%							
【その他の注意事項】	進行状況および受講生の問題関心等によって、スケジュールを変更することがあります。また、授業中は私語厳禁です。									
【授業計画】	週	テーマ		学習内容						
	No1	イントロダクション 労働法の歴史と機能		労働法の特徴、役割。 労働法の学び方。						
		予習内容(時間)		事前配布資料を読む。					120	分
		復習内容(時間)		小レポート					120	分
	No2	労働契約の締結		就職/採用に関する法的ルール。						
		予習内容(時間)		事前配布資料を読む。					120	分
		復習内容(時間)		小レポート					120	分
	No3	労働契約の締結		就職/採用に関する法的ルール その2。						
		予習内容(時間)		事前配布資料を読む。					120	分
		復習内容(時間)		関連参考資料を読む。					120	分
	No4	賃金		賃金に関する法的ルール。						
		予習内容(時間)		事前配布資料を読む。					120	分
		復習内容(時間)		小レポート					120	分
	No5	労働時間		労働時間に関する法的ルール。						
		予習内容(時間)		事前配布資料を読む。					120	分
		復習内容(時間)		小レポート					120	分
	No6	労働時間 休日・休暇		労働時間に関する法的ルール その2。 休日・休暇に関する法的ルール。						
		予習内容(時間)		事前配布資料を読む。					120	分
		復習内容(時間)		小レポート					120	分
	No7	人事異動		配転、出向、転籍に関する法的ルール。						
予習内容(時間)		事前配布資料を読む					120	分		
復習内容(時間)		小レポート					120	分		
	労働者の人格の尊重、平等		男女平等に関する法的ルール。 ワーク・ライフ・バランスのための法制度。							

	No8	予習内容(時間)	事前資料を読む	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No9	労働者の人格の尊重、平等	障害者の権利、外国人労働者の権利。 様々なハラスメントに対する法的規制。		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート		分
	No10	退職、解雇	退職、解雇に関する法的ルール		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No11	非正規労働者の権利	非正規労働者の権利に関する法的ルール		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No12	非正規労働者の権利	非正規労働者の権利に関する法的ルール		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート		分
	No13	労働組合	労働組合の役割、活動。労働組合に関する法的ルール。		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	小レポート	120	分
	No14	働く人々をサポートする制度	労災保険、雇用保険、公的医療制度、法的年金制度に関する基礎知識。		
		予習内容(時間)	事前配布資料を読む。	120	分
		復習内容(時間)	関連資料を読む。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	消費者法 BE-K
講義名(英字)	Consumers Law
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、消費者法を学びます。世の中には悪徳商法や、いかがわしいビジネスにだまされて大金を巻き上げられてしまう人が沢山います。皆さんがそうならないためには、消費者法を学び、どんな悪徳商法があるのかをよく知る必要があります。特に景品表示法は、ビジネスをする上でも大切な法律です。なぜなら、景品表示法に違反した企業は、消費者の信頼を失うだけでなく、消費者庁又は関係省庁から行政命令や、課徴金という制裁を受け、さらに消費者団体から訴えられるからです。景品表示法違反等消費者法違反は、マスコミで報道されることもあります。ビジネスにおいて重要な消費者法を学ぶことによって、1)自分自身が、悪徳商法にだまされなくなり、2)消費者に配慮したビジネスを行うことができるようになります。
【到達目標】	1 消費者法の全体構造を理解し、消費者被害に対する民法と消費者法の総意を踏まえつつ、その存在意義を理解することができる 2 消費者保護の観点から見た消費者契約法など関係法規について、その正確な理解を前提として、実務における事業者としての法令遵守法令遵守に関する基礎的な対応能力を身につけることができる 3 表示規制など景品表示法に代表される事業者と消費者の情報の非対称性に起因する諸問題について正確に理解した上で、実務における事業者としての法令遵守に関する基礎的な対応能力を身につけることができる

【履修条件・受講推奨者】	受講上の制限はない。全学生に推奨するものの、特にマーケティング、消費者心理など似興味がある受講生にとっては、有益な示唆を得る講義となるであろう。																																																																															
【教育方法】	講義形式、ただし、講義中に行うQ&Aスタイルのオンライン投票システム(クリッカー)を使用する。また、対面形式の講義開催の場合は、受講生同士のディスカッションを行う場合がある。																																																																															
【指定教科書・参考資料等】	1 教科書は指定しない 2 消費者法の対象範囲は極めて幅広いため、参考文献も多岐にわたる、そこで、参考書は、講義中に適宜紹介する。																																																																															
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																										
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																											
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="3">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>消費者法の論点を正確に理解しているかどうか</td><td>60%</td><td></td><td colspan="4" rowspan="4">学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。</td></tr><tr><td>消費者法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているかについて理解しているかどうか</td><td>20%</td><td></td></tr><tr><td>最近の経済問題について、消費者政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか</td><td>20%</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td></tr></table>										評価項目と割合			評価方法				消費者法の論点を正確に理解しているかどうか	60%		学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。				消費者法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているかについて理解しているかどうか	20%		最近の経済問題について、消費者政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか	20%		合計	100%																																																
評価項目と割合			評価方法																																																																													
消費者法の論点を正確に理解しているかどうか	60%		学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。																																																																													
消費者法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているかについて理解しているかどうか	20%																																																																															
最近の経済問題について、消費者政策がどのように影響しているのかどうか、自ら発見することができるか	20%																																																																															
合計	100%																																																																															
【その他の注意事項】	この講義では教科書を指定しない、その変わり、資料を配布する。予習は、講義前に配布される講義資料を事前に読み、事前学習を済ませておくこと。																																																																															
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>消費者法総論</td><td>消費者法の全体構造について説明する。特に消費者、という概念は、消費者法の中核となるものであり、この点について、判例などを紹介し、検討する。また導入講義として、契約約款の意味などについても解説する。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること</td><td>70</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>事業者および消費者契約法総論</td><td>消費者契約法の全体構造、事業者に課せられる様々な義務や規制について、その全体的な概要を学ぶ。特に、「勧誘」の意味など、関連する判例などを読みながらその論点について理解を深めるための講義を行う。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること</td><td>70</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>消費者の誤認1 不実告知</td><td>消費者契約法における不実告知について、関連する判例、公正取引委員会、消費者庁の過去の措置命令などを分析し、その重要論点について解説する。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること</td><td>70</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>消費者の誤認2 断定的判断の提供、不利益事実の不告知</td><td>消費者契約法における断定的判断の提供、不利益事実の不告知について、関連する判例、公正取引委員会、消費者庁の過去の措置命令などを分析し、その重要論点について解説する。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること</td><td>70</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査</td><td>180</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>困惑による取り消し1: 総論</td><td>消費者を困惑させて契約させる行為は、取り消しが可能となる。消費者契約法が定める困惑による取消について、なぜこの規制が必要となるのかなど重要な論点を整理し、8つの類型について不退去(4条3項1号)、退去妨害(4条3項2号)などを中心として過去に問題となった事例などを紹介し、解説する。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること</td><td>70</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査</td><td>180</td><td>分</td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	消費者法総論	消費者法の全体構造について説明する。特に消費者、という概念は、消費者法の中核となるものであり、この点について、判例などを紹介し、検討する。また導入講義として、契約約款の意味などについても解説する。			予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分	No2	事業者および消費者契約法総論	消費者契約法の全体構造、事業者に課せられる様々な義務や規制について、その全体的な概要を学ぶ。特に、「勧誘」の意味など、関連する判例などを読みながらその論点について理解を深めるための講義を行う。			予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分	No3	消費者の誤認1 不実告知	消費者契約法における不実告知について、関連する判例、公正取引委員会、消費者庁の過去の措置命令などを分析し、その重要論点について解説する。			予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分	No4	消費者の誤認2 断定的判断の提供、不利益事実の不告知	消費者契約法における断定的判断の提供、不利益事実の不告知について、関連する判例、公正取引委員会、消費者庁の過去の措置命令などを分析し、その重要論点について解説する。			予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分	No5	困惑による取り消し1: 総論	消費者を困惑させて契約させる行為は、取り消しが可能となる。消費者契約法が定める困惑による取消について、なぜこの規制が必要となるのかなど重要な論点を整理し、8つの類型について不退去(4条3項1号)、退去妨害(4条3項2号)などを中心として過去に問題となった事例などを紹介し、解説する。			予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
週	テーマ	学習内容																																																																														
No1	消費者法総論	消費者法の全体構造について説明する。特に消費者、という概念は、消費者法の中核となるものであり、この点について、判例などを紹介し、検討する。また導入講義として、契約約款の意味などについても解説する。																																																																														
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分																																																																												
No2	事業者および消費者契約法総論	消費者契約法の全体構造、事業者に課せられる様々な義務や規制について、その全体的な概要を学ぶ。特に、「勧誘」の意味など、関連する判例などを読みながらその論点について理解を深めるための講義を行う。																																																																														
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分																																																																												
No3	消費者の誤認1 不実告知	消費者契約法における不実告知について、関連する判例、公正取引委員会、消費者庁の過去の措置命令などを分析し、その重要論点について解説する。																																																																														
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分																																																																												
No4	消費者の誤認2 断定的判断の提供、不利益事実の不告知	消費者契約法における断定的判断の提供、不利益事実の不告知について、関連する判例、公正取引委員会、消費者庁の過去の措置命令などを分析し、その重要論点について解説する。																																																																														
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分																																																																												
No5	困惑による取り消し1: 総論	消費者を困惑させて契約させる行為は、取り消しが可能となる。消費者契約法が定める困惑による取消について、なぜこの規制が必要となるのかなど重要な論点を整理し、8つの類型について不退去(4条3項1号)、退去妨害(4条3項2号)などを中心として過去に問題となった事例などを紹介し、解説する。																																																																														
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分																																																																												
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分																																																																												

【授業計画】

No6	困惑による取消2: 8類型の解説1	消費者契約法における困惑による取消について、不安をあおる告知(4条3項3号)、恋愛感情などの不当な利用(4条3項4号) デート商法、判断力低下の不当な利用(4条3項5号) 過去に問題となった事例などを紹介し、解説する。		
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
No7	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
	靈感商法など(困惑による取消3)	靈感商法や、消費者契約法成立後に追加された類型について、解説する。特に靈感商法については、過去の消費者被害を踏まえ、この問題の論点について体系的に整理する。		
No8	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
No9	不当条項規制の存在意義	消費者取引では、事業者側が契約書を作成することになる。そのため、消費者に不利な上皇が設定されてしまうことがあり、消費者は、それを変更するための交渉をすることができない。そこで消費者契約法では、不当条項をむこうとすることで、消費者保護を図っている。この講義では不当条項規制の存在意義について、具体的な事例を紹介しつつ、解説する。		
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
No10	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
	不当条項、損害賠償の制限及び消費者契約に関する最近の動向	不当条項について、損害賠償の制限など具体的な事例を紹介するとともに、消費者契約の最新の動向について紹介する。		
No11	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
No12	優良誤認表示	景品表示法における優良誤認表示について、具体的な事件、事例を紹介しながら、実務上の留意点などを解説する。		
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
No13	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
	不実証広告規制	優良誤認表示の最近の事例を紹介するとともに、不実証広告規制に関する実務の状況について解説する。		
No14	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
No15	有利誤認表示	有利誤認表示の最近の事例を紹介するとともに、不実証広告規制に関する実務の状況について解説する。		
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
No16	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分
No17	景品規制および消費者法の最新論点	景品規制について、その歴史的経緯、存在意義そして、実際の規制状況について解説するとともに、消費者法全般について最新の状況を解説する。		
	予習内容(時間)	事前配布される講義資料に目を通し、関係する条文を各自で調べること	70	分
No18	復習内容(時間)	講義内容の復習、また参考資料、消費者庁などのウェブサイト(講義中に指示)での追加調査	180	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	消費者行動論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Consumer Behavior II
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この授業では、購買行動に影響を及ぼす心理的な要因を学ぶとともに、消費者を取り囲む環境要因や状況要因など、消費者行動に影響を与える要因について多面的に解説を行う。また、近年の消費者の変化などについても学ぶ
【到達目標】	消費者行動に影響を与える環境要因について理解する 近年の消費者や購買行動の変化について理解する

	消費者行動の考え方と専門用語を理解し説明できる								
【履修条件・受講推奨者】	消費者行動Ⅰを受講済みであることが望ましい								
【教育方法】	対面講義 授業内容に応じて、リアクションペーパーの提出を求めることがある								
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない 毎回コースパワーで資料を配布する								
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	
	協働力		主張力		創造力	○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法			
	消費者行動に影響を与える環境要因について理解する				40%	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可			
	近年の消費者や購買行動の変化について理解する				30%				
	消費者行動の考え方と専門用語を理解し説明できる				30%				
	合計				100%				
【その他の注意事項】	私語や遅刻については厳重に注意する								
	週	テーマ	学習内容						
	No1	イントロダクション	授業の進め方と授業内容について説明する						
		予習内容(時間)	事前にシラバスと資料をよく読み、内容を理解しておくこと					120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること					120	分
	No2	消費者の個人特性	個人特性による類型論と購買行動への影響について解説する						
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと					120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること					120	分
	No3	消費者のライフスタイルの変化	新製品の普及過程理論を説明し、近年の消費者のライフスタイルの変化について学ぶ						
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと					120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること					120	分
	No4	環境要因の影響	消費者を取り囲む環境要因とは何かを説明し、環境が消費者行動に与える影響について学ぶ						
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと					120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること					120	分
	No5	店舗内消費者行動	計画購買と非計画購買について説明し、消費者行動に影響を与える店舗内要因について解説する						
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと					120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること					120	分
	No6	集団と社会の影響	流行にのせられてしまう心理や周囲の集団や社会が消費者行動に与える影響について解説する						
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと					120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること					120	分
	No7	口コミの影響	口コミは何かを説明し、購買行動に与える影響について解説する						
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと					120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No8	企業戦略としての口コミ	近年の口コミの変化や企業の戦略的な口コミ戦略について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No9	ネット上の消費者行動	インターネットによる消費者行動の変化について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No10	カラーが消費者に与える影響1	カラー(色)が消費者の心理に与える影響について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No11	カラーが消費者に与える影響2	カラー(色)が消費者の心理に与える影響について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No12	消費者問題と心理1	近年の消費者問題の傾向やトラブルに巻き込まれる際の心理について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No13	消費者問題と心理2	近年の消費者問題の傾向やトラブルに巻き込まれる際の心理について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分
	No14	まとめと復習	これまでの講義内容を総括し、より深く理解をする		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解を深めること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ビジネス英語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Business English BasicsⅡ
担当教員	北田 敬子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	ビジネスシーンで実際に使える英語を身に付けることを目的とするクラスです。これまでアルバイトの経験はあっても、実際に社会に出て企業や組織の一員として働くこと、また取引先の人々と当たれるよう、下ごしらえをしておきましょう。これまでに培ってきた英語の基礎知識を、ビジネスの場で活用するためにどのようなことが必要か、毎週の授業の中で具体的に確認していきます。学生の皆さんにとっては「まだずっと先のこと」と感じられるでしょうが、日頃からビジネスに関する英語に触れておくことは、将来の学習のためにも大切です。想像力を働かせ、未来の自分のために今、ビジネス英語に着手しましょう
	挨拶や自己紹介、簡単な製品説明、事業内容説明、それぞれの場面での質疑応答などを口頭で行えるようになることを目標とする

【到達目標】	テキストで基本的なビジネス関連語彙を学び、文書読解、メール対応、電話メモ、会議の準備など、会議での発言方法など、仕事現場で必要とされるスキルを身に付けることを目標とする。							
	ビジネスプレゼンテーションの基礎を学び、シミュレーションを行うことを目標とする。							
【履修条件・受講推奨者】	英語とビジネス全般に関心のある学生。							
【教育方法】	読み、書き、聞き、話す、4技能を統合的に学べるようクラス内活動を行い、併せてオンラインによる課題の提出を通じて、ウェブ上でのやり取りもスムーズに行えるよう留意していく。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書 Make It in Business (Mayumi Okamoto他著 センゲージラーニング株式会社)							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	授業内活動への積極的参加			20%	授業内のワークシート提出 オンライン課題の提出 記述試験の成績 以上の総合で成績を出す			
	毎週のオンライン課題提出			20%				
	小テストと学期末試験の成績			60%				
	合計			100%				
【その他の注意事項】	100分間の授業の中に数分間の休憩・リフレッシュの機会を設けるので、遅刻・居眠りをしないこと！							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	導入 使用教科書の秋学期学習内容概要説明 クラスルール再度共有	春学期の振り返りと、秋学期授業開始に当たって、確認しておくこと、教員と学生が相互に了解する事項を明示し、次週からの授業に備える。 Summer 2023—というタイトルで英語の短いエッセイを書く。(新しくクラスに参加する人は自己紹介も兼ねて)					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No2	Lesson 7: Attending a Meeting (1)	社内会議に出席する。新製品の販売状況と今後の戦略について意見が交わされるという状況下で、同僚のやり取りから会議での発言・返答方法について学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No3	Lesson 7: Attending a Meeting (2)	新製品の仕様紹介、質疑応答のサンプルを学ぶ。					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No4	Lesson 8: Dealing with Complaints (1)	海外の取引先会社から、製品納入状況に関する苦情が届く。留守番電話に残された音声を基に、問題のありかに対処方法を考える。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分
	No5	Lesson 8: Dealing with Complaints (2)	苦情処理の重要な点は、即座の連絡と対応策の提示だが、それを怠るとどうなるかというケースを扱う。					
		予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。				120	分
		復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。				120	分

【授業計画】

No6	Lesson 9: Getting Ready for an Overseas Business Trip (1)	取引先からイギリスでの会議への出席を求められる。初めての海外出校に臨む際の準備、とりわけプレゼンの準備が課題となる。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No7	Lesson 9: Getting Ready for an Overseas Business Trip (2)	海外出張のための準備として、航空券予約、宿泊私鉄予約、乗り換えなどを事前チェックする。各自航空会社のウェブサイト参照し、価格や航空時間、乗り継ぎの有無などをチェックしてみる。		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No8	Lesson 10: Gathering Information for a Presentation (1)	海外の出張先で行う、自社新製品のプレゼンテーションの準備を行う。資料収集や見やすいデータの提示方法など、具体的に学ぶ。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No9	Lesson 10: Gathering Information for a Presentation (2)	パワーポイント資料の作成、表やグラフの選択など、プレゼンに必須のスキルを確認する。自分でも作成してみよう。		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No10	Lesson 11: Writing a Presentation Draft (1)	プレゼンで最も重要なのは、原稿の整備である。ビジネスプレゼンの場合、社内にテンプレートがあれば活用し、最新のデータは担当部署から提供を受ける。リハーサルを含めて、周到な準備が成果を左右する。準備の大変さを実感して欲しい。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No11	Lesson 11: Writing a Presentation Draft (2)	テキストのプレゼンをサンプルとして、自分でもプレゼン減句を書き、パワーポイントファイルを作成し、実際にミニプレゼンに挑戦してみよう。		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No12	Lesson 12: Traveling Abroad for the first Time (1)	初めての海外出張旅行。空港での航空機スケジュール変更や、乗り場変更などにも対応しなければならない。アナウンスや電光掲示板からの情報収集に慣れよう。 語彙確認 会話例、Expression Notes学習		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No13	Lesson 13, 14: Giving a Presentation (1), (2)	テキストのプレゼンをサンプルとして、自分でもプレゼン減句を書き、パワーポイントファイルを作成し、実際にミニプレゼンに挑戦してみよう。		
	予習内容(時間)	オンラインの課題に取り組み、提出する。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分
No14	The final examination of the Fall Semester.	秋学期末まとめ総合テスト		
	予習内容(時間)	秋学期末試験に向けて準備を行う。	120	分
	復習内容(時間)	前回課題の【解答・解説】で復習を行う。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ビジネス英語Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Business English BasicsⅡ
担当教員	矢戸 カール
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	The introduction of Business English at a very basic level. Students will be introduced to a variety of different business vocabularies and expressions. Also, students will receive information about different countries and their customs since doing business nowadays requires global awareness.
【到達目標】	Learn business vocabularies and expressions in English. Also, business idioms will be introduced Being able to read text materials smoothly with much practice in reading and basic grammar

	Practice communication skills by reading out loud and doing a lot of role plays.				
【履修条件・受講推奨者】	Second year students				
【教育方法】	Classes will be taught using hand outs and focused on the text book. Students are expected to participate actively.				
【指定教科書・参考資料等】	Business Plus, Student' Book 1, Cambridge University Press, 2015				
【実務IQ修得目標】					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	Midterm and final examination	60	Combination of midterm and final examination, class participation, and class attendance.		
	, Active class participation	30			
	Class attendance	10			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	None				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	Unit 5, Business Appointments	Making business appointments and schedules		
		予習内容(時間)	Business appointments	120	分
		復習内容(時間)	Business appointments	120	分
	No2	Unit 5, Business Appointments and Business Idioms	Making business appointments and Business idioms		
		予習内容(時間)	Business appointments and Business idioms	120	分
		復習内容(時間)	Business appointments and Business idioms	120	分
	No3	Unit 5, Business Appointments	Telling time and communication styles		
		予習内容(時間)	Telling time and communication styles	120	分
		復習内容(時間)	Telling time and communication styles	120	分
	No4	Unit 6, Customer Service and Business Idioms	Hotel Reservation and Making Comparison, Business Idioms		
		予習内容(時間)	Reservations and Idioms	120	分
		復習内容(時間)	Reservations and Idioms	120	分
	No5	Unit 6, Customer Service	Country Comparison and Giving Advice		
		予習内容(時間)	Comparison and Giving Advice	120	分
		復習内容(時間)	Comparison and Giving Advice	120	分
	No6	Unit 6, Customer Service and Business Idioms	Traveling and Hotel Service and Business Idioms		
		予習内容(時間)	Service and Business idioms	120	分
		復習内容(時間)	Service and Business idioms	120	分
	No7	Midterm Examination	Midterm Examination		
		予習内容(時間)	Unit 5 & 6 and Business Idioms	120	分
		復習内容(時間)	Unit 5 & 6 and Business Idioms	120	分

	No8	Unit 7, Story of a Company	Story of a Company, regular and irregular verbs		
		予習内容(時間)	Company, regular and irregular verbs	120	分
		復習内容(時間)	Company, regular and irregular verbs	120	分
	No9	Unit 7, Story of a Company and Business Idioms	Asian companies and nationalities, Business Idioms		
		予習内容(時間)	companies and nationalities, Business idioms	120	分
		復習内容(時間)	companies and nationalities, Business idioms	120	分
	No10	Unit 7, Story of a Company	Women CEOs and Taboos		
		予習内容(時間)	Women CEOs and Taboos	120	分
		復習内容(時間)	Women CEOs and Taboos	120	分
	No11	Unit 8, Business Entertainment and Business Idioms	Count and Uncountable Verbs, Business Idioms		
		予習内容(時間)	Count and Uncountable Verbs, Business Idioms	120	分
		復習内容(時間)	Count and Uncountable Verbs, Business Idioms	120	分
	No12	Unit 8, Business Entertainment	Ordering at Food Court		
		予習内容(時間)	Ordering at Food Court	120	分
		復習内容(時間)	Ordering at Food Court	120	分
	No13	Unit 8, Business Entertainment and Business Idioms	Invitations and Jet Service, Business Idioms		
		予習内容(時間)	Invitations and Jet Service, Business Idioms	120	分
		復習内容(時間)	Invitations and Jet Service, Business Idioms	120	分
	No14	Unit 8, Business Entertainment and Business Idioms	Invitations and Jet Service, Business Idioms		
		予習内容(時間)	Invitations and Jet Service, Business Idioms	120	分
		復習内容(時間)	Invitations and Jet Service, Business Idioms	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	キャリア発達心理学 BE-K
講義名(英字)	Career Development
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	一生涯を通じて、私たち人間はつねに発達し続ける存在です。この講義では、生涯発達心理学の観点から、胎生期から死に至るまでを範囲とし、とくに成人期に焦点をあて、人の心理社会的な変化のプロセスに関する知識と考え方を学びます。学習を通じて、人間理解の幅を世代的におし広げ、考察を深められるようにします。
【到達目標】	理論の理解：心理社会的発達に関する概念や用語について適切に説明できる 年代固有の特徴の理解：各段階における心理的危機と社会的適応について十分に理解する

	キャリア発達: 成人期のキャリア発達に関する基本的な枠組み、意義について理解する											
【履修条件・受講推奨者】	「心理学I」「心理学II」を履修済みであること。もしくは同時に履修していることが望ましい。											
【教育方法】	基本的には講義形式で進める。テーマに応じて、グループディスカッションを入れることがある。理解の定着のため、レポート等の課題提出を求めることがある。											
【指定教科書・参考資料等】	教科書: 藤村宣之 編著『発達心理学―周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか(いちばんはじめに読む心理学の本)』ミネルヴァ書房. 参考書は講義内で指示											
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力					
	協働力	○	主張力		創造力							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法								
	生涯発達心理学に関する諸理論、現象の理解		10%	出席率70%以上。小課題20%・試験(持込不可)60%・中間試験20%を勘案、総合的に評価								
	各年代固有の特徴に関する理解		25%									
	キャリア発達、成人期の社会性の発達に関する理解		65%									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	・授業中のスマートフォン、携帯電話等の電子機器類の使用は原則として認めない。 ・課題提出のため、GoogleClassroomにも登録すること。 ・課題は期日どおりに提出すること。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	生涯発達とは？	生涯発達心理学の考え方、発達段階説									
		予習内容(時間)	テキストを入手し、目次等に目を通し、概観しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	講義内で配布した資料を用いて、生涯発達心理学の理論について比較し、特徴を整理する。指示された課題に回答する。						120	分		
	No2	胎生期	胎生期の発達									
		予習内容(時間)	講義内で配布した資料を用いて、胎生期の特徴を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	講義内で指示した映像資料を観、ポイントを要約する。自分の意見をミニレポートにまとめる。						120	分		
	No3	乳幼児期(1)	心身の発達、愛着関係、社会性／相互作用性の発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	キーワードに留意しながら、ポイントを整理しておく。授業で紹介した関連資料を読む。						120	分		
	No4	乳幼児期(2)	認知的発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	キーワードに留意しながら、ポイントを整理しておく。授業で紹介した関連資料を読む。						120	分		
	No5	乳幼児期(3)	情緒的発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	授業で指示した課題をまとめる。						120	分		
	No6	児童期(1)	認知的発達									
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。						120	分		
		復習内容(時間)	授業で指示した課題をまとめる。						120	分		

【授業計画】	No7	児童期(2)	社会性の発達		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題をまとめる。	120	分
	No8	中間試験(予定)、青年期(1)	前半: 中間試験と解説を行う(予定。変更する場合は事前に告知する) 後半: 思春期と青年期		
		予習内容(時間)	中間試験対策として、これまでの内容を見直す。	120	分
		復習内容(時間)	中間試験結果を見て、理解度を自己点検する。	120	分
	No9	青年期(2)	アイデンティティと職業選択、モラトリアム		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No10	青年期(3) 成人期(1)	青年期の病理、社会的 ひきこもり ワークライフバランス、ワークファミリーコンフリクト		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No11	成人期(2)	職業的キャリア		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No12	成人期(3)	働き盛りとメンタルヘルス		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。	120	分
	No13	老年期(1)	老年期の特徴、健康な老い、QOLとADL、認知症		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。試験に向けて準備する。	120	分
	No14	老年期(2) まとめ	老年期の病理、高齢者への心理的ケア、死生学		
		予習内容(時間)	テキストの指示箇所を通読する。キーワードを掴み、内容を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	授業で指示した課題に取り組む。試験に向けて準備する。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	社会心理学Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Social PsychologyⅡ
担当教員	薮 理津子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	自分が所属している集団の意見に同調する、マスメディアの情報によって態度を決定するなど、我々は集団や社会から影響を受けて生きている。社会心理学では、これらの社会的行動を対象とし、社会的行動の背景にある心理的メカニズムを明らかにする。本授業では社会心理学の様々な研究を紹介し、集団、集合、情報と社会、健康と幸福、文化を扱う。この授業を受講することで、普段の行動の背景に、どのような心理的メカニズムがあるのか、また、我々は社会からどのような影響を受けているのかを考える契機としてほしい。
	集団における個人の心理と行動を理解する。

【到達目標】	集合としての心理・行動、マスメディアによって受ける影響について理解する。 健康と幸福、文化によって影響を受ける心の仕組みの理解について理解する。																												
【履修条件・受講推奨者】	「社会心理学Ⅰ」も受講することが望ましい。																												
【教育方法】	パワーポイントを使用した講義である。授業資料はCoursePowerにて事前に公開するので、授業当日までに印刷する、もしくは、パソコン等の電子機器にダウンロードし、手元に資料がある状態で授業に臨むこと。																												
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない。 参考図書は以下2つ。 ①池上知子・遠藤由美(著)『グラフィック社会心理学 第2版』サイエンス社 ②山田一成・結城雅樹・北村英哉(編著)『よくわかる社会心理学』ミネルヴァ書房																												
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力		創造力									
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																							
協働力		主張力		創造力																									
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>学期末試験</td><td>60%</td><td colspan="6" rowspan="4">学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。</td></tr><tr><td>リアクションペーパーによる平常点</td><td>40%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						学期末試験	60%	学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。						リアクションペーパーによる平常点	40%			合計	100%
評価項目と割合		評価方法																											
学期末試験	60%	学期末試験とリアクションペーパーによる平常点の合計得点が最終評価となる。最終的に60点以上取得できれば合格となる。																											
リアクションペーパーによる平常点	40%																												
合計	100%																												
【その他の注意事項】	授業中の私語・携帯電話の使用・遅刻については厳禁である。																												
	週	テーマ	学習内容																										
	No1	ガイダンス	授業の進め方、学習への取り組み方、評価方法に関する説明																										
		予習内容(時間)	「社会心理学Ⅰ」を受講していない者は社会心理学とはどのような心理学なのかを調べる。「社会心理学Ⅰ」を受講していた者は社会心理学がどのような学問であるかを見直す。					120	分																				
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、学習への取り組み方、評価方法をよく理解する。					120	分																				
	No2	個人と集団(1)	他者の存在が個人に及ぼす影響																										
		予習内容(時間)	社会的促進や社会的抑制など、他者の存在が個人に影響を及ぼす現象を調べる。					120	分																				
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。					120	分																				
	No3	個人と集団(2)	リーダーシップ																										
		予習内容(時間)	リーダーシップというワードで、どのような理論があるか、どのようなことが研究されているかを調べる。その上で、自分が所属する集団のリーダーがどのようなリーダーか、また、自分がリーダーのとき、どのようなリーダーであるかを考える。					120	分																				
		復習内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。					120	分																				

【授業計画】

	No4	個人と 集団(3)	同調と服従		
		予習 内容(時 間)	同調と服従というワードを調べる。その上で、自分が同調するとき、服従するときがどのようなときかを考える。	120	分
		復習 内容(時 間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No5	個人と 集団(4)	内集団と外集団		
		予習 内容(時 間)	内集団と外集団というワードを調べる。更に、内集団と外集団に関する理論を調べる。その上で、自分が内集団にいるときにどのような行動をするかを考える。	120	分
		復習 内容(時 間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No6	個人と 集団(5)	協同と競争		
		予習 内容(時 間)	協働と競争というワードを調べる。自分や自分の周囲が他者と協働するとき、また、競争するときがどのようなときかを考える。	120	分
		復習 内容(時 間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No7	集 合(1)	集合過程、群集		
		予習 内容(時 間)	集合と群集というワードを調べる。その上で、自分が群集の中にいる場面を思い起こし、どのような行動を取っているかを考える。	120	分
		復習 内容(時 間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No8	集 合(2)	パニック、災害		
		予習 内容(時 間)	パニックと災害について、どのような研究および理論があるかを調べる。その上で、自分の身の回りでパニックが発生したことがあるか、ニュース等で報道されたパニックについて考える。また、災害時に自分がどのような行動を取っているかを考える。	120	分
		復習 内容(時 間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No9	集 合(3)	ファン心理		
		予習 内容(時 間)	自分もしくは周囲の人間が誰のファンであり、どのような気持ちを抱いていて、どのような行動を取っているかを考える。	120	分
		復習 内容(時 間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
		情報と 社会	マス・コミュニケーションによる影響		
		予習 内容(時 間)	マス・コミュニケーションについて、どのような研究および理論があるかを調べる。その上で、自分や周囲がマスコミからどのような影響を受けているかを考える。	120	分

	No10	間)			
		復習 内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No11	健康と 幸福(1)	ストレスとコーピング、ソーシャルサポート		
		予習 内容(時間)	ストレス、コーピング、ソーシャル・サポートというワードを調べる。自分がどのようなときにストレスを感じ、そのときどのようなことをしているかを考える。	120	分
		復習 内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No12	健康と 幸福(2)	幸福感と健康		
		予習 内容(時間)	幸福感に関する研究を調べ、自分が幸福感を感じるときはどのようなときかを考える。	120	分
		復習 内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No13	文化 (1)	文化的自己観		
		予習 内容(時間)	文化的自己観というワードを調べる。その上で、自分がどのようなときに文化差を感じるかを考える。	120	分
		復習 内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分
	No14	文化(2)	個人主義と集団主義、一般的信頼		
		予習 内容(時間)	個人主義、集団主義、一般的信頼というワードを調べる。その上で、文化について、どのような研究が行われているかを調べる。	120	分
		復習 内容(時間)	授業資料をよく見直し、授業内容を自分で説明できるようにする。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	社会心理学Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Social Psychology II
担当教員	佐藤 恵美
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	社会心理学は人間がその場の状況や他の人々社会とのかかわりの中で影響を受けてどのように行動するのかという視点から、実証的な研究を通して人間を研究する学問である。社会心理学Ⅱでは、“個人と集団・組織との関わり”の観点から集団行動の理解と組織での人間行動の理解を目的とする。集団や組織における集団間関係性と社会的アイデンティティ、同調と服従、集団のパフォーマンスと意思決定を理解する。また、社会生活は数多くのジレンマや不平等に悩まされることから公正と価値の相対性について理解し、社会への適応と不適応の観点から犯罪心理学や自身のメンタルヘルスを理解していく。
	集団過程と集団的アイデンティティ: 集団の構造、成員性、集団間の関係を通して集団が認知と行動に及ぼす影響力について理解する。さらに、集団内で発生する同調と服従、集団における作業とパフォーマンス、集団意思決定など集団内での相互作用とその影響を理解し、組織内での

【到達目標】	集団における人間関係に応用できるようにする。								
	社会化と社会的ジレンマ:人は生涯発達するその過程においてどのように社会化し、社会に適応していくのかを理解する。最近では家族や性別に関する考え方が大きく変化していることから、現代社会の就労、結婚、子育て、性別に関することなど社会的変動について考えることができるようにする。また、社会は公平に分配されず、思い通りにいかないことが多い。このため、日常生活や企業において多くのジレンマと不正に出会うが、その中でいかに社会における協力関係を継続できるか社会契約論から理解できるようにする。								
	犯罪心理学とメンタルヘルス:社会における犯罪の原因とそのプロセスについて理解し、日常生活や企業における犯罪行為から身を守るようにする。さらに、社会での適応と不適応状態の心理・行動から不適応状態におけるストレスと行動について理解し、社会における適応とストレス対処から幸福とは何かを考えることができるようにする。								
【履修条件・受講推奨者】	社会心理学Ⅰも合わせて履修するのが望ましい。								
【教育方法】	対面による講義授業								
【指定教科書・参考資料等】	社会心理学概説 2018 潮村 公弘, 福島 治 編著 北大路書房 (社会心理学Ⅰと同様)								
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力		
	協働力		主張力	○	創造力				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合					評価方法			
	定期試験		70%		定期試験とレポート				
	レポート		20%						
	ホームワーク(毎授業の課題提出)		10%						
	合計		100%						
【その他の注意事項】	教科書は必ず持参すること。レポート等、提出物は必ず提出すること。								
	週	テーマ	学習内容						
	No1	社会心理学とは	個人の行動と集団・組織における行動						
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること					120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること					120	分
	No2	集団とアイデンティティ	集団成員性と社会的アイデンティティ						
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること					120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること					120	分
	No3	集団間関係	集団同一視と攻撃行動						
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること					120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること					120	分
	No4	集団過程	同調と服従						
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること					120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること					120	分
	No5	集団意思決定	集団意志決定と集団のパフォーマンス						
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること					120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること					120	分
	No6	集合行動	群集心理とパニック、流言と流行、プロパガンダ						
予習内容(時間)		毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること					120	分	

【授業計画】		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分
	No7	社会化	生涯発達と社会への適応		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分
	No8	家族とジェンダー	変わりゆく就労、結婚、子育て、家族、性別について		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分
	No9	社会的ジレンマ	社会的ジレンマと協力的行動、道徳と社会的かじこさについて		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分
	No10	社会的公正	価値の相対性と分配的公正、公平理論と社会契約理論		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること		分
	No11	組織	仕事への動機づけと人事アセスメント		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること		分
	No12	リーダーシップ	リーダーシップの歴史的変遷からチームワークへ		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分
	No13	犯罪心理学	犯罪原因論の発想、企業犯罪の発生過程について		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分
	No14	社会的適応	ストレス理論とメンタルヘルス、幸福について		
		予習内容(時間)	毎回、授業で指定された章を熟読すること。さらに、関連した著書を読み、要点をまとめること	120	分
		復習内容(時間)	授業の最後に提示された課題を200字程度でまとめ、次回の授業時まで提出すること	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	イベントプロデュース論Ⅱ E-K
講義名(英字)	Theory of Event Production II
担当教員	大山 利栄
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントのプロデュース機能とは「そのイベントの目指すべき全体像を構築し、さまざまな要素や条件の調整を行いながら、種々の制約の中で最も効果を高めるよう、それらをひとつのシステムとして組み上げていく機能」です。イベントもひとつのプロジェクトであり、経済活動です。目的と目標を掲げ、予算を組み立て、適材適所に人材を配置し臨時の組織を統率し、総責任者としてプロジェクトを遂行させるプロデュースという業務について学びます							
【到達目標】	イベントプロデュースに関する基礎知識を理解する 幅広いプロデュースカテゴリーについて説明できる イベントプロデューサーの役割が理解できる							
【履修条件・受 講推奨者】	イベントプロデュース論Ⅰを履修していること							
【教育方法】	主に講義形式で行うが、必要に応じて実際のイベントの映像を使用する							
【指定教科書・ 参考資料等】	使用せず							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評	評価項目と割合			評価方法				
	授業態度	20%						

価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）	レポート提出	40%	3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する		
	期末テスト	40%			
	合計	100%			
	【その他の注意事項】	特になし			
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	人を動かすプロデュース①	イベントプロデュース論Ⅰのおさらい 人を動かす4つの仕組み		
		予習内容(時間)	イベントプロデュース論Ⅰについて復習	120	分
		復習内容(時間)	人を動かすアイデアについてレポート	120	分
	No2	人を動かすプロデュース②	もっと人を動かす クロスイベント		
		予習内容(時間)	人が動くときはどんな時かについて考える	120	分
		復習内容(時間)	新しいクロスイベントについてレポート	120	分
	No3	参加型イベント	参加型イベントのプロデュース モチベーションとゲーミフィケーション		
		予習内容(時間)	ゲームになぜはまるのかについて考察する	120	分
		復習内容(時間)	これまでに収集したものについてレポート	120	分
	No4	イベントショップ①	イベントショップのプロデュース 移動者マーケティング 衝動買いさせる技術		
		予習内容(時間)	通学時に目にするお店について整理する	120	分
		復習内容(時間)	過去に衝動買いしたものについてレポート	120	分
	No5	イベントショップ②	イベントショップのプロデュース どんどん売れる売り場づくり POP		
		予習内容(時間)	POPにはどんなものがあるのかを調査する	120	分
		復習内容(時間)	自分のPOPを作成しレポート	120	分
	No6	イベントショップ③	イベントショップのプロデュース イベントショップの実例 ウリの3大要素「USP」 ウリを作るニッチ戦略		
		予習内容(時間)	生活導線上にある仮設ショップについて調査する	120	分
		復習内容(時間)	自分のUSPについてレポート	120	分
	No7	地域型イベント①	地域活性化イベントのプロデュース インバウンドとアウトバウンド 6つのアトラクティブス		
		予習内容(時間)	ウリがあり活性化している地域について調査する	120	分
		復習内容(時間)	これまでの旅行先での6つのアトラクティブスについてレポートする	120	分
	No8	地域型イベント②	地域活性化イベントのプロデュース ニューツーリズム		
		予習内容(時間)	付加価値のある旅行体験について整理する	120	分
		復習内容(時間)	これまでの聖地巡礼体験についてレポート	120	分
	No9	学び型イベント①	講座・セミナーイベントのプロデュース 学び型イベントの種類と意義		
		予習内容(時間)	これまで参加したセミナーや公園について整理する	120	分

		復習内容(時間)	お金を払ってでも参加したい学びイベントについてレポート	120	分
	No10	学び型イベント②	講座・セミナーイベントのプロデュース 参加者が溢れる学びの場づくり		
		予習内容(時間)	どんな時に学びイベントに行くのかについて調査する	120	分
		復習内容(時間)	恐怖訴求に反応してしまった事例についてレポート	120	分
	No11	スポーツイベント①	スポーツイベントのプロデュース スポーツイベントへの関わり方 驚きと感動のニューススポーツイベントを考える		
		予習内容(時間)	過去のスポーツ体験について整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	ニューススポーツについてのアイデアをレポート	120	分
	No12	スポーツイベント②	ビッグスポーツイベント「オリンピック」 オリンピックの歴史と意義		
		予習内容(時間)	オリンピックについて調査する	120	分
		復習内容(時間)	オリンピックが大きく変化したことに対するレポート	120	分
	No13	イベントマネジメント①	イベント管理会計 イベントの予算と利益		
		予習内容(時間)	任意のイベントの予算について調査する	120	分
		復習内容(時間)	原価と利益、粗利率についてレポート	120	分
	No14	イベントマネジメント②	イベント法務 イベントに係る法律の種類とその対応		
		予習内容(時間)	不法で問題となったイベントについて調査する	120	分
		復習内容(時間)	イベントに係る法律について設問に対するレポート	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経済学Ⅱ BE-K
講義名(英字)	EconomicsⅡ
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義ではマクロ経済学の基礎理論を学びます。マクロ経済学の問題は、公務員試験等でも出題されます。本講義を履修すれば、公務員試験対策にもなりますので、公務員志望の学生はぜひ履修してください。							
【到達目標】	マクロ経済理論を習得。 公務員試験問題を解くことができる。 日本経済と国際経済を比較できる視野を持つ。							
【履修条件・受講推奨者】	前期科目「経済学Ⅰ」とセットで履修することが望ましい。 公務員志望の者。 他者に迷惑をかける行為(私語など)は慎むこと。							
【教育方法】	講義形式が中心。 グーグルクラスルームを利用。講義で使用するレジュメや確認テストなどはグーグルクラスルームにアップロードされる。 履修者の理解度を測るために、確認テスト(フォーマットはグーグルフォーム)を実施。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書: 指定しない。 参考書: 講義の中で適宜指示する。							
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="3">評価方法</td></tr><tr><td>定期試験</td><td>40%</td><td colspan="3" rowspan="4">定期試験と各回に予定されている確認テスト(課題)の累積得点により総合的に判断して成績を評価する。正当な理由のない欠席を5回以上した者は単位取得を認めない。</td></tr><tr><td>確認テスト(および課題)の累積点(100点満点換算)</td><td>60%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>					評価項目と割合		評価方法			定期試験	40%	定期試験と各回に予定されている確認テスト(課題)の累積得点により総合的に判断して成績を評価する。正当な理由のない欠席を5回以上した者は単位取得を認めない。			確認テスト(および課題)の累積点(100点満点換算)	60%			合計	100%
評価項目と割合		評価方法																			
定期試験	40%	定期試験と各回に予定されている確認テスト(課題)の累積得点により総合的に判断して成績を評価する。正当な理由のない欠席を5回以上した者は単位取得を認めない。																			
確認テスト(および課題)の累積点(100点満点換算)	60%																				
合計	100%																				
【その他の注意事項】	経済の動向を勘案して授業計画を変更することがある。 課題の提出期限等のスケジュール管理を徹底すること。																				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容																		
	No1	ガイダンス	講義概要、評価方法についての説明。 日本を含む国際経済の現在(いま)を知る。																		
		予習内容(時間)	ニュースキュレーションアプリをチェック。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
	No2	グラフの読み方	財に対する需要の構成要素。 消費関数(所得と消費の関係)。 限界消費性向(所得が変化と消費の変化の関係)。 45度線分析(供給と生産の関係)。																		
		予習内容(時間)	高校の数学を復習。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
	No3	国民所得の決定	GDPの構成を理解する。 均衡国民所得の概念を理解する。																		
		予習内容(時間)	日本のGDPを調べる。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
	No4	資産市場	債券と貨幣の関係を理解する。 市場利子率の決定要因。																		
		予習内容(時間)	金利の種類を調べる。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
	No5	IS-LM分析	財市場と貨幣市場の同時分析。 国民所得と利子率の組み合わせ。 マクロ経済政策の効果を分析。 乗数理論を理解する。																		
		予習内容(時間)	日銀の金融政策をチェック。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
	No6	IS-LM-BP分析①	国境を越えた資本移動が経済に及ぼす影響。 固定相場制と変動相場制。 “流動性の罠”を理解する。 国際収支表の仕組みを理解する。																		
		予習内容(時間)	日本の貿易収支を調べる。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
	No7	IS-LM-BP分析②	国境を越えた自由な資本移動を前提としたマクロ経済政策の効果を分析。 金融政策を最適化させる方法。																		
		予習内容(時間)	日本の経済成長率を調べる。	120	分																
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120	分																
			古典派の第一公準と第二公準。 名目値と実質値の違いを理解する。																		
	古典派経済学とケインズ経済学																				

	No8		失業の種類を理解する。 労働市場の分析アプローチの違い。	
		予習内容(時間)	スミスとケインズの著書を読む。	120 分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120 分
	No9	AD-AS分析	労働力の供給と需要はどのように決まるか。 完全雇用国民所得を理解する。 名目賃金の下方硬直性を理解する。	
		予習内容(時間)	マクロ経済学のテキストに目を通す。	120 分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120 分
	No10	インフレーション	フィリップス曲線の仕組みを理解する。 物価版フィリップス曲線の仕組みを理解する。 自然失業率仮説を理解する。	
		予習内容(時間)	CPIを調べる。	120 分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120 分
	No11	IAD-IAS分析	財市場・貨幣市場・労働市場の同時分析。 インフレ需要曲線(インフレ率と国民所得の組み合わせ) インフレ需要曲線のシフト=AD曲線のシフト。 オークンの法則を理解する。 短期と長期を区別するインフレ期待。	
		予習内容(時間)	マクロ経済学のテキストに目を通す。	120 分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120 分
	No12	貿易	絶対優位と絶対劣位。 比較優位と比較劣位。 為替レートの変化が貿易に及ぼす影響。 為替レートの変化がもたらす経済的影響。 消費者余剰と生産者余剰から保護貿易を考える。	
		予習内容(時間)	日本円の対ドルレートの推移を調べる。	120 分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120 分
	No13	産業連関分析	産業連関表の仕組みを理解する。 投入・生産・販売の関係を理解する。 投入係数を理解する。 経済の連関について考える。	
		予習内容(時間)	経済効果に関するニュースをピックアップ。	120 分
		復習内容(時間)	確認テストの回答もしくは課題の提出。	120 分
	No14	公務員試験問題に挑戦	実際に出題された公務員試験問題を解く。 答え合わせと解説。	
		予習内容(時間)	例題に目を通す。	120 分
		復習内容(時間)	配布されたレジュメを振り返る。	120 分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経済学Ⅱ BE-M
講義名(英字)	EconomicsⅡ
担当教員	松田 岳
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	日々起こっている経済現象は複雑な要因が絡み合っていたり、馴染みのない専門用語で説明されたりしているため、学生諸君からは「理解不能な情報」として放置される傾向にある。しかし、企業経営は経済変動の影響から絶対に逃れることはできない。そのため、諸君がビジネスパーソン(企業人)として活躍したいのであれば、経済に関する基礎知識を身に付けることが不可欠となる。経済現象を理解するためには、必要最低限の専門用語を理解するとともに、経済現象の構造や法則を理解することが肝要である。そこで本科目は長短の実物経済の決定要因や開放経済の特徴等を理解するのに必要な最低限の経済知識を学生諸君が修得することをその目的とする。							
【到達目標】	国民所得や物価の意味や計算方法について理解し、説明できるようになること。 開放経済がマクロ経済に与える影響について理解し、説明できるようになること。 経済が変動する要因と経済政策との関係について理解し、説明できるようになること。							
【履修条件・受講推奨者】	学生として学修態度を有し、授業を妨害する行為を行わないことが履修条件である。							
【教育方法】	大学設置基準に定められている予習・復習を学生が行うことを前提として、授業を行う。授業は教科書のポイント解説、質問への回答、グループワークから構成されている。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書はマツダタカシ『経済学2講義録R5.1』、同『経済学2講義録R5.2』(Kindle本〔電子書籍〕)。購入方法はコースパワー経由で指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	長期の実物経済の決定要因について理解し、説明できる。	54%	本試験の正答率で絶対評価を行う予定だが、得点率が低い場合は相対評価を採用する。		
	開放経済と閉鎖経済の違いについて理解し、説明できる。	15%			
	経済変動と経済政策の関係について理解し、説明できる。	31%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	1)大学のメールアドレスとパスワードは授業参加に不可欠なので忘れないこと。2)コースパワーの情報を小まめに確認すること。3)5回以上欠席すると評価対象外になる。				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス:本学における経済学の位置付け、経済学の到達目標や教授方法、評価方法を確認する。	本学のカリキュラムにおける本科目の位置付け、経済学全体における本科目(経済学2)の位置付け、本科目の全体テーマ、皆さんが目指すべき到達目標について理解していただきます。また、教科書を用いてどのように予習し、講義を受け、復習をし、テスト対策をすればよいのかについて解説します。最後に、本科目の評価対象と2つの評価基準、本科目の出欠確認方法、評価対象外となる基準、欠席を取り消す例外措置などについて説明します。		
		予習内容(時間)	シラバスに目を通し、到達目標、教授方法、評価方法を予め理解しておく。	180	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、シラバスが完全に理解できていない場合は質問を提出する。	60	分
	No2	国民所得:経済における所得と支出の関係、経済規模の測定方法と物価の影響を除外する方法を学修する。	経済主体(家計・企業・政府・外国)による経済取引は主に2つのタイプに分類されること、その全体像から「誰かの支出は常に誰かの所得となる」関係にあることを学びます。また、経済の状態を示す最も代表的な経済統計である国民所得について、その測定方法を学修します。さらに、実質的に(失業率が下がったり、実質所得が増えたりして)経済が成長したか否かを測定するために、国民所得から物価の影響を取り除く大切さとその方法について理解して頂きます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No3	物価:物価の計算方法、物価の変動要因、物価変動がマクロ経済に与える影響とその制御方法を学修する。	物価が一定の方向に変化し続けるとマクロ経済にどのような影響を及ぼすのかについて考えます。また、商品価格の一般的な水準を示すデータ(物価指数)が2つあること、それぞれの物価指数の計算方法、さらには、消費者物価指数がなぜ上振れしてしまう(高めの数値になってしまう)理由についても学修します。最後に、物価が変動する理由と物価変動がマクロ経済に与える影響、さらには現在の政府・日銀が設定している物価目標について理解して頂きます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No4	経済成長:国の生活水準を決定する要因、経済成長の原動力、経済成長と公共政策の関係について学修する。	経済成長が国民の経済的厚生(幸せ)に決定的に重要な影響を及ぼします。そして、経済の成長率を高めたければ、生産性を高めるか、生産要素の量を増やす必要があります。生産要素の量には限界がありますが、生産性を高めることはできます。授業ではどうすれば生産性が向上するのかについて学修します。政府は直接的に経済を成長させることはできませんが、経済成長を促す努力は可能です。日本政府が近年行ってきた公共政策を例に、その努力の軌跡を確認します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No5	貯蓄と投資:貯蓄と投資の決定要因と均衡するメカニズム、外部ショックと利子率の変化について学修する。	資金を余らせている主体と不足する主体を金融機関がつなぎ、構成されるのが金融市場です。金融市場と金融仲介のあり方についてまずは学びます。その後、マクロ経済学の観点から貯蓄と投資は、全体としてみれば等しくなることを学修します。最後に、貯蓄と投資が等しくなるメカニズムを理解するために、貸付資金市場について学修します。外部環境の変化から、資金に対する動機が変化したり、政府の政策の変化が、利子率にどのような影響を及ぼすのかについても学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No6	失業:失業率の水準を決定する要因、賃金という価格の特性、2つのタイプの失業、失業率の国際比較を行う。	まず、完全失業者の定義と労働力の価格である賃金の特性、そして賃金の下方硬直性が生み出される要因に関するいくつかの仮説を検討します。次に、失業が発生する理由から、失業を2つのタイプに分類します。そして、失業する理由によって、望ましい失業対策が異なることを学修します。さらに、景気の変動と無関係に発生する失業については、国家によってその水準が異なること、そしてその理由は各国の労働市場の仕組みに差があることを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分

【授業計画】		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No7	貨幣制度:貨幣の機能、通貨の構成、通貨供給の仕組み、中央銀行の役割、民間銀行と信用創造を学修する。	第一に、貨幣の機能と通貨の構成について学修します。具体的には貨幣が果たす4つの機能、通貨と貨幣の違い、通貨の内訳などを学びます。第二に、中央銀行と通貨供給の仕組みについて学修します。具体的には中央銀行の役割、銀行の銀行として通貨を供給するメカニズム、通貨量を調節する金融政策の概要を学びます。第三に、民間銀行と信用創造の関係について学修します。具体的には現金通貨よりも預金通貨が圧倒的に多いこと、預金通貨は民間銀行が創造することを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No8	インフレの理論:貨幣供給量の変化と均衡物価水準に与える影響、インフレがもたらすコストを学修する。	第一に、インフレの古典派理論を学修します。具体的には物価水準と貨幣価値の関係、貨幣の価値を決める貨幣需要と貨幣供給、貨幣供給の変化と調整のプロセス、古典派の二分法と貨幣の中立性、貨幣の流通速度と数量方程式、インフレ税、フィッシャー効果などを学びます。第二に、インフレがもたらすコストについて学修します。具体的にはインフレと購買力の関係、靴底コスト、メニューコスト、資源配分・税制・国民生活に与える影響、デフレのコストなどを学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No9	開放マクロ経済:開放経済と閉鎖経済の違い、国境を超える取引の記録、為替相場等について学修する。	国境を超える経済取引を考慮しない場合と考慮した場合のマクロ経済の違いと、国境を超える経済取引の記録のされ方について学びます。また、異なる国民通貨の交換レートである外国為替相場の仕組みや、ドルが国際取引で使用される理由、物価の変動を加味した実質為替相場について学修します。さらに、為替相場の水準の決定理論である「購買力平価説」と、購買力平価で求められる為替相場と現実の為替相場が乖離する理由について理解を深めます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No10	開放経済の均衡:貸付資金市場と外国為替市場がいかんして開放経済の均衡をもたらすのかについて学修する。	開放経済において2つの市場(貸付資金市場と外国為替市場)がどのようなメカニズムで同時に均衡を実現するのかについて学修します。その際、貸付資金市場で決定される価格と、外国為替市場で決定される価格について学び、その2つの価格の関連性を理解します。また、外的ショック(財政赤字、貿易政策、資本逃避など)によってそれぞれの市場の曲線がシフトし、「玉突き」のように利子率や為替相場が変動するメカニズムを学修します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No11	総需要と総供給1:長期のマクロ経済と短期変動、総需要・総供給モデル、総需要曲線の導き方を学修する。	第一に、短期の経済変動について学修します。具体的には短期の経済変動に関する重要な事実、古典派経済学の諸仮定と短期的変動の現実、短期の経済変動を説明するツールとしての総需要・総供給モデルなどを学びます。第二に、総需要曲線について学修します。具体的には総需要曲線が右下がりの形状となる3つの効果(資産・利子率・為替相場効果)、総需要曲線がシフトする4つの要因(消費・投資・財政支出・純輸出の変化)について学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No12	総需要と総供給2:垂直の総供給曲線とシフトする要因、右上がりの総供給曲線とシフトする要因を学修する。	第一に、長期の総供給曲線について学修します。具体的には長期の総供給曲線は垂直であること、総供給曲線は4つの要因によってシフトすることなどを学びます。第二に、短期の総供給曲線について学修します。具体的には短期の総供給曲線は右上がりであること、右上がりになる理由は3つあることを学びます。第三に、短期的に経済が変動する2つの原因を明らかにします。具体的には総需要曲線がシフトするケースと、総供給曲線がシフトするケースに分けて検討します。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No13	財政政策:財政の基礎知識、裁量的財政政策とその必要性、最良の財政政策の経済効果と副作用を学修する。	第一に、財政の基礎知識について学修します。具体的には財政の目的と経済的機能、公会計、政府予算、一般政府概念、歳入・歳入の内訳などを学びます。第二に、裁量的財政政策について学修します。具体的には短期の経済変動と裁量的財政政策の必要性、裁量的財政政策の2つの手段と2つの方向性などを学びます。第三に、裁量的財政政策の経済効果について学修します。具体的には裁量的財政政策や租税政策の乗数効果の計算方法、政府支出の副作用について学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分
	No14	金融政策:短期利子率の決定理論(流動性選好理論)、日本銀行の金融政策とその変遷と効果を学修する。	第一に、利子率の決定理論について学修します。具体的には、流動性選好理論の概要、貨幣市場における供給曲線と需要曲線がシフトする要因などを学びます。第二に、日銀の金融政策について学修します。具体的には日本銀行が貨幣供給量を調節する具体的な方法、伝統的な金融政策と非伝統的な金融政策の違いなどを学びます。第三に、金融政策の効果について学修します。具体的には金融政策と利子率の関係、利子率の変化が財・サービス市場へと波及するメカニズムを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書を3回通読し、ポイントをノートにまとめ、疑問点を質問として提出する。	180	分
		復習内容(時間)	ノートを再読して理解を定着させ、復習の課題に挑戦し理解度を見える化する。	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティングⅡ BE-K
講義名(英字)	MarketingⅡ
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングⅠでは、マーケティングの定義や機能などについて学習しました。マーケティングⅡでは、それらの知識をベースに、業界や企業が実際に直面している課題や問題を取り上げ、それらを解決するためのマーケティング施策や戦略の立案の仕方を学びます。具体的には、例として、デジタル化が遅れてガラパゴス化しているともいわれる日本の音楽業界をフォーカスし、ドラスチックな構造変化と行き詰まりの原因、SNS基点とした問題点など、その現状と可能性を探ってみます。																						
【到達目標】	マーケティングⅠで習得した知識や仕組みを実際の事例等に当てはめ、実践的なビジネスの策定方法を学ぶ 社会で役立つマーケティングを把握すること 日本の音楽業界にスポットを当て、昭和から平成、令和への流れや変化を概観するとともに、現状を調査し、問題点や課題を整理しエンターメント業界のマーケティングの今を学び、理解する 抽出された問題点や課題を解決するための戦略、具体的施策を立案する能力																						
【履修条件・受 講推奨者】	特になし																						
【教育方法】	自律性、社会性、地域国際性、コミュニケーション力、情報リテラシー、問題解決力等のスキルを修得する ケース・スタディやプレゼンテーション等における積極性、傾聴力、コミュニケーション・スキル、問題解決等を評価する																						
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし																						
【実務IQ修得目 標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法	
授業へのコミットメントと態度	30	学校の方針に準拠	
レポート・試験	70		
合計	100%		

【その他の注意事項】

講義内容、順番は変更することもあります。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	ポストコロナ時代をリードするマーケティングとは何か		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No2	ガラパゴス化した音楽業界のマーケティング①	世界のデジタル化潮流に乗り遅れた日本の音楽ビジネスを例にとって考察する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No3	音楽ビジネスマーケティング②	音楽ビジネスの構造変化を探る		
	予習内容(時間)	講義の事前チェック	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No4	音楽ビジネスマーケティング③	ソーシャルメディアの勃興と音楽流通の変化		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No5	音楽ビジネスマーケティング④	共有・共感・共鳴のメカニズムを探る		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No6	音楽ビジネスマーケティング⑤	レガシーメディアとしての音楽市場をどう振り返るか		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No7	デジタルとアナログは共存するか	マーケティングでデジタルとアナログは共存するか、その未来を探る		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No8	前半の学びの基本復讐と整理	学んだトピックスを整理し、後半への問題意識を共有する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	前半のメモのチェック	120	分
No9	ヒット商品のメカニズム①	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No10	ヒット商品のメカニズム②	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分

		今年の話題広告、商品	一年の中での広告のトレンド・トピックスを考える		
	No11	予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
	No12	ディスカッション①	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
	No13	ディスカッション②	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	全体の復習	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティングⅡ BE-L
講義名(英字)	MarketingⅡ
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、マーケティングを実践するための基本的な戦略と理論について学習する。主に、製品戦略、価格戦略、流通戦略、プロモーション戦略というパートに分け、それぞれの戦略を具体的に解説していく。また、マーケティングの最新動向や新しい理論についても、実在する企業や商品例を取り上げながら、説明する。							
【到達目標】	マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること 様々なマーケティング戦略を理解し、戦略立案ができるようになること マーケティングの最新動向や理論について理解すること							
【履修条件・受 講推奨者】	「マーケティング論Ⅰ」を既に履修済みであることが望ましい							
【教育方法】	対面講義形式 授業中に、リアクションペーパーの提出を求めることがある							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用しない コースパワーに毎回資料を配布する							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力	○		
	評価項目と割合					評価方法		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか		30%	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可	
	マーケティング戦略を具体的に理解し、戦略立案ができるか		40%		
	マーケティングの最新動向や理論について理解しているか		30%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	私語を慎み周囲に迷惑をかけないこと				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	製品ミックス戦略	授業の内容と進め方について説明した後、製品ミックス戦略について解説する		
		予習内容(時間)	シラバスと資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No2	ブランドとは	ブランドとは何かを説明した後、ブランドの役割や理論について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No3	ブランド戦略	強いブランドを構築するための戦略について、解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No4	価格戦略1	基本的な価格決定の方法について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No5	価格戦略2	複数商品の価格ミックスの考え方や、消費者の心理を利用した価格戦略などについて解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No6	プロモーション戦略1	プロモーションのシュルと、広告戦略について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No7	プロモーション戦略2	販売促進戦略やPR戦略について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No8	流通の仕組み	流通の仕組みと役割、日本の流通システムの特徴について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No9	流通戦略	メーカーの流通戦略について学んだあと、流通業者のパワーバランスについて解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No10	サービスマーケティング	サービスと商品の違いについて説明した後、サービス業のマーケティング戦略について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分

	No11	リレーションシップマーケティング	顧客との長期的な関係性づくりをめざしたリレーションシップマーケティングについて解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No12	ソーシャルマーケティング	社会志向・社会貢献を考慮したマーケティング戦略について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No13	グローバルマーケティング	グローバルな展開を行う企業を例に挙げ、戦略や背景について解説する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
	No14	まとめと復習	講義内容の総括を行い、より深く理解を高める		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティングⅡ BE-M
講義名(英字)	Marketing II
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	マーケティングの基礎知識から、マーケティングにおけるマネジメントの考え方、マーケティングの実際までを理解する。マーケティングは、商品やサービスの販売を促進する手段として捉えられがちであるが、企業の戦略や非営利組織の活動とも深く関わっている。製品を開発する企業、製品を消費者に届ける流通業、製品を購入し利用する消費者など、様々な視点からマーケティングを学習する。テキストだけでなく、事例なども用いて理解を深める。							
【到達目標】	価格戦略と流通戦略について理解し、説明できること 広告戦略について理解し、説明できること 販売促進、PR、設問に対する回答によって評価。販売促進の種類、人的販売、リレー PRの仕組み、人的販売の役割、リレーションシジョンシップ・マーケティングについて理解し、説明できること							
【履修条件・受講推奨者】								
【教育方法】	教科書の内容理解を中心として、実例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。							
【指定教科書・参考資料等】	『現代マーケティング論』第2版 実教出版							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
期末試験	75	期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。
授業内容についてのレポート	15	
授業への参加確認	10	
合計	100%	

【その他の注意事項】

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス	授業の進め方について説明する		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No2	価格戦略	価格の設定方法について説明する		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No3	流通チャネル(1)	流通チャネルの構造と関連する組織について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No4	流通チャネル(2)	チャネルの設計、小売業と卸売業について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No5	事例研究(1)	流通の事例について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No6	広告戦略(1)	広告目標や媒体の選択について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No7	広告戦略(2)	広告の表現について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No8	販売促進とPR	プロモーション活動とPRについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No9	事例研究(2)	広告の事例について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No10	人的販売とリレーションシップ・マーケティング	人的販売、リレーションシップ、顧客満足について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

	No11	グローバルマーケティング	グローバル環境とマーケティング・ミックスについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No12	事例研究(3)	リレーションシジョンシップ・マーケティングの事例について説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No13	インターネット・マーケティング(1)	インターネットを用いたマーケティングについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No14	インターネット・マーケティング(2)	インターネットを用いたマーケティングについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティングⅡ BE-N
講義名(英字)	MarketingⅡ
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングⅠで学んだ知識をベースに、マーケティング・ミックス(製品戦略、価格戦略、流通戦略、プロモーション戦略)について個別に学びます。また、サービス業固有のマーケティング問題や、国境を超えた顧客に商品を届ける仕組みについても学びます。さらには、マーケティングという学問が問題山積である世の中でどう貢献できるかについてもチャレンジングに挑みます。本講義では、多くの企業事例を例示し、マーケティング理論とマーケティングの実際を行き来できる講義展開が期待できると思います。							
【到達目標】	マーケティングプログラムについて正しく説明できること。 マーケティング戦略の多方面への応用について説明できること。 マーケティングが抱える新課題について説明できること。							
【履修条件・受 講推奨者】	1年生は特にありませんが、2年生以上はマーケティング関連の科目(流通論、広告論、消費者行動論)のいずれかを並行して履修していると理解が深まります。							
【教育方法】	講義形式で教授する。							
【指定教科書・ 参考資料等】	<参考書> 小川孔輔『マーケティング入門』、日本経済新聞社、2009年							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合					評価方法		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	マーケティングプログラムについて正しく理解している。	50%	設問に対する回答によって評価。
	マーケティング戦略の多方面への応用について理解している。	25%	
	マーケティングが抱える新課題について理解している。	25%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	製品戦略(1)	新製品開発プロセスを学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No2	製品戦略(2)	新製品の普及と予測を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No3	価格戦略(1)	価格付けの理論を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No4	価格戦略(2)	価格決定の実務を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No5	プロモーション戦略(1)	広告宣伝活動を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No6	プロモーション戦略(2)	セールス・プロモーションを学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No7	流通戦略(1)	メーカーのチャネル戦略の類型を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No8	流通戦略(2)	小売経営とロジスティクスを学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No9	ブランドマネジメント	ブランドの機能、役割、管理を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No10	サービス・マーケティング	サービス固有のマーケティング課題を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

	No11	国際マーケティング(1)	国境を超えた顧客に商品を届ける仕組みを学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No12	国際マーケティング(2)	国境を超えた顧客に商品を届ける仕組みを学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No13	マーケティングの社会的役割	マーケティングが抱えている新課題を学ぶ		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No14	総括	秋学期の学習ポイントについての理解を深める		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティングⅡ BE-O
講義名(英字)	Marketing II
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「マーケティングⅠ」の延長として、業種別・商品別・手法別マーケティングを掘り下げる応用編の講義を行います。消費財、生産財、サービス財のみならず、スポーツや観光、コンテンツなど、かつてはマーケティングの対象でなかったジャンルや、「顧客参加」「キャラクター」「経験価値」「ソーシャル」「パッケージ」といった最新のトレンドも含め、具体的なケースから学んでいきます。							
【到達目標】	①今日において有力なマーケティングの考え方について、その理由を説明できるようになる ②自らの興味分野や希望進路先のマーケティング戦略について語れるようになる ③既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できるようになる							
【履修条件・受講推奨者】	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。							
【教育方法】	・講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講する。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力		創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	今日の有力なマーケティングの考え方の理由を説明できる		30	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価	
	興味分野や希望進路の戦略について語ることができる		30		
	既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できる		40		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	特になし				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	近年のマーケティングトレンド	ひとことでマーケティングといっても、実のところ、企業や業界、商品ジャンルによって、その考え方や方法論は多様である。いまや、大学で「どんなマーケティングを学んだか」が問われる時代でもある。第1回では、秋学期講義のアウトラインの説明を通じ、マーケティングの多様性や深みを理解し、自らの進路と大学での学びとの関りを考えるきっかけとする。		
		予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No2	サービス財のマーケティング	日本はモノづくりの国と目されているが、実は急速にサービス経済が浸透しており、学生の進路の7割はサービス業と考えてもよい。本講義ではサービス財を「無形性」「変動性」「複合性」「継続性」の4つの特性から捉え、それぞれに対応した10のマーケティング戦略について、具体的な事例から学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No3	生産財のマーケティング	膨大なプロ市場領域、即ち法人向け(BtoB)のマーケティングを学ぶことは、営業活動や業務の仕組みへの理解を高め、知名度の低い優良企業を知るきっかけにもなる。本講義では、生産財マーケティングの特性である「顧客の顧客を知る」「複数の購買決定者」「営業支援策」など、消費財と異なる考え方を学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No4	顧客参加型マーケティング	顧客を企業プロセスに組み入れることは、ユーザーの知見を採り入れた商品づくりが可能になるとともに、SNSでの拡散や、ファンを中長期的に育成できる有力な戦略と目されている。本講義では商品開発、製造、流通、商品利用の4プロセスにおける顧客参加の方法について理解し、その効果と留意点について考察していく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No5	スポーツマーケティング	スポーツは他の産業から見ても魅力的な付加価値をもたらすコンテンツである。本講義では、スポーツ用品販売、プロチーム経営、スタジアム運営、スポーツツーリズム、スポンサーシップ等の事例について解説していく。また、不正や汚職による問題山積の五輪ビジネスの構造、スポーツマーケティングの今後のあるべき姿についても考察する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No6	キャラクターマーケティング	キャラクターは単なるアイキャッチャーではなく、いまやブランドを人格化し、その背景にある思想や価値などを伝える重要なコミュニケーションツールである。本講義では特に、独自のブランドキャラクターを開発・活用する企業(NTTドコモ、リクルートなど)の事例について考察する。また「中の人」「Vチューバー」「擬人化」など、新たなキャラクターコミュニケーションの方法についても学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No7	音楽活用のマーケティング	音楽活用マーケティングの歴史は古く、市場が生まれた中世から存在する。今日の販売促進への音楽(ミュージック/サウンド)活用法として、「店頭演出」「POP(購買時点広告)」「景品」、ブランディングへの活用法として「サウンドロゴ」「CMソング」「MPV」「発着メロディ」「商品音」「社歌」等について、最新の具体例から学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

	No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行う。レポート課題は、単に知識を問うものではなく、「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
		予習内容(時間)	1～7回までの講義資料を見直す	240	分
		復習内容(時間)	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
	No9	経験価値マーケティング	そのブランドならではの、身体的・精神的・美的な感動のもたらし方について考察する。スターバックスやシンガポール航空などの事例を通じ、「ユーザーエクスペリエンス(UX)」「モノからコトへ」などの重要な概念を理解する。また、商品利用シーンに「笑い」「遊戯」「創造」「物語」を導入し、ワクワクする消費体験を提供する方法を検討する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No10	ソーシャルマーケティング	SDGsが経営理念の基盤となり、企業の社会的責任(GSR)や社会の利益増大を意識したマーケティング活動が必要になってきた。本講義では「非営利組織のマーケティング」「社会啓蒙キャンペーン」「CSR(企業の社会的責任)」「CSV(共通価値の創造)」「デ・マーケティング」という5つの観点から、ソーシャルマーケティングのあり方を考えていく。また「きれいごと」に対する批判など、配慮すべき点についても理解する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No11	観光マーケティング	観光立国化が叫ばれて久しい。ここでは観光目的地(デスティネーション)をひとつの商品とみなし、その特性を「イメージ消費財」「サービス財」「経験財」「高関与×高価格商品」と捉えた戦略について言及する。また「国際マーケティング」「旅支度市場」といった視点からも、観光マーケティングの方法を考えていく。最後に「沖縄旅行け」を題材に、リピーターが観光地に求める価値についても議論する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No12	パッケージデザインとマーケティング	パッケージは販促やブランディングにつながるだけでなく、商品が顧客の手元に移った後に企業からメッセージを伝達する重要なメディアでもある。ここではパッケージの8機能(識別、意味伝達、陳列、中身・用途説明、運搬、利用支援、品質保持、保管等の支援)について、その具体例から理解するとともに、ネスレ、花王、キリンなど、最新の事例を検討していく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No13	コンテンツ産業のマーケティング	日本発のコンテンツが注目を浴びている。経済の活力源は「文化」にある時代となった。本講義では映画、ドラマ、小説、アニメ、漫画、音楽、ゲーム等をどうヒットさせるか、その方法について検討する。クリエイターの才能や業界人の経験値ではなく、コンテンツ財の商品特性(「無形性」「可変性」「芸術性」「権利性」)からのアプローチ、さらにはコンテンツの消費特性(「偶有性」「嗜好性」「模倣・共感性」)を踏まえた戦略の重要性を理解する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No14	コンテンツ活用のマーケティング	コンテンツを活用してどう商品売るかについて検討していく。いわゆる「コラボ」にとどまらず、タイアップキャンペーン、プロダクトプレースメント、オウンドエンタテインメントなど、広告や広報への応用策を中心に、ここでは幅広い方法論を理解する。また、新たなタイプのコンテンツ活用広告についても学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	会計学Ⅱ BE-K
講義名(英字)	AccountingⅡ
担当教員	石塚 一彌
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	会計学が企業の活動を会計というフィルターを通して、認識、測定、記録および伝達する過程を対象とするものである以上、会計学の研究は、会計数値を基軸として企業活動を検証することにある。 秋学期は、春学期に培った会計の思考が、企業会計の数値の把握と計算にどのようにつながっているのかを検討する。講義では、受講生自らが、実際に問題を解き、計算することで、会計に対する知識を確実なものとすることを目標に置く。							
【到達目標】	基礎的前提に関する知識の修得の有無 財務会計に関する基礎的な知識の修得の確認 財務会計に関する理解の深度の確認							
【履修条件・受 講推奨者】	◇ 春学期「会計学Ⅰ」を履修済みか、会計学に対しての基本的な理解があること。							
【教育方法】	春学期同様、担当教員が自ら作成したレジュメを毎回の講義において配付する。							
【指定教科書・ 参考資料等】	◇ 毎回レジュメを配付し、それに従って講義を行う。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力		突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業への積極的な関与の度合い	30	左記の評価項目を総合的に判断して履修者への評価とする。		
	予行試験の結果	30			
	本試験の結果	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇毎回テーマの違うレジュメを受講者本人にのみ配付するので、毎回出席することが重要である。				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	会計における計算の前提	会計における計算の前提としての「簿記」の構造を理解する。		
		予習内容(時間)	初学者にとって会計の計算の最初の関門である「簿記」の基本的構造をあらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	「簿記」の5要素に関する「記録」のルールを理解する(覚える)。	1 2 0	分
	No2	「簿記」の記録の流れその1	「簿記」の記録について、まず「会社の活動(取引)」⇒「仕訳」の記録の仕方を修得する。		
		予習内容(時間)	初学者にとって会計の計算の最初の関門である「簿記」の基本的構造をあらかじめ学んでおく(続き)。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	「簿記」の記録については、「習うより慣れ」の習慣を身につけるために、復習では、履修者が実際に自分自身で計算⇒記録の練習を反復行う必要がある。	1 2 0	分
	No3	「簿記」の記録の流れその2	「簿記」の記録のうち、「仕訳」⇒「総勘定元帳」への転記の仕方を修得する。		
		予習内容(時間)	簿記の出発点である「仕訳」のルールを各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	引き続き、「簿記」の記録のうち、各勘定項目の「増減」と「残高」を算定する過程について履修者が実際に自分自身で記録の仕方を学ぶ。	1 2 0	分
	No4	「簿記」の記録の流れその3	「簿記」の記録のうち、「仕訳」⇒「総勘定元帳」への転記の結果としての「残高」の意味を理解する。		
		予習内容(時間)	会社の活動の「格納庫」としての「総勘定元帳」の意義を各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	簿記の記録と計算の最初の目標である各勘定科目の「残高」の確定作業について「残高」の意味とともにその算定の仕方修得する。	1 2 0	分
	No5	「簿記」の記録の流れその4	「総勘定元帳」の「残高」を一覧する「試算表」の意味を理解する。		
		予習内容(時間)	会社の活動の結果である「残高」の意義を各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	「試算表」に集計された各勘定項目の意味を理解する。	1 2 0	分
	No6	「決算整理」その1	いったん集計された「試算表」に対して改めて「修正」を加える「決算整理」の意味と商品売買についての具体的な処理を学ぶ。		
		予習内容(時間)	「決算整理」の意義を各自があらかじめ学んでおく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	商品売買についての基本的な手法としての「三分法」の計算を修得する。	1 2 0	分

【授業計画】	No7	「決算整理」その2	「決算整理」のうち、減価償却費についての具体的な処理を学ぶ。		
		予習内容(時間)	「減価償却」および「減価償却費」の意義を各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	「決算整理」において行う、減価償却費の算定の意義を理解する。	1 2 0	分
	No8	「決算整理」その3	「決算整理」のうち、引当金についての具体的な処理を学ぶ。		
		予習内容(時間)	会計理論の特有の概念である「引当金」について各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	期末時点における「引当金」を計上する意味を計算の手法を修得する。	1 2 0	分
	No9	「決算整理」その4	「決算整理」のうち、有価証券についての具体的な処理を学ぶ。		
		予習内容(時間)	「有価証券」の会計理論的な意義について各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	「有価証券」の意義と有価証券の分類に応じた期末時点での計算の手法を学ぶ。	1 2 0	分
	No10	「決算整理」その5	「決算整理」のうち、経過勘定項目についての具体的な処理を学ぶ。		
		予習内容(時間)	経過勘定項目の意義と必要性について各自が再考しておく。	1 2 0	分
		復習内容(時間)	現金主義と発生主義の「橋渡しの性質」を持つ「経過勘定項目」の手法を学ぶ。	1 2 0	分
	No11	「総合問題」その1	前回までの簿記の「一巡」に関する計算を、総合的に検討する。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	「仕訳」⇒「総勘定元帳」⇒「試算表」の流れを具体的な事例をもとに再確認する。	2 4 0	分
	No12	「総合問題」その2	「試算表」⇒「決算整理」の流れを具体的な事例をもとに再確認する。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	「試算表」⇒「決算整理」の計算と記録を効率的に行うことを修得する。	2 4 0	分
	No13	「総合問題」その3	「決算整理」を行った後の財務データを「貸借対照表」と「損益計算書」に区分し、その連結環としての「当期純利益」の意味を理解する。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	財務会計の2つの情報(財政状態)と(経営成績)を実際に「決算整理後残高試算表」から抽出する手続きを修得する。	2 4 0	分
	No14	「総合問題」その4	秋学期の「簿記」の計算の集大成として「時間内」に「簿記一巡」の問題を実際に解く。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	一定の時間内に簿記一巡の問題が解ける能力を修得する。	2 4 0	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	会計学Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Accounting II
担当教員	土井 充
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「会計学Ⅰ」および「会計学Ⅱ」を通じて、経営学科の諸科目を学修するための基礎となる、財務会計および管理会計などに関する入門的な領域を取り上げます。 「会計学Ⅱ」では、「会計学Ⅰ」で学んだ知識を用いて財務諸表の分析方法、ならびに管理会計や税務会計などの会計学の諸領域を学びます。						
【到達目標】	財務諸表分析の手法を理解し、目的に応じた分析を行えること 管理会計の基本概念を理解していること 税務会計の基本原則を理解していること						
【履修条件・受 講推奨者】	本講義では、(1)宿題、(2)小テスト、(3)定期試験、および(4)出欠の確認を行います。予習・復習ができ、積極的に授業に参加する学生の履修を望みます。						
【教育方法】	本講義では、配布プリントを用いながら各テーマを説明し、必要に応じて、適宜ケースを用いながら理解を深めて行きます。						
【指定教科書・ 参考資料等】	・教科書: 使用せず。 ・参考書: 必要に応じて演習中に配付します。						
【実務IQ修得目 標】	自制力 〇	思考力 〇	突破力 〇	忍耐力 〇			
	協働力 〇	主張力 〇	創造力 〇				

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	財務諸表分析の手法を理解し、目的に応じた分析を行えること	60%	3分の2以上の出席を前提として試験60%、レポートないし小テスト40%で評価する。		
	管理会計の基本概念を理解していること	30%			
	税務会計の基本原則を理解していること	10%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	特になし。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	1 ガイダンス	講義概要、成績評価の説明、「会計学Ⅰ」の復習		
		予習内容(時間)	シラバスを確認し、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No2	会計情報の入手方法の理解	EDINET等を用いた財務会計情報の入手方法		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No3	財務諸表の見方	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の様式と実数分析の方法		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No4	安全性分析 その1	流動比率、固定長期適合率、自己資本比率		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No5	安全性分析 その2	その他の安全性の指標		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No6	収益性分析 その1	資本と利益の組み合わせ、資本利益率の理解		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No7	収益性分析 その2	資本回転率と売上高利益率		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No8	管理会計(1)	管理会計と財務会計の違い		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
		管理会計(2)	損益分岐点分析、短期意思決定		

	No9	予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No10	管理会計(3)	原価計算、原価差異		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No11	税務会計(1)	税務会計と財務会計の違い		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No12	税務会計(2)	課税所得計算の仕組み		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No13	その他の諸領域	環境会計、国際会計など		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。次回講義の冒頭で前回の復習を行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No14	講義のまとめ	講義の復習と要点整理		
		予習内容(時間)	配付資料を読み、講義概要を確認する。その際生じた疑問点等は、講義中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習をし、課題に取り組む。これまでの講義のまとめを行う。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	会計学Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Accounting II
担当教員	福山 倫基
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義では、会計学の基礎となる考え方やルールおよびその手法を学習します。後期は、管理会計領域の学習を中心に進めていきます。管理会計領域の基礎となる製造業における原価計算の手続きを、Excelを通して学び、会計情報を用いた経営管理の基礎を学んでいきます。そのため、コロナ禍が落ち着いていた場合はITルームで基礎から一緒に丁寧に教えていきます。また、将来的にも役立つ税務会計の基礎にも少し触れます。税務会計は、確定申告や青色申告などでも知っているのと得をすることが多いです。前期・後期の講義を通して、会計学に対して興味関心を持って頂けるよう講義していこうと思います。							
【到達目標】	管理会計領域で作成される情報が企業の利益最大化の実現に貢献することを知る 会計情報をコンピューティングを用いて作成する楽しさを体験する 税務会計に関する理解							
【履修条件・受講推奨者】	講義の特性上、毎回の出席・講義時間中に行う演習をきちんと行える学生が望ましい。							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	協働力		主張力		創造力		○	
	評価項目と割合				評価方法			
	2回の提出課題		20		左記を合算して評価する。			
	期末試験		70					
	会計教育に関するアンケート		10					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法についての説明、本講義の意義なども併せて講義する。仕事でパソコンをフルに利活用していきたい学生は特に参加することをお勧めします。初回講義において、講義の概要や成績評価などに関して受講生との合意を図るため、受講を予定している学生は必ず出席すること。					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでくこと				120	分
		復習内容(時間)	今回の講義のノートをとめる				120	分
	No2	会計とITに関して1	会計とITの利活用に関する概括と関連技法の学習について講義します。この会では皆さんのITスキルなどを調査しますので、調査には素直に答えてくれると今後の講義展開に反映できますので是非ご協力ください。					
		予習内容(時間)	前回講義のノートを振り返る				120	分
		復習内容(時間)	講義で得た知識のまとめ				120	分
	No3	会計とITに関して2	会計とITの利活用に関する概括と関連技法の学習について講義します。この会では前回実施したアンケートを元に、基本的なPC操作方法を会計的な実データを元に講義していきます。情報を作成していくことの楽しさを体験してください。					
		予習内容(時間)	前回の振り返り				120	分
		復習内容(時間)	今回の講義で得た知見をノートにまとめる				120	分
	No4	標準原価計算1	標準原価計算という、管理会計領域における業績評価会計に用いるための会計情報を作成することを通して、管理会計の意義を学習してもらいます。この回では基本的な数式の取り扱いなど、PCスキルも併せて講義していきます。					
		予習内容(時間)	前回までの講義の振り返り				120	分
		復習内容(時間)	講義時間中に覚えるべきと強調した部分と演習内容をまとめる				120	分
	No5	標準原価計算2	引き続き標準原価計算という、管理会計領域における業績評価会計に用いるための会計情報を作成することを通して、管理会計の意義を学習してもらいます。この回ではグラフ図表の取り扱いなど、PCスキルも併せて講義していきます。					
		予習内容(時間)	前回講義までに行った内容の振り返り				120	分
		復習内容(時間)	この回からノートする部分が多いのでノートをとめる				120	分
	No6	標準原価計算3	引き続き標準原価計算という、管理会計領域における業績評価会計に用いるための会計情報を作成することを通して、管理会計の意義を学習してもらいます。この回では標準原価計算を通して作成した情報の解釈の仕方を通して情報が持つ特性についても併せて講義していきます。					
		予習内容(時間)	前回講義までに行った内容の振り返り				120	分
		復習内容(時間)	講義中に行ったノートをとめる				120	分
		標準原価	引き続き標準原価計算という、管理会計領域における業績評価会計に用いるための会計情報を作成することを通して、管理会計の意義を学習してもらいます。この回では標準原価計算を通して作成した情報を財務諸表に落とし込む過程を中心					

【授業計画】		計算4	に講義していきます。		
	No7	予習内容(時間)	今までの講義内容の復習	120	分
		復習内容(時間)	講義中行ったノートをまとめる	120	分
	No8	ITを用いたシミュレーション体験	次々回から行う短期利益計画のための原価計算手続き導入として、コンピューター上で行うことができるシミュレーション手法をExcelとPythonを用いて体験してもらいます。比較的新しいシミュレーション方法を一緒に楽しんで操作していきましょう。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	200	分
		復習内容(時間)	中間試験内容の振り返り	120	分
	No9	統計基礎	次回から行う短期利益計画のための原価計算手続き導入として、原価計算の手続きの中で用いられる統計学を通して統計の基礎を講義していきます。統計と聞くと、身構えてしまう受講生もいらっしゃると思いますが、コンピューター上でいかにユーザフレキシブルに統計を行うことができるのか体験しましょう。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No10	直接原価計算	短期利益計画を行うためのベースとなる直接原価計算について学習します。特に、直接原価計算を行う過程で得られる費目分類により、原価を推測するためのモデル式が得られる全過程を一緒に作り上げていきましょう。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No11	利益計画1	CVP分析といった利益のトライ安堵エラー方式のシミュレーションをソルバーシミュレーションというExcelのアドインとPythonを使って行っていきます。コンピュータの技法と会計が学際的にまじりあうさまと一緒に学びましょう。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No12	利益計画2	前回行ったCVP分析をソルバーシミュレーションなどを用いて行ったことの応用で、より複雑なプロダクトミックスという利益計画の手法を学習しましょう。一回で理解することはもちろん初めて行うことなので難しいと思いますが、大学生活を通してどういことをできるようになるのか、将来の到達点を一緒に演習を通してみてみましょう。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No13	税務会計	確定申告を通して税務会計の意義を講義していきます。フリーランスなど自営しようと思われる方には必須の知識です。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	講義ノートの作成	120	分
	No14	前期総括	前期の総括と、前期講義を受けた受けで会計学、特に財務会計に興味を持った場合、次年度以降にどのような学習の計画を立てればよいかも述べていく。		
		予習内容(時間)	これまでの講義の振り返り	200	分
		復習内容(時間)	後期内容の復習	300	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	会計学Ⅱ BE-N
講義名(英字)	Accounting II
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義は、会計学の全般的な知識を習得するため、財務会計、管理会計、財務分析、財務諸表監査等の各分野に関する基礎概念について取り扱う。春(前)期の「会計学Ⅰ」と秋(後)期の「会計学Ⅱ」は連続講義である。 具体的には、まず「会計学Ⅰ」では、会計学の基礎となる複式簿記の基本ルールを学習し、会計の意義や種類、機能、役割について学ぶ。そのうえで、財務諸表が提供している会計情報の意味を理解することを第一の目標とする。すなわち財務会計分野が中心となる。また、国際的に統一された会計基準であるIFRSの概要についても触れる。 さらに、「会計学Ⅱ」では提供された会計情報は、立場の異なる利用者によりどのように活用されるのかといった、財務諸表の読み方などについて学習する。連結会計や税務会計なども含め、発展的な内容を学習する。
【到達目標】	【管理会計分野について正しく理解し、その仕組みや役割について説明できる】 管理会計における情報の利用者や活用方法などについて理解し、その意義を説明できる。また管理会計分野に関連した原価管理や予算管理などについてもその内容を理解している。 【財務諸表の読み方を理解し、利用できる】 財務情報を用いて、企業の収益性や安全性、成長性などの分析ができる。 【連結会計および税務会計の仕組みについて理解し、説明できる】 連結決算の意義や連結会計について理解し、説明できる。また、税務会計上の所得概念について理解し、財務会計上の利益との違いについて説明できる。
【履修条件・受講推奨者】	本講義は「会計学Ⅰ」と「会計学Ⅱ」を連続して履修することを条件とする。
【教育方法】	以下に指定する教科書に従い、講義形式によりPP(パワーポイント)を用いて解説を行う。
【指定教科書・参考資料等】	中尾篤史著『会計の基本教科書』日本能率協会マネジメントセンター(¥2,200)

【実務IQ修得目標】	自制力			思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力			主張力		創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法	
	管理会計分野について正しく理解し、その仕組みや役割について説明できる	40%	授業内で行う確認テスト(小テスト)65%、本試験35%により総合的に判断。「出席点」は設定しない。ただし、全講義回数数の2/3以上の出席が、成績評価の対象となる条件となる。	
	財務諸表の読み方を理解し、利用できる	30%		
	連結会計および税務会計の仕組みについて理解し、説明できる	30%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】	他者に迷惑となる行為(私語等)は厳に禁止する。携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)も不可とする。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンスおよび春(前)期の復習	授業内容、講義の進め方、成績評価などについて。「会计学Ⅰ」の復習。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No2	管理会計(1)	管理会計の意義と目的、コストの固変分解、KPIとKGI、費用の配賦、原価管理について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No3	管理会計(2)	月次決算の意義、損益分岐点分析、安全余裕率、DCFについて。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No4	原価計算(1)	原価とは、原価計算の目的、原価の諸念、総合原価計算と個別原価計算について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No5	原価計算(2)	単純総合原価計算と組別総合原価計算、仕掛品の扱い、標準原価計算と原価差異分析、ABCについて。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No6	予算管理(1)	予算とは、PDCAサイクル、予算の作成について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No7	予算管理(2)	予算の活用、差異分析、予算策定例、予算制度の問題点について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No8	連結会計(1)	連結決算の意義、連結の範囲、支配力基準と影響力基準、連結貸借対照表の作成について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分

	No9	連結会計(2)	連結損益計算書の作成、未実現利益、持分法について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No10	財務分析(1)	財務諸表分析の体系、財務諸表分析の目的、収益性分析の意義と指標について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No11	財務分析(2)	資本利益率指標の分解、安全性分析の意義と指標について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No12	財務分析(3)	キャッシュフローを用いた分析指標、生産性分析と社会性分析について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No13	税務会計(1)	法人税の意義、課税所得の計算、受取配当金と交際費の扱いについて。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分
	No14	税務会計(2)	消費税の意義と処理、連結納税制度について。		
		予習内容(時間)	教科書や配布資料などの指定個所に目を通し、疑問点等をまとめる。	60	分
		復習内容(時間)	教科書や配布資料などを見返し、不明な点があればまとめて次回の授業に備える。	180	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	会社法Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Corporate Law II
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	皆さんが就職をするにせよ、起業をするにせよ、会社法の知識は不可欠です。この講義では、会社法に関するさまざまな事件を取り上げて、会社法とは何か、そして会社法を使いこなしてビジネスをするにはどうしたらよいか、について学びます。 会社法をきちんと理解しておく、ビジネスのあらゆる場面で役に立ちます。会社法Ⅱでは、コーポレート・ファイナンス、合併、買収などに関する会社法の重要論点を取り扱います。
【到達目標】	会社法の全体構造を把握した上で、株式会社の基本的な仕組み、コーポレート・ファイナンスと会社法の関係について理解することができる コーポレート・ファイナンスについて、会社法の重要論点の内容を理解することができる 会社法のうち、コーポレート・ファイナンスについて、新しい論点に対して、どのように考え、課題を解決すべきかについて、会社法の解釈・方法論に基づく課題解決ができる
【履修条件・受 講推奨者】	特になし。会社法Ⅰを履修していることが望ましい、ただし、会社法Ⅰを履修していなくても、講義を理解することはできる。
【教育方法】	講義形式、ただし、講義中に行うQ&Aスタイルのオンライン投票システム(クリッカー)を使用する。また、対面形式の講義開催の場合は、受講生同士のディスカッションを行う場合がある。
【指定教科書・ 参考資料等】	1 指定教科書(購入すること) 中東 正文(著)、白井 正和(著)、北川 徹(著)、福島 洋尚(著)『会社法[第2版](有斐閣ストウディア)』有斐閣; 第2版(2021/4/1) 978-4641150843 2 参考書 田中 亘『会社法 第2版』東京大学出版会 2021 978-4130323895 神作 裕之(編集)、藤田 友敬(編集)、加藤 貴仁(編集)『会社法判例百選[第4版](別冊ジュリスト)』有斐閣; 第4版(2021/9/15) 978-4641115545

【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		○	突破力		忍耐力	
	協働力		○	主張力		○	創造力		○

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	会社法の論点を正確に理解しているかどうか	60%	学期末に行われる試験において評価項目の達成度合いを測定する。ただし講義中における質疑、及び発言等について、高い評価に値する者についてはこれを数値化し、学期末の試験結果にプラスする。		
	会社法がビジネスにおいてどのような影響を及ぼしているかについて理解しているかどうか	20%			
	何らかの会社法に関連する問題を見つけたとき、それが会社法のどの領域の問題なのか、自ら発見することができるか	20%			
	合計	100%			

【その他の注意事項】	予習については、教科書の該当ページを示すので、講義前に読了し、何が論点となっているのかおよび、教科書に記載されている関係条文を調べて上で受講すること。				

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	会社法の基礎概念の再確認	会社法の基礎概念について、株主有限責任の原則、機関設計と各機関に関する法的論点の再確認のための講義を行う。		
		予習内容(時間)	教科書1から20頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No2	設立	株式会社の設立について全体の流れを掴み、ここの論点について解説する		
		予習内容(時間)	教科書242から246頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No3	設立時の諸問題	変態設立事項など設立時に関する重要論点について解説する		
		予習内容(時間)	教科書246から249頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No4	株式の意義、機能	株式の意義、そしてその性質について解説する		
		予習内容(時間)	教科書140から147頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No5	株式譲渡自由とその制限	公開会社、非公開会社の意義及び株式の譲渡制限の性質と機能について解説する		
		予習内容(時間)	教科書148から150頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No6	株式譲渡の方法	株式譲渡について、譲渡制限がある場合の諸手続きと法的論点、株主名簿など株式譲渡に関する重要論点について解説する		
		予習内容(時間)	教科書151から156頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No7	自己株式	自己株式について、その実務上の活用例、法的論点について解説する		
		予習内容(時間)	教科書157から159頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No8	投資単位の調整	株式の併合、分割、単位株といった投資単位調整について解説する		
		予習内容(時間)	教科書160から164頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分

	No9	資金調達方法	資金調達方法について、株式発行や、その他の資金調達方法について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書166頁から177頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No10	有利発行	新株発行などに際して問題となる有利発行について、合併買収に関連する事例を参照しつつ、解説する		
		予習内容(時間)	教科書178から186頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No11	新株予約権	新株予約権について、これが実際に実務でどのように利用され、そしてどのような法的問題があるか、解説する。		
		予習内容(時間)	教科書187から191頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No12	社債	資金調達手段として近年重要性が高まっている車載について、その発行方法や社債権者保護などについて解説する。		
		予習内容(時間)	教科書192から198頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No13	剰余金	株式会社において剰余金の配当、及び配当政策は極めて重要であることから、配当に関する法的論点について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書214から222頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分
	No14	組織再編	M&A(合併、買収)に関連する会社法の規制について解説する。		
		予習内容(時間)	教科書223から240頁	70	分
		復習内容(時間)	講義内容の確認、追加調査	180	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	民法Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Civil Law II
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	民法典は、私人間の権利関係や身分関係について規定する法律である。また、私人間で生じたトラブルを解決するための規範でもある。この科目では、民法における家族法(親族・相続)について具体的事例を挙げて説明し、権利の調整がどのように行われているかを理解することを意図している。							
【到達目標】	民法に定められる諸制度の基礎的理解を図る 法的思考を身に付けること 自らの考えを論理的に構成できる							
【履修条件・受 講推奨者】	法学Ⅰ及びⅡを受講していることが望ましい。							
【教育方法】	私法の一般法である民法は日常生活に関わる法律上のルールの多くを担っており、身近に感じることのできるルールもあれば、理解が難しいルールも存在する。こうしたルールについて、判例や学説などを用いて学習を進めていくこととなるが、民法の対象範囲は広範に及ぶため、まずはルールの概要を抑えることができるためにサブノートを作成し、教科書と併せて学習に利用することで理解の促進に役立てるものとする。							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書：松久三四彦・遠山純宏弘・林誠司『オリエンテーション民法』〔第2版〕(有斐閣、2022年)							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法		
定期試験	100%	定期試験の成績をもってすべて評価する。		
合計	100%			

【その他の注意事項】

私語は厳禁とする。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	親族とは	親族法の構成と総則について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.315～322頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No2	婚姻について	婚姻の成立要件について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.323～332頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No3	婚姻について	婚姻の効果について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.323～332頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No4	離婚について	離婚の成立要件について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.333～339頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No5	離婚について	離婚の効果について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.333～339頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No6	親子関係について	実親子関係について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.340～346頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No7	親子関係について	養親子関係について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第9章(p.340～346頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No8	扶養について	親族間における扶養と後見制度について学習する。		
	予習内容(時間)	サブノートの該当箇所を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No9	相続制度と相続人について	相続制度の概要と相続人について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第10章(p.347～350頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
No10	相続の効力について	相続財産と相続分について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書第10章(p.351～356頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分

	No11	相続の効力について	配偶者居住権等、配偶者に対する保護を学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第10章(p.351～356頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No12	相続の承認と放棄について	相続の承認と放棄及び分割について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第10章(p.357～358頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No13	遺言について	遺言の方式と取り扱いについて学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第10章(p.359～362頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分
	No14	遺贈と遺留分について	遺贈と遺留分について学習する。		
		予習内容(時間)	教科書第10章(p.359～362頁)を読み、分からない用語を調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義の内容を振り返って確認すること。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	リスク・マネジメント論 BE-K
講義名(英字)	Risk Management Theory
担当教員	三好 陽介
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ビジネスにおいてさまざまな意思決定を行うためには、メリットとデメリットを適切に比較することが必要になります。その際、意思決定に必要な情報が揃っていることはほとんどなく、多くの場合は不十分な情報をもとに判断することになります。この授業では「リスク」について、1)不確実な将来を、現時点で評価するための方法と、2)起きてしまっは困る事態に対して、どのように備えるか、の2つの観点から考えます。各回の授業では講義のほか演習を行い「リスク」について学ぶことができます。					
【到達目標】	リスクの種類と重要度について理解し、実社会の事象に適用できるようになる リスクの予防や対策について理解し、実社会の事象についてリスク対策を考えられるようになる リスクマネジメントを踏まえた意思決定について理解し、実社会の事象について適切な意思決定ができるようになる					
【履修条件・受 講推奨者】	履修条件：とくに基礎知識はなくてもよい 受講推奨者：リスクとその対策について興味のある人、将来的にビジネス上の意思決定に直接あるいは間接的に関わることを志向する人					
【教育方法】	講義ののち、当日の講義内容に即した演習を行う 「リスクマネジメントを踏まえた意思決定」のトレーニングとして、仮想ケースを用いた模擬交渉（ロールシミュレーション）を実施する					
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は特に使用せず 参考資料等については授業内で適宜紹介する					
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	リスクの種類と重要度についての理解	25%	・授業への出席：3分の2(10回)以上出席すること。 ・上記を満たしたうえ本試験にて60%以上得点すること 積極的な発言など授業への貢献による加点あり		
	リスクの予防や対策についての理解	25%			
	リスクマネジメントを踏まえた意思決定についての理解	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	遅刻は授業開始30分まで、やむを得ない理由のある場合に認める 授業内で実施する演習レポートの提出により出席とする 授業中の私語やスマホゲーム等について退出を命ずる場合があります(欠席扱いまたは履修停止) 学事休業日との調整により一部スケジュールが変更(演習と講義の入れ替え等)となる場合があります				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	講座の概要説明とリスクを学ぶことの意義について学びます。		
		予習内容(時間)	「リスク」について自身がこれまでどのように捉えていたか、またリスクを学ぶことの意義についての自身の期待について考えを整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No2	リスクの予測	ある場面においてどのようなリスクがあるかを、できるだけ多く挙げることを学びます。		
		予習内容(時間)	リスクにはどんなものがあるか、インターネット等で予め調べておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No3	リスクの選別	対策すべきリスクを選ぶ方法について学びます。		
		予習内容(時間)	たくさんあるリスクのうち、優先的に対策すべきリスクとはどのようなものであるか、自分なりに考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No4	リスクの見きわめ	感覚ではなく第三者にも説明可能なリスクの優先順位付けの方法論について学びます。		
		予習内容(時間)	「重要なリスク」とはどのような性質のものかを、自分なりに考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No5	演習	これまでの授業内容をもとに、ある状況下で 1)できるだけ多くのリスクを挙げ 2)対策すべき重要なリスクを選択する の2つについて演習を通じて理解を深めます。		
		予習内容(時間)	これまでの授業内容を振り返り、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No6	リスクの対策(1)予防とダメージコントロール	さまざまなリスク対策、とくに予防とダメージコントロールについて学びます。		
		予習内容(時間)	リスクを下げるためにどうしたらよいか、自分なりに考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No7	リスクの対策(2)暫定対策と恒久対策	時系列的にリスク対策を向上させていく考え方を学びます。		
		予習内容(時間)	一度に完全なリスク対策ができない時にどうしたらよいか、自分なりに考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No8	合理的意思決定(1)	なにごとかを「やる」か「やらない」かの決定を、「メリット」と「デメリット」の比較により行う考え方を学びます。		
		予習内容(時間)	他人にも理解してもらえる判断根拠とはどういったものなのかについて、自分なりに考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
		合理的意思決定(2)	「問題」:理想と現実のギャップと、「課題」:そのギャップを埋めるための具体的な施策の違いを学びます。		

	No9	予習内容(時間)	理想と現実ギャップがあるときに、自分はどうやって理想に近づこうとするのかについて、自分なりに考えてみる	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No10	リスクを低減して未来を切り拓く	「デメリット」がリスク対策によって低減でき、合理的意思決定におけるメリットとデメリットの比較が、適切なリスク対策によってメリット優位にバランスを変えられることを学びます。		
		予習内容(時間)	メリットとデメリットの比較について、振り返りを行っておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No11	演習	これまでの学習内容について具体的な演習を通じて理解を深めます。		
		予習内容(時間)	これまで学んだことを、自分なりに整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容とくに演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No12	模擬交渉準備	役割シートをもとに、翌週行う模擬交渉で何を決める必要があるのか、そのためには自分の考えをどう整理しておかないといけないのか、交渉相手とはどんなことを議論する必要があるのか、などの準備を行います。		
		予習内容(時間)	リスク対策についてこれまで学んだことを整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No13	模擬交渉	前回行った準備をもとに、2人ひと組に分かれて模擬交渉(ロールプレイ)を行います。		
		予習内容(時間)	前回行った準備を振り返り、交渉でなにを話を整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	演習の内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分
	No14	講座のまとめ	これまでの授業内容を振り返り、重要な概念について再度解説します。		
		予習内容(時間)	これまでの授業内容を、自分なりに振り返り整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、他者に伝えられるよう言語化を試みる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	管理会計論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Management Accounting II
担当教員	福山 倫基
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	管理会計とは、組織管理・経営企画等に不可欠な経営情報を提供する理論と技術であると言えます。したがって、管理会計の学習にあたっては、単に数値情報を算出するだけでなく、組織実践との関係で、経営管理とは何であるか、数値情報をどう経営管理に用いるかについて理解する必要があります。秋学期は、企業が意思決定を行う際に、どのような数的根拠を用いて合理的に意思決定を行うのか、といった意思決定に関するテーマを学習します。その後に興味のあるテーマを元にグループワークを行ってもらいます。このグループワークという作業を通して管理会計上のマネジメント手法の理解を深めていってください。							
【到達目標】	業務的意思決定会計について理解すること 戦略的意思決定会計について理解すること グループワークを通して、それまでに学習した管理会計の理解を深めること							
【履修条件・受講推奨者】	第1回目ガイダンスの説明に記載の履修要件を必ず確認すること。ここには書ききれない							
【教育方法】	毎回の講義で、講義を行った後に受講生に演習問題を解答してもらい解説を行う。また、反転講義も行う。初学者の場合は特に復習に重点を置いて講義を受けることを勧める。							
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書：開講時に指示する。 ◇参考書：開講時に指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力	○	主張力		創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】

評価項目と割合		評価方法
中間試験	20%	左記を合算して評価する。
期末試験	70%	
会計教育に関するアンケート	10%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

他者に迷惑となる行為（私語等）は厳に禁止する。注意をしても聞かないなど悪質な場合は、単位を付与しないこともありうるので留意のこと。

週	テーマ	学習内容			
No1	ガイダンス	講義の進め方および成績評価方法についての説明、管理会計は、工業簿記で関連の経営情報を作成することを応用したものであるともいえる。そのため、同時に工業簿記を履修するか、工業簿記が履修済みの学生の履修を望む。該当しない場合は自分で工業簿記に関する学習をしておくこと。			
	予習内容(時間)	工業簿記・原価計算で学習した内容の復習	120	分	
	復習内容(時間)	今回講義で学習した内容の振り返り	120	分	
No2	前期の復習	前期学修した業績評価会計のおさらいを講義する。			
	予習内容(時間)	前期学修した業績評価会計をおさらいする	120	分	
	復習内容(時間)	講義中に行った演習の振り返り	120	分	
No3	業務的意思決定会計―基礎編―	飲食店における事例の様々なケースで企業がいくら損をしたとみなすか演習を用いて考察することにより、業務的意思決定会計における費用観を身に付けていきます			
	予習内容(時間)	今までの講義の中で取り扱った費用のとらえ方の復習	120	分	
	復習内容(時間)	講義中に実施した演習を自分の言葉でまとめなおす	120	分	
No4	業務的意思決定会計―受注か自製か―	企業が直近の二者択一意思決定案件に際して、管理会計技法を用いてどのような合理的な判断を下すか学習します。この回から演習の内容が難しくなりますので、複数回演習した内容を振り返ること。			
	予習内容(時間)	前回講義の見返し	120	分	
	復習内容(時間)	演習で行った内容を中心に復習する。	120	分	
No5	業務的意思決定会計―まとめ―	今までの内容をまとめ、短期の意思決定に関する理解を深めてもらいます。前回講義で行った内容の演習をベースにした応用演習を行うため、必ず前回演習を復習しておくこと			
	予習内容(時間)	前回講義で実施した演習の振り返り	120	分	
	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分	
No6	設備投資の意思決定―基礎編―	多くの会計の場合、利益が意思決定の根拠とされることが多いが、長期的意思決定の場合、キャッシュに着目する。そこでキャッシュフローについて学習を行う。この回も演習を中心に行うため必ず自分で答えが出せるように演習前の講義にてポイントを抑えること。			
	予習内容(時間)	今までの講義の振り返り	120	分	
	復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分	
	設備投資の意思決定―お金の時間的価値について―	今の100万円と1年後の100万円の価値を考えることを起点に、お金の時間的価値について学ぶ。実生活においてもここで学ぶ貨幣の時間的価値の考え方は使える部分が多いので、こういった場面で使えるかも演習を通して考察すること。			

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	今までの講義内容の復習	120	分
		復習内容(時間)	講義中に行った演習を必ず復習すること	120	分
	No8	設備投資の意思決定—タックスシールドについて—	会計は貨幣的な支出を伴わない支出などがある。そういった場合、税金にどのように影響を及ぼすか学習し、税金に及ぼす影響が最終的にキャッシュフローにどう反映されるか学習していく。		
		予習内容(時間)	戦略的意思決定会計で行った演習の復習	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分
		中間テスト	これまでの講義をテストする。		
	No9	予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	180	分
		復習内容(時間)	テストの振り返り	120	分
	No10	グループワーク(1)	グループワークの班決め、アカデミックなグループワークを行う際、どのような報告の構成にすべきか、文献を読み解くためにはどのように読むと内容の理解を深めることができるのかなどを講義していく。また、グループ結成後テーマ決めをしてもらう。		
		予習内容(時間)	今までの管理会計で取り扱ったテーマの復習	120	分
		復習内容(時間)	グループごとに決めたテーマに応じた内容の復習	120	分
	No11	グループワーク(2)	方向内容の序論についてどのように構成すれば、聞き手に対して報告を通して伝えたいことをもれなく伝えることができるのかを講義したのちに、所属しているグループごとに序論を作ってもらう。		
		予習内容(時間)	グループごとのテーマに応じた内容の理解促進	120	分
		復習内容(時間)	グループごとに作成した序論をパワポにする	120	分
	No12	グループワーク(3)	グループごとの本論作成のための文献の選別方法と、引用の仕方などを講義する。その後に本論の作成をグループごとに行ってもらう。		
		予習内容(時間)	グループで作成した序論の見直し	120	分
		復習内容(時間)	グループごとの本論とまとめをパワポに落とし込む	180	分
	No13	グループワーク(4)	グループワーク発表会。他のグループの報告の評価も行う。		
		予習内容(時間)	自分のグループの発表準備	200	分
		復習内容(時間)	他のグループも含めた報告内容の振り返り	120	分
	No14	総論	今まで講義してきた内容のまとめ、この講義を受講したのちにチャレンジしてほしいことなどを皆さんにお伝えします。		
		予習内容(時間)	必要であればこれまでの講義の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	当該回の演習の復習	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-大山
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	大山 利栄
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	主な研究テーマは、企業が行うさまざまなプロモーションイベント、PRイベントを中心としたイベントプロデュースです。 2年次より現場実習もスタートし、座学で学んだことが実体験として大切な学びの場として機能し、専門演習への入り口と位置づけられます。 演習を通じて、全員が自ら動くリーダーシップを身につけてゆくことの喜びや充実感を得てください。						
【到達目標】	イベント発想・企画力を身につける プレゼンテーション力を身につける リーダーシップを身につける						
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習を履修している事						
【教育方法】	主にテーマに対して「考える」「まとめる」「プレゼンテーションする」事を行い、テーマに応じて「討論」「議論」する事が加わります。						
【指定教科書・参考資料等】	使用せず						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力	○	
	評価項目と割合			評価方法			
	企画アイデア提出			30%			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	企画発表プレゼンテーション		30%	評価項目に加え、演習態度、演習への貢献度などを総合的に評価し、判断する	
	学園祭、ゼミ合宿等の役割に対する行動		40%		
	合計		100%		
	【その他の注意事項】	伝達事項やグループワークが多いため遅刻・欠席は厳禁			
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ゼミ運営ガイダンス	秋学期のゼミの基本方針について 夏休み中に参加したイベントについての報告プレゼンテーション		
		予習内容(時間)	夏休み中に参加したイベントについて整理	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーションの振り返り	120	分
	No2	学園祭テーマディスカッション①	学園祭での出店についてのディスカッション		
		予習内容(時間)	これまでの学園祭の情報を収集	120	分
		復習内容(時間)	ディスカッション内容の整理	120	分
	No3	学園祭テーマディスカッション②	学園祭での出店内容・方法についての決定		
		予習内容(時間)	プランごとのメリットデメリットについて整理	120	分
		復習内容(時間)	出典に必要な要素の抽出	120	分
	No4	学園祭テーマ制作①	学園祭出店準備		
		予習内容(時間)	チェックリストの作成	120	分
		復習内容(時間)	足りない要素の抽出	120	分
	No5	学園祭テーマ制作②	学園祭出店準備		
		予習内容(時間)	役割分担票の作成	120	分
		復習内容(時間)	足りない要素の抽出	120	分
	No6	学園祭テーマ制作③	学園祭出店準備		
		予習内容(時間)	備品リスト作成	120	分
		復習内容(時間)	原材料手配	120	分
	No7	イベント課題ディスカッション①	架空の課題を設定するためのディスカッション		
		予習内容(時間)	課題に関する情報収集	120	分
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容整理	120	分
	No8	イベント課題解決ワークショップ①	架空の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランの構築		
		予習内容(時間)	プランに相応しいイベント形態の抽出	120	分
		復習内容(時間)	プランに不足する部分のフォローアップ	120	分
	No9	プレゼンテーション①	架空の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランを発表		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション振り返り	120	分
	No10	イベント課題ディスカッション②	実際の課題を設定するためのディスカッション		
		予習内容(時間)	課題に関する情報収集	120	分
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容整理	120	分
			イベント課題解決ワークショップ②	実際の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランの構築	

	No11	予習内容(時間)	プランに相応しいイベント形態の抽出	120	分
		復習内容(時間)	プランに不足する部分のフォローアップ	120	分
	No12	プレゼンテーション②	実際の課題についての課題を解決するためのイベントプロモーションプランを発表		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	企画のブラッシュアップ	120	分
	No13	企業へのプレゼンテーション	実際に課題を持つ企業担当者に対してプレゼンテーションを行う		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	講評に対する振り返り	120	分
	No14	秋学期イベント実習レポート	春学期に参加した実習についてまとめ、レポートを整理する		
		予習内容(時間)	実習時間の整理	120	分
		復習内容(時間)	レポートのブラッシュアップ	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-笠原
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ: イベントで地域を生き活きと輝かせよう! 日本全国には約1,700もの市町村があります。東京一極集中や人口減少による地方の過疎化など、それぞれの地域には課題が山積しています。一方で対策を取り効果を上げている地方・地域も数多く存在しており、ゼミでは地方創生の様々な事例を研究します。特定の地域を選び、課題の現状把握から魅力の再発見、本質的な解決策までを研究し、具体的な地域活性化イベントを企画します。また、地域活性化に積極的に取り組む組織と連携し、産学官の場で実際の地域のイベントを可能な限り体験します。社会課題の解決に向けてフレッシュな視点で企画を考えます。																						
【到達目標】	地域活性化のユニークで優れたイベント企画を制作しプレゼンテーションできる チームワークとリーダーシップを身につけ、組織を引っ張る積極性が発揮できる 読解力とプレゼンテーション能力を高め、クオリティの高いアウトプットができる																						
【履修条件・受 講推奨者】	無断遅刻・欠席は厳禁です。サブゼミを月曜5限に実施しますので必ず参加してください																						
【教育方法】	プロデューサーはリーダーシップ、チームワーク、発想力、コミュニケーション、信頼されることが特に重要です。ゼミはその基礎能力を身につけるトレーニングの場となります																						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用しません。参考文献等は、授業中に随時紹介します																						
【実務IQ修得目 標】	<table border="1"> <tr> <td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr> <tr> <td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
地域活性化の優れたイベント企画を制作しプレゼンできる	30%	演習態度(積極性、リーダーシップ、チームワーク)、貢献度、発表、レポート等で総合的に判断
チームワークとリーダーシップで組織を引っ張る積極性が発揮できる	40%	
読解力とプレゼンテーション能力を高め、クオリティの高いアウトプットができる	30%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

幅広くイベントや地域活性に興味を持ち、積極的に社会課題に取り組む姿勢をみせてください。また、できるだけ多くのイベントを見に行く・参加すること

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	オリエンテーション	秋学期の授業の進め方、課題レポート、評価等の説明		
	予習内容(時間)	研究テーマやその方向性をまとめておく	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No2	研究テーマ企画制作に向けて全体の内容確定とスケジュール案作成	研究テーマ企画制作に向けて全体の内容確定と年間スケジュール案を作成する		
	予習内容(時間)	研究テーマ企画制作の内容確定と年間スケジュール案を準備する	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No3	研究テーマの課題分析	研究テーマの課題分析を議論する		
	予習内容(時間)	研究テーマの課題分析を準備する	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No4	研究テーマの課題分析	研究テーマの課題分析を議論する		
	予習内容(時間)	研究テーマの課題分析を準備する	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No5	研究テーマの課題分析	研究テーマの課題分析をまとめる		
	予習内容(時間)	研究テーマの課題分析をまとめる	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No6	企画制作ワークショップ	研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する		
	予習内容(時間)	企画制作ワークショップの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No7	企画制作ワークショップ	研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する		
	予習内容(時間)	企画制作ワークショップの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
No8	企画制作ワークショップ	研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する		
	予習内容(時間)	企画制作ワークショップの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントを修正する。課題を提出する	120	分
No9	企画制作ワークショップ	研究テーマの課題を解決するための企画制作ワークショップを実施する		
	予習内容(時間)	企画制作ワークショップの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	議論したポイントを修正する。課題を提出する	120	分

	No10	イベント企画制作	具体的なイベント企画をプレゼンテーション資料にまとめる		
		予習内容(時間)	イベント企画制作の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	議論したポイントを修正する。課題を提出する	120	分
	No11	イベント企画制作	具体的なイベント企画をプレゼンテーション資料にまとめる		
		予習内容(時間)	イベント企画制作の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	議論したポイントを修正する。課題を提出する	120	分
	No12	イベント企画のプレゼンテーション準備	イベント企画のプレゼンテーションの準備をする		
		予習内容(時間)	イベント企画プレゼンテーションの準備をする	120	分
		復習内容(時間)	議論したポイントを修正する。課題を提出する	120	分
	No13	イベント企画のプレゼンテーション	イベント企画のプレゼンテーションを実施する。講評と振り返りの実施		
		予習内容(時間)	イベント企画プレゼンテーションの準備をする	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーションの講評と振り返りをまとめ提出する	120	分
	No14	全体の振り返りと総括	全体の振り返りと総括を実施する		
		予習内容(時間)	全体の振り返りと総括をまとめる	120	分
		復習内容(時間)	全体の振り返りと総括をまとめ提出する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-上條
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	プロフェッショナル・セミナーⅡではプロフェッショナル・セミナーⅠに続いて、研究テーマを設定した後、課題を抽出し、数回のワークショップを通じて課題の解決を図り、イベント企画書として作成させ、プレゼンテーションを行います。							
【到達目標】	イベント研究 研究テーマを立て、それに沿った、調査分析、まとめができる。 チームワーク チーム活動によって評価 具体的な課題への作業を通し、役割分担やサポートの大切さを知る。 プレゼンテーション 発表内容に合わせて最も効果的な表現手法を選び、簡素でわかりやすい、エンターテインメント性を備えたプレゼンテーションができる。							
【履修条件・受講推奨者】	幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇チームワークが重要なので、遅刻欠席は厳禁。							
【教育方法】	イベントに関する情報について、常にアンテナを張り興味と関心を持つこと ◇なるべく多くのイベントに参加し、プロの目を養う訓練をすること ◇チームで決めた次の演習までの作業分担は必ず行なうこと							
【指定教科書・参考資料等】	特になし							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
課題まとめ力	30%	演習態度(出席・積極性・勤勉さ)、演習への貢献度、プレゼンなどで総合的に判断します。
チームワーク力	30%	
プレゼンテーション力	40%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

特になし

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	テーマガイダンス	秋期の課題設定と進め方の確認		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No2	課題テーマ発表	具体的課題の発表とチーム分け		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No3	課題ディスカッション	研究課題ディスカッションとワークショップ		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No4	課題ディスカッション	研究課題ディスカッションとワークショップ		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No5	研究発表へ向けて	課題解決発表、プレゼンテーション		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No6	研究発表へ向けて	課題解決発表、プレゼンテーション		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No7	研究発表に向けて	課題解決発表、プレゼンテーション		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No8	研究課題発表	研究課題のディスカッションとチーム分け		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No9	研究課題ディスカッション	研究課題ディスカッションと作業		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
No10	プレゼンテーション	チームによるプレゼンテーション		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分

		復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
	No11	研究テーマの発表	研究課題ディスカッションと作業		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	課題の作業	120	分
	No12	研究課題ディスカッション	研究課題ディスカッションと作業		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	課題解決準備	120	分
	No13	プレゼンテーション	研究課題のプレゼンテーション		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	最終回に向けての準備	120	分
	No14	研究発表	課題解決発表、プレゼンテーションと総評		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	一年間の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-北原
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	北原 隆
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	研究テーマ: イベントのエンターテインメント性と施設のインフラについて学びます。 1. イベントはその全てがエンターテインメントでなくてはなりません。 どんなに堅いイベントにもエンターテインメント性は必要です。 そしてイベントそのものだけでなく、企画、設計、現場、運営もまたエンターテインメントであるべきだと考えます。 エンタメイベントの手法を分析し、他のイベントに応用することを研究します。 2. ある施設でイベントを行うためには、そのイベントを行うためのインフラが必要です。 その視点が欠けているために、本来の形ではイベントが行えない施設は沢山あります。 そしてその不便を何らかの対応策で補ってなんとかイベントを開催しているのが現状です。 イベントを行うために何が必要か分析し、現状を調査し、改善を提案します。
【到達目標】	イベント研究力 研究テーマを立て、それに沿った、調査分析、まとめができる。 チームワークとリーダーシップ 具体的な課題への機嫌ある作業を通し、役割分担やサポートの大切さを知る。 課題解決の過程で、トラブルを乗り越え、チームをまとめるための積極性を身につける。 プレゼンテーション力の強化 発表内容に合わせて最も効果的な表現手法を選び、簡素でわかりやすい、エンターテインメント性を備えたプレゼンテーションができる。
【履修条件・受講推奨者】	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇チームワークが重要なので、遅刻欠席は厳禁 ◇過去に北原が担当したイベント実習で未連絡でのドタキャンをしていないこと
【教育方法】	学生の自習性を重視し、出てきたアイデアを実際に形にするためのアドバイスを行なう。 実際にイベントを企画運営することにより、グループワークとソロワークの特性と重要性を体験学習し身につけさせる。 同時に複数のプロジェクトを行ない、マルチタスクの特性と重要性を体験学習し身につけさせる。 イベントを行なう中でイベントを実現するために必要なインフラについて体験学習し身につけさせる。 自分のアイデアや考えを相手に効果的に伝えるための手法を知りスキルを磨かせる。

【指定教科書・参考資料等】	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する ◇巻尺および三角スケール							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	イベント研究成果	30%	演習態度(出席・積極性・勤勉さ)、演習への貢献度、レポート内容などで総合的に評価します					
	チームワークとリーダーシップ	40%						
	プレゼンテーション力	30%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】	◇特になし							
	週	テーマ		学習内容				
	No1	学園祭準備と研究テーマ課題の分析		実施案の具体化 損益分岐点の検討 仕入れ先等の検討 シフトの確認 発表展示内容の確認				
		予習内容(時間)		日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加			120	分
		復習内容(時間)		ゼミ内容の振り返りと資料作り			120	分
	No2	学園祭準備と研究テーマ課題の分析		実施案の具体化 損益分岐点の検討 仕入れ先等の検討 シフトの確認 発表展示方法の確認				
		予習内容(時間)		日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加			120	分
		復習内容(時間)		ゼミ内容の振り返りと資料作り			120	分
	No3	学園祭準備と研究テーマ課題の分析		実施案の具体化 運営マニュアルの完成 進行台本の完成 備品リストの完成 発表展示物の制作				
		予習内容(時間)		日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加			120	分
		復習内容(時間)		ゼミ内容の振り返りと資料作り			120	分
	No4	学園祭準備と研究テーマ課題のまとめ		実施案の具体化 運営マニュアルの完成 進行台本の完成 備品リストの完成 発表展示物の制作				
		予習内容(時間)		日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加			120	分
		復習内容(時間)		ゼミ内容の振り返りと資料作り			120	分
	No5	学園祭準備と研究テーマ課題のまとめ		実施案の具体化 運営マニュアルの完成 進行台本の完成 備品リストの完成 発表展示物の制作				
		予習内容(時間)		日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加			120	分
		復習内容(時間)		ゼミ内容の振り返りと資料作り			120	分
	No6	学園祭準備と研究テーマ課題のまとめ		学園祭運営準備 備品やマニュアルの最終確認 人員配置の最終確認 発表展示物の確認				

【授業計画】		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No7	大学祭運営の反省会&報告書作成	出来たこと出来なかったこと 目標達成率 次回に繋げるための反省点 報告書の作成		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No8	ゼミ発表大会に向けての資料作り	発表内容のまとめ ゼミ発表大会運営の役割分担 ゼミ紹介映像の制作班の決定		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No9	ゼミ発表大会に向けての資料作り	発表資料の制作 ゼミ発表大会運営の運営マニュアル&進行台本作り ゼミ紹介映像の制作		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No10	ゼミ発表大会に向けての資料作り	発表資料の制作 ゼミ発表大会運営の運営マニュアル&進行台本作り ゼミ紹介映像の編集		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No11	ゼミ発表大会リハーサル	発表プレゼンの練習 ゼミ発表大会運営の運営マニュアル&進行台本のチェック&修正 ゼミ紹介映像のチェック&修正		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No12	ゼミ発表大会運営の反省会&報告書作成	出来たこと出来なかったこと 目標達成率 次回に繋げるための反省点 報告書の作成		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No13	卒論発表会	発表会の運営 卒論についての学習 まとめ方の考察		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分
	No14	全体の振り返り	出来たこと出来なかったこと 目標達成率 後輩に引き継ぐための反省点 報告書の作成		
		予習内容(時間)	日常的イベント関連情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内容の振り返りと資料作り	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-佐藤(潤)
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	佐藤 潤
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	テーマ:スポーツイベントのビジネスの現状と課題、今後の在り方について研究する。 現在スポーツイベントは教育、文化、国際関係、社会に大きな影響を与える存在となっている。 その中でも特に経済的影響、企業との関わり等に焦点を当てて研究していく。						
【到達目標】	情報収集と分析力の向上: 正確に情報収集しまとめる手法を身に着ける プレゼンテーション力の向上: 自分の考えを正確に相手に伝える手法を身に着ける グループディスカッション力の向上: 相手の考えを理解し対応できる能力を身に着ける						
【履修条件・受 講推奨者】	スポーツイベントビジネスに興味・関心がある積極性のある学生						
【教育方法】	事前にスポーツビジネストピックスを小レポートにまとめて提出し、授業時に発表。全員で内容について議論。授業後、感想を授業レポートとして提出することを毎週行う。						
【指定教科書・ 参考資料等】	特にないが必要に応じて都度紹介する。、参考図書として池上彰著「伝える力」、阿川佐和子「聞く力」を事前に読んでおいて下さい。						
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		
	評価項目と割合			評価方法			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	情報収集と分析力		40%	事前小レポートと授業後レポートの提出状況と授業でのコミュニケーション力。		
	プレゼンテーション力		30%			
	グループディスカッション力(コミュニケーション力)		30%			
	合計		100%			
【その他の注意事項】	他者へのリスペクトと他者とのコミュニケーション力が大事です。楽しみながら授業に参加していきましょう。					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	情報を探す①	ネットメディアを検索し関心のある情報をピックアップする			
		予習内容(時間)	ネットによるリサーチ	120	分	
		復習内容(時間)	指定されたサイトのリサーチ	120	分	
	No2	情報を探す②	新聞、雑誌などのマスメディア情報及び一般図書などより関心のある情報をピックアップする			
		予習内容(時間)	興味あるテーマに沿った一般図書検索	120	分	
		復習内容(時間)	興味あるテーマに沿った一般図書検索	120	分	
	No3	情報を探す③	情報に沿った論文や専門書を探す(探し方を学ぶ)			
		予習内容(時間)	J-STAGEやCiNiiなどのデータベースについて検索する	120	分	
		復習内容(時間)	J-STAGEやCiNiiなどのデータベースについて検索する	120	分	
	No4	情報を読み込む①	集めた情報を読み込む。読み込むポイントについて考える			
		予習内容(時間)	興味あるテーマの小論文や抄録などを読む	120	分	
		復習内容(時間)	興味あるテーマの小論文や抄録などを読む	120	分	
	No5	情報を読み込む②	集めた論文、専門書の内、特に興味のあるパートを読み込む。			
		予習内容(時間)	興味あるテーマの論文などを読む	120	分	
		復習内容(時間)	興味あるテーマの論文などを読む	120	分	
	No6	情報を整理する①	インプットした情報を自分の考えに沿って整理する 必要なデータ、ファクトの収集をする			
		予習内容(時間)	自分がまとめたテーマに必要なデータ、ファクトの収集	120	分	
		復習内容(時間)	自分がまとめたテーマの確認	120	分	
	No7	情報を整理する②	事実、課題、意見、論点などを整理する			
		予習内容(時間)	整理作業	120	分	
		復習内容(時間)	漏れがないかチェック	120	分	
	No8	情報をまとめる①	レポートや小論文に書式に従ってまとめる方法を学ぶ			
		予習内容(時間)	参考になる先行レポートの確認	120	分	
		復習内容(時間)	参考になる先行レポートの確認	120	分	
	No9	情報をまとめる②	書式に従ってまとめる			
		予習内容(時間)	構成方法の確認	120	分	
		復習内容(時間)	まとめたレポートをチェック	120	分	
	No10	情報を発表する①	効果的なプレゼンテーション資料の作成について学ぶ			
		予習内容(時間)	発表用資料のまとめ方の確認	120	分	
		復習内容(時間)	発表用資料の作成	120	分	

	No11	情報を発表する②	効果的なプレゼンテーションの発表方法について学ぶ		
		予習内容(時間)	発表手法について調べる	120	分
		復習内容(時間)	発表手法を確認	120	分
	No12	情報を聞く①	発表者の考えのポイントを正確に聞き取る		
		予習内容(時間)	正確に理解する方法について調べる	120	分
		復習内容(時間)	正確に理解する方法を学ぶ	120	分
	No13	発表を批評する①	発表に対する客観的事実と意見をまとめる		
		予習内容(時間)	批評に際してのポイントを調べる	120	分
		復習内容(時間)	批評方法の確認	120	分
	No14	発表を批評する②	発表に対して自分の批評を披露し議論する		
		予習内容(時間)	ディスカッションの手法について調べる	120	分
		復習内容(時間)	ディスカッション方法の確認	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-佐藤(友)
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	テーマ:「イベントのいろは」 概要: 2年次より現場実習もスタートし、座学で学んだことが実体験として大切な学びの場として機能し、専門演習への入り口と位置づけられます。イベント制作に関連する企業に就職したのち、まず発生するのは「プロフェッショナルセミナーⅠ」で学んだ様々な資料作成であり、プロジェクトごとの様々な打ち合わせです。そのためには事前にアイデアを出し、その打ち合わせで発言し、必要な情報を正確にまとめるのも重要な仕事です。このゼミでは社会に出て即戦力となるよう、イベント業界で活かせる発想力・技術・プレゼン力・推進力をより一層高めていくことを目指します。
【到達目標】	【承認力を身に付ける】 1つの事象に対してそれぞれの人を感じることは様々。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができ、自分のアイデア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身につける。 【リーダーシップスキルを高める】 期日の決まったゴールに向けて、トラブルを乗り越え、チームを引っ張る力を身に着ける。
【履修条件・受 講推奨者】	◇創造性を発揮して、積極的に演習に取り組むこと。 ◇大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨むこと。
【教育方法】	・スライドを使用し、イベントやアイデア発想についてより深く学びます。 ・「プロフェッショナルセミナーⅠ」で学んだPC操作・想像力・発想力を生かし、よりステップアップしたグループワーク・資料作成・企画・プレゼンテーションを行っていきます。
【指定教科書・	◇教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布します。

参考資料等】	◇PC(PowerPoint、Word、Excel)							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	【承認力を身に付ける】 全体やグループでのワークやディスカッションなどの 取り組みにより評価する。	30%	演習態度(出席・積極性・勤勉さなど)、演習への貢献度、制作物(作成資料、提案書)などで総合的に判断します。					
	【想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 演習・成果物・イベント企画発表によって評価。	35%						
	【リーダーシップスキルを高める】 全体やグループでのワークやディスカッションなどの 取り組みにより評価する。	35%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】	◇イベント企画・制作にはチームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。 ◇演習中、学習と関係のないスマホや私語を禁止します。 ◇報連相(報告・連絡・相談)を徹底してください。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	研究テーマを設定し「プロフェッショナルセミナーI」で学んだPC操作・想像力・発想力を生かし、実際にイベント現場で必要となる資料作り・グループワークを実践します。	主な内容は以下の通り。これを適宜課題・理解度に合わせて実施する。 ●「プロフェッショナルセミナーI」の復習 ●アイデア発想練習(インプット・アウトプット) ●イベント課題ディスカッション～グループワーク ●イベント課題解決に用いる資料作成 ●イベント企画プレゼンテーション ●実施内容(ワーク・発表・作成資料等)に対する振り返り					
		予習内容(時間)	・次回講義に向けた自身の役割確認、作業準備 ・イベント、プロモーション情報収集				120	分
		復習内容(時間)	各回講義内容について				120	分
	No2	上記参照	上記参照					
		予習内容(時間)	同上				120	分
		復習内容(時間)	同上				120	分
	No3	上記参照	上記参照					
		予習内容(時間)	同上				120	分
		復習内容(時間)	同上				120	分
No4	上記参照	上記参照						
	予習内容(時間)	同上				120	分	
	復習内容(時間)	同上				120	分	
No5	上記参照	上記参照						
	予習内容(時間)	同上				120	分	
	復習内容(時間)	同上				120	分	
	上記参照		上記参照					

【授業計画】	No6	予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No7	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No8	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No9	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No10	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No11	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No12	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No13	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No14	上記参照	上記参照		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-志塚
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	今や、日本の若者文化の中核をなすと言っても過言ではないのがマンガ、アニメ、コスプレ等のいわゆるポップカルチャーである。近年は少子高齢化の問題もあり、若者が地域に定着せず、衰退の一途を辿っている地域も少なくない中、こうしたポップカルチャーに目を付けたアニメやマンガによる地域興しなども年々、増加しつつある。こうした背景を踏まえ、本演習では、ポップカルチャーによる地域ブランドや地域活性の取り組みなどを知り、イベントに実践に繋げることを目的とする。 特に、プロフェッショナルセミナーⅡでは、実際のイベント実践を念頭に、①イベント制作に関する作業ワーク(イベント運営マニュアル作成、ポッドデザイン検討、広報ツールの制作など)②イベント現場の体験・経験を通じたふりかえりワーク(課題や問題の抽出など)を予定している。						
【到達目標】	「ポップカルチャー」や「地域課題」について情報収集や分析を行い、イベント企画に結びつけることができる。 イベントの開催に向けて、ゼミ生と協働して様々な課題や作業をやり遂げることができる。 イベントの体験、経験を踏まえ、今後の自身のキャリア形成に結びつけることができる。						
【履修条件・受 講推奨者】	各回で行われるグループワーク、個人ワークに積極的に参加できること。						
【教育方法】	アクティブ・ラーニングおよびPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)手法を重視した、ワークショップやフィールドワークが中心となる。						
【指定教科書・ 参考資料等】	特に無し。使用教材については、適宜配付する。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法	
	講義やグループワーク、個人ワークへの積極的な参加態度		40%		
	授業で実施するワークシートおよび課題レポート内容		30%		
	成果物に関する作業態度や成果の内容		30%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	演習態度(積極性・勤勉さなど)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	・授業内容、進め方の説明		
		予習内容(時間)	授業内容や趣旨の確認	120	分
		復習内容(時間)	授業内容に関するレスポンスシートに取り組む	120	分
	No2	テーマガイダンス①	・研究テーマの発表、成果イメージの共有		
		予習内容(時間)	授業内容や趣旨の確認	120	分
		復習内容(時間)	授業内容に関するレスポンスシートに取り組む	120	分
	No3	テーマガイダンス②	・研究テーマに関する知識、情報の提供		
		予習内容(時間)	研究テーマに関する情報収集	120	分
		復習内容(時間)	授業内容に関するレスポンスシートに取り組む	120	分
	No4	テーマガイダンス③	ゲストスピーカー		
		予習内容(時間)	研究テーマに関する情報収集	120	分
		復習内容(時間)	ゲストスピーカーに対する感想シートに取り組む	120	分
	No5	課題ディスカッション①	・グループディスカッション準備。イベント実施に向けた分析、考察		
		予習内容(時間)	イベント開催に必要なものについて、分析や考察	120	分
		復習内容(時間)	授業内容に関するレスポンスシートに取り組む	120	分
	No6	課題ディスカッション②	・イベント実施に関するグループディスカッション		
		予習内容(時間)	イベント開催に必要なものについて、分析や考察	120	分
		復習内容(時間)	グループワーク相互評価	120	分
	No7	課題ディスカッション③	・グループディスカッションの成果発表		
		予習内容(時間)	イベント開催に必要なものについて、分析や考察	120	分
		復習内容(時間)	グループワーク相互評価	120	分
	No8	課題ディスカッション④	・グループディスカッションのふりかえり、講評		
		予習内容(時間)	グループワークの分析や考察	120	分
		復習内容(時間)	グループワーク相互評価	120	分
	No9	イベント制作準備①	・イベント実施に向けた各種制作作業		
		予習内容(時間)	イベント実施に向けた情報収集	120	分
		復習内容(時間)	各種制作作業	120	分
	No10	イベント制作準備②	・イベント実施に向けた各種制作作業		
		予習内容(時間)	イベント実施に向けた情報収集	120	分
		復習内容(時間)	各種制作作業	120	分

	No11	イベント制作準備③	・イベント実施に向けた各種制作作業		
		予習内容(時間)	イベント実施に向けた情報収集	120	分
		復習内容(時間)	各種制作作業	120	分
	No12	ふりかえり①	・グループディスカッション		
		予習内容(時間)	グループワークの分析や考察	120	分
		復習内容(時間)	グループワーク相互評価	120	分
	No13	ふりかえり②	・イベント制作の講評および相互評価		
		予習内容(時間)	グループワークの分析や考察	120	分
		復習内容(時間)	授業内容に関するレスポンスシートに取り組む	120	分
	No14	まとめ	・授業内容のふりかえり		
		予習内容(時間)	授業の成果の考察、分析	120	分
		復習内容(時間)	授業の成果まとめ	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅡ E-賽音
講義名(英字)	Professional Seminar II
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本ゼミテーマは、エンターテインメントイベント、エンターテインメントイベントを開催するとひとことに言っても、その企画から開催までには数多くのステップがあります。イベントを形にするためには、その段階ごとにアイディアを選出し束ね上げる作業が必要となります。賽音吉雅ゼミでは、イベントを構築していく中でどういった事象や問題の発生が想定され、またそれらをどのように解決していくのかを、実際のエンターテインメントイベントを体験しながら考察を深めていきます。 同時に、エンターテインメントイベントが、イベントという枠組みにとどまらず既存の文化に影響を与え、新たな文化が形成されていくと言った、社会に与える影響力についても学びます。 ゼミ生ひとりひとりが、興味のあるテーマを自由に設定し、ゼミ発表やディスカッションを通じながらエンターテインメントイベントを多角的に研究し考察を深めていきます。
【到達目標】	イベント研究実践 プロフェッショナルの概要について理解する。その中でも、特に、芸術、エンタメ、ミュージックに関して学修する。 チームワーク チーム活動 プロの多様性を理解するための基本的な知識と教養を学修する。 プレゼンテーション力の強化 さまざまなイベントを比較し考察する。その考察は、社会におけるプロの役割を理解する
【履修条件・受 講推奨者】	イベント企画・制作にはチームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは禁止です。
【教育方法】	イベント学知識から、実際のイベント現場に生かす知恵を創造していくことを目指します。
【指定教科書・ 参考資料等】	基本的に会話式でパワーポイントと資料やDVDにより進める。 最新のイベントに関する情報やニュースなどを分析して、その都度、授業中に紹介する。

【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法	
	企画アイデア提出により独創的・斬新なイベント発想を評価する。	30%	評価項目に加え、演習態度、演習への貢献度などを総合的に評価し、判断する	
	イベント企画・運営制作により役割分担とチームワークを評価する。	30%		
	イベント企画発表によりプレゼンテーションのわかりやすのを評価する。	40%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】	伝達事項やグループワークが多いため遅刻・欠席は厳禁

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	秋学期の授業の進め方、課題レポート、評価等の説明		
		予習内容(時間)	研究テーマと方向性の考え方をまとめておく	120	分
		復習内容(時間)	議論したポイントをまとめる。課題を提出する	120	分
	No2	研究テーマ企画制作に向けて全体の内容確定とスケジュール案作成	様々なイベントの事例を紹介		
		予習内容(時間)	企業イベントについてのリサーチ	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマについてのリサーチ	120	分
	No3	研究テーマの課題分析	課題として提出する企画について説明		
		予習内容(時間)	企画に基づいた課題の抽出	120	分
		復習内容(時間)	企画に基づいた資料の収集	120	分
	No4	研究テーマの課題分析	関係性や業務内容について		
		予習内容(時間)	課題に関する情報収集	120	分
		復習内容(時間)	業界の内容整理	120	分
	No5	研究テーマの課題分析	研究テーマに基づき、秋学期の課題を決定		
		予習内容(時間)	研究テーマに基づいた課題の抽出	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマに基づいた資料の収集	120	分
	No6	企画制作ワークショップ	イベントの中心的内容となるコンテンツについて		
		予習内容(時間)	研究テーマに基づいた課題の抽出	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマに基づいた資料の収集	120	分
	No7	企画制作ワークショップ	イベントに関わる人に対する運営について		
		予習内容(時間)	研究テーマに基づいた課題の抽出	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマに基づいた資料の収集	120	分
	No8	企画制作ワークショップ	各自のテーマを決めた企画について		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション振り返り	120	分
		企画制作ワークショップ	各自のテーマを決めた企画について		

	No9	予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション振り返り	120	分
	No10	イベント企画制作	各自のテーマを決めた企画について		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション振り返り	120	分
	No11	イベント企画制作	プレゼンテーションの準備		
		予習内容(時間)	イベント実施を想定したイベントの形態を想定しておく	120	分
		復習内容(時間)	途中経過での企画書の見直しと修正	120	分
	No12	イベント企画のプレゼンテーション準備	各自のイベントの企画を発表		
		予習内容(時間)	未完成の企画書について内容を想定しておく	120	分
		復習内容(時間)	企画に足りない部分のフォローアップ	120	分
	No13	イベント企画プレゼンテーション	実際の課題についてのイベント企画をプレゼンテーション		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション振り返り	120	分
	No14	全体の振り返りと総括	秋学期に参加した実習についてまとめ、レポートを整理する		
		予習内容(時間)	実習時間の整理	120	分
		復習内容(時間)	レポートのブラッシュアップ	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-K
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	出原 隆史
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	アニメ作品等のキャラクターを利用したイベントは、多様な形態で開催され、発展を続けています。そのキャラクターイベントを開催する上で必要な権利処理を学ぶとともに、キャラクターイベントの企画書・収支計画の作成方法や主催者が決定するイベント要件(料金・会場・開催期間等)について疑似体験を通じて学んでいきます。 前半では事例を題材とした講義形式とし、後半はイベント要件の意思決定に関するケーススタディを行います。 最終的には、自分が好きなキャラクターイベント(形態問わず)の企画書を作成し、発表会を行います。本講義を通じて、キャラクターイベントの企画の楽しさ、面白さを伝えていくことを目指します。						
【到達目標】	キャラクターイベントの主催者としての基礎知識の習得 キャラクターイベントの主催者としての視点の構築 キャラクターイベントの総合的なプロデュース力。ノウハウの蓄積方法を疑似体験する事						
【履修条件・受 講推奨者】	キャラクターイベントに興味がある方						
【教育方法】	中間と最終のレポート作成を軸とし、その為に必要なノウハウを授業を通じて伝えていきます						
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用せず、必要に応じて資料を用意します						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力		主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業への出席	30	試験は行いませんが、レポート提出(中間1回、最終2回)が試験の代わりとなります		
	中間課題:既存のキャラクターイベントの分析(発表・内容)	20			
	最終課題:架空のキャラクターイベントの企画(発表・内容)	50			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	特にありません				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	キャラクターの著作権	アニメキャラクターの著作権とは。著作権保有の仕組み(原作モノ・製作委員会)の理解		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No2	キャラクターの利用と権利処理	版權ビジネスの仕組みとキャラクターイベントにおける権利処理の方法(行使・許諾)や商慣習について		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No3	キャラクターイベントの事例①	キャラクターイベントの事例紹介 上映会／ヒーローショー／原画展／コンサート等		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No4	キャラクターイベントの事例②	キャラクターイベントの事例紹介 2.5次元／舞台／キャラクター混載イベント等		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No5	キャラクターイベントにおける物販	キャラクターイベントの事例紹介 物販イベント／キャンペーンコラボ／スタンプラリー等 イベント限定グッズ企画の留意点		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No6	中間課題の発表会	中間レポート「既存のキャラクターイベントの分析」の発表会		
		予習内容(時間)	レポートの作成作業。時間は最大限の目安です。	600	分
		復習内容(時間)	レポートのコメントについて、考えてみましょう。時間は最大限の目安です	130	分
	No7	イベントの損益分析	ケーススタディ: 架空の原画展 損益分岐点の計算方法、開催期間の意思決定		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No8	プロデューサーの意思決定①	ケーススタディ: 架空の脱出ゲームイベント ターゲットの設定、動員目標と入場料の意思決定		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No9	プロデューサーの意思決定②	ケーススタディ: 架空の周年イベント 開催場所の意思決定		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分

		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No10	キャラクターイベントの企画書作成方法	イベント企画書・収支計画書の作成方法 最終レポート作成のガイダンス		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No11	プロデューサーの意思決定③	ケーススタディ:Go!Go!5!FES 収支計画書の作成事例の紹介／収益改善事例		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	講義レジメを掲載します	10	分
	No12	最終課題の発表会①	最終課題:「架空のキャラクターイベントの企画書」の発表会/前半 (レポート提出は1回のみ)		
		予習内容(時間)	レポートの作成作業。時間は最大限の目安です	720	分
		復習内容(時間)	レポートのコメントについて、考えてみましょう。時間は最大限の目安です	130	分
	No13	最終課題の発表会②	最終課題:「架空のキャラクターイベントの企画書」の発表会/後半 (レポート提出は1回のみ)		
		予習内容(時間)	レポートの作成作業。時間は最大限の目安です	720	分
		復習内容(時間)	レポートのコメントについて、考えてみましょう。時間は最大限の目安です	130	分
	No14	プロデューサーの意思決定④	ケーススタディ:C3香港 予算計画の作成／海外イベント事例		
		予習内容(時間)	遅刻しない事、授業中のマナー(お喋りしない・スマホいじらない)の確認	10	分
		復習内容(時間)	最終レポート(修正版)の作成作業。時間は最大限の目安です	720	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-L
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	佐野 孝行
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	現代において、一つの作品世界を軸に様々な形でその世界観を共有する表現が、様々なイベントとして組み込まれて行くのが当たり前になっています。アニメ化・テレビドラマ化・映画化にとどまらず、舞台化や脱出ゲーム・謎解きなどのアトラクション化、さらにはVR化など新しいメディアの登場に合わせてメディアミックス展開も広がりをみせています。 当授業においては、まず日本におけるメディアミックスの歴史や成り立ち・展開の仕組み・世界観の構築方法・関わる会社やスタッフの仕事の役割などを基礎から学びます。							
【到達目標】	【メディアミックスイベントに関する基礎知識を理解する】 メディアミックスの意味や手法を基礎から理解し説明することが出来る メディアミックスイベントの歴史を把握する事で、時代ごとの特徴を知る事が出来る メディアミックスイベントに必要な契約関係や権利関係などの知識を知る事が出来る 【様々なメディアミックスイベントの特徴や構成要素を理解する】 事例を学ぶことにより、成功するためのポイントを理解し説明することが出来る 【メディアミックスイベントを企画する力を身につける】 メディアミックスイベントを自ら計画し提案する事が出来る							
【履修条件・受講推奨者】	エンターテインメントビジネスに興味があり、その仕組みを知りたいと思っていること							
【教育方法】	実務事例や知見をもとに、各テーマにおけるポイントとなる点を重点的に講義する							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、授業時に資料を配布する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業への意欲	40	期末レポートの提出は、単位取得にあたって必須要件とします。		
	日々の課題	20			
	期末レポート	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	特になし				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イントロダクション	まずはじめにメディアミックスの用語解説と、日本におけるメディアミックスイベント事例の歴史を解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No2	エンターテインメント業界研究①	映画業界の構造や制作委員会方式の解説と、実写やアニメ映画化におけるメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No3	エンターテインメント業界研究②	テレビ業界の構造解説と、テレビドラマなどにおけるメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No4	エンターテインメント業界研究③	出版業界の構造解説と、漫画・小説原作のメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No5	エンターテインメント業界研究④-1	日本におけるゲーム業界の構造と歴史解説を行います。		
		予習内容(時間)	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No6	エンターテインメント業界研究④-2	ゲーム原作のメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		予習内容(時間)	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No7	エンターテインメント業界研究④-3	ソーシャルゲームの構造解説とメディアミックスイベントの展開事例解説。日本で行われているメディアミックス展開全般と海外展開の相違点を解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに沿ったコンテンツのHPなどを事前に確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No8	メディアミックスイベントに必要なノウハウ①	メディアミックス展開に必要なビジネススキームやビジネスモデルを解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
		メディアミックスイベントに必要なノウハウ②	商品開発に際して行われる契約関係や、各種発生する印税など著作権について解説します。		

	No9	予習内容(時間)	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No10	メディアミックスイベントに必要なノウハウ③	WEBやSNSなどを利用した配信系サービスのビジネスモデルを解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
		ブランドマネジメント	作品の収益化に関して、シリーズ化戦略やリメイク戦略を交えて解説します。		
	No11	予習内容(時間)	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No12	エンターテインメント業界研究⑤	芸能プロダクションや声優事務所の歴史や構造解説とともに、メーカー(クライアント)との関係性などを解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに沿った会社のHPなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
		エンターテインメント業界研究⑥	テレビ制作会社やCM制作会社の構造解説とともに、メーカー(クライアント)との関係性などを解説します。		
	No13	予習内容(時間)	テーマに沿った会社のHPなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No14	メディアミックスイベントの今後の展望	eスポーツやAR・VRなどのビジネス面での構造解説と、メディアミックスイベントの今後の展望について解説します。		
		予習内容(時間)	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義を振り返り、自分なりに考察を加えること	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-M
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	関口 暁子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	VUCA(Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性)の時代と言われている現在、自ら道を切り拓く姿勢が社会から求められています。本講義では、自らの発想やキャリアを活かして経営をおこなうベンチャー起業家の講話や仲間とのグループワークを通じて、自らの頭で考え、問題解決をするために必要なリーダーシップの在り方を学びながら、あらたな時代のリーダーとなる学生の育成を目指します。						
【到達目標】	現在、または今後求められているリーダー像とは何かを考え、理解する チームワークの在り方を実践で学ぶ 理解した内容を正しくまとめ、表現するプレゼンテーション能力を身につける						
【履修条件・受 講推奨者】	とくになし						
【教育方法】	・講義形式かゼミ形式での指導を数回行う ・ディスカッション形式を取り入れた授業を複数回行う ・授業内または授業後に毎回レポートを課す						
【指定教科書・ 参考資料等】	指定教科書 『攻める老舗』関口暁子著 フーガブックス 『Catch The Wind! 「感謝」が成功を引き寄せる』関口暁子著 幻冬舎メディアコンサルティング 参考資料 『日本の下水道を守る! 地下の勇士たち』関口暁子著 幻冬舎メディアコンサルティング						
【実務IQ修得目	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力

【目標】	協働力	○	主張力	○	創造力	○

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合				評価方法	
	授業態度を評価する。 また、授業中の質問に対するアンケートを実施し回答による評価。				30	授業態度・発言回数・内容 65%、最終試験（グループプレゼンテーション）35%
	グループワークの参加態度を評価する。 積極的に発言・参加をしているか、チームの役割を理解し、行動に移しているかをグループ内評価アンケートも含めて評価。				35	
	グループワークでの成果物によって評価。 本講義で学び得たことを伝えられる資料作成ができているか、発表する際のプレゼンテーション能力、相互評価、自己評価シートによる誠実性も評価に加味する。				35	
	合計				100%	

【その他の注意事項】	◇経営者講話については、ゲストスピーカー都合により日程や回数が前後する場合があります ◇グループワーク演習が一部経営者講話に変更になる場合があります ◇教員・グループ内の連絡ツールとしてBANDアプリを使用します（個人情報取得しません） ◇グループ分けをおこないますので、ガイダンスには必ず出席してください

【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	ガイダンス	本講義の目的と概要／講師紹介／グループ分け 授業でのワークの説明をおこないます			
		予習内容(時間)	指定教科書『Catch The Wind！』を読む①	120	分	
		復習内容(時間)	指定教科書『Catch The Wind！』を読む②予習復習併せて完読する	120	分	
	No2	経営論①講義	先人たちから学ぶ経営論 講師が触れてきた経営者を含めた先人たちの事例を紹介し、今求められているリーダーシップとは何かを考える			
		予習内容(時間)	ガイダンスにて指定する経営者と企業について下調べをおこなう	120	分	
		復習内容(時間)	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分	
	No3	経営者講話①	ゲストスピーカーとして、ベンチャー起業家または若手経営者を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む			
		予習内容(時間)	2回目講義にて指定する経営者と企業について下調べ、または教科書の事前読書	120	分	
		復習内容(時間)	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分	
	No4	グループワーク演習①	経営者講話①の授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう			
		予習内容(時間)	中間発表会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分	
		復習内容(時間)	各グループの発表で学んだことをまとめ、成果報告会への活用について思考を深める	120	分	
	No5	経営者講話②	ゲストスピーカーとして、ベンチャー起業家または若手経営者を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む			
		予習内容(時間)	4回目講義にて指定する経営者と企業について下調べまたは教科書の事前読書	120	分	
		復習内容(時間)	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分	
	No6	グループワーク演習②	経営者講話②授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう			
		予習内容(時間)	中間発表会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分	
		復習内容(時間)	各グループの発表で学んだことをまとめ、成果報告会への活用について思考を深める	120	分	
	No7	経営者講話③	ゲストスピーカーとして、ベンチャー起業家または若手経営者を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む			
		予習内容(時間)	6回目講義にて指定する経営者と企業について下調べまたは教科書の事前読書	120	分	
		復習内容(時間)	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分	

	No8	グループワーク演習③	経営者講話③授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう		
		予習内容(時間)	中間発表会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分
		復習内容(時間)	各グループの発表で学んだことをまとめ、成果報告会への活用について思考を深める	120	分
	No9	中間報告会	成果報告会に向けた内容がどれだけ進捗しているかを互いに発表、講評し合い、ブラッシュアップを図る機会とする		
		予習内容(時間)	中間報告会資料をグループメンバーと議論しまとめる	120	分
		復習内容(時間)	中間報告での指摘箇所を踏まえて、メンバーとブラッシュアップする要点を掴む	120	分
	No10	リーダーシップ論①	これまでのリーダーシップの変遷、現在、未来に求められるリーダーシップ像をその背景とともに解説し、個人・グループワークにて考えをまとめる		
		予習内容(時間)	これまで登壇したゲストスピーカーの講義をふりかえり、共通する点をまとめる	120	分
		復習内容(時間)	成果報告会向け研究企業とリーダーシップの関係についてメンバーと議論、考察する	120	分
	No11	経営者講話④	ゲストスピーカーとして、ベンチャー起業家または若手経営者を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む		
		予習内容(時間)	10回目講義にて指定する経営者と企業について下調べまたは教科書の事前読書	120	分
		復習内容(時間)	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分
	No12	グループワーク演習④	経営者講話④授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう		
		予習内容(時間)	前回授業までの内容を踏まえ、成果報告会に向けたブラッシュアップを図る	120	分
		復習内容(時間)	成果報告会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分
	No13	リーダーシップ論②演習	事例を出しながら、自分たちならどう組織運営や経営改善をおこなうかを考える。出し合ったアイデアについて、ディスカッションをおこない、思考を深める		
		予習内容(時間)	授業中に指定した資料の視聴または読書をおこなう	120	分
		復習内容(時間)	これまでの講義内容とワーク内容を成果報告会資料に落とし込む	120	分
	No14	グループワーク演習⑤	最終週の成果報告会へ向けた、最終調整とプレゼン練習をグループごとにおこなう		
		予習内容(時間)	成果報告会資料のブラッシュアップ	120	分
		復習内容(時間)	成果報告会資料のブラッシュアップ	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-N
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	堀口 弘治
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	将棋のゲームとしての面白さ・奥深さはもちろん、伝統文化としての位置付けとして、世界における日本、日本文化自体を興味深く紹介していきます。 また将棋は次の一手を誰にも頼らず盤面の情報処理をして、自分なりに結論を出していくプロセスの連続です。対局の実技のみならず、授業全般にわたっても「自分の頭で考える」をテーマに展開していきます。							
【到達目標】	実技対局に集中することにより、じっくり考える楽しみを知る 課題やレポートに取り組み、自分が納得するまで考える力を養う 将棋の考え方を通じて、論理的な思考や情報処理における、直観の働かせ方ならびに視野の広さなど社会人としての不可欠な資質を養う							
【履修条件・受 講推奨者】	講義内容ならびに提出物に真摯に取り組むこと。遅刻・欠席日数を最小限に止めること。							
【教育方法】	対面講義(主にビデオ鑑賞ならびにPP使用)・大盤解説・学生同士の実技対局・課題提出							
【指定教科書・ 参考資料等】	私製の教科書ならびにプリント配布を行う							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			
	評価項目と割合		評価方法					

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	A提出物	約70%	A+Bの点数に出席日数をに基づく係数を乗じたものが総合点。 ※試験はありません。毎回の講義においての得点の累積となります。欠席日数は当大学の基準内が単位修得最低要件となります。※将棋強さは基本的に成績に関係ありません。		
	B対局数ならびにトーナメント結果	約30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	参加学生の将棋の棋力・理解力、将棋界の講義期間中の話題によってカリキュラムを変更することがある。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	講義概要、評価方法についての説明 アンケート実施、駒遊びⅠ 五角形の駒で様々な遊び方を創造できることを知る		
		予習内容(時間)	将棋のルールや将棋連盟のHPをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	配布された教科書【私製】や将棋連盟のパンフレットで学習範囲を確認する	120	分
	No2	駒遊びⅡ	戦略を伴う駒遊びを実施し、第1回の駒遊びとの相違点を考察する 【二人零和有限確定完全情報ゲーム】の説明 飛角将棋(飛角で王を追い詰める)の実施		
		予習内容(時間)	飛車と角と王の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		復習内容(時間)	配布された教科書内の学習範囲を確認する	120	分
	No3	現代の将棋界と日本の将棋の歴史の説明	【講義】将棋界のスーパースター羽生善治ビデオを鑑賞し、棋士の将棋に対する考え方を学ぶ。 PPで現代の将棋界の話題や日本将棋連盟の仕組み、ならびに日本における将棋の歴史を説明する。 【実技】歩の使い方を説明後、飛角歩将棋Iを実施、相手の駒を取る・持ち駒を打つことを学習する		
		予習内容(時間)	飛角王に加えて歩の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		復習内容(時間)	配布された教科書内の学習範囲を確認する	120	分
	No4	将棋の謎1	【講義】将棋七不思議前半のビデオを鑑賞し、将棋の謎とその解明を知る。 【実技】成る・打つ・反則を説明後、飛角歩将棋2を実施する		
		予習内容(時間)	飛角王歩の動き方に加えて成る・打つ等の基本ルールをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する	120	分
	No5	女性と将棋	【講義】女性の将棋の歴史を江戸時代から現在の女流棋士制度の設立とその活躍を説明する。 【実技】飛角金将棋を実施する		
		予習内容(時間)	飛角王歩の動き方に加えて金の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する	120	分
	No6	将棋の謎Ⅱ	【講義】将棋七不思議後半のビデオを鑑賞し、将棋の謎とその解明を知る。 金銀入れ替えパズルの課題プリント配布 【実技】飛角金銀将棋を実施する		
		予習内容(時間)	飛車角金王歩の動き方に加えて銀の動きをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する。課題のプリントに取り組む	120	分
	No7	偉人の愛した将棋	【講義】偉人の愛した将棋のビデオを鑑賞し、将棋の歴史をさらに深く知る。 飛角金銀ミックス入れ替えパズルの課題プリント配布 【実技】飛角金銀桂香将棋を実施する		
		予習内容(時間)	飛車角金銀王歩の動き方に加えて桂・香の動きをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する。課題のプリントに取り組む	120	分
	No8	青空将棋1	【講義】第6回の金銀入れ替えパズルの解答ならびに詰将棋①配布【実技】青空将棋1(通常の将棋から歩を取り除いて始める)を実施し多くの駒を動かすことを体験する 詰みの三条件を示す		
		予習内容(時間)	将棋アプリで青空将棋を練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する 課題のプリントに取り組む	120	分
		天童の人間将棋と伝統	【講義】天童の人間将棋ならびに伝統の駒作りのビデオと高級駒を実際に鑑賞する 第7回の飛角金銀ミックス入れ替えパズルの解答ならびに詰将棋②配布 【実技】青空将棋Ⅱ(通常の将棋から歩を取り除いて始める)前回の青空将棋を大盤で		

	No9	の駒作り	講師がより深く重要なポイントを説明後 取る・成る・打つことが頻繁に行われ、ルールの習得が促進されるとともに、歩のない将棋を指すことによって、歩の大切さ体験させる		
		予習内容(時間)	将棋アプリで青空将棋を練習する 伝統の駒作りの資料(教科書掲載)を確認する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する 課題のプリントに取り組む	120	分
	No10	プロ棋士の礼儀作法と伝統の将棋盤作り	【講義】伝統の将棋盤作りのビデオの鑑賞 木材の性質、加工の文化を学ぶ 第8回の詰将棋①の解答配布 【実技】平手将棋の実施 プロ棋士の礼儀作法をデモの後、平手将棋(すべての駒を使用する通常の将棋)を自由に指させる		
		予習内容(時間)	将棋アプリで平手将棋を練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する	120	分
	No11	将棋強さとは	【講義】『将棋強さとは何か』をPPで解説し、対局の上で重要な指針となる形勢判断基準を学ぶ 第9回の詰将棋②の解答配布 【実技】平手将棋の相棒銀戦法(教科書掲載)の大盤解説ならびに実技対局を実施する		
		予習内容(時間)	将棋アプリで棒銀戦法を練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する	120	分
	No12	居飛車対四間飛車戦法	【実技】平手将棋の居飛車対四間飛車戦法(教科書掲載)の大盤解説ならびに実技対局ならびに棋譜書きを実施する		
		予習内容(時間)	将棋アプリで四間飛車戦法を練習、棋譜の取り方(教科書掲載)を確認する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する	120	分
	No13	世界の将棋	【講義】世界の将棋(教科書掲載)をPPならびに実物の鑑賞しながら解説する。 【実技】高段者同士の対局を大盤で解説しながら、受講者は次の一手予想で参加する。 寄せ合い将棋ならびに寄せ合い美濃将棋(教科書掲載)の大盤解説ならびに実技対局を実施する 玉の捕まえ方のコツを将棋の格言を通じて学ぶ		
		予習内容(時間)	世界の将棋(教科書掲載)項を確認する。将棋アプリで玉の寄せ方を練習する	120	分
		復習内容(時間)	学習範囲を確認する。世界の将棋講義をうけた感想文をまとめる(後日コースパワーで提出)	120	分
	No14	将棋大会	大会のイベントのうち 本将棋・回り将棋トーナメント・詰将棋ならびにパズル解答競争のいずれかに参加する		
		予習内容(時間)	それぞれ事前に参加予定の種目の練習をする	120	分
		復習内容(時間)	参加種目における、感想文をまとめ提出する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-O
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	明珍 令子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	昨今、魅力的な地域づくりの手法として、「官民連携によるまちづくり＝エリアマネジメント」が注目されています。まちの課題を解決するエリアマネジメントの活動は多岐に渡りますが、地域のにぎわい創出として、イベントの開催は大切な取組みの一つです。エリアマネジメント活動におけるイベントは、広告・収益等を目的とした商業型イベントとは異なる「企画」「運営」が求められます。エリアマネジメントの特徴を知り、まちづくりとしての地域活性化・にぎわい創出を目的としたイベントの企画から実施までのプロジェクトマネジメント力を養います。						
【到達目標】	エリアマネジメントに関する基礎を理解し、習得する。 エリアマネジメントの特徴を理解し、習得する。 エリアマネジメントにおけるイベント企画力を身に付ける。						
【履修条件・受講推奨者】	条件なし・都市づくりや地域おこしに興味のある者、イベントプロデュース希望者推奨。						
【教育方法】	エリアマネジメントについては、事例等を用いながら教員作成資料で学びます。授業の後半には、課題作成・発表を行い、履修者間の相互学習を2回行います。						
【指定教科書・参考資料等】	使用せず。						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	エリアマネジメントに関する基礎知識を理解する。	30%	授業中の取り組み姿勢(発言、質問等)が60%、2回の演習の内容が40%。		
	エリアマネジメントの特徴を正しく理解する。	30%			
	エリアマネジメントのイベント企画力を身に付ける。	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	特になし。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イントロダクション	本講義の目的と概要を知り、何を学べるのか理解し、講義への準備を行う。 ・目的と概要紹介／教師経歴・実績紹介 ・質疑／講義への期待とイメージ		
		予習内容(時間)	エリアマネジメントの説明を理解できるよう、「まちづくり」について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業に出たまち(地区)について、その特徴などについて調べて理解する。	120	分
	No2	エリアマネジメント概要Ⅰ	エリアマネジメント(＝官民連携によるまちづくり)の概要を知り、興味関心を持つ。 ・導入の背景 ・主な活動内容 ・海外のエリアマネジメント(BID) 等		
		予習内容(時間)	エリアマネジメントの活動内容について、国内の事例を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	海外のエリアマネジメントについて、授業で紹介された地区以外を調べて理解する。	120	分
	No3	エリアマネジメント概要Ⅱ	エリアマネジメント(＝官民連携によるまちづくり)の概要を知り、興味関心を持つ。 ・効果やメリット ・特徴やポイント ・仕組みや分類 ・組織や体制 等		
		予習内容(時間)	まちづくり組織の体系について調べてる。	120	分
		復習内容(時間)	エリアマネジメントの効果、特徴、仕組み、組織について自分なりに整理する。	120	分
	No4	エリアマネジメント事例Ⅰ＜大都市編＞	大都市の事例からエリアマネジメントのポイントを学ぶ。 ・背景 ・活動内容 ・組織 ・財源 等		
		予習内容(時間)	大都市のエリアマネジメントの特徴を調べてる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で紹介された大都市以外の事例を、背景、内容、組織、財源で整理する。	120	分
	No5	エリアマネジメント事例Ⅰ＜地方都市編＞	地方都市の事例からエリアマネジメントのポイントを学ぶ。 ・背景 ・活動内容 ・組織 ・財源 等		
		予習内容(時間)	地方都市のエリアマネジメントの特徴を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で紹介された地方都市以外の事例を、背景、内容、組織、財源で整理する。	120	分
	No6	エリアマネジメントと賑わいⅠ	国内の特色のある活動と、実践のための制度を学ぶ。 ・道路 ・河川 ・公園 等		
		予習内容(時間)	道路、河川を使った国内のエリアマネジメント事例を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	道路法、河川法、公園法を振り返り整理する。	120	分
	No7	エリアマネジメントと賑わいⅡ	国内の特色のある活動と、実践のための制度を学ぶ。 ・道路 ・河川 ・公園 等		
		予習内容(時間)	公園を活用した国内のエリアマネジメント事例を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	道路法、河川法、公園法を振り返り整理する。	120	分

	No8	エリアマネジメントと賑わいⅢ	最新の制度と行政(国・都)の動きを学ぶ。 ・制度最新状況(ウォーカブル、地方版BID等)と事例		
		予習内容(時間)	国土交通省、東京都のエリアマネジメント施策を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	資料をもとに、制度が導入された地域の事例を調べる。	120	分
	No9	エリアマネジメントとイベント	エリアマネジメントにおける特色あるイベント等事例を通して、実践(目的・内容・成果)を学ぶ。		
		予習内容(時間)	国内のエリアマネジメントイベント事例を調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業で紹介されたイベント事例についてその特徴を整理し、理解する。	120	分
	No10	ワークショップ(グループワーク)Ⅰ<討議>	ある地域(首都圏)におけるエリアマネジメントイベント(事業)を企画する。		
		予習内容(時間)	課題として取り上げる地域について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業でのコメントを受け企画書をバージョンアップする。	120	分
	No11	ワークショップ(グループワーク)Ⅰ<発表>	イベント(事業)企画をプレゼン(発表)し、相互に質疑応答を行う。		
		予習内容(時間)	作成した企画書のプレゼン準備を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業でのコメントを受け企画書を仕上げる。	120	分
	No12	ワークショップ(グループワーク)Ⅱ<討議>	ある地域(地方都市)におけるエリアマネジメントイベント(事業)を企画する。		
		予習内容(時間)	課題として取り上げる地域について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	授業でのコメントを受け企画書をバージョンアップする。	120	分
	No13	ワークショップ(グループワーク)Ⅱ<発表>	イベント(事業)企画をプレゼン(発表)し、相互に質疑応答を行う。		
		予習内容(時間)	作成した企画書のプレゼン準備を行う。	120	分
		復習内容(時間)	授業でのコメントを受け企画書を仕上げる。	120	分
	No14	エリアマネジメント総括	エリアマネジメント全般について、概要・特徴・制度等の振り返りを行い、エリアマネジメントへの理解を深める。		
		予習内容(時間)	授業最初の資料(エリアマネジメント概要)を復習する。	120	分
		復習内容(時間)	授業の資料を振り返り、エリアマネジメントについての理解を深める。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅣ BE-P
講義名(英字)	Professional Seminar IV
担当教員	難波 俊樹
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントはもちろんのこと、社会に出て行われる「仕事」は「プロジェクト」と呼ばれる活動の連続です。この講義では、イベントの立案、実行力を身につけるだけでなく、社会人として必要な、様々な問題解決力、分析力、発想力を身につけるよう行います。特に難しい概念的な事項については、コンサートや映画、ゲームなど身近な事例を通じて実践的知識を獲得できるように配慮しています。 また、時間中は講義だけでなく、実際にイベントの実施を行うためのグループワークを実施します。(イベントの実施時期によって、各項目の実施時期がシラバスと異なることがあります)						
【到達目標】	基本的な問題解決の枠組みの習得 ・実践的に活用できる様々な問題解決力、分析力、発想力が身についたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 プロジェクトをマネジメントする能力の習得 ・プロジェクトをマネジメントするための様々な技法や考え方が身に付いたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価 プランの発想・立案力の習得 ・プランを発想し、それを他人に分かりやすく説明する能力は身についたか。 ・〈記憶〉〈理解〉〈活用〉のレベルでの評価						
【履修条件・受講推奨者】	将来イベントの仕事に就きたい方に特にお勧めします。 イベント以外にもさまざまな業種の仕事に直接役立つ内容ですので、さまざまな業種の志望者にも役立ちます。						
【教育方法】	講義とワークショップを組み合わせで行います。						
【指定教科書・参考資料等】	特になし						
	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力

【実務IQ修得目標】	協働力		○	主張力			創造力			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法						
	定期試験		50%	定期試験、グループワークへの取り組み状況の総合評価となります。						
	課題への取り組み状況		30%							
	グループワークへの参加状況		20%							
	合計		100%							
【その他の注意事項】	イベントの立案・調査で学外に実地調査に出る場合があります。									
【授業計画】	週	テーマ	学習内容							
	No1	講義のガイダンス	本講義の目的と概要の説明 プロジェクトとは何か 社会の中のプロジェクト							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No2	基本的な思考スキル①	問題解決思考の基本 目的と目標 アウトプットとアウトカム 問題解決思考の流れ							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No3	基本的な思考スキル②	問題解決思考の基本 問題解決のためには。まず課題の把握と、分析が必要となる。そのための基本として次のテーマでワークを行う。 具体と抽象／一般と特殊 分析・問題解決の様々なフレームワーク							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No4	プロジェクトの基本①	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 スコープ スケジューリング リソース(人的資源、物的資源、金銭的資源、時間的資源)							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No5	プロジェクトの基本①	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 スコープ スケジューリング リソース(人的資源、物的資源、金銭的資源、時間的資源)							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No6	プロジェクトの基本②	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 プロジェクトの「ヒト」 リーダーシップ、責任と権限、ステークホルダー							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分
		復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認						120	分
	No7	プロジェクトの基本③	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 PDCAサイクルとは何か？ スケジュールと進捗管理 クリティカルパス							
		予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習						120	分

	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No8	プロジェクトの実践①	前時までに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトとリスクはつきもの。事前にリスクの分析と対策の知識を学び、リスク対策のワークを行う。		
	予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	プロジェクトに関するケーススタディ	様々なプロジェクトのケーススタディ コンサート、ゲーム開発、イベント、メディア制作などから実例をあげて行う。		
	予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	プロジェクトの実践②	これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトのコミュニケーションについて コミュニケーション計画、会議、SNS 議論の方法など		
	予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No11	プロジェクトの実践③	これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 複数の要素から判断すべき課題について意思決定するためのツールとして、「戦略的意思決定」を学び、実際の意思決定を行う。		
	予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No12	イベント企画立案ワークショップ	これまで学んできた、プロジェクトマネジメントの知識を生かし、実際にイベントを立案するワークショップを行う。		
	予習内容(時間)	配布テキストを用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No13	失敗の科学①	失敗を恐れていては、成長も成功もありえない。失敗を自分のエネルギーに変えるための様々な考え方について学ぶ。また、失敗の原因分析の方法論についても学ぶ。		
	予習内容(時間)	配布資料を用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No14	失敗の科学②	・発生した失敗のリカバリー法を様々なケースについて学び、失敗への対応力を向上させる。 ・メンタル面での、失敗からの立ち直り方について学び、レジリエンスを向上させる。		
	予習内容(時間)	配布資料を用いての予習	120	分
	復習内容(時間)	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅥ BE-K
講義名(英字)	Professional Seminar Ⅵ
担当教員	針谷 和昌
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	『イベント』 「イベント」は様々な要素を組み合わせた総合的な事象。「イベント」には多くの人々、たくさんの立場の人々が関わる。我々は人生の中で何回も「イベント」を経験し、その中には自ら率先してつくる私的な「イベント」もあり公的な「イベント」をつくるプロもいる。そんな「イベント」を幾つも経験し又「イベント」をつくるプロとして40年以上携わり現在も最前線で実施している自分自身の経験を元に「イベント・プロデュース」についての教室を実施する。 「イベント」のつくり方、やり方を知る事で、それを職業として選択しない方々も自らに関わる人々に対してイベントを通じての楽しさを提供することができるようになる。それを職業とする方々は公的には多くの人に楽しい体験をそして私的にも親しい人々に楽しさを提供することが可能になる。それはどちらも人生の喜びに繋がるものだと考える。 私自身、特に数多く体験しているスポーツイベントを軸に、企画、準備、制作、実施、報告という流れの中で、大切にすべきこと、発想の方法、準備のポイント、プロデュースの重要点、制作の仕方、運営の要点等々、具体的な事例を軸に展開していく。また実際に授業内で具体的なイベントづくりに関わってもらう。このような授業を私のイベント・プロデュースの原点となった当時のリーダーが使っていた『イベント』という言葉をもタイトルとして展開していきたい。
【到達目標】	イベント・プロデュースとは何か？イベント・プロデュースの方法は？イベント・プロデュースで大切なことは？等、イベント・プロデュースの基本を理解する。 イベント・プロデュースの実践にトライする。イベント・プロデュースの課題を見つける。 イベント・プロデュースを通じて、自分自身の長所を把握し、自分自身のひとつの方向性を定める。
【履修条件・受講推奨者】	特にありません。「イベント」に興味を持つ方すべて。
【教育方法】	- 過去の経験や体験のみでなく、現在進行中のイベント・プロデュースについて、同時進行で共に考える。 - 可能な限り学生同士での意見交換及び共同作業を行う。 - 実際の事例を提示し、新たにつくりあげるあるいは実施する体験を促進する。

【指定教科書・参考資料等】	特にありません。											
【実務IQ修得目標】	自制力			思考力		○	突破力			忍耐力		
	協働力		○	主張力		○	創造力		○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法									
	授業中の積極性	30%	授業中での発言内容や積極性を授業ごとに評価。また課題として提出すべきレポートの内容に関する評価。最終的な筆記試験(または加えて実施プレゼンテーション=方法検討中)の内容に対する評価。以上を左記の割合もとに評価し、すべてを合わせて総合評価とする。									
	レポートの精度	30%										
	筆記試験の内容	40%										
	合計	100%										
【その他の留意事項】	基本リアル授業です(学校が認めた理由がある場合以外、リモート不可です)。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	「イベントとは？」 ーイベントとは？ ーイベント・プロデュースとは？	全体概論の講義を受けたあと、自ら体験した際の、良かったこと、課題等を討議する。自らの現在地を把握する。									
		予習内容(時間)	世の中にはどんなイベントがあるか、代表的なものを調べる。								120	分
		復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。								120	分
	No2	「スポーツイベント最前線①」 ースポーツイベントの変遷 ースポーツイベントのいま	約半世紀前(1970年代)からのスポーツイベントの変遷、また現在のスポーツイベントの状況を把握する。									
		予習内容(時間)	一般的スポーツイベントを調べる。								120	分
		復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。								120	分
	No3	「スポーツイベント最前線②」 ー現在進行形スポーツイベント ー未来のスポーツイベント	現在進行形のリアルなスポーツイベントの講義の後、未来のスポーツイベントの形や方法や目指すものなどを討議する。									
		予習内容(時間)	授業で紹介されたスポーツイベントを調べる。								120	分
		復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。								120	分
	No4	「イベント・プロデュースのポイント」 ー段階 ー重要なポイント	企画・営業・渉外・制作・準備・実践・報告等のイベント・プロデュースの流れを把握し、またそれぞれの段階での重要ポイント(例:企画～制作段階における予算組み・スケジューリング・スタッフィング等)を学ぶ。									
		予習内容(時間)	自分自身が関わったイベントを考察する。								120	分
		復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。								120	分
	No5	「イベント・プロデュースを考える」 ー過去事例考察 ー得意な分野考察	イベント・プロデュースの過去事例を考察し、併せて自らの得意な分野について把握する。									
		予習内容(時間)	イベント・プロデュースとは何かを考える。								120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No6	「イベントを企画する」 ーやってみたいこと ー何を指すのか？	実際にイベントを企画する。そのイベントと自らやってみたいことは同じか？異なるか？その理由を探り、自分はイベント・プロデュースの学びを通じて、何を指すのかを考察する。		
	予習内容(時間)	イベント企画について必要なことを考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No7	「イベント・プロデュース実践Ⅰ-①」 ーオリエンテーション ー企画会議 1	具体的なイベントについてのオリエンテーションを受け、そのオリエンテーションに挺して企画会議を行う。企画会議はいくつかのチームにグルーピングして実施する。		
	予習内容(時間)	イベント企画について必要なことを考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No8	「イベント・プロデュース実践Ⅰ-②」 ー企画会議 2 ープレゼンテーション	引き続き前回のオリエンテーションに対する企画会議を行う。会議の内容をまとめ、チームごとに発表、質疑応答を行う。		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションのやり方を考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No9	「イベント・プロデュース実践Ⅰ-③」 ー具体化への課題 ー企画会議 3	前回の質疑応答を中心に、イベント具体化への課題を抽出する。課題の抽出とそれを受けての企画会議&発表をチーム毎に行う。		
	予習内容(時間)	前回の質疑応答を中心に課題を考える。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No10	「イベント・プロデュース実践Ⅱ-①」 ーオリエンテーション ー企画会議 1	イベント・プロデュースの2つ目の課題のオリエンテーションを受ける。それをもとに新たにグルーピングされた新チームにて、企画会議を行う。		
	予習内容(時間)	オリエンテーションの受け方を考察する。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No11	「イベント・プロデュース実践Ⅱ-②」 ー企画会議 2 ープレゼンテーション	前回に続き、オリエンテーションに対する企画会議を継続して実施する。課題の抽出と実施に向けての方法を検討し、チーム毎に発表する。		
	予習内容(時間)	企画作業を継続する。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No12	「イベント・プロデュース実践Ⅱ-③」 ー具体化への課題 ー企画会議 3	前回の質疑応答を中心に、イベント具体化への課題を抽出する。課題の抽出とそれを受けての企画会議&発表をチーム毎に行う。		
	予習内容(時間)	企画の課題を考察する。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察。	120	分
No13	「オリジナル・イベント企画 ①」 ープレゼンテーション ーグルーピング ー企画会議 1	オリジナルなイベント企画を考察し、発表する。発表後、内容や方向性が近い者同士をグルーピングし、グループにてイベントの企画会議を行う。		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションのための基礎的な考察を行う。	120	分
	復習内容(時間)	授業内容の確認と考察を行い、プレゼンテーションのための準備を行う。	120	分
	「オリジナル・イベ			

	No14	ント企画 ②」 ー企画会議 2 ー最終プレゼンテーション		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションのための考察を行う。	120 分
		復習内容(時間)	最終プレゼンテーションを終えて課題を抽出する。	120 分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅥ BE-L
講義名(英字)	Professional Seminar Ⅵ
担当教員	北原 隆
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	主にステージ(舞台)を使ったイベントの基礎知識+その応用を学びます。 同じ空間を使用するイベントでも、ライブと演劇ではその手法も意味も違ってきます。 使う道具も、場合によっては専門用語も違います。 その歴史や成り立ち、会場の仕組み、演出技術やその意味、仕事の構成を基本から知ること、好みで偏らない的確で安全な企画提案が出来るスキルを身につけます。 またなるべく多くのケーススタディに触れることでその範囲の広がり&その違いを知り、未知なるものにそれを応用する力を養います。 その上で、様々なイベントへの応用と展開を知ります。
【到達目標】	エンタイベントに関する基礎知識を理解する 技術や手法・道具を基礎から知り、理解し説明することが出来る 様々なエンタイベントの特徴を理解する 様々なエンタイベントのケーススタディにふれ、その特徴を理解し、説明できる エンタイベントの構成要素を知り理解し自らのエンタイベントを組み立てる力を身につける イベント内容に合わせた会場選びができ、必要な機材及びスタッフを理解し構成することができる オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる
【履修条件・受 講推奨者】	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇これまでにライブ&演劇を最低1本づつは見ていること
【教育方法】	実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。
【指定教科書・ 参考資料等】	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する ◇巻尺および三角スケール

【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		○	突破力		○	忍耐力	
	協働力		主張力		○	創造力		○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法					
	エンタメイメントに関する基礎知識		40		日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。					
	様々なエンタメイメントの特徴を理解		30							
	エンタメイメントの構成要素を理解		30							
	合計		100%							
【その他の注意事項】	◇特になし									
	週	テーマ			学習内容					
	No1	イントロダクション			様々な舞台、様々なステージ エンターテインメントイベントが行なわれる様々な会場とその条件の違いについて 屋外＆屋内 常設＆仮設					
		予習内容(時間)			日常的エンタメイメントへの情報収集と参加				120	分
		復習内容(時間)			講義内容の振り返り				120	分
	No2	エンターテインメントの基礎			演劇舞台とライブステージ 仕事の流れとそれに関わる人々 イベントチェックシート					
		予習内容(時間)			日常的エンタメイメントへの情報収集と参加				120	分
		復習内容(時間)			講義内容の振り返り				120	分
	No3	ライブイベントの流れ			計画から当日まで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ 会場入りから本番まで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ 本番からバランまで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ					
		予習内容(時間)			日常的エンタメイメントへの情報収集と参加				120	分
		復習内容(時間)			講義内容の振り返り				120	分
	No4	導線計画			人の動きを考えた導線計画 楽しませるための導線計画 ゲストエリア、アクトエリア、バックエリアという考え方 テーマパークの仕組み 回遊型アトラクションの仕組み					
		予習内容(時間)			日常的エンタメイメントへの情報収集と参加				120	分
		復習内容(時間)			講義内容の振り返り				120	分
	No5	着ぐるみの話			着ぐるみの構造と特性とは 着ぐるみ着用時の注意事項 着ぐるみ使用イベントでの注意事項					
		予習内容(時間)			日常的エンタメイメントへの情報収集と参加				120	分
		復習内容(時間)			講義内容の振り返り				120	分
	No6	電気の話 特効について			電気の基礎知識と注意事項 イベント時における電気回路分けのこと 電エドラムは巻いたまま使うな 特効とは 特殊効果の種類と使用方法について					
		予習内容(時間)			日常的エンタメイメントへの情報収集と参加				120	分
		復習内容(時間)			講義内容の振り返り				120	分
		音響の話			ライブとデッド 音響の基礎知識 反射と吸音 残響時間 立ち位置で違う音の聞こえ方 PAの基礎知識 PA卓の構成 マイクの話 マイクは叩くな					

【授業計画】	No7	スピーカーの話		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No8	色と光とLED 色の基本と光の基本について LEDとは何か LEDの特性と効果について		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No9	エンタイベントにおける照明演出について 照明器具の種類とその効果について 舞台照明の意味 照明の当て方による効果の違い 照明制御とDMX		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No10	舞台機構 舞台機構とは 舞台の構成について 幕の種類について 反射板について セリなど昇降装置と奈落について 吊りもの系とスノコについて		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No11	エンタイベントにおける映像演出について LEDスクリーンとプロジェクターについてとその効果 マジックビジョンの仕組みについて プロジェクションマッピングについて		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No12	世界観の構築 大道具小道具について 舞台美術&舞台セット、映画テレビとイベントでの違いについて エイジングとウエザリング 世界観とは何か 世界観の構築とルール作り		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No13	イベントと食事 イベント現場での食事の調達とその重要性 現場の違いによる食事の違いについて ロケ弁とケータリング いつ食べるのか誰から食べるのか		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No14	会場管理 会場管理について 指定管理者制度について イベント会場で働くことのおもしろさについて		
	予習内容(時間)	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	3年
講義名	プロフェッショナル・セミナーⅧ BE-K
講義名(英字)	Professional Seminar VIII
担当教員	宇田川 素子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	テーマ:キャリアインタビュー この授業では、社会人がどのような意識で仕事に取り組んでいるかを映像、記事、インタビューを通して理解し、その姿を参考にしながら自己理解を深め、今後のキャリアについて考えます。また、社会人へのキャリアインタビューを実践することで、マナーの理解、コミュニケーションに必要な傾聴力の向上を目指します。授業では毎回グループワークを行いますので、自分の意見をわかりやすく伝えながらメンバーを巻き込み、協働するプロセスも学べます。					
【到達目標】	他者と協力しながら、主体的に取り組む 自己理解を深め、将来の見通しを持つ 傾聴を心掛け、キャリアインタビューを実践する					
【履修条件・受講推奨者】	以下のいずれかに該当する学生に受講を推奨します。 ・自己理解を深め、今後のキャリアの参考にしたい。 ・コミュニケーション力を高めたい。 ・就職活動の準備をしたい。					
【教育方法】	グループワークを取り入れ、コミュニケーションを重視する対面授業					
【指定教科書・参考資料等】	使用せず					
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	グループのメンバーと協力しながら、主体的に課題に取り組んでいるか	30	試験40%、課題30%、授業への取り組み30%		
	自分に向き合い、自分を理解し、将来の見通しを持っているか	30			
	傾聴を心掛け、キャリアインタビューを深掘りして実践しているか	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	とくになし				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	概要(授業内容、評価方法)説明		
		予習内容(時間)	シラバスを確認する	120	分
		復習内容(時間)	授業内容、評価方法を再確認する	120	分
	No2	キャリアの理解①	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		予習内容(時間)	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		復習内容(時間)	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No3	キャリアの理解②	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		予習内容(時間)	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		復習内容(時間)	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No4	キャリアの理解③	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		予習内容(時間)	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		復習内容(時間)	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No5	インタビュー体験①	インタビューの体験を通して傾聴手法を理解する		
		予習内容(時間)	インタビューに必要なことを考える	120	分
		復習内容(時間)	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分
	No6	インタビュー体験②	インタビューの体験を通して傾聴手法を理解する		
		予習内容(時間)	前回インタビューの改善点を確認する	120	分
		復習内容(時間)	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分
	No7	キャリアインタビュー準備①	質問を検討し、計画を立てる		
		予習内容(時間)	インタビュー対象者を検討する	120	分
		復習内容(時間)	インタビューの準備、実践、レポート作成を行う	120	分
	No8	自己理解①	ワークを通して自分の価値観を知る		
		予習内容(時間)	自分のこれまでの人生を振り返り、印象に残った出来事を思い出す	120	分
		復習内容(時間)	本日のワークの自己評価を行う	120	分
	No9	キャリアインタビュー振り返り①	各自が実践してきたキャリアインタビューを共有し、振り返る		
		予習内容(時間)	インタビューレポートを確認する	120	分
		復習内容(時間)	本日の発表の自己評価を行う	120	分
	No10	キャリアインタビュー準備②	インタビュー対象者の勤務先、仕事内容など必要な情報を確認、インタビューの練習をする		
		予習内容(時間)	インタビュー対象者の勤務先、仕事内容を調べる	120	分

		復習内容(時間)	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分
	No11	キャリアインタビュー実践	OBOGにキャリアインタビューを実践する		
		予習内容(時間)	インタビューの質問、対象者の勤務先、仕事内容を確認する	120	分
		復習内容(時間)	インタビューレポートを作成する	120	分
	No12	キャリアインタビュー振り返り②	前回のキャリアインタビューを振り返り、社会人に必要な力を考える		
		予習内容(時間)	インタビューレポートを確認する	120	分
		復習内容(時間)	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No13	自己理解②	ワークを通して自分の価値観を知る		
		予習内容(時間)	自分の好きな事、気になる事を考える	120	分
		復習内容(時間)	本日のワークの自己評価を行う	120	分
	No14	キャリアプランニング	将来の目標を達成するための行動計画を考える		
		予習内容(時間)	将来の目標を考える	120	分
		復習内容(時間)	本日のワークシートを仕上げる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	授業毎で実施するレスポンスシート	30%	評価項目をそれぞれ数値化し、成績を評価する		
	課題及びプレゼンテーション	30%			
	期末テスト	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	グループワークを行うことが多くなるので、遅刻、欠席は厳禁				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション & イントロダクション	授業の概要説明および㈱レイの会社紹介 イベントにおける映像の役割と現状について最新の実例を交えて紹介する		
		予習内容(時間)	れまで参加したイベントで映像がどう使われていたのかを洗い出しレポートする	120	分
		復習内容(時間)	イベントにおける映像の役割について整理する	120	分
	No2	イベント映像の内訳	映像機材・上映素材・オペレーションの内容とイベントにおける映像領域の内訳		
		予習内容(時間)	れまで参加したイベントで映像機材と上映内容について整理する	120	分
		復習内容(時間)	ハード(機材)とソフト(素材)の役割について整理する	120	分
	No3	イベント機材の詳細① コンサート・展示会・発表会等	大型イベントや展示会、発表会等での映像機材の詳細 LED・プロジェクター・その他大型モニター等		
		予習内容(時間)	コンサート映像などをチェックし、大型映像の使い方を確認する	120	分
		復習内容(時間)	それぞれの大型映像の違いと使用シーンの違いについて整理する	120	分
	No4	イベント機材の詳細② プロモーション現場等での映像機材	街頭プロモーションでの映像の使い方事例やデジタルサイネージ記事の詳細 インタラクティブ映像、デジタルサイネージモニター等		
		予習内容(時間)	街頭でのイベントにおいて映像がどのように使われているかをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	インタラクティブ映像、デジタルサイネージとは何かを整理する	120	分
	No5	ワークショップ①	「開催イベントを選び、映像機材の面白い使い方を考える」 コンサート、発表会、展示会、屋外・街頭プロモーション等		
		予習内容(時間)	これまで学んだ映像機材の種類について整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	他の人の意見を整理し、自分の企画との違いについて確認する	120	分
	No6	上映素材の種類	それぞれのシーンにおける映像コンテンツの種類 コンサート・屋外プロジェクションマッピングから街頭イベントまで		
		予習内容(時間)	これまで参加したイベントでどのような内容が上映されていたのかを整理する	120	分
		復習内容(時間)	映像素材の種類とそれぞれのシーンにおいての違いについて整理する	120	分
	No7	上映素材の作り方①	映像の作り方詳細 構成・絵コンテ・撮影・CG 制作・レンダリング・編集・MA等/PPT等		
		予習内容(時間)	映像素材(コンテンツ)がどのように作られるのかをイメージしておく	120	分
		復習内容(時間)	映像素材が作られる工程について整理する	120	分
	No8	上映素材の作り方②	ムービーの作り方詳細(特別編) CM制作について		
		予習内容(時間)	お気に入りのCMをピックアップし、時間、出演者、曲、セリフ、テロップなどをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	改めてCMを視聴し、授業内容について確認する	120	分
	No9	ワークショップ②	自分の設定したイベントで映像コンテンツを考える 自由に絵コンテを書いてみよう！		
		予習内容(時間)	絵コンテの書き方について確認し、イベントの種類を選定しておく	120	分

		復習内容(時間)	映像構成、キャスト、音楽やテロップの入れ方など、自分の作品について再考する	120	分
	No10	デジタルサイネージとは	デジタルサイネージの現状 アート作品から商品プロモーションまで		
		予習内容(時間)	駅前、駅ナカや街頭でのデジタルサイネージをチェックしておく	120	分
		復習内容(時間)	推奨するデジタルサイネージを実際に見に行く	120	分
	No11	デジタルサイネージの詳細①	インタラクティブ映像とは インタラクティブ映像の様々な仕組み①		
		予習内容(時間)	デジタルサイネージがどのように使われているのかをチェックする	120	分
		復習内容(時間)	インタラクティブな使われ方をしているデジタルサイネージを実際に見に行く	120	分
	No12	デジタルサイネージの詳細②	インタラクティブ映像とは インタラクティブ映像の様々な仕組み②		
		予習内容(時間)	デジタルサイネージを見に行った際、その仕組みについて考える	120	分
		復習内容(時間)	仕組みを理解した上で改めてインタラクティブなデジタルサイネージを見に行く	120	分
	No13	ワークショップ③	自由にインタラクティブ映像を考えてみる 自由な発想でアートからプロモーションまで面白い仕掛けの立案を行う		
		予習内容(時間)	インタラクティブな仕組みのデジタルサイネージの使い方について考えておく	120	分
		復習内容(時間)	各自のプランについてブラッシュアップする	120	分
	No14	ワークショップ作品の発表	3回のワークショップ作品からユニークなものを発表してもらう 自由な意見交換と講評		
		予習内容(時間)	これまでの自分のプランを整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	他の発表されたプランと比較し、足りない点について整理する	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	中小企業論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Theory of Small Business II
担当教員	青山 和正
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	中小企業は、大企業に比べヒト・モノ・カネの経営資源が乏しく、大企業とは異なる戦略や知恵と工夫により、新たな市場開拓を見出し、経済社会に貢献している。本講座では、大企業の経営とは異なる中小企業の経営的な側面を経営戦略から財務までの基礎から応用まで学ぶ。講義を聴くだけではなく、事前に配布した演習を、自分ならどう解決していくかを考えることで中小企業経営をより深く解明する。						
【到達目標】	①中小企業経営に関する基礎的な知識と考え方を理解できること ②中小企業経営に関するテーマごとの基礎的な知識と課題を理解できること ③中小企業問題全体と各分野の関連と中小企業経営の基礎から応用まで理解できること						
【履修条件・受 講推奨者】	モノづくり、小売業、サービス業などの中小企業の経営に関心をもつこと。						
【教育方法】	事前にレジメを配布しますので、予め読んで授業に臨むこと。また、事例研究は、事前のその内容を把握すること。						
【指定教科書・ 参考資料等】	とくになし。必要な図書は授業の中で指示します。						
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	期末試験	70%	期末試験は論述により実施、演習課題は講義の復習として評価し、併せて総合評価する。		
	演習課題	20%			
	出席	10%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	中小企業の経営に関心を持つこと				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス、中小企業経営とは	本講座の目的と授業の進め方、評価基準等を説明する。また、中小企業経営の特性と大企業との違いや独自性について概略を説明する。		
		予習内容(時間)	中小企業経営とは、大企業と何が違うかを考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業経営全体の進め方、中小企業経営の独自性を復習	120	分
	No2	中小企業は経営者の条件とは何か	経営者の条件とは何か。その中で中小企業の経営者の役割と条件を考える。さらに、リーダーシップとは何か。中小企業経営者のリーダーシップの関係は何かを解説する。		
		予習内容(時間)	中小企業経営とは、大企業と何が違うかを考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業経営全体の進め方、中小企業経営の独自性を復習	120	分
	No3	中小企業の経営戦略の基本(1)	中小企業の経営戦略とは何か。経営戦略の基礎から流れ、具体的な事例を解説する。		
		予習内容(時間)	経営戦略とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	経営戦略の基礎や流れを復習する	120	分
	No4	中小企業の経営戦略の基本(2)	中小企業の経営戦略策定のステップ、SWOT分析による戦略策定を思考する。その他の戦略ツールを学習する。		
		予習内容(時間)	経営戦略策定はどうするかを考える	120	分
		復習内容(時間)	SWOT分析による戦略的思考と具体的対策を復習する	120	分
	No5	中小企業の経営戦略の基本(3)	中小企業の経営戦略のコアは競争戦略、差別化戦略を徹底すること。競争戦略の理論的なアプローチを理解し、差別化戦略を具体的な事例により分析する。		
		予習内容(時間)	競争戦略とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業の差別化戦略の基本と実践を復習する	120	分
	No6	中小企業のマーケティングと販売・営業	マーケティングの基礎を理解し、中小企業でのマーケティングのあり方、プロセスを理解する。また、中小企業でのマーケティングと販売、営業の区分を考える。事例を通して、中小企業の新製品開発からマーケティング活動までの流れと課題を理解する。		
		予習内容(時間)	マーケティングの基礎を事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業でのマーケティング活動とは何かを復習する	120	分
	No7	中小企業のブランドづくり	マーケティングとブランドの違いを理解し、中小企業のブランドづくりの重要性と具体的なブランド作りの進め方や課題を事例を通して学習する。		
		予習内容(時間)	ブランドとは何か事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業のブランドづくりの具体的な方法を復習する	120	分
	No8	中小企業の組織・人材(1)	組織論の基礎を理解し、中小企業の組織構造と運用、規模拡大に応じた組織改善と対策などを学習する。		
		予習内容(時間)	組織とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業の組織体制と成長に伴う組織改善を復習する	120	分
	No9	中小企業の組織・人材(1)	人の動機付け理論を理解し、中小企業の組織マネジメントを解説する。さらに中小企業の人事・賃金制度も説明する。		
		予習内容(時間)	動機付け理論を事前に調べる	120	分

		復習内容(時間)	中小企業の組織づくりとモチベーションを復習する	120	分
	No10	中小企業の財務(1)	財務諸表3表の仕組みと読み方を理解し、経営計画へつなげていくことを学習する。具体的に中小企業の財務データから財務から財務分析を行う。		
		予習内容(時間)	財務諸表3表とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	財務分析の重要指標を理解し、復習する	120	分
	No11	中小企業の財務(2)	損益分岐点分析、キャッシュフロー計算書、資金繰り表の仕組みと計算、分析の仕方を学習する。		
		予習内容(時間)	損益分岐点分析、キャッシュフロー計算書は何かを調べる	120	分
		復習内容(時間)	損益分岐点分析、キャッシュフロー計算書の活用を復習する	120	分
	No12	ファミリービジネスの基本(1)	ファミリービジネスとは何か。その定義とスリーサークルモデルを理解する。その上で、ファミリービジネスの優位性、課題、ファミリービジネスのリーダーシップの在り方を学習する。		
		予習内容(時間)	ファミリービジネスとは何かを事前に調べる	120	分
		復習内容(時間)	ファミリービジネスの継続性の要件を復習する	120	分
	No13	ファミリービジネスの基本(2)	ファミリービジネスの優位性の事業の永続性がある。そのためには、中小企業の事業承継問題をクリアする必要がある。中小企業の事業承継とは何か。事業承継の内容、課題などを学習する。		
		予習内容(時間)	中小企業の事業承継とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	中小企業の事業承継の流れと課題を復習する	120	分
	No14	中小企業論のまとめと事例研究	中小企業経営の論点を整理するとともに中小企業経営の事例により経営の課題を解決する方策を考える。		
		予習内容(時間)	中小企業経営の論点を事前に考える。	120	分
		復習内容(時間)	中小企業経営の総まとめを復習する。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	中小企業論Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Theory of Small Business II
担当教員	山川 悟
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義ではまず、現代の日本の中小企業の経営課題について理解を進めます。 さらに、バルミューダ、マザーハウス、ベンチャーウイスキー、ヤッホーブルーイング、スノーピークなど、最近活躍が著しい企業の事例を通じて、これからの中小企業に必要と考えられる9つの経営戦略について学んでいきます。 また、東京中小企業家同友会より3人の経営者を招聘しての講演会及び受講生との対話を通じて、リアルな経営の現場を知ってもらう機会を設けます。					
【到達目標】	①現代の日本の中小企業の経営課題について説明できるようになる ②中小企業ならではの経営戦略について具体的な事例を出して説明できるようになる ③顧客や社会に支持される中小企業のあり方について、自分なりの考え方を示すことができるようになる					
【履修条件・受講推奨者】	マーケティングⅠⅡを受講している、あるいはそれと同等の知識ベースを持っていること。					
【教育方法】	・講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・オンデマンド・反転)授業を採り入れる可能性もあります。					
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講する。					
【実務IQ修得目標】	自制力	思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	主張力		創造力	○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
現代の日本の中小企業の経営課題について説明できる	30%	
中小企業の経営戦略について具体的な事例を出して説明できる	30%	
顧客や社会に支持される中小企業のあり方について、自分なりの考え方を示すことができる	40%	
合計	100%	

およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価

【その他の注意事項】

講義資料の内容だけでなく、自分なりに事例を調べるなど、能動的な受講態度が望まれる。

週	テーマ	学習内容	
No1	中小企業概論	初回講義ではまず、中小企業の定義と企業規模・業種・求職率、さらには近年の動向について分析を試み、「事業承継」と「生産性」という日本の中小企業が抱える二つの構造的課題について考察します。また、過去に本講義に登壇頂いた東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者の講演内容をダイジェスト版で紹介し、経営方針や姿勢について理解を深めてもらいます。そのうえで受講者に、その企業に対する事業企画提案をしてもらう課題を出します。	
	予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150 分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業に対する新事業企画提案を考案する	120 分
No2	戦略1 企業と顧客とが同じ目標を持つ	貧困、過疎、差別、震災、温暖化、食糧問題、高齢化、人手不足…などの社会課題に取り組み、同時にそこに顧客が参加できるフレームを提供することで、社会から強い支持を集めている企業の事例を研究していきます。ここでは福島屋、マザーハウス、オクタなどのケースを採り上げ、CSV(共通価値の創造)の概念について学びます。受講後、現在興味を持っている社会課題と、それに対して各自がとっている具体的な行動について議論します。	
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120 分
	復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120 分
No3	戦略2 ローリスク経営システム	個人事業所やサービス業に限らず、低リスク・低コストで起業し、成功を収める中小企業が出てきています。経営者の人脈や取引コスト減少も重要ですが、本講義ではローリスク経営を「生産ライン」「人件費」「開業資金」の三方向から眺めてみます。バルミューダ、農業生産法人GRA、マルカンビル大食堂などのケースを採り上げ、「ファブレス(Fab-less)経営」という概念について学びます。また、その弱点はどこにあるのかについても仮説を立て、議論していきます。	
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120 分
	復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120 分
No4	戦略3 オンライン、ニッチトップ	ニッチとは、大企業が進出しない小さな分野や市場を指します。「技術」「チャネル」「特殊ニーズ」「空間」「時間」「市場規模」などの限定により、他社が参入できない領域を形成し、小規模でも高収益を上げることができます。ここではビクセン、ベンチャーウイスキー、セーフティ&ベルなどの事例を採り上げ、「価格競争から価値競争へ」という概念の重要性について学びます。また、自分または知人の例で「価格にこだわらずに購入している商品分野」について議論します。	
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120 分
	復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120 分
No5	中小企業経営者講演①	東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者(経営幹部含む)を講師として招聘し、経営内容や自身の経験談等の講演を通じて中小企業経営を直接学んでいきます(ZOOM講演の可能性あり)。講演後、30分程度の時間を設け、学生との対話を図ります。これまで、旅行、IT、警備、介護、設備工事、物流、土木建設、建築設計、電子部品、テレビ番組制作、イベント企画、デザインなど、多様な業界から講師を招きました。講師については初回授業の際にご案内いたします。	
	予習内容(時間)	講演者の業界・企業について事前に調べ、質問を考えておく	120 分
	復習内容(時間)	講演内容を資料等で振り返り、意見・感想を述べる	120 分
	戦略4	多くの企業は「強いブランド」を志向してきましたが、「強さ」は往々にして、顧客との心理的距離を発生させます。むしろ「弱い」「ハラハラする」「手を差し伸べたい」対象が愛され、応援されることがあります。	

【授業計画】	No6	弱みを強みとみなす	ここでは、天草エアライン、テレビ東京、澤井珈琲などの事例を採り上げ、「リフレーミング(フレーム変更)」の概念について学びます。 また「自分自身のダメなところ」をポジティブに表現したうえで、だからこそ、やれそうのことを考えて議論します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No7	戦略5 業界の常識を覆す	中小企業が独自の地位を築いていくためには、業界の古い商慣習を否定し、新たな方法論を打ち出さなければならなりません。そのためには「当たり前」を疑い、同業他社や伝統的な価値観を否定することも必要です。ここではそこに挑戦した旭酒造、中央タクシー、ふらここなどの事例を採り上げ、逆設定法(アサンプション・スマッシング)の概念について学びます。また、身近な「常識」のうち、納得いかないこと、考え直してほしいことを指摘し、その解決策について議論します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No8	戦略6 ユニークな社内制度を持つ	社員一人ひとりがブランドを担うという考え方を定着させるためには、特殊な制度や研修を導入し、なぜそれが必要なのか、なぜそこに経営者はこだわるのかを社員に考えてもらうのが効果的です。ユニークな制度は、リクルーティング効果アップにもつながります。 ここでは、オーリーズ、伍魚福、面白法人カヤックなどの事例を採り上げ、「内部ブランディング」の概念について学びます。また、自分ならどんな制度を持つ企業に勤務したいか、その理由を含めて意見交換します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No9	中小企業経営者講演②	東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者(経営幹部含む)を講師として招聘し、経営内容や自身の経験談等の講演を通じて中小企業経営を直接学んでいきます(ZOOM講演の可能性あり)。講演後、30分程度の時間を設け、学生との対話を図ります。 これまで、旅行、IT、警備、介護、設備工事、物流、土木建設、建築設計、電子部品、テレビ番組制作、イベント企画、デザインなど、多様な業界から講師を招きました。講師については初回授業の際にご案内いたします。		
		予習内容(時間)	講演者の業界・企業について事前に調べ、質問を考えておく	120	分
		復習内容(時間)	講演内容を資料等で振り返り、意見・感想を述べる	120	分
	No10	戦略7 地域社会と命運を共にする	地方の人口減少の背景には、地域基幹産業の衰退、教育施設や日常生活サービスの喪失、地域コミュニティ衰退などが潜んでいます。 本講義では地域住民に寄り添い、地域経済や文化を活性化させ、地域からの支持を得ることで自らも存続している事例を見ていきます。 ここでは中村ブレイス、セイコーマート、でんかのヤマグチなどの事例を採り上げ、「ソーシャルデザイン」の概念について学びます。 また、地元の自慢したい店や企業を紹介し、意見交換を図ります。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No11	戦略8 顧客と共に遊ぶ・創る	企業と顧客とが同一の世界観を共有し、「一緒に遊ぶ」「一緒に楽しむ」「一緒に価値を創り出す」ことでファンを拡大させている企業があります。中小企業は「自分が楽しみたいことを顧客にも楽しんでもらう」スタンスで、スモールビジネスができるメリットがあります。ここでは、スノーピーク、いすみ鉄道、ヤッホーブルーイングなどの事例から「ブランド・コミュニティ」の概念について学びます。また「努力は夢中には勝てない」という言葉の意味について議論していきます。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No12	戦略9 人を活かす・育てる	中小企業において、人材の確保・育成は深刻な経営課題であり、採用した人を育てて戦力化しなければ生き残れません。本講義では「ニート」「高齢者」「近所の主婦」を戦力化し、企業の活力と競争力を高めている南富士、加藤製作所、主婦の店・さいちなどの事例を採り上げ、「フォレット管理論」の概念について学びます。 また、これまでの講義でとりあげた全企業(講演を頂いた会社でもOK)のうち、自分がどこか1社で働くとしたら、どの企業を選ぶか、議論します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
		中小企業経営者講演	東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者(経営幹部含む)を講師として招聘し、経営内容や自身の経験談等の講演を通じて中小企業経営を直接学んでいきます(ZOOM講演の可能性あり)。講演後、30分程度の時間を設け、学生との対話を図ります。		

	No13	③	これまで、旅行、IT、警備、介護、設備工事、物流、土木建設、建築設計、電子部品、テレビ番組制作、イベント企画、デザインなど、多様な業界から講師を招きました。講師については初回授業の際にご案内いたします。		
		予習内容(時間)	講演者の業界・企業について事前に調べ、質問を考えておく	120	分
		復習内容(時間)	講演内容を資料等で振り返り、意見・感想を述べる	120	分
	No14	応援される経営とは	特定の企業・ブランドを「支えたい」「守りたい」「育てたい」という欲求から生じた顧客行動が引き起こす応援経済が注目されつつあります。エンタメ(推し)の世界で生じている応援行動が、通常のブランドや企業に対しても拡張していると考えられます。ここでは、まるか食品、ミシマ社、タニタ、ラーメン二郎、山田うどんなどの事例から「顧客コンピテンシー」の概念について学びます。また「ファンからの応援されるような企業・ブランド」の共通点とは何か、議論します。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分


[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ベンチャービジネス論 BE-K
講義名(英字)	Venture Business
担当教員	片山 源治郎
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	テーマ:「事業を授業に！」アイスクリーム事業からベンチャービジネスについて学ぶ この講義では、本学五号館に設置されたアイスクリームラボ(株式会社ジャスピコ)を中心とするアイスクリーム事業の創業からその事業発展の 進行に合わせて、起業するとはどのような意味を有するのか、ベンチャービジネスとは何か、そして事業展開を目指す上で経営学はどのように 活用されているのかを実践的に学びます。したがって、この授業では、講義と演習が組み合わされる形の授業です。この講義を受講することによ って、ベンチャービジネスに自分が参加する形で実践的に経営学のあらゆる要素について学ぶことができます。						
【到達目標】	経営学に関する基礎知識を応用できる:経営学で学んだ、もしくは学んでいる知識を実践の中でどのように応用するかを、講義および演習によって 習得します。 ベンチャービジネスの特徴を理解する:ベンチャービジネスとは何か、そのビジネス上の特権、課題そして困難な問題について、経営戦略、マー ケティング、ファイナンスなどが有機的に提携していることを講義および演習によって身に着けます。						
【履修条件・受 講推奨者】	創業のための創造性を身につける:ベンチャービジネスはゼロからの創業を含みます、最初のアイデアをどう実践し、事業創造につなげるため の方法論を理解していることが求められます。						
【教育方法】	協調性を身につける:この講義は演習型の講義であり、他の受業生とのグループ学習を行います。他の受業生および講師と一体となってプロジ ェクトに取り組むという協働性を、講義および演習で身につけます。						
【指定教科書・ 参考資料等】	教材はとくに使用しません、講義中に参考文献の指示、資料配布を行います。						
	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力

【実務IQ修得目標】								
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	毎回のレポート提出	30%	毎回の講義の出席状況、受講態度、プレゼンテーション・レポート評価およびアイス製造、販売、営業実習の内容で総合評価します。					
	講義及び実習への参加意欲	30%						
	アイス製造、販売、営業実習の内容	40%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】	◇原則として春学期の「新事業創造論(片山源治郎)」の履修が条件です。 ◇この授業は単なる講義ではありません。遅刻、欠席はもとより授業途中で居眠りや講義と関係ない作業を行った学生は即時受講停止になります。 ◇この講義を履修すれば、ビジネスそのものに触れることができます。皆さんにとって大きなチャンスです。しかし単位取得だけを目的に履修する学生はこの講義は適していません。							
【授業計画】	週	テーマ	学習内容					
	No1	ベンチャービジネス論 概要	授業計画の概要と解説					
		予習内容(時間)	シラバスの熟読	120	分			
		復習内容(時間)	年間計画の把握	120	分			
	No2	ベンチャービジネス 概論	ベンチャービジネスにおける重要事項についての特別講義					
		予習内容(時間)	自己PRの台本作成	120	分			
		復習内容(時間)	ベンチャービジネスの最重要事項の理解	120	分			
	No3	アイスクリームのマーケティング	食育、アイスの市場調査についての解説講義					
		予習内容(時間)	食品、アイス市場の規模についての調査	120	分			
		復習内容(時間)	授業内容の理解	120	分			
	No4	販売研修準備①	ダシーズアイスの特徴と販売手法のディスカッション					
		予習内容(時間)	ダシーズアイスの特徴を公式サイトで理解する	120	分			
		復習内容(時間)	ダシーズアイスの4つの特長の理解	120	分			
	No5	販売研修準備②	販売スタッフ研修 ロールプレイング					
		予習内容(時間)	商品販売における最重要事項の調査	120	分			
		復習内容(時間)	販売スタッフの想定問答の理解	120	分			
	No6	販売研修	大学祭でのアイス販売体験					
		予習内容(時間)	ダシーズアイスの特長説明の練習	120	分			
		復習内容(時間)	アイス販売の反省点の作成	120	分			
	No7	製造準備「衛生管理、原材料、製造工程」	飲食店営業許可、食品衛生責任者の資格取得、ダシーズアイスの原材料、製造工程についての解説講義					
		予習内容(時間)	食品衛生責任者の講義内容についての事前理解	120	分			
		復習内容(時間)	HACCPについての理解	120	分			
	No8	製造実習①「原材料準備」	ダシーズでの原材料準備と衛生管理についての解説講義					
		予習内容(時間)	ダシーズアイスの原材料について公式サイトで調査	120	分			
		復習内容(時間)	ダシーズアイスの原材料の差別化と理解	120	分			

	No9	製造実習②「アイスクリームの製造」	店舗でのアイス製造と提供、片付けまでの店舗実習		
		予習内容(時間)	アイス製造で使用する機材の調査	120	分
		復習内容(時間)	アイス製造過程の注意事項の再確認	120	分
	No10	新フレーバー、店舗内外装の考案	ダシーズ新フレーバーと提供方法、店舗外装のディスカッション		
		予習内容(時間)	新フレーバーの考案	120	分
		復習内容(時間)	新フレーバーの製造工程の草案作成	120	分
	No11	営業実習準備①	ビジネスマナー基礎、営業の心得についての解説講義		
		予習内容(時間)	企業の新入社員研修についての事前調査	120	分
		復習内容(時間)	受講したビジネスマナーの習得	120	分
	No12	営業実習準備②	ビジネスマナー、営業についてのロールプレイング		
		予習内容(時間)	ビジネスマナーの最終確認	120	分
		復習内容(時間)	ビジネスメール作成の基本事項を調査	120	分
	No13	営業実習準備③	想定するダシーズアイスの営業先候補の調査と提案資料の作成、アポイントメールの作成		
		予習内容(時間)	アポイントメールの基本事項を事前調査	120	分
		復習内容(時間)	想定している企業へのアポイントメールの修正	120	分
	No14	オンライン営業実習	想定している営業先へのオンライン営業の実施		
		予習内容(時間)	オンライン営業の台本作成	120	分
		復習内容(時間)	オンライン営業のフィードバックに基づいたレポートの作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ベンチャービジネス論 BE-L
講義名(英字)	Venture Business
担当教員	山岡 淳一郎
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ベンチャービジネスとは、「リスクを覚悟して、冒険心と希望を抱いて挑戦する事業」です。 この講義は、私がノンフィクション作家として取材、執筆、動画インタビュー等の対象とした企業経営者や、関係者との対話、調査資料等をもとにベンチャービジネスの実情、社会の変化とニーズの移り変わり、今後の方向性などを解説。メディアから眺めたベンチャービジネス論、リーダー論を展開し、現象の奥の本質を把握する力を養います。
【到達目標】	ベンチャービジネスの実情と、社会の変化を論理的に整理し、本質をつかむ力を養うこと。 講義中に解説する企業の活動や経営者のエピソードなどを通して、社会の変化を論理的にまとめ、理解できているか、講義中の質疑や討論、課題、期末試験等で客観的に評価します。 情報に対するリテラシー(分析、理解して記述する能力)を向上させ、ものごとを複眼的にとらえる力を身につけること。 社会に氾濫する情報をうのみにせず、自分の頭で正確に理解しようと努め、さまざまな視点からの分析ができていないか、講義中の質疑や課題、期末試験等で客観的に評価します。 日本語での読み、書き、話す基礎的な力を身につけること。 講義に使うテキスト、レジュメなどにそって、読み、書き、話すことに積極的にチャレンジし、自らの能力を高めようとしているか、レポート課題、期末試験等で客観的に評価します。
【履修条件・受 講推奨者】	起業者の考え方や、社会の出来事、変化への関心、新しいことへの挑戦意欲。
【教育方法】	講義のレジュメ、テキスト資料、課題などを示す。提出された課題には、講評をつけて返して思考の継続性を保ちます。対面授業での質疑、テーマに応じた討論も行います。

【指定教科書・参考資料等】

指定教科書なし。講義レジュメ、資料、課題を提示。
授業内で、拙著『ゴッドドクター 徳田虎雄』(小学科文庫)、『木下サーカス四代記』(東洋経済新報社)等に言及。

【実務IQ修得目標】

自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
協働力	○	主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
ベンチャービジネスのありようと、社会の変化などを論理的に整理し、本質をつかむ力を養う。	33%	評価配分は授業参加の姿勢と課題提出を55%、期末試験を45%として評価します
情報に関するリテラシー(分析、理解して記述する能力)を向上させ、ものごとを複眼的にとらえる。	33%	
日本語での読み、書き、話すための基礎的な力を身につける。	34%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

基本的マナーとして、遅刻、講義中の私語、無断で教室の外に出たりすることは謹んでください。

週	テーマ	学習内容
No1	東日本大震災の壊滅的被害を乗り越え、新しく生まれた造船会社。	宮城県気仙沼市は日本有数の漁業集積地。震災で甚大な被害を被り、造船会社は事業継続が困難となった。そこで木戸浦健欽氏が中心となり、四つの造船会社が合併・統合。「みらい造船」が立ち上がった。そのプロセスに焦点を絞り、「破壊から創造」の道筋を明らかにする。
	予習内容(時間)	みらい造船について調べる。120分
	復習内容(時間)	講義の復習と課題の提出。120分
No2	働きがい自慢の会社は、どのようにしてつくられたのか。	長野県の軽井沢町に本社を置く、クラフトビールメーカー「ヤッホーブルーイング」は、コロナ禍もものともせず、好業績を維持。社長の井手直行氏は、「ビールに味を! 人生にしあわせを!」をモットーに社員のなかに溶け込み、ファンとの交流イベントも開催。同社が働きがいのある会社と評価されている背景を解説。
	予習内容(時間)	ヤッホーブルーイングについて調べる。120分
	復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。120分
No3	クラウドファンディング界を先導する女性経営者の実践。	群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせたクラウドファンディングは、ネットを介した資金集めの方法として定着した。そのリーディングカンパニー「READYFOR(レディフォー)」の創業者、米良あすか氏は、「新たな公」という概念で社会貢献事業への資金調達を実現。その発想と手法を詳説。
	予習内容(時間)	READYFOR(レディフォー)について調べる。120分
	復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。120分
No4	急成長とチームワーク、製造業派遣と経営者の人間観。	製造派遣業「UTグループ」は、創業から30年足らずで1000億円企業に成長している。社長の若山陽一氏の波乱に富んだ起業プロセスと、経営上の厳しい試練、市場環境の変化など、より具体的に紹介。「生身の人間」であるリーダーに求められる条件とは何か、じっくりと考察。
	予習内容(時間)	UTグループについて調べる。120分
	復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。120分
No5	老舗ゆえに保ち続けるチャレンジ精神と「エネルギー革命」。	「鈴廣かまぼこ(小田原市)」は、「老舗にあって、老舗にあらず」をモットーに150年以上、のれんを守ってきた。経営者の鈴木倂介氏は、さまざまな事業運営の傍ら、再生可能エネルギーの「地産地消」のプロジェクトも手掛ける。会社の枠をこえた、地域全体のエネルギー革命にスポットを当てる。
	予習内容(時間)	鈴廣かまぼこについて調べる。120分
	復習内容(時間)	講義の復習と課題の提出。120分
No6	浮沈の激しいエンタメ業界で生き残ってきた百年企業。	120年の歴史を誇る「木下サーカス」(岡山市)は、ほぼ3か月おきに全国の都市から都市へ、約2000人収容のテント劇場とともに移動。年間100万人以上の観客を集める。ゲームやレジャーランドなど、多様な娯楽があふれる現代、いかにして木下サーカスは事業を継承し、人気を博し続けているのか。その理由を解説する。
	予習内容(時間)	木下サーカスについて調べる。120分
	復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。120分
	巨大ビジネスとなった宅急便。創案者のマー	「ヤマト運輸」の宅急便は、いまや年間16億個もの荷物を扱う巨大ビジネス。しかし、はじまりは1日わずか11個だった。創案者の小倉昌男氏は、大量の産業用荷物に見切りをつけ、「家庭」にターゲットを当て、宅急便を軌

【授業計画】	No7	ケテイング志向。	道にのせた。ビジネスとビジネスの「すき間」のチャンスを生かした過程と、経営哲学を解説。		
		予習内容(時間)	ヤマト運輸について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No8	医療と介護の垣根を取り払った「地域密着」のケア事業。	「清山会グループ」(仙台市)は、診療所を中心に、介護老人保健施設(老健)、グループホーム、小規模多機能型居宅介護所、特別養護老人ホーム、など約50か所の施設を職員約700人で運営。創業者で精神科医の山崎英樹氏が取り組む「認知症の人」のケア事業を介して、超高齢社会の今後を見と話す。		
		予習内容(時間)	清山会グループについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No9	塾から発展した学校法人グループ「三つの約束」とは?	「星槎グループ」は、小さな塾から始まり、どんな生徒でも通える場所づくりを実践してきた。通信制の柔軟なしくみを使い、「生徒が学校に合わせる」のではなく「学校が生徒に合わせる」形を築く。創業者・宮澤保夫氏の不屈の行動力と、「人を認める 人を排除しない 仲間をつくる」という理念を解説。		
		予習内容(時間)	星槎グループについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No10	日本一の民間病院グループ「徳洲会」の起業から成長、発展の行程。	医師・徳田虎雄氏が「生命だけは平等だ」を合言葉に創業した「徳洲会」は、全国で70病院、数多の診療所や介護施設を擁する巨大病院グループに成長。鹿児島県奄美群島の辺境の地に生まれた徳田氏の生き方と、経営手法に焦点を絞ってベンチャー精神を解説。		
		予習内容(時間)	徳洲会グループについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No11	災害に負けない農業、6次産業化のモデル。	15代続く農家がつくった農業法人「舞台ファーム」(仙台市)は、米や野菜を生産するだけでなく、加工、流通も手がけ、新たな農業ビジネスのモデルを確立。地球温暖化に伴う大規模災害に負けない農業をめざし、欧州の植物工場のノウハウを導入。経営者・針生信夫氏の発想と決断をクローズアップ。		
		予習内容(時間)	舞台ファームについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No12	良い建物を長く使う「再生建築」でSDGsに貢献。	建築家の青木茂氏が主宰する「青木茂建築工房」は、古い建物を壊さず、耐震補強で地震に強い構造に変え、デザインや用途を一新。新築と同様の価値をよみがえらせる。省エネや地球温暖化へチャレンジとして注目される青木氏の「リファイニング建築」と不動産ビジネスを解説。		
		予習内容(時間)	青木茂建築工房について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No13	経営者との対話。もしくは、「作りたい本」出版企画コンペ。	自ら起業した経営者を授業に招き、会社を設立した経緯、経営観、人材の育て方と学生に望むことなど、率直に語っていただき、質疑応答。社会に出るための準備を整える。経営者と日程調整がつかない場合は、それぞれが「作りたい本」の企画案を提出。優秀作をコンペで選ぶ。		
		予習内容(時間)	登壇いただく経営者の企業について調べる。もしくは、「作りたい本」の企画立案。	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分
	No14	砂漠を「緑の大地」に変える	故・中村哲医師は、戦乱と干ばつ、飢饉に苦しむアフガニスタンに約30キロに及ぶ水路を建設。砂漠を緑豊かな農耕地に変える大プロジェクトを完遂。中村医師の思いを受け継ぐ「ペシャワール会」の活動を解説。国際的なNGO、人道支援のあり方について解説する。		
		予習内容(時間)	中村哲医師とペシャワール会について調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義の復習と課題提出。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	ベンチャービジネス論 BE-M
講義名(英字)	Venture Business
担当教員	青山 和正
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	ベンチャー企業概念、歴史の変遷を理解した上で、起業家の特性と行動、アイデア発想や事業機会の認識、ビジネスモデルの構築、ビジネスモデルキャンパスの活用、ビジネスモデルもパターン、サービス業のビジネスモデル、組織づくり、ベンチャーファイナンス(資金調達、ベンチャーキャピタル、企業価値算定、資本政策)、新興株式市場への上場条件などを学ぶ。講義に加えて、ベンチャー企業に関わる事例研究や演習を行う。																						
【到達目標】	①ベンチャー企業、起業家の基礎的な知識や進め方の考えを理解できること ②ベンチャー企業のビジネスモデル形成の基本的要件、フレームワークを理解できること ③ベンチャー企業の成長段階での経営のあり方を理解できること																						
【履修条件・受 講推奨者】	ベンチャー企業に関心をもつこと																						
【教育方法】	講義と事例を活用してベンチャー論の論点を解説する。																						
【指定教科書・ 参考資料等】	とくに指定教科書はなし。参考図書は、授業の中で指示する。																						
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力		主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	期末試験	70%	期末試験は論述式で出題し評価する。演習課題は講義の復習で理解力を評価する。		
	演習課題	20%			
	出席	10%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	ベンチャー企業に関心をもつこと				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ベンチャー企業とは何か	ベンチャー企業の定義、歴史的変遷、ベンチャー企業の重要性や取り巻く環境変化は何かなどを説明する。最近のベンチャー企業の動向なども解説する。ベンチャー企業が経済社会にとって重要な役割を果たすことを学ぶ。		
		予習内容(時間)	ベンチャー企業とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	ベンチャー企業の定義や環境変化を復習する	120	分
	No2	ベンチャー企業の起業家とは	ベンチャー企業の起業家(アントレプレナー)の起業家精神、起業家の条件は何か。どんな時に起業家は起業を決意するかなどを学習する。		
		予習内容(時間)	成功している起業家を事前に調べてみる	120	分
		復習内容(時間)	起業家(アントレプレナー)とは何かを復習する	120	分
	No3	ビジネスモデル(1)	ビジネスモデルのベースになるアイデアの着眼点は何か。ビジネスモデルの構成要素、ビジネスモデルキャンパスについて学ぶ。		
		予習内容(時間)	ビジネスモデルとは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	ビジネスモデルの構成要素や具体例を復習する	120	分
	No4	ビジネスモデル(2)	既存のビジネスモデルの変革の仕方、進め方を考える。また、ビジネスモデルの22パターンを考察する。とくにプラットフォーム型のビジネスモデルを取り上げて、その重要性を学習する。		
		予習内容(時間)	ビジネスモデルを変革するに葉どうしたらいいかを考える	120	分
		復習内容(時間)	既存のビジネスモデルを変革する進め方を復習する	120	分
	No5	ビジネスモデル(3)	ビジネスモデルを変革していくには、利益モデルを見直していくことが重要となる。その考え方と進め方を学習する。また、ブルーオーシャン戦略を学ぶ。		
		予習内容(時間)	利益モデルやブルーオーシャンを事前に調べる	120	分
		復習内容(時間)	利益モデルの進め方、ブルーオーシャン戦略を復習する	120	分
	No6	サービス業のビジネスモデル	サービス経営のフレームワークとベンチャーサービス業のビジネスモデルの構築を学習する。事例を通して、サービス経営の革新を学ぶ。		
		予習内容(時間)	サービス経営の特徴を事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	サービス経営のビジネスモデルの革新を復習する	120	分
	No7	ベンチャー企業の組織づくり	短期間に急成長するベンチャー企業は、事業拡大に組織体制が対応できず、「成長の痛み」といわれる現象に陥る。そのため、急成長に応じた組織体制をどう構築するかを学習する。		
		予習内容(時間)	ベンチャー企業の組織は一般企業との違いはを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	急成長するベンチャー企業の組織づくりを復習する	120	分
	No8	ベンチャー企業の人事労務	ベンチャー企業は、知名度、信用力もないが、仕事のやりがいは一般の企業よりもある。ベンチャー企業は、いかに優秀な人材を確保し、育成できるか。そのために人事労務制度の新規性や改革が必要である。最先端のベンチャー企業が実施しているいろいろな福利厚生やモチベーションアップの各種施策を学習する。		
		予習内容(時間)	ベンチャー企業の採用や仕事はどんな状況かを考える	120	分
		復習内容(時間)	ベンチャー企業の人事労務を復習する	120	分
		ベンチャー企業の経営破綻	ベンチャー企業はハイリスクハイリターン。多くのベンチャー企業が、良いアイデアを持ちながら市場から敗退していく。なぜ、ベンチャー企業が経営破綻したか、5～6の事例を通じて学習する。		

	No9	予習内容(時間)	経営破綻と何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	多くの経営破綻の事例から学んだことを復習する	120	分
	No10	ベンチャーファイナンス(1)	ベンチャー企業の資金調達を学習する。とくにハイリスクハイリターンベンチャー企業では、金融機関からの借入には依存できない。出資など、新たな資金調達方法が不可欠である。その資金調達の基本について学習する。		
		予習内容(時間)	資金調達にはどんな方法があるか事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	ベンチャー企業の資金調達法を復習する	120	分
	No11	ベンチャーファイナンス(2)	ベンチャー企業の資金調達先としてベンチャーキャピタルがある。そのベンチャーキャピタルの仕組み、役割、出口戦略を学習する。		
		予習内容(時間)	ベンチャーキャピタルとは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	ベンチャーキャピタルの役割と仕組みを復習する	120	分
	No12	ベンチャーファイナンス(3)	ベンチャー企業は未上場会社であり、資金調達には、企業価値=株価の算定が重要なキーとなる。企業価値の算定方法を具体的に学習する。演習を通じて、3つの算定法を理解する。		
		予習内容(時間)	企業価値となんかを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	企業価値の算定方法を復習する	120	分
	No13	ベンチャー企業の株式上場	ベンチャー企業の出口戦略の1つの株式公開がある。日本の株式市場、とくの新興株式市場の役割、歴史的な経緯、上場条件などを学習する。また、東証の改革についても解説する。		
		予習内容(時間)	株式を上場することはどういうことを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	ベンチャー企業の株式公開を復習する	120	分
	No14	ベンチャー企業の資本政策とまとめ	ベンチャー企業のファイナンスで資本政策が重要な役割をする。資本政策の基本と種類(株)などを学習する。ベンチャー論の論点を整理し、総まとめとする。		
		予習内容(時間)	資本政策とは何かを事前に考える	120	分
		復習内容(時間)	ベンチャー論の論点を整理し、復習する	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	イベント学Ⅱ E-K
講義名(英字)	Eventology II
担当教員	北原 隆
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベント学の応用編。イベントを学問として捉える。 イベントについて深めた理解の上に、イベントの意義とその構造への理解を深めていく。 イベントを学問として捉え、問題解決のための手法としてのイベントを理解し、コミュニケーションサービスとしてのイベントをかんがえ、その構成 や構造&効果を知る。 さらに研究分野としての広がりを知り、自分が研究すべきテーマを見つけ出し、それを調査研究する術と心構えを身につける。							
【到達目標】	イベント学に関する知識を理解する イベント学とは何か、イベント成立させる構造について答えられる。6W2Hについて正しく説明できる 幅広いイベント学の研究分野を説明できる 学問としてのイベントを学び、研究分野としてイベントを捉えて、自己の興味分野を明確に説明できる イベントのプロとして日常生活を送る術と心構えを身につける イベントのプロとして生きる意義と、目指す目標について自分の言葉で表現できる							
【履修条件・受 講推奨者】	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること							
【教育方法】	実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。 「15分間プランニング」という発想のためのワークを毎回行なうことで、柔らかな発想ができる力を身につける訓練を行なう。							
【指定教科書・ 参考資料等】	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、	評価項目と割合				評価方法			
	イベント学に関する知識を理解する			30				
	幅広いイベント学の研究分野を説明できる			30				

単位修得要件)】	イベントのプロとして日常生活を送る術と心構えを身につける	40	日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。		
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇特になし				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	イベント学とは	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 学問＆研究分野としてのイベントとは イベント学の構成 専門学校と大学の違いについて		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No2	イベント学の歴史	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 イベント学が出来ていく過程を振り返る そもそもイベントはどう捉えられてきたか		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No3	イベントと生きる 出したアイデアを分析する	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 企画を100個考えることの意味 出てきたアイデアのまとめ方＆つなげ方 プロの目で日常を過ごすこと 引き出しの増やし方		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No4	イベント学の重要ポイント 分類と定義	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 イベントはどう定義されるか イベントはどう分類されるか		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No5	イベント学の重要ポイント イベントとコミュニケーション	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 経験共有の場としてのイベント 情報の非対称性とギャップマネジメント		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No6	イベントと生きる 脳内リハーサル	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 いつかは来ない ボツはバツじゃない(ボツになった理由を分析する) 脳内リハーサル		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No7	イベント学の重要ポイント イベントとサービス	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 日常と非日常(ハレとケ)について		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No8	イベント学の重要ポイント イベントと文化	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 文化記号装置としてのイベント		

		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No9	イベント業界のキャリアデザイン ～業界研究編～	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 キャリアデザインについて イベント業界の構造と特殊性について		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No10	イベント業界のキャリアデザイン ～就職活動編～	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 キャリアデザインについて イベント業界への就職活動の特殊性について 転職の意味と後悔しない会社の辞め方 独立起業という形		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No11	イベントと生きる 情報集めと人脈作り	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 人と違った情報をどこから得るか 人脈は財産		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No12	イベント学の重要ポイント イベント作りの基本構成-1	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 6W2Hができるまでとその意義 6W2Hを使ってイベントを考えてみる		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No13	イベント学の重要ポイント イベント作りの基本構成-2	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 イベント企画と計画の核心 イキ・ビカ・スジ		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分
	No14	イベントと資格	15分間プランニング先週の振り返り EIMイベントクリエーターについて イベント現場で役に立つ資格とは		
		予習内容(時間)	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の振り返り	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	サービス産業論Ⅱ E-K
講義名(英字)	Service Industry Theory II
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	現代社会において、第三次産業であるサービス産業は、就業人口やGDPに占める割合はますます拡大する傾向にありその重要性は高まっています。他産業においてもサービス産業的な仕事の割合が増加し、「サービス経済化」が進んでいます。サービスは無形であり在庫できないこと等、工業製品のような財(モノ)とは異なる特性を有しサービス産業特有の経営課題があり、製造業等と比較して生産性の低さが指摘されています。サービス産業の実態を学びながら、サービス財の特徴やその課題、顧客満足度を高めるためのマネジメントについて考察します。また、ケーススタディ等からサービス産業の企業経営や本質的な課題を探究し実践力を養います						
【到達目標】	サービス産業の基礎知識を理解し、構造や特徴、サービス経済化の背景等を説明できる サービス産業の経営課題・実態をケーススタディ等から理解し説明することができる マネジメント視点でサービス産業の価値づくりを理解しニュースの読解力等を高める						
【履修条件・受 講推奨者】	サービス産業全般に興味を持って、自らが積極的に学ぶことが一番重要だと考えます						
【教育方法】	事例を多用し分かりやすい授業にします。履修生自らが考え発表する機会を多く作ります						
【指定教科書・ 参考資料等】	参考書： 神原理(編著)『サービス・マーケティング概論』ミネルヴァ書房、2019年 近藤隆雄(著)『サービス・マーケティング(第2版)』生産性出版、2018年 ※授業内で読んでほしい参考文献等を紹介します						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力
	協働力	○	主張力		創造力	○	
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	評価項目と割合		評価方法				
	サービス産業の基礎知識を理解し、その背景等を説明できる。		20%	授業時の小テスト、レポート、発表等60%、期末試験40%			
	サービス産業の経営課題・実態を理解し、説明できる。		50%				

	サービス産業の価値づくりを理解し、読解力等を高める。		30%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】	サービス産業のニュースや新聞記事（日経新聞、日経MJ等）を読む習慣をつけてください。グループワーク、発表が多く、授業への貢献度や授業態度は重視します				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	春学期の総括、本試験の解説。サービス産業論を学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価について説明		
		予習内容(時間)	春学期の総括(振り返り)、サービス産業論を学ぶ意義を再設定する	120	分
		復習内容(時間)	秋学期のサービス産業論を学ぶ意義、目標・ゴールイメージをまとめ提出する	120	分
	No2	サービス産業における経営課題(1) 情報技術(IT)の発展とサービス産業の進化	通信・情報産業、ITの発展がサービス産業に与える影響とその進化、サービス産業の国際化戦略を理解する		
		予習内容(時間)	ITの発展がサービス産業に与える影響を調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No3	サービス産業における経営課題(2)	様々な経営課題の事例を研究する(1) カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
		予習内容(時間)	カスタマージャーニーについて調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No4	サービス産業における経営課題(3)	様々な経営課題の事例を研究する(2) カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
		予習内容(時間)	研究内容を予習する	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No5	サービス産業における経営課題(4)	様々な経営課題の事例を研究する(3) カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
		予習内容(時間)	研究内容を予習する	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No6	サービス産業における経営課題(5)	様々な経営課題の事例を研究する(4) カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
		予習内容(時間)	研究内容を予習する	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No7	サービス産業業界研究(1)	サービス産業業界研究(1) 飲食業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No8	サービス産業業界研究(2)	サービス産業業界研究(2) 生活関連サービス等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No9	サービス産業業界研究(3)	サービス産業業界研究(3) スポーツビジネス、コンテンツビジネス等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分

	No10	サービス産業業界研究(4)	サービス産業業界研究(4) 小売業、保険金融業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No11	サービス産業業界研究(5)	サービス産業業界研究(5) 観光・旅行業、運輸業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No12	サービス産業業界研究(6)	サービス産業業界研究(6) 教育、医療・福祉業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No13	サービス産業業界研究(7)	サービス産業業界研究(7) イベント業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する(発表、解説)		
		予習内容(時間)	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No14	サービス産業論Ⅱ 総括	今までの授業の総括		
		予習内容(時間)	秋学期の授業の総括をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。本試験の準備をする	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント企画・演出 E-K
講義名(英字)	Designing & Producing Events
担当教員	大山 利栄
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	前半はイベント企画。イベントの企画には創造性が最も重要です。人々へサプライズを与えるアイデア、マンネリを打破する発想が求められま す。イベント企画の基本である「6W2H」と企画の発想法について学習します。 後半はイベント演出。コンサートやファッションショー等のエンターテインメントイベント、企業や団体におけるPRおよびキャンペーンイベントや展示 会、式典などさまざまな イベントには全て「演出」が必要です。舞台美術、音響、照明、映像、キャスト、特殊効果、環境演出といったイベントに関 わるすべてのパートを理解し、具体的な演出プランの組み立て方についてそれぞれのイベント形態ごとに検証していきます。							
【到達目標】	イベント企画の構成要素について理解する イベント演出に関わるパートの役割を理解する 演出プランの作成および台本・進行表による指示方法を理解する							
【履修条件・受 講推奨者】	「イベント学Ⅰ」「イベント学Ⅱ」「イベントプロデュース論Ⅰ」「イベントプロデュース論Ⅱ」を履修していることが望ましい							
【教育方法】	基本的には講義形式で行うが、ワークショップ形式で実際に企画書作成や進行表の作成なども行う							
【指定教科書・ 参考資料等】	使用せず							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	評価項目と割合			評価方法				
	授業態度及びレポート提出		30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する				
	成果物(企画書・進行表)		30%					
	期末テスト		40%					
	合計		100%					

【その他の注意
事項】

特になし

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	イントロダクション	授業概要の説明 「イベント企画」、「イベント演出」とは何か		
	予習内容(時間)	これまで参加したイベントの演出について書き出しておく	120	分
	復習内容(時間)	「伝言ゲーム」レポート作成	120	分
No2	イベント企画①発想力	イベントアイデア発想法(SCAMPER、ださくにたおち、など)		
	予習内容(時間)	カラーバス実践	120	分
	復習内容(時間)	SCAMPERについての整理	120	分
No3	イベント企画②骨格力	イベントの構造6W2Hの詳細		
	予習内容(時間)	6W2Hについて確認しておく	120	分
	復習内容(時間)	そもそもそ理論分析レポート作成	120	分
No4	イベント企画③分析力	イベント企画のマーケティング		
	予習内容(時間)	テーマとコンセプトの違いについて調べる	120	分
	復習内容(時間)	自分のコンセプトについて設定しレポート作成	120	分
No5	イベント企画④目的力	イベント企画のゴール		
	予習内容(時間)	これまで参加したイベントの目的について考える	120	分
	復習内容(時間)	テーマに応じたアイデアを6W2Hで整理しレポート作成	120	分
No6	イベント企画⑤構成力	イベント企画書作成		
	予習内容(時間)	レポートの6W2Hにおけるストロングポイントの抽出	120	分
	復習内容(時間)	1枚企画書のブラッシュアップ	120	分
No7	演出の構成要素①	イベント演出を構成する要素について 美術施工 美術プランと舞台美術、ブース施工		
	予習内容(時間)	DVDやYouTubeなどでステージ造形について好きなものをピックアップしておく	120	分
	復習内容(時間)	サブロクについてのレポートを作成	120	分
No8	演出の構成要素②	音響・照明 音響・照明の考え方 その効果と機材について		
	予習内容(時間)	DVDやYouTubeなどでステージ演出における照明演出についてチェックする	120	分
	復習内容(時間)	音響システムの構成についてレポート	120	分
No9	演出の構成要素③	映像 映像の考え方 ハード(機材)とソフト(素材)、オペレーションについて		
	予習内容(時間)	DVDやYouTubeなどでステージ演出における映像機材についてチェックする	120	分
	復習内容(時間)	大型映像におけるプロジェクターとLEDの違いについてレポート	120	分
No10	演出の構成要素④	特殊効果 特殊効果の種類と使い方 その他各種のギミックについて		
	予習内容(時間)	DVDやYouTubeなどでステージ演出における特殊効果の使い方についてチェックする	120	分

		復習内容(時間)	テーマパークのパレードにおける特効の使い方についてレポート	120	分
	No11	演出の構成要素⑤	環境演出と空間演出 考え方の違いと見せ方の違いについて		
		予習内容(時間)	テーマパークにおける環境演出について調べる	120	分
		復習内容(時間)	テーマパークのパレードにおける特効の使い方についてレポートまたはイベント会場の環境演出を見に行く	120	分
	No12	演出の構成要素⑥	演出・進行スタッフとその役割 演出家、舞台監督、進行スタッフの役割 司会、キャスト、出演者について		
		予習内容(時間)	自分の知っている演出家について調べる	120	分
		復習内容(時間)	テーマに応じた出演者をピックアップしレポート	120	分
	No13	演出プラン	ステージイベントにおける演出プラン 演出プランと進行表、台本について		
		予習内容(時間)	身近にあるイベントの演出プランについて考える	120	分
		復習内容(時間)	演出プランと進行表、台本の違いについて整理する	120	分
	No14	台本制作	進行表、台本制作の実作業 各テクニカルパートの理解と進行表、台本の作り方		
		予習内容(時間)	各テクニカルパートの焼くわれについて整理しておく	120	分
		復習内容(時間)	進行表を作成しレポート	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベントキャリア E-K
講義名(英字)	Events & Career Advancement
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントキャリア教育の基本は、学生がイベントの世界に進むための基礎固めです。イベント業界にはどのような仕事があるかを知り、自分が今後何をやりたいのか、何に携わっていきたいのか、何か好きで何が苦手なのかを考えてもらいます。また、イベントには多種多様な業種の人達が、さまざまなアプローチで関わります。その基本にあるのは人間関係であり、信頼関係です。この講義は、イベントの世界でキャリア・人間関係を築いていくためのルールや基本、関わる業種について理解するとともに、自分自身を見つめ直し、そして自分の将来と向き合ってみるプログラムです。							
【到達目標】	【イベントに携わる業種の種類について理解する】 イベント業界の業種について知り、基本的な機能と役割を答えられる。 自分が持つイメージとのギャップを把握する。 【イベントに携わる人の役割・関係を理解する】 イベントに携わる「人」の役割や仕事の流れについて知る。 【自分が目指すキャリアのビジョンを表現できる】 目指す目標について考え、自分の言葉で表現する。							
【履修条件・受 講推奨者】	◇幅広くイベントに興味を持ち、自身の将来について真剣に考えること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。							
【教育方法】	講義ではスライドを使用し、イベント業界の仕事について学びます。 またワークも取り入れ、業種同士の関係や仕事内容について理解を深めていきます。							
【指定教科書・ 参考資料等】	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力			
	評価項目と割合			評価方法				
	【イベントに携わる業種の種類について理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する 回答によって評価。		30%					

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	【イベントに携わる人の役割・関係を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。		30%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、期末試験70% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。		
	【自分が目指すキャリアのビジョンを表現できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。		40%			
	合計		100%			
【その他の注意事項】	◇講義中、他者に迷惑となる行為(私語等)厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用(メール・ウェブの閲覧も含む)もご遠慮ください。 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。					
【授業計画】	週	テーマ	学習内容			
	No1	イントロダクション	イベントの種類とそれに関わる業種			
		予習内容(時間)	イベントに関係する仕事について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No2	イベントの基礎	イベント制作の基本的な流れ(事案の発生～役割分担)			
		予習内容(時間)	自身がイベント関連の仕事に勤めた想定で、誰に仕事を依頼し、依頼されるかを考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No3	イベントに関わる会社(1)	施工会社の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおける施工の仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No4	イベントに関わる会社(2)	音響会社の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおける音響の仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No5	イベントに関わる会社(3)	照明会社の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおける照明の仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No6	イベントに関わる会社(4)	モデル・コンパニオン手配会社の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおけるモデル・コンパニオンの仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No7	イベントに関わる会社(5)	WEB関連会社の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおけるWEB関連の仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No8	イベントに関わる会社(6)	運営会社の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおける運営の仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
	No9	イベントに関わる会社(7)	広告代理店の仕事・役割			
		予習内容(時間)	イベントにおける広告代理店の仕事・役割について考察	120	分	
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分	
			イベントに関わる会社(8)	施設の仕事・役割		

	No10	予習内容(時間)	イベントにおける施設の仕事・役割について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No11	イベントに関わる会社(9)	その他のイベントに関わる仕事(ケータリング、芸能事務所、レンタル会社など)		
		予習内容(時間)	イベントにおけるケータリング・芸能事務所・レンタル会社の仕事について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
		イベントに関わる会社(10)	その他のイベントに関わる仕事(SP制作、印刷会社、デザイナーなど)		
	No12	予習内容(時間)	イベントにおけるSP制作・印刷会社・デザイナーの仕事について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
		イベント業界の成功・失敗	業界でよくあるやり取り、成功・失敗例、社会人としてのマナー		
	No13	予習内容(時間)	アルバイト・部活などにおける自身の成功・失敗体験について考察	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分
	No14	ネットワーク形成	人間関係を作る大切さ、今後のキャリア形成		
		予習内容(時間)	自身の将来の目標、好きなことについて今一度考える	120	分
		復習内容(時間)	当該講義内容について	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベントデザイン E-K
講義名(英字)	Designing Events
担当教員	清宮 浩一
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは、人々の日常の中に起きる(あるいは訪れる)非日常の瞬間です。 イベントを事業としてデザインする上では、大小様々なイベントがどのような仕組みや構造で成り立ち、どんなゴール(＝成果目標)を達成することが重要であるのかを理解することが必要です。 ここではイベントをプロデュースする視点に立ってイベントデザインの世界を概観し、様々な事例を通じてイベント事業の役割や全体構造を理解してもらい、イベントプランナーとして求められるスキルの高め方を修得します。						
【到達目標】	イベント事業が成立するまでの過程や基本的な流れ、構成等を簡素に説明できる。 イベント事業におけるソーシャルデザインの意味と価値を簡素に説明できる。 イベント事業が社会やまちづくり、人々の暮らしにどう役立つのかを説明できる。						
【履修条件・受講推奨者】	◇イベントについて興味・関心を持ち、将来、事業に携わりたいと思っていること。 ◇イベントに関するプランニング能力を幅広く習得したいと考えていること。 ◇イベントが社会を元気にし、また社会課題の解決に役立つと考えていること。						
【教育方法】	イベント事業が有する二つの価値(事業的価値と社会的価値)を理解し、経済活性から地方創生、さらには社会課題解消にも寄与するイベントデザインの重要性を理解する。						
【指定教科書・参考資料等】	なし						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力		創造力	○	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法				
	授業態度	45%	出席回数や各種レポートの記載内容、期末試験結果で総合評価。				
	中間レポート	25%					
	期末試験	30%					

	合計	100%			
【その他の注意事項】					
	週	テーマ	学習内容		
	No1	プロローグ	「概説」 イベントデザインを学ぶ上で、改めて、非日常へと誘うイベントの魅力、価値、種類などを概観する。特に、イベントを広義に解釈し、特定個人、特定少数、特定多数、不特定多数に帰属する様々なイベントの形態を理解するとともに、イベントが事業として成立する領域などへの理解を深める。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	イベントを広義に捉えた際の世界観を理解する。	120	分
	No2	イベントデザインとは	「イベントをデザインすることの意味と価値」 イベントデザインに求められる外的要素と内的要素の違いを知り、花火大会などの具体的なイベント事業を事例に、イベントとして事業が成立するまでの各種要件、仕組みなどを理解する。また、6W5Hを活用して事業を成立させるためのシナリオ要件などを理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	内的要素、外的要素の考え方を理解する。	120	分
	No3	イベント事業の業務プロセス	「イベントが実施されるまでの過程と全体像」 イベント事業を実現するまでの流れ(原案作成→基本構想→基本計画→実施計画→施工→実施)を理解するとともに、公的組織が主催するイベント事業を例題に、入札の仕組み、概要や提案された企画の評価などの概要を理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	構想段階、計画段階、実施段階で求められる業務内容の基礎を理解する。	120	分
	No4	価値創造の仕組み	「事業価値を高めるためのデザインングの考え方」 主催者によって異なるイベント事業の性格を事業の目的や協賛者等から理解するとともに、花火大会やJリーグなどのスポーツイベント等の事例を通じて、イベント事業の価値創造(事業的価値、社会的価値)のあり方、プロジェクトのデザイン手法の重要性を理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	イベント事業の価値創造の大切さを理解する。	120	分
	No5	事例学習①: 大規模イベント	「国際的イベントにみるイベントデザインのあり方」 1851年の第1回ロンドン万博や明治時代の内国勸業博覧会、1964年に開催された大阪国際万博などの事例を通じて博覧会事業の歴史や役割を知るとともに、博覧会事業の持続可能性を高めるためのイベントデザインの仕組み・考え方・事業化手法等のポイントを理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	万博事業を打ち出す意味や価値について理解する。	120	分
	No6	事例学習②: 国民運動	「国民運動にみるイベントデザインのあり方」 クールジャパンや観光支援など、国が主導的に打ち出す国策事業(広報、キャンペーン、イベント等)の意味やプロジェクト推進の背景を知るとともに、官民連携を基軸とした国民運動的イベントが、地域や経済、暮らしをどのようにデザインしていくのか、その可能性を考え国策事業の必要性を理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
復習内容(時間)		国が民間事業を支援することの意味、目的を理解する。	120	分	

【授業計画】

【授業計画】	No7	事例学習③:プロモーション	「コンテンツ価値を育むコミュニケーション戦略」 自社商品をプロモーションしていく過程の中でイベント事業が果たす役割を考えるとともに、事業の価値を可視化するためのコミュニケーション戦略の手法(広報、広告、PR等)や役割、重要性について理解する。また、ブランド形成に不可欠なポイントなどについて、各種事例を通じて理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	広報、広告、PRの仕組みやコミュニケーション戦略の重要性を理解する。	120	分
	No8	事例学習④:地域密着型事業	「草の根的に社会的機運を醸成するイベントデザインの仕組み」 一度限りのイベントでは訴求できない重要なメッセージを中長期に渡って社会や生活者に伝え、国民意識や行動変容を促すイベントデザインの考え方を理解するとともに、吉本興業の「住みます芸人」や厚労省が打ち出す「がん検診企業アクション」等の事例を通じてプロジェクトの進め方や手法について理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	国民や生活者の社会意識の転換、行動変容を促すイベント事業の役割を理解する。	120	分
	No9	プロジェクト・デザイン①	「イベント事業の価値を育む戦略的思考」 イベント事業の質的向上に向けて、企画段階で考えるべき「現状把握」や「課題分析」の重要性について理解する。特に、T型思考(取り上げる対象のテーマ領域を広げる力、テーマを深掘りする力)に基づく物事の捉え方や、ロジカルシンキング(論理的思考)に基づくシナリオプランニングの重要性について理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	物事を多面的角度から捉えるプランニングスキルの重要性を理解する。	120	分
	No10	プロジェクト・デザイン②	「イベント事業の価値創造への取り組み」 イベント事業の直接的価値(=内的要素のデザインに基づく事業的価値)と間接的価値(=外的要素に基づく社会的価値)の違いを理解するとともに、TOKYO2020や大阪・関西万博2025等を題材に、大規模イベントを推進する際に、社会や都市、地域経済や地域文化の醸成をも視野に入れたプロジェクトデザインの手法や価値創造のあり方を理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	イベント事業の直接的価値の創出と、間接的価値の創出の違いを理解する。	120	分
	No11	ソーシャル・デザイン①	「社会課題の解消に寄与するソーシャルビジネス」 1980年代以降に注目された「ソーシャルビジネス」(社会的課題をビジネスの手法で解決する考え方。ノーベル平和賞を受賞したムハマル・ユヌス博士が提唱した概念)の意味と重要性を理解するとともに、パブリックセクターとプライベートセクターが担う各種役割を再認識する。また、3.11伝承ロード(被災地復興支援事業)を題材に、具体的なソーシャルビジネスの手法や考え方を理解する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	ソーシャルビジネスの意味を理解する。	120	分
	No12	ソーシャル・デザイン②	「地域・都市の再活性に寄与するイベント事業」 スポーツ事業、万博事業、アート事業、映画祭事業等の各種イベント事業は、都市の再生や地域活性とどのような関係性を有しているのか、具体的な事例を通じて理解するとともに、英国の「文化都市構想」などを題材に、文化イベントを基軸に欧州の都市がどのように再生を果たしたのか、イベント事業の価値やインパクトを知る。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	イベント事業と都市、地域づくりとの関係を理解する。	120	分
		ソーシャル・デザイン③	「健康づくりや国民の福祉の改善に寄与するイベント事業」 人々の健康で豊かな暮らしづくりに向けてイベント事業がどのように関与することができるのか、「笑」(健康づくりに重要な価値を有する要素)や「健ロスマイル事業」(=山口県県民運動)を例題にその役割を理解する。また、国家予算(支出と収入)の内訳を概観しながら、医療費削減に向けたイベント事業の意味と価値(未来への投資を活性するための課題解消事業としての意味合い)を改めて理解する。		

	No13	予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	健康づくりにも寄与するイベント事業の価値を理解する。	120	分
	No14	これまでの総括	「これまでの講義内容の再整理」 イベントデザインの重要性を過去の講義内容のポイントを振り返りながら理解するとともに、イベント事業が社会、都市、暮らしをデザインしていく可能性を秘めていることを再認識する。		
		予習内容(時間)	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容で重要だと感じるポイントを自分なりに整理する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「観光イベント」とは、観光事業を促進するための催し物等の活動の総称であり、政府や地方自治体、観光関連のサービスを提供する民間企業、地域住民など多様な主体によって実施されます。観光の全体像および観光イベントに関する基礎的な知識について、事例を交えながら講義とグループ演習を行います。また、適宜実務に携わるゲストスピーカーを招いて観光イベントの取り組みについて説明していただきます																						
【到達目標】	観光の全体像および観光資源の基礎知識を理解し、構造や特徴、その背景等を説明できる 観光イベントのプロデュース事例を通してプロデューサーの役割を理解する 企画案を制作・プレゼンテーションして、ユニークで話題になる企画が制作できる																						
【履修条件・受講推奨者】	観光全般に興味を持って、自らが積極的に学ぶことが一番重要だと考えます																						
【教育方法】	事例を多用し双方向の分かりやすい授業にします。履修生自らが考え発表する機会を多く作ります																						
【指定教科書・参考資料等】	参考書： JTB 総合研究所（編著、発行）『観光概論』JTB 総合研究所、2019年 立教大学観光学部旅行産業研究会（編著）『旅行産業論』公益財団法人日本交通公社、2019年 ※その他、授業中に随時紹介します																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力	○	主張力		創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力	○	主張力		創造力	○																		
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	<table><tr><th colspan="3">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>観光の全体像および観光資源の基礎知識を理解し、構造や特徴、その背景等を説明できる</td><td>50%</td><td rowspan="3">授業時の小テスト、レポート、企画案プレゼンテーション等70%、期末試験30%</td></tr><tr><td>観光イベントのプロデュース事例を通してプロデューサーの役割を理解し説明できる</td><td>20%</td></tr><tr><td>観光イベント企画を制作しユニークで話題になる企画をプレゼンテーションする</td><td>30%</td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				観光の全体像および観光資源の基礎知識を理解し、構造や特徴、その背景等を説明できる	50%	授業時の小テスト、レポート、企画案プレゼンテーション等70%、期末試験30%	観光イベントのプロデュース事例を通してプロデューサーの役割を理解し説明できる	20%	観光イベント企画を制作しユニークで話題になる企画をプレゼンテーションする	30%		
評価項目と割合			評価方法																				
観光の全体像および観光資源の基礎知識を理解し、構造や特徴、その背景等を説明できる	50%	授業時の小テスト、レポート、企画案プレゼンテーション等70%、期末試験30%																					
観光イベントのプロデュース事例を通してプロデューサーの役割を理解し説明できる	20%																						
観光イベント企画を制作しユニークで話題になる企画をプレゼンテーションする	30%																						

	合計	10 0%			
【その他の注意事項】	観光イベントのニュースや新聞記事に関心を持ち積極的に接する習慣をつけてください。グループワーク、発表が多いため、授業での貢献度や授業態度は重視します				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	オリエンテーション	観光イベントを学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価等を説明する		
		予習内容(時間)	観光イベントを学ぶ意義をあらかじめ考え発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	観光イベントを学ぶ意義、目標・ゴールイメージをまとめ提出する	120	分
	No2	観光の全体像(1)	観光の概況統計、観光の経済規模、インバウンド等を理解する		
		予習内容(時間)	観光の概況を調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No3	観光の全体像(2)	日本の観光の歴史を理解する		
		予習内容(時間)	日本の観光の歴史を調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No4	観光の全体像(3)	観光関連産業を理解する		
		予習内容(時間)	観光関連産業を調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No5	観光の全体像(4)	観光政策と行政、地方創生について理解する		
		予習内容(時間)	観光政策と行政、地方創生について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No6	観光の全体像(5)	観光振興、観光マネジメント、観光イベントが地域に与える影響等を理解する		
		予習内容(時間)	観光振興、観光マネジメント、観光イベントが地域に与える影響等について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No7	観光イベントの企画(1)	観光イベントのプランナー/プロデューサーとして「観光イベント」を企画する(1) オリエンテーションを実施し企画する地域選定をする		
		予習内容(時間)	ある特定の地域の観光担当(クライアント)になり、地域の現状、魅力、課題、観光イベントの方向性等をまとめ提出する。発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No8	観光イベント事例研究(1)	地域振興のために実際に開催された観光イベントをケーススタディで学び様々な観光イベントを理解する(1)		
		予習内容(時間)	話題になった観光イベントについて調べ発表の準備をする	120	分
復習内容(時間)		講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分	
【授業計画】					

	No9	観光イベント事例研究(2)	地域振興のために実際に開催された観光イベントをケーススタディで学び様々な観光イベントを理解する(2)		
		予習内容(時間)	話題になった観光イベントについて調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No10	観光イベントの企画(2)	観光イベントのプランナー/プロデューサーとして「観光イベント」を企画する(2) グループ・ワークセッション実施し企画案を制作する		
		予習内容(時間)	企画案を制作する	120	分
		復習内容(時間)	企画案を制作する	120	分
	No11	観光イベントの企画(3)	観光イベントのプランナー/プロデューサーとして「観光イベント」を企画する(3) プレゼンテーションを実施し、講評を受ける		
		予習内容(時間)	プレゼンテーションの準備をする	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーションの振り返りをしレポートを提出する	120	分
	No12	観光資源を知る(1)	観光資源の概要、様々な自然・歴史・文化等観光資源、世界遺産等を理解する(1)		
		予習内容(時間)	観光資源について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No13	観光資源を知る(2)	観光資源の概要、様々な自然・歴史・文化等観光資源、世界遺産等を理解する(2)		
		予習内容(時間)	観光資源について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No14	観光資源を知る(3)	観光地、リゾート、スキー場とスノーリゾート、海浜リゾート、テーマパーク、アミューズメントパーク、お祭り、芸能・興行、アニメ・ドラマの聖地巡礼、コンベンション、エコツーリズム等様々なタイプの旅行を理解する		
		予習内容(時間)	観光資源について調べ発表の準備をする	120	分
		復習内容(時間)	講義内容をまとめ復習する。本試験の準備をする	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	スポーツイベント E-K
講義名(英字)	Sporting Events
担当教員	佐藤 潤
必修/選択	なし
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベント領域で大きな位置を占めるスポーツイベントについての現状についていろいろな視点を通して知る																										
【到達目標】	スポーツの歴史、成り立ちと現代におけるスポーツの価値について知る スポーツイベントならではの企画、準備、実施について知る スポーツイベントの課題とこれからの可能性について知る																										
【履修条件・受 講推奨者】	スポーツが好きな人、スポーツイベント・ビジネスに興味がある人																										
【教育方法】	教員が準備したオリジナル資料をベースに講義形式で行う。必要に応じて課題を出しインタラクティブに授業を進めていく。																										
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。推薦図書については授業の中で紹介する。																										
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力							
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																					
協働力		主張力	○	創造力																							
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>毎授業後のリアクションペーパー</td><td>45</td><td colspan="5" rowspan="4">リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。</td></tr><tr><td>中間試験</td><td>25</td></tr><tr><td>期末試験</td><td>30</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					毎授業後のリアクションペーパー	45	リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。					中間試験	25	期末試験	30	合計	100%
評価項目と割合		評価方法																									
毎授業後のリアクションペーパー	45	リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。																									
中間試験	25																										
期末試験	30																										
合計	100%																										
【その他の注意																											

事項】	授業にはリスペクトを持って、受け身でなく積極的な態度で臨むこと。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	「スポーツイベント」の概略を知る	イベントにおけるスポーツの位置づけ、スポーツイベント業界について知る		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No2	スポーツの歴史を学ぶ	スポーツは人類の歴史のなかでどのように発展してきたかを学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No3	スポーツビジネスの歴史を学ぶ	いかにしてスポーツはビジネスとなってきたのか、その生成過程を知る		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No4	スポーツの現状を様々な数字から読み解く	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「みる」、「する」の視点から知る		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No5	スポーツビジネスの構造を学ぶ	スポーツの持っている・生み出す価値はなにか。その価値をいかにビジネスに変換していくのかについて学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No6	スポーツイベントの企画・運営とリスクについて学ぶ	スポーツイベントを実施担当者としての視点でどのように進めていけばよいか、リスクにはどのようなものがあり防ぐにはどうすればよいかを学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No7	スポーツイベントのマーケティングと知的財産権について知る	知的財産権について基本的な知識を身に付け、それを活用したマーケティングについて学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No8	スポーツイベントのスポンサーシップについて学ぶ	マーケティング視点で企業のスポーツのスポンサーシップについて学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No9	前半を振り返る 確認のための中間テストを行う	これまでの授業を改めて復習し確認のためのテストを行う		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No10	メガスポートイベントⅠ：オリンピックについて学ぶ	世界の三大メガスポートイベントをビジネス・マーケティングの視点で学ぶ まずはオリンピック		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No11	メガスポートイベントⅡ：FIFAワールドカップについて学ぶ	世界の三大メガスポートイベントをビジネス・マーケティングの視点で学ぶ 続いてサッカーのFIFAワールドカップ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分

		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No12	メガスポーツイベントⅢ:ラグビーワールドカップについて学ぶ	世界の三大メガスポーツイベントをビジネス・マーケティングの視点で学ぶ 最後はラグビーワールドカップ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No13	スポーツとメディアについて学ぶ	スポーツの発展にメディアはどのような役割を果たしてきたか メディアの歴史を知り、現在の状況と今後の変化について学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す	120	分
	No14	スポーツツーリズムについて学ぶ	今後のスポーツに対する期待として注目の集まっているスポーツツーリズムについて学ぶ		
		予習内容(時間)	事前の質問について調べる	120	分
		復習内容(時間)	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分

 [前画面へ戻る](#)

	合計	0%	
【その他の注意事項】	特に無し		
【授業計画】	週	テーマ	学習内容
	No1	オリエンテーション	授業内容、進め方の説明
		予習内容(時間)	シラバスの読み込みと授業内容や趣旨の確認 120 分
		復習内容(時間)	授業内容に関するワークシートに取り組む 120 分
	No2	コミュニティとは①～コミュニティの定義	・コミュニティの語源、概念、定義 ・コミュニティの崩壊と再生
		予習内容(時間)	コミュニティに関する情報収集、視察 120 分
		復習内容(時間)	授業内容に関するワークシートに取り組む 120 分
	No3	コミュニティとは②～コミュニティと市民参加	・公共の担い手としての市民 ・市民参加と協働
		予習内容(時間)	コミュニティづくりに関する動画を視聴。興味や関心を抱いた取組に関してレポート 120 分
		復習内容(時間)	授業内容に関するワークシートに取り組む 120 分
	No4	コミュニティとは③～コミュニティと地域課題	・コミュニティにおける多様な課題 ・地域課題の解決と非営利組織
		予習内容(時間)	自身が属するコミュニティの課題について写真撮影とレポート 120 分
		復習内容(時間)	授業内容に関するワークシートに取り組む 120 分
	No5	コミュニティとは④～コミュニティとビジネス	・コミュニティ課題を解決するビジネス手法 ・コミュニティビジネスの効果と課題
		予習内容(時間)	コミュニティビジネスに関する情報収集 120 分
		復習内容(時間)	授業内容に関するワークシートに取り組む 120 分
	No6	コミュニティとは⑤～コミュニティとボランティア	・ボランティアの定義 ・コミュニティにおけるボランティアの意義と意味
		予習内容(時間)	これまでのボランティア経験に関するレポート 120 分
		復習内容(時間)	授業内容に関するワークシートに取り組む 120 分
	No7	コミュニティの情報収集と編集①～グループワーク	・新宿・高田馬場地域のコミュニティの課題や魅力に関する動画制作
		予習内容(時間)	新宿・高田馬場地域のコミュニティの課題や魅力について考察 120 分
		復習内容(時間)	グループで新宿・高田馬場地域のコミュニティの課題や魅力に関する動画の制作 120 分
	No8	コミュニティの情報収集と編集②～成果報告と講評	グループのプレゼンテーションおよび他グループの講評
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備 120 分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション評価票を作成 120 分
	No9	コミュニティイベント事例①～コミュニティレガシーとしてのイベントの価値	・ゲストスピーク ・都市におけるコミュニティイベントのケーススタディ
		予習内容(時間)	都市におけるコミュニティイベントを調査 120 分
		復習内容(時間)	ゲストの話題を振り返り、ミニレポートを作成 120 分
	No10	コミュニティイベント事例②～コミュニティ再生のためのイベントづくり	・ゲストスピーク ・地方におけるコミュニティイベントのケーススタディ
		予習内容(時間)	地方におけるコミュニティイベントを調査 120 分
		復習内容(時間)	ゲストの話題を振り返り、ミニレポートを作成 120 分

	No11	コミュニティイベント事例③～グループワーク	・理想のコミュニティの表現 ・レゴブロックグループワーク		
		予習内容(時間)	ゲストの話題を振り返り、理想のコミュニティ像を考察	120	分
		復習内容(時間)	グループワークの取り組み内容を相互評価	120	分
	No12	コミュニティ分析とイベント提案①～グループワーク	・コミュニティ課題の分析 ・課題解決にむけたイベントづくりの企画を検討		
		予習内容(時間)	様々なコミュニティイベントについて情報収集	120	分
		復習内容(時間)	グループでコミュニティ課題の解決の為にイベント企画の提案	120	分
	No13	コミュニティ分析とイベント提案②～成果報告と講評①	グループのプレゼンテーションおよび他グループの講評		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション評価票を作成	120	分
	No14	コミュニティ分析とイベント提案③～成果報告と講評②	グループのプレゼンテーションおよび他グループの講評		
		予習内容(時間)	プレゼンテーション準備	120	分
		復習内容(時間)	プレゼンテーション評価票を作成	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	企業論 BE-K
講義名(英字)	Modern Corporation
担当教員	清水 太陽
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、複雑かつ多面的な現代企業の全体像と課題を理解し、それに関する関心と問題意識を醸成できるようになることを目標とする。 具体的には、現代企業の諸形態や役割について、とくに株式会社に注目し、主に大企業の構造について学ぶ。また、いわゆる「日本的経営」や 現代企業の役割に関しても、考えてみたい。必要に応じて、映像資料等も活用し、それぞれの時代の息吹を感じて欲しい。					
【到達目標】	重要な用語を理解すること 理論の内容を理解すること 制度の内容や時代背景を理解すること					
【履修条件・受 講推奨者】	◇ 経営学をすでに受講済みまたは同時に履修することが望ましい。また、経営史を受講すると、理解の助けになるであろう。その他、現代企業 のあり方に関心がある人に幅広く受講してもらいたい。					
【教育方法】	講義での知識を修得し、レポートを作成することで、現代企業について関心を深め、現代企業が直面する課題について自分自身で考える力を涵 養する。					
【指定教科書・ 参考資料等】	◇ 教科書：三戸浩・池内秀己・勝部伸夫(著)『企業論(第4版)』有斐閣アルマ、2018年 ◇ 参考文献：授業で随時紹介する					
【実務IQ修得目 標】	自制力 協働力	思考力 主張力	○ ○	突破力 創造力	○	忍耐力

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	用語の理解、時代背景の理解	30%	期末テスト60% 数回のレポート30% 受講態度10%		
	理論の内容理解、制度の内容理解	30%			
	知識の応用	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	◇ とくになし				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	企業論を学ぶ意義と内容に関する説明など		
		予習内容(時間)	シラバス、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No2	現代企業を見る視点－6つの企業観－	6つの企業観－概要－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No3	「財・サービスの提供機関」としての企業－豊かな社会と企業の成長－	経済発展と生活の変化－豊かな社会の出現－、大企業の実態－大規模化の優位性－、企業の長期戦略－企業の多角化と製品戦略－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No4	「財・サービスの提供機関」としての企業－豊かな社会と企業の成長－	企業の広告活動－企業と消費者を結ぶもの－、企業の国際化－市場は国家を超えて－、むすび－欲望と消費生活－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No5	「株式会社」としての企業－株式会社制度の理論と現実－	株式会社の機能と構造－資本集中機構としての株式会社制度－、株式会社の現実－株式会社に於ける制度と実態の乖離－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No6	「大企業」としての企業－企業の変容と新しい企業観の登場	大企業とは何か－現代社会を動かす企業の経済力－、大企業の支配構造－大企業を支配するのは誰か－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No7	「大企業」としての企業－企業の変容と新しい企業観の登場	日本の大企業の経営者－経営者支配の実態－、大企業のコーポレート・ガバナンス－企業は誰がどのように統治すべきか－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No8	「組織」としての企業－組織と管理－	企業と官僚制－現代企業組織の基本的構造－、企業組織の諸形態－環境変化への適応としての組織形態の変革－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
		「組織」としての企業－組織と管理－	企業の組織と管理論の展開－アメリカ管理論の展開を中心に－、管理の革命－随伴的結果論－		

	No9	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No10	「家」としての日本企業－日本的経営の原理と構造－	日本企業と従業員－運命共同体としての企業と日本型人事システム－、日本型株式会社制度の構造と実態－日本の会社の性格と目標－、日本型企业結合様式の独自性－企業集団と企業系列－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
		「家」としての日本企業－日本的経営の原理と構造－	日本企業をみる視点－「家」としての日本企業、揺らぐ日本的経営－家の論理のゆくえ		
	No11	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分
	No12	「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－	企業の社会的責任論－企業と社会の緊張－、企業市民－企業と地域社会－、日本企業の社会的貢献活動－社会の一員としての企業－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
		「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－	近年のCSR活動とCSR指標・CSRランキング－CSRの定着とその評価・計測－、企業統治・企業倫理－企業は誰のために？望ましいあり方を求めて－		
	No13	予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	今回の授業で学んだ内容を復習する	120	分
	No14	「社会的器官」としての企業－21世紀の企業像を求めて－	社会のための企業－その目的と役割－、個人・社会・自然と調和した企業－21世紀の企業像－		
		予習内容(時間)	テキスト、スライド、レジュメに目を通す	120	分
		復習内容(時間)	レポートを作成する	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	企業論 BE-M
講義名(英字)	Modern Corporation
担当教員	高田 真也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義では、現代企業の全体像を把握するとともに、企業と利害関係者がどう関係し、経営者がどう規律づけられているかや、企業が社会とうまく折り合いをつけながら成長を遂げていくかについて講義する。全体を通して企業を株式会社制度としての側面、組織としての側面、社会的存在としての側面という3つの観点から捉え、総合的に学習する。これらの学習を通じて日本企業が取り組むべき課題について問題意識を持ち、検討する力をつけるのが狙いである。																						
【到達目標】	講義で解説した経営学・企業論の理論を理解し、事例を用いて説明できるようになれるか。 講義で解説した日本企業を取り巻く制度や現状について理解できているか。 講義で解説した日本企業の課題について理解し、問題意識を持てるようになったか。																						
【履修条件・受講推奨者】	特に前提知識は必要としない。																						
【教育方法】	講義により行う(PowerPoint資料を活用する)。																						
【指定教科書・参考資料等】	小山・出見世・谷口(2021)、「問いからはじめる現代企業」、有斐閣																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力		主張力	○	創造力	○																		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	期末試験	60%	期末試験、レポート、平常点で評価する。		
	レポート	20%			
	平常点	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	特別な理由を除き、授業回数の3分の1以上の欠席がある場合は、単位を認めない。また授業目的以外でのスマートフォン・タブレットなどの電子機器の使用を禁止する。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	この講義の趣旨や、構成について理解する。また日本企業を取り巻く課題について理解する。		
		予習内容(時間)	質疑ができるように、新聞記事などに目を通して問題意識を育む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No2	個人企業と会社	私企業の分類について理解し、企業の発展について考える。		
		予習内容(時間)	該当範囲(1章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No3	株式会社制度	株式会社制度の特徴と、会社機関制度について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(2章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No4	企業間関係	企業間関係の理論と捉え方について理解する。		
		予習内容(時間)	第三回の授業中に指示された参考文献を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No5	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンスを説明する理論を理解し、国内外のガバナンスの特徴について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(3章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No6	企業と組織構造	職能別組織や事業部組織など企業と組織構造について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(4章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No7	日本型組織	日本的経営の特徴と強みについて理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(5章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No8	企業と経営戦略	企業ドメインや多角化など企業と経営戦略について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(6章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No9	M&Aと戦略的提携	M&Aと戦略的提携の定義、目的などを理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(7章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No10	企業の社会的責任	企業の社会的責任が主張されるようになった背景や、その内容について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(8章)の教科書を読む。	120	分

		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No11	企業とステークホルダー	企業環境とステークホルダー・アプローチについて理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(9章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No12	企業環境とコンプライアンス	企業の倫理的行動と、倫理制度について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(10章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No13	企業の社会貢献活動	企業の社会貢献活動と戦略的社会貢献活動、CSVについて理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(11章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No14	講義のまとめ	講義全体のまとめと今後の学習に向けた展望について講義する。		
		予習内容(時間)	いままでの講義を振り返り、わからない点をまとめたり、用語を調べたりしておく。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティング論Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Marketing Theory II
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングⅠでは、マーケティングの定義や機能などについて学習しました。マーケティングⅡでは、それらの知識をベースに、業界や企業 が実際に直面している課題や問題を取り上げ、それらを解決するためのマーケティング施策や戦略の立案の仕方を学びます。具体的には、例と して、デジタル化が遅れてガラパゴス化しているともいわれる日本の音楽業界をフォーカスし、ドラスチックな構造変化と行き詰まりの原 因、SNS基点とした問題点など、その現状と可能性を探ってみます。																												
【到達目標】	マーケティングⅠで習得した知識や仕組みを実際の事例等に当てはめ、実践的なビジネスの策定方法を学ぶ 社会で役立つマーケティングを把 握すること 日本の音楽業界にスポットを当て、昭和から平成、令和への流れや変化を概観するとともに、現状を調査し、問題点や課題を整理しエンターメン ト業界のマーケティングの今を学び、理解する 抽出された問題点や課題を解決するための戦略、具体的施策を立案する能力																												
【履修条件・受 講推奨者】	特になし																												
【教育方法】	自律性、社会性、地域国際性、コミュニケーション力、情報リテラシー、問題解決力等のスキルを修得する ケース・スタディやプレゼンテーション 等における積極性、傾聴力、コミュニケーション・スキル、問題解決等を評価する																												
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし																												
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○								
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																							
協働力	○	主張力	○	創造力	○																								
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="3">評価方法</td></tr><tr><td colspan="3">授業へのコミットメントと態度</td><td>30</td><td colspan="3" rowspan="3">学校の方針に準拠</td></tr><tr><td colspan="3">レポート・試験</td><td>70</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法			授業へのコミットメントと態度			30	学校の方針に準拠			レポート・試験			70	合計			100%
評価項目と割合				評価方法																									
授業へのコミットメントと態度			30	学校の方針に準拠																									
レポート・試験			70																										
合計			100%																										
【その他の注意 事項】	講義内容、順番は変更することもあります。																												
	<table><tr><td>週</td><td colspan="2">テーマ</td><td colspan="4">学習内容</td></tr></table>							週	テーマ		学習内容																		
週	テーマ		学習内容																										

【授業計画】

No1	イントロダクション	ポストコロナ時代をリードするマーケティングとは何か		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No2	ガラパゴス化した音楽業界のマーケティング①	世界のデジタル化潮流に乗り遅れた日本の音楽ビジネスを例にとって考察する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No3	音楽ビジネスマーケティング②	音楽ビジネスの構造変化を探る		
	予習内容(時間)	講義の事前チェック	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No4	音楽ビジネスマーケティング③	ソーシャルメディアの勃興と音楽流通の変化		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No5	音楽ビジネスマーケティング④	共有・共感・共鳴のメカニズムを探る		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No6	音楽ビジネスマーケティング⑤	レガシーメディアとしての音楽市場をどう振り返るか		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No7	デジタルとアナログは共存するか	マーケティングでデジタルとアナログは共存するか、その未来を探る		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No8	前半の学びの基本復讐と整理	学んだトピックスを整理し、後半への問題意識を共有する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	前半のメモのチェック	120	分
No9	ヒット商品のメカニズム①	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No10	ヒット商品のメカニズム②	ヒット商品を事例とともにマーケティング的に分析する		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No11	今年の話題広告、商品	一年の中での広告のトレンド・トピックスを考える		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No12	ディスカッション①	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分
	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
No13	ディスカッション②	マーケティング戦略事例をもとに情報共有		
	予習内容(時間)	事前準備	120	分

	No14	復習内容(時間)	講義メモのチェック	120	分
		総括・達成度の確認	今までの授業についての総括		
		予習内容(時間)	事前準備	120	分
		復習内容(時間)	全体の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティング論Ⅱ BE-L
講義名(英字)	Marketing Theory II
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	この授業では、マーケティングを実践するための基本的な戦略と理論について学習する。主に、製品戦略、価格戦略、流通戦略、プロモーション戦略というパートに分け、それぞれの戦略を具体的に解説していく。また、マーケティングの最新動向や新しい理論についても、実在する企業や商品例を取り上げながら、説明する。																																				
【到達目標】	マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるようになること 様々なマーケティング戦略を理解し、戦略立案ができるようになること マーケティングの最新動向や理論について理解すること																																				
【履修条件・受 講推奨者】	「マーケティング論Ⅰ」を既に履修済みであることが望ましい																																				
【教育方法】	対面講義形式 授業中に、リアクションペーパーの提出を求めることがある																																				
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用しない コースパワーに毎回資料を配布する																																				
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td></td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○	協働力		主張力		創造力	○																
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○																														
協働力		主張力		創造力	○																																
【成績評価・評 価上の留意事 項（試験方法、 単位修得要 件）】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="3">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか</td><td>30</td><td colspan="3" rowspan="4">学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティング戦略を具体的に理解し、戦略立案ができるか</td><td>40</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティングの最新動向や理論について理解しているか</td><td>30</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法			マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか				30	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可			マーケティング戦略を具体的に理解し、戦略立案ができるか				40	マーケティングの最新動向や理論について理解しているか				30	合計				100%
評価項目と割合				評価方法																																	
マーケティングの考え方と専門用語を正しく理解し、説明できるか				30	学期末試験を行う 選択マークシート方式による解答 持ち込みは不可																																
マーケティング戦略を具体的に理解し、戦略立案ができるか				40																																	
マーケティングの最新動向や理論について理解しているか				30																																	
合計				100%																																	
【その他の注意 事項】	私語を慎み周囲に迷惑をかけないこと																																				
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="5"></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容																											
週	テーマ	学習内容																																			

【授業計画】

No1	製品ミックス戦略	授業の内容と進め方について説明した後、製品ミックス戦略について解説する		
	予習内容(時間)	シラバスと資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No2	ブランドとは	ブランドとは何かを説明した後、ブランドの役割や理論について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No3	ブランド戦略	強いブランドを構築するための戦略について、解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No4	価格戦略1	基本的な価格決定の方法について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No5	価格戦略2	複数商品の価格ミックスの考え方や、消費者の心理を利用した価格戦略などについて解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No6	プロモーション戦略1	プロモーションのシュルと、広告戦略について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No7	プロモーション戦略2	販売促進戦略やPR戦略について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No8	流通の仕組み	流通の仕組みと役割、日本の流通システムの特徴について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No9	流通戦略	メーカーの流通戦略について学んだあと、流通業者のパワーバランスについて解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No10	サービスマーケティング	サービスと商品の違いについて説明した後、サービス業のマーケティング戦略について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No11	リレーションシップマーケティング	顧客との長期的な関係性づくりをめざしたリレーションシップマーケティングについて解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No12	ソーシャルマーケティング	社会志向・社会貢献を考慮したマーケティング戦略について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
No13	グローバルマーケティング	グローバルな展開を行う企業を例に挙げ、戦略や背景について解説する		
	予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分

	No14	復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分
		まとめと復習	講義内容の総括を行い、より深く理解を高める		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度理解しておくこと	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り、理解力を高めること	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティング論Ⅱ BE-M
講義名(英字)	Marketing Theory II
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科 目で取り扱う テーマ】	マーケティングの基礎知識から、マーケティングにおけるマネジメントの考え方、マー ケティングの実際までを理解する。マーケティングは、商品やサービスの販売を促進する 手段として捉えられがちであるが、企業の戦略や非営利組織の活動とも深く関わっている。 製品を開発する企業、製品を消費者に届ける流通業、製品を購入し利用する消費者など、 様々な視点からマーケティングを学習する。テキストだけでなく、事例なども用いて理解 を深める。																																
【到達目標】	価格戦略と流通戦略について理解し、説明できること 広告戦略について理解し、説明できること 販売促進、PR、設問に対する回答によって評価。販売促進の種類、人的販売、リレー PRの仕組み、人的販売の役割、リレーションンションシッ プ・マーケティングについて理解し、説明できること																																
【履修条件・受 講推奨者】																																	
【教育方法】	教科書の内容理解を中心として、事例などを用いながら、様々な課題をこなしていく。																																
【指定教科書・ 参考資料等】	『現代マーケティング論』第2版 実教出版																																
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>								自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○											
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																											
協働力		主張力	○	創造力	○																												
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="5">評価方法</td></tr><tr><td>期末試験</td><td>75</td><td></td><td colspan="5" rowspan="4">期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。</td></tr><tr><td>授業内容についてのレポート</td><td>15</td><td></td></tr><tr><td>授業への参加確認</td><td>10</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td></tr></table>								評価項目と割合			評価方法					期末試験	75		期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。					授業内容についてのレポート	15		授業への参加確認	10		合計	100%	
評価項目と割合			評価方法																														
期末試験	75		期末試験、レポート、授業中の課題などによって評価する。																														
授業内容についてのレポート	15																																
授業への参加確認	10																																
合計	100%																																
【その他の注意 事項】																																	
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="6">学習内容</td></tr></table>								週	テーマ	学習内容																						
週	テーマ	学習内容																															

【授業計画】

No1	ガイダンス	授業の進め方について説明する		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No2	価格戦略	価格の設定方法について説明する		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No3	流通チャネル(1)	流通チャネルの構造と関連する組織について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No4	流通チャネル(2)	チャネルの設計、小売業と卸売業について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No5	事例研究(1)	流通の事例について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No6	広告戦略(1)	広告目標や媒体の選択について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No7	広告戦略(2)	広告の表現について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No8	販売促進とPR	プロモーション活動とPRについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No9	事例研究(2)	広告の事例について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No10	人的販売とリレーションシジョンシップ・マーケティング	人的販売、リレーションシップ、顧客満足について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No11	グローバルマーケティング	グローバル環境とマーケティング・ミックスについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No12	事例研究(3)	リレーションシジョンシップ・マーケティングの事例について説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
No13	インターネット・マーケティング(1)	インターネットを用いたマーケティングについて説明する。		
	予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分

		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分
	No14	インターネット・マーケティング(2)	インターネットを用いたマーケティングについて説明する。		
		予習内容(時間)	教科書などの予習	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティング論Ⅱ BE-N
講義名(英字)	Marketing Theory II
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	マーケティングⅠで学んだ知識をベースに、マーケティング・ミックス(製品戦略、価格戦略、流通戦略、プロモーション戦略)について個別に学びます。また、サービス業固有のマーケティング問題や、国境を超えた顧客に商品を届ける仕組みについても学びます。さらには、マーケティングという学問が問題山積である世の中でどう貢献できるかについてもチャレンジングに挑みます。本講義では、多くの企業事例を例示し、マーケティング理論とマーケティングの実際を行き来できる講義展開が期待できると思います。																																			
【到達目標】	マーケティングプログラムについて正しく説明できること。 マーケティング戦略の多方面への応用について説明できること。 マーケティングが抱える新課題について説明できること。																																			
【履修条件・受 講推奨者】	1年生は特にありませんが、2年生以上はマーケティング関連の科目(流通論、広告論、消費者行動論)のいずれかを並行して履修していると理解が深まります。																																			
【教育方法】	講義形式で教授する。																																			
【指定教科書・ 参考資料等】	<参考書> 小川孔輔『マーケティング入門』、日本経済新聞社、2009年																																			
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力		主張力	○	創造力	○															
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																													
協働力		主張力	○	創造力	○																															
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><td colspan="5">評価項目と割合</td><td colspan="2">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティングプログラムについて正しく理解している。</td><td>50%</td><td colspan="2" rowspan="4">設問に対する回答によって評価。</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティング戦略の多方面への応用について理解している。</td><td>25%</td></tr><tr><td colspan="4">マーケティングが抱える新課題について理解している。</td><td>25%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合					評価方法		マーケティングプログラムについて正しく理解している。				50%	設問に対する回答によって評価。		マーケティング戦略の多方面への応用について理解している。				25%	マーケティングが抱える新課題について理解している。				25%	合計				100%
評価項目と割合					評価方法																															
マーケティングプログラムについて正しく理解している。				50%	設問に対する回答によって評価。																															
マーケティング戦略の多方面への応用について理解している。				25%																																
マーケティングが抱える新課題について理解している。				25%																																
合計				100%																																
【その他の注意 事項】	遅刻および講義中における授業内容とは関係のない私語は厳禁。																																			
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="5"></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容																										
週	テーマ	学習内容																																		

【授業計画】

No1	製品戦略(1)	新製品開発プロセスを学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No2	製品戦略(2)	新製品の普及と予測を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No3	価格戦略(1)	価格付けの理論を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No4	価格戦略(2)	価格決定の実務を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No5	プロモーション戦略(1)	広告宣伝活動を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No6	プロモーション戦略(2)	セールス・プロモーションを学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No7	流通戦略(1)	メーカーのチャネル戦略の類型を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No8	流通戦略(2)	小売経営とロジスティクスを学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No9	ブランドマネジメント	ブランドの機能、役割、管理を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No10	サービス・マーケティング	サービス固有のマーケティング課題を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No11	国際マーケティング(1)	国境を超えた顧客に商品を届ける仕組みを学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No12	国際マーケティング(2)	国境を超えた顧客に商品を届ける仕組みを学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
No13	マーケティングの社会的役割	マーケティングが抱えている新課題を学ぶ		
	予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分

		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分
	No14	総括	秋学期の学習ポイントについての理解を深める		
		予習内容(時間)	講義資料の予習	120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	マーケティング論Ⅱ BE-O
講義名(英字)	Marketing Theory II
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「マーケティングⅠ」の延長として、業種別・商品別・手法別マーケティングを掘り下げる応用編の講義を行います。消費財、生産財、サービス財のみならず、スポーツや観光、コンテンツなど、かつてはマーケティングの対象でなかったジャンルや、「顧客参加」「キャラクター」「経験価値」「ソーシャル」「パッケージ」といった最新のトレンドも含め、具体的なケースから学んでいきます。							
【到達目標】	①今日において有力なマーケティングの考え方について、その理由を説明できるようになる ②自らの興味分野や希望進路先のマーケティング戦略について語れるようになる ③既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できるようになる							
【履修条件・受 講推奨者】	特になし。商品企画・販売促進・広告宣伝・広報・イベント等の仕事に携わりたい人。							
【教育方法】	・講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・反転)授業を採り入れる可能性もあります。							
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書は使用せず、パワーポイント資料を各自ダウンロードして受講する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力		創造力	○		
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	評価項目と割合			評価方法				
	今日の有力なマーケティングの考え方の理由を説明できる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価					
	興味分野や希望進路の戦略について語ることができる	30%						
	既存商品の拡販に向けて、自分なりのアイデアを提案できる	40%						
	合計	100%						
【その他の注意 事項】	特になし							

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	近年のマーケティングトレンド	ひとことでマーケティングといっても、実のところ、企業や業界、商品ジャンルによって、その考え方や方法論は多様である。いまや、大学で「どんなマーケティングを学んだか」が問われる時代でもある。第1回では、秋学期講義のアウトラインの説明を通じ、マーケティングの多様性や深みを理解し、自らの進路と大学での学びとの関りを考えるきっかけとする。		
		予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No2	サービス財のマーケティング	日本はモノづくりの国と目されているが、実は急速にサービス経済が浸透しており、学生の進路の7割はサービス業と考えてもよい。本講義ではサービス財を「無形性」「変動性」「複合性」「継続性」の4つの特性から捉え、それぞれに対応した10のマーケティング戦略について、具体的な事例から学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No3	生産財のマーケティング	膨大なプロ市場領域、即ち法人向け(BtoB)のマーケティングを学ぶことは、営業活動や業務の仕組みへの理解を高め、知名度の低い優良企業を知るきっかけにもなる。本講義では、生産財マーケティングの特性である「顧客の顧客を知る」「複数の購買決定者」「営業支援策」など、消費財と異なる考え方を学ぶ。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No4	顧客参加型マーケティング	顧客を企業プロセスに組み入れることは、ユーザーの知見を採り入れた商品づくりが可能になるとともに、SNSでの拡散や、ファンを中長期的に育成できる有力な戦略と目されている。本講義では商品開発、製造、流通、商品利用の4プロセスにおける顧客参加の方法について理解し、その効果と留意点について考察していく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No5	スポーツマーケティング	スポーツは他の産業から見ても魅力的な付加価値をもたらすコンテンツである。本講義では、スポーツ用品販売、プロチーム経営、スタジアム運営、スポーツツーリズム、スポンサーシップ等の事例について解説していく。また、不正や汚職による問題山積の五輪ビジネスの構造、スポーツマーケティングの今後のあるべき姿についても考察する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No6	キャラクターマーケティング	キャラクターは単なるアイキャッチャーではなく、いまやブランドを人格化し、その背景にある思想や価値などを伝える重要なコミュニケーションツールである。本講義では特に、独自のブランドキャラクターを開発・活用する企業(NTTドコモ、リクルートなど)の事例について考察する。また「中の人」「Vチューバー」「擬人化」など、新たなキャラクターコミュニケーションの方法についても学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No7	音楽活用マーケティング	音楽活用マーケティングの歴史は古く、市場が生まれた中世から存在する。今日の販売促進への音楽(ミュージック/サウンド)活用法として、「店頭演出」「POP(購買時点広告)」「景品」、ブランディングへの活用法として「サウンドロゴ」「CMソング」「MPV」「発着メロディ」「商品音」「社歌」等について、最新の具体例から学んでいく。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No8	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行う。レポート課題は、単に知識を問うものではなく、「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとする。また優良レポートは他の受講者にフィードバックし、それをもとに見直しと復習を行う。		
		予習内容(時間)	1～7回までの講義資料を見直す	240	分
		復習内容(時間)	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
	No9	経験価値マーケティング	そのブランドならではの、身体的・精神的・美的な感動のもたらし方について考察する。スターバックスやシンガポール航空などの事例を通じ、「ユーザーエクスペリエンス(UX)」「モノからコトへ」などの重要な概念を理解する。また、商品利用シーンに「笑い」「遊戯」「創造」「物語」を導入し、ワクワクする消費体験を提供する方法を検討する。		
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分

	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	ソーシャルマーケティング	SDGsが経営理念の基盤となり、企業の社会的責任(CSR)や社会の利益増大を意識したマーケティング活動が必要になってきた。 本講義では「非営利組織のマーケティング」「社会啓蒙キャンペーン」「CSR(企業の社会的責任)」「CSV(共通価値の創造)」「デ・マーケティング」という5つの観点から、ソーシャルマーケティングのあり方を考えていく。 また「きれいごと」に対する批判など、配慮すべき点についても理解する。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No11	観光マーケティング	観光立国化が叫ばれて久しい。ここでは観光目的地(デスティネーション)をひとつの商品とみなし、その特性を「イメージ消費財」「サービス財」「経験財」「高関与×高価格商品」と捉えた戦略について言及する。 また「国際マーケティング」「旅支度市場」といった視点からも、観光マーケティングの方法を考えていく。 最後に「沖縄旅行」を題材に、リピーターが観光地に求める価値についても議論する。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No12	パッケージデザインとマーケティング	パッケージは販促やブランディングにつながるだけでなく、商品が顧客の手元に移った後に企業からメッセージを伝達する重要なメディアでもある。 ここではパッケージの8機能(識別、意味伝達、陳列、中身・用途説明、運搬、利用支援、品質保持、保管等の支援)について、その具体例から理解するとともに、ネスレ、花王、キリンなど、最新の事例を検討していく。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No13	コンテンツ産業のマーケティング	日本発のコンテンツが注目を浴びている。経済の活力源は「文化」にある時代となった。 本講義では映画、ドラマ、小説、アニメ、漫画、音楽、ゲーム等をどうヒットさせるか、その方法について検討する。 クリエイターの才能や業界人の経験値ではなく、コンテンツ財の商品特性(「無形性」「可変性」「芸術性」「権利性」)からのアプローチ、さらにはコンテンツの消費特性(「偶有性」「嗜好性」「模倣・共感性」)を踏まえた戦略の重要性を理解する。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No14	コンテンツ活用のマーケティング	コンテンツを活用してどう商品売るかについて検討していく。 いわゆる「コラボ」にとどまらず、タイアップキャンペーン、プロダクトプレースメント、オウンドエンタテインメントなど、広告や広報への応用策を中心に、ここでは幅広い方法論を理解する。 また、新たなタイプのコンテンツ活用広告についても学んでいく。		
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

[前画面へ戻る](#)